

関西大学図書館シリーズ 第二十五輯

関西大学所蔵

近世文書目録

その二

関西大学図書館



関西大学所蔵

近世文書目録

その二

関西大学図書館

関西大学図書館シリーズ 第二十五輯

関西大学所蔵

近世文書目録  
その二

関西大学図書館











関西大学図書館シリーズ 第二十五輯

関西大学所蔵

近世文書目録  
その二

関西大学図書館







## 序

本図書館では、さきに春原源太郎博士旧蔵文書約五万点のうち近江国関係の近世地方文書の目録を、「近世文書目録その一」（昭和六十二年三月）として刊行したが、このたびこれに引き続き「近世文書目録その二」を刊行する運びとなった。本目録には、尾張国愛知郡鳴海村（宿）下郷家文書約三、〇〇〇点（なお冊子が解体して断簡となっているものについては、断簡をそれぞれ一点と数えた）を収めている。

下郷家文書は、鳴海村庄屋文書、鳴海宿問屋・兼帯庄屋文書および下郷家（千代倉本家および分家の柏木家、喜多浦家）文書の三つの文書群から成る。年代は延宝元年（一六七三年）から明治初期にかけてのものである。鳴海村は、本陣・脇本陣・問屋が置かれ、助郷制度も整備されていた宿場町を含む大村であり、下郷家の本家・千代倉家（姓は下郷氏）は酒造業を営む大地主で、嘉永年間（一八四八年～一八五四年）以後は本陣をも務めた。したがって本目録に収めた文書には、地方関係史料・宿場町関係史料および酒造、金融、小作関係等の私家資料が含まれている。

本目録が成るについては、図書館員藤原有和主事の努力に負うところが多い。記して感謝する。

平成元年三月二日

関西大学図書館長

高 島 義 郎





## 凡 例

一、本目録は『関西大学所蔵近世文書目録その二』として、春原博士旧蔵文書のうち尾張国愛知郡鳴海村下郷家文書約三、〇〇〇点を収めた。

一、目録編成にあたって、個々の文書の内容や性格ならびに関連性を把握して類別を行い、大・中・小の項目を与えて配列した。

一、小項目の中の配列は、原則として年代順である。

一、文書の記述はほぼ、(一)表題 (二)作成年月日 (三)差出人・宛名(又は作成者) (四)注記 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。

一、表題は、原則として原表題によったが、表題のない場合および内容を補記する場合は「」を付した。なお、表題以外で補記する場合は「」を付した。

一、文書の形態は、冊子型文書について、な縦帳および横帳によって原本の大概を示すにとどめた。

一、数量の上部に示した仮は仮綴本であることを示す。なお、数量単位を丁で表わしている文書は、冊子型文書の断簡である。

一、字体は、原則として常用漢字を使用した。ただし、地名、人名、および「而」「者」「江」「与」「而已」「扣」などは原本のまま記した。





# 目次

序  
凡例

尾張国愛知郡鳴海村下郷家文書目録

鳴海村庄屋文書

支配

触写、御林、御用金、鳴海陣屋役宅坪

数帳

貢租・諸役・村入用

検見・納米、山方年貢、巡見御用、御

城米、村方下用割、村借、井領米（南

野村）、橋修復・以伏替入用、明治期

村費

土地

耕地、山林

戸口

人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・奉

公人改帳、宗門改帳、奉公人・被官百

姓宗門帳、宗門自分一札、他所稼人別

書上帳、質屋人別書上、寺手形他

村政

御用留、村鑑、絵図、村役人、倒家・

御救銀、頼母子、秣圃置

治安・訴訟

打擲・切害、荷物取失・背米、番人、  
穢多富蔵一件、藻草取場入会一件、地  
所戻一件、貸金出入、分散、離縁、難  
渋、その他の出入

寺社

寺社書上、浅間社祭礼、誓願寺

鳴海宿問屋・兼帯庄屋文書

鳴海宿

支配

触写

諸役・宿方入用

伝馬役、助郷、諸入用、飯売女連上

銀、鷹遣ひ、損所普請、拝借金

戸口

飯売女人別帳、宿村送り

宿場

問屋場、問屋役、公武の通行・宿泊

治安

無宿、相对死、変死・病死、乱防、盗

難、召捕入用

有松村

村政

村内軒別坪数書上帳

間米村

村入用

村下用

戸口

人数改帳・百姓家数馬数書上帳

村政

御用留、村役人、救米

治安・訴訟

元庄屋直助不正一件、強盗

植田村

村政

御用留

下郷家文書

千代倉本家

酒造方

大行事（酒造米・酒樽積送り）、千代倉東

店、千代倉江戸店、通手形

金融

金右衛門、寂照他、金三郎他、次郎八、

勘右衛門、勘左衛門、次郎四郎、燎太

郎、拝借金、借金

地主経営

小作、耕地請作券（明治八年）、質・譲

渡

奉公人

請狀(宗門手形を含む)、見合帳

家政……………一一九

家計、相続他、書簡、日記

分家柏木家……………一二二

金融……………一二二

借金、買得……………一二二

家政……………一二三

相続、書簡(庄屋文書を含む)

分家喜多浦家……………一二四

家政……………一二四

家計、日記

鳴海村庄屋文書

支配

触 写

↓『村政』『御用留』（一〇頁以下）をも見よ

御書付之写〔博奕諸勝負事禁止〕	文政十一年六月	（鳴海陣屋）	一通	三五九
〔追放刑関係断簡〕	文政十一年十二月、嘉永五年十一月		一通	二七五
〔硝石製造方取斗候儀ニ付申渡〕	（年代未詳）子九月	織田大作	三丁	二七七
〔松平薩摩守殿旧冬御鷹拝領被致候ニ付申渡〕	（年代未詳）丑七月	郡奉行所	一通	二五七
〔在々百姓共旦方宗門改之節判形致方之儀ニ付触〕	（年代未詳）辰閏正月	寺社奉行所	一通	二五三
御家中諸士勝手就困窮被仰出之條々（後欠）	（年代未詳）酉ノ六月		一通	二六八
触書〔御上洛ニ付往還筋掃除之儀〕	（年代未詳）二月廿三日	往還方役所	四丁	二七三
〔尋儀有之候間陣屋江可罷出候〕	（年代未詳）三月十二日	鳴海陣屋	一通	二六七
〔岑姫様御卒去ニ付、鳴物ハ今日ノ三日停止〕	（年代未詳）三月十六日	寺社奉行所	一枚	一四〇
〔公儀御茶壺登リ鳴海通行ニ付往還筋掃除之儀〕	（年	一丁・二通	二三八	
〔代未詳〕四月廿九日	鳴海陣屋	別紙村々庄屋	付、書簡包紙共	
〔米穀及高料、雜穀作増喰継之心懸方につき、御勘定奉行		一丁	二四六	

衆より申渡）（年代未詳）四月

〔挑灯渡り方〕	（年代未詳）五月十五日	鳴海陣屋	一通	九六
〔日光御神忌御用ニ付宿助郷江触〕	（年代未詳）五月		一通	三七五
〔上納麦金ニ付順達〕	（年代未詳）六月九日	鳴海陣屋	一通	二六五
〔実油ニ付御触書写〕	（年代未詳）六月十日	鳴海陣屋	一丁	一四三
〔天白橋車留御解相成候由〕	（年代未詳）七月十六日	当番庄屋	一通	二五九
〔急キ（別紙之通御触出ニ付写相達候条）	（年代未詳）七月廿七日	当番庄屋	一通	二五八
〔飛切大急キ（御触書出候付即刻写相達之候条）	（年代未詳）七月十七日	当番庄屋	一通	二五九
〔別紙之通御触書順達断簡〕	（年代未詳）八月四日	下郷弥兵衛	一通	二七三
〔別紙之通御触書順達断簡〕	（年代未詳）八月七日	下郷弥兵衛	一通	二六八
〔地方御勘定奉行衆より御城下端々借屋住之者共儀につき触〕	（年代未詳）九月朔日	金（森）五郎兵衛	二丁	二四八
〔熱田大宮正ノ辻宮済、舞楽相済候迄僧尼法鉢之輩禁制標杭内江不可参入〕	（年代未詳）九月	鳴海陣屋	二丁	二九〇
〔公方様御尊骸御軍艦ニ而江戸表江被為入候旨〕	（年	二丁・一通	二四七	
〔公義御代替ニ付起証文一条ニ付両度目御触書到来ニ付写	（年代未詳）十月九日	御徒目付前嶋専八郎	三丁	二四八



飛切大急キ〔御触書出候付即刻写相達之候条〕（年代未詳）十

一月廿四日 当番庄屋々菊田備前殿他三名・九ヶ寺

鈴木美濃守殿る京阿弥を以御城附江被相渡候書付写

（年代未詳）十一月 村々庄屋

〔水戸中納言様御逝去ニ付鳴物停止〕（年代未詳）十二月廿六

日 神祇役所 南部役所々別紙村々庄屋

水野越前守殿る御殿江被相渡候書付写〔古文字 銀古式朱銀

引替方并引替所等之儀〕（年代未詳）十二月

〔公義御茶壺御下り之儀断簡〕（年代未詳）

御 林

御林御取締日記 明治四年九月 黒石詰所仮

御 用 金

献金書上帳 安政三年十月 鳴海村初有脇村迄六拾式ケ村

并ニ寺郡輪中

組々献金請取帳 安政三年十一月ヨリ 鳴海村世話方

乍恐御請申上候御事〔御征長御軍費等御用達〕（年代未詳）子

十二月 御支配下村々惣代鳴海村加藤平左衛門他四名々鳴海〔陣

屋〕

鳴海陣屋役宅坪数帳

万延元年申七月御陣屋御建替新地之分御役所御代官

衆役宅并御手代衆御役宅坪数帳 文久三年十二月廿四日 加

藤平左衛門・下郷弥兵衛改

貢租・諸役・村入用

↓『村政』『御用留』（一〇頁以下）をも見よ

検 見・納 米

〔屋敷地年貢関係断簡〕 宝暦七年十一月

丑暮御年貢ム子当留帳 天明元年極月吉日

覚〔納米〕 文化二年十二月 杓掛村庄屋幸右衛門々下郷勘左衛門

殿

酉年免附町相場畑引検見徳留帳 天保八年十二月 □地方

会所

亥年免附町相場畑引検見徳留帳 天保十年十二月

辰年免附町直段畑引検見徳写帳 天保十五年十二月

巳年免附町直段畑引検見徳写帳 弘化二年十二月

覚〔御膳麦五斗、広井御蔵役所江相納候〕 安政三年十月十八

日 吉田助次郎手附富村武三郎々鳴海村庄屋中

覚〔地子物成請取〕 安政四年十二月 問屋惣代加藤平右衛門々

庄屋下郷弥兵衛殿

元治元子年免割写 元治元年

鳴海申立を以荒増之誤張〔去ル 安政三辰年 当村御払居米代

未納此節上納可仕旨〕（安政四年） 鳴海村〔庄屋〕々（鳴海）

御陣屋

安政五午年御物成廣井於御蔵請取通 安政五年十一月 愛

知郡鳴海村

一通 二〇三

一通 二八三

一通 三二六

横帳 一冊 一七六

横帳 一冊 一七六

横帳 一冊 一七五

横帳 一冊 二七六

一通 二〇三

一丁 二〇二

九丁 一九六

一通 二四三

横帳 三丁 一七六

慶応二寅年免割帳 慶応二年

六丁 一五九

慶応三卯年早田検見概引 慶応三年

三丁 一九七

慶応三卯年検見畝引 慶応三年

九丁 一六〇五

買仕切(納米相渡、代金銀子銭受取) (年代未詳)子正月卅日

一通 三六六

大橋市左衛門<sup>△</sup>千代倉治郎八殿

覚(納米勘定相済) (年代未詳)子八月十五日 下郷勘左衛門<sup>△</sup>

一通 二五四

鈴木次兵衛殿

覚(大高納米百石預り) (年代未詳)丑十二月十二日 鈴木次郎

一通 二五四

兵衛他一名<sup>△</sup>下郷勘左衛門様

覚(蔵米受取) (年代未詳)寅二月十二日 佐和屋理左衛門<sup>△</sup>下郷

一通 二五九

勘左衛門様

覚(古小麦五俵大高村良左衛門方買請之分請取) (年代未詳)

一通 二七三

寅五月廿四日 大高村出穀締役近藤三左衛門<sup>△</sup>鳴海村御庄屋中

寅年皆済帳写 (年代未詳)十二月 (鳴海村)下組

一丁 一六四

〔取米〕 (年代未詳)卯四月 右(鳴海)村庄屋下郷保之助他六

一冊 二八〇〇

名 横帳

覚(納米) (年代未詳)辰五月十二日 米屋当番<sup>△</sup>村方御衆中様

一通 二五四

〔年貢関係断簡〕 (年代未詳)辰十二月

二丁 一九九

覚(当年定金納御年貢金請取) (年代未詳)午十二月 鳴海陣

一通 二六五

屋<sup>△</sup>(鳴海村庄屋)

覚(其村去年御物成置米之内) (年代未詳)未七月 八吉太夫

一通 二七三

代酒井斎助他一名<sup>△</sup>鳴海村庄屋中

覚(其村去年御物成置米之内) (年代未詳)未七月 八吉太夫

一通 二六三

<sup>△</sup>鳴海村庄屋

辰年検見畝引 (年代未詳)

六丁 一九三

覚(当年御年貢金請取) (年代未詳)午十一月 鳴海陣屋<sup>△</sup>(鳴海村庄屋中)

一通 二五九七

戌年早稲坪苧 (年代未詳)

一通 二七六

覚(納米四拾石、御地頭様御払米郷蔵ニ預置) (年代未詳)亥

一通 三六三

十二月日 大高村郷蔵方藤市他一名<sup>△</sup>鳴海宿下郷治郎八殿

覚(桶廻間村当亥年御物成之内) (年代未詳)亥十二月三日 服

一通 二五三

部半左代<sup>△</sup>右(桶廻間)村庄屋中

覚(桶廻間村当亥年御物成之内) (年代未詳)亥十二月廿四日

一通 二五四

服部半左代<sup>△</sup>右(桶廻間)村庄屋中

覚(桶廻間村御居米) (年代未詳)子二月廿四日 美濃屋惣兵衛

一通 二五五

<sup>△</sup>下郷治郎八様

覚(寅年夫銀取替受取残り) (年代未詳)亥十二月廿七日 三左

一通 二六七

衛門<sup>△</sup>下郷次郎八様

切手(麦壺石差送り) (年代未詳)三月晦日 右(大府)村庄屋<sup>△</sup>

一通 二六七

鳴海村御庄屋衆中

切手(小豆壺石差送り) (年代未詳)四月九日 大府(村)庄屋三

一通 二七〇

七<sup>△</sup>鳴海御庄屋衆中

覚(蕎麦五俵他差送り) (年代未詳)四月十二日 日置村庄屋孫

一通 二六九

右衛門<sup>△</sup>鳴海村出穀締役衆様

覚(白米請取) (年代未詳)七月晦日 東阿野(村)詰手代<sup>△</sup>鳴海村

一通 二九二

庄屋中

奉願上候事(上納之儀) (年代未詳)十二月廿四日 甫十<sup>△</sup>傳芳

一通 二〇六

様 付、包紙

亥之年皆済状之事(後欠) (年代未詳) 鳴海村

一通 三六七

〔永井松右衛門分検見断簡〕 (年代未詳) 永井松右衛門

一通 二九一

山 方 年 貢

郎右村庄屋中

巡 見 御 用

〔山方年貢〕（享保十四年）十一月 安坂才右他一名右（鳴海）村庄屋中  
一通 一九七  
〔山方年貢請取〕（享保十四年）酉十二月十八日 安坂才右右（鳴海）村庄屋中  
一通 一九七

公義御巡見御用一卷 天保九年四月 鳴海里正下郷弥兵衛 横帳 飯一冊 三〇七

〔鳴海村次郎八扣、当末年山方見取御年貢米上納〕元文四年十一月 箕浦傳左他一名右（鳴海）村庄屋  
一通 一八三

御 城 米

〔鳴海村次郎八扣、当亥年山方御年貢上納〕寛保三年十一月 久保弥次太他一名右（鳴海）村庄屋  
一通 一八三

御城米運賃金銀通 東西方 寛政元年九月吉日 近藤小七他 横帳 一冊 三八三  
二名下郷次郎八殿

〔鳴海村次郎八扣、当亥年山方御年貢受取〕寛保三年十二月十八日 久保弥次太他一名右（鳴海）村庄屋  
一通 一八四

〔御城米川出し駄賃并日用代借用〕 寛政元年九月 次郎七他一名下郷次郎八殿  
一通 一八

〔鳴海村次郎八扣、当子年山方年貢米上納〕延享元年十一月 久保弥次太他一名右（鳴海）村庄屋  
一通 一八五

〔御城米川出し駄賃并諸懸リニ借用〕 寛政元年九月 与頭 又七郎他一名下郷次郎八殿  
一通 一五

〔山方御年貢〕延享四年十一月 古川定右他一名右（鳴海）村庄屋  
一通 二〇〇

〔御城米川出し并諸懸り借用〕（寛政元年）酉十月十七日 又七郎他一名下郷次郎八殿  
一通 六

〔追分山鳴海村五郎八扣、当卯年山方御年貢受取〕延享四年十二月十八日 土岐市右他一名右（鳴海）村庄屋  
一通 一八六

〔御城米川出し駄賃并日用代借用〕 寛政元年十一月十六日 組頭又七郎他一名下郷次郎八殿  
一通 三

〔歲山方御見取定納山屋敷地御年貢定金納取立帳〕文 横帳 一冊 一八七  
久三年十一月 支配下郷保之介

〔御城米川出し駄賃并日用代〕 寛政四年十二月 次郎七他二名下郷次郎八殿  
一通 二四

〔子年山方御年貢代受取〕（年代未詳）子十二月十八日 久保弥次太右村庄屋  
一通 二七

御城米附出太賃錢取替覚（後欠）（年代未詳）  
一通 二五三

〔当寅年山方御年貢受取〕（年代未詳）寅十二月十九日 古川定右右村庄屋  
一通 二七四

村 方 下 用 割

〔申之年山方米代請取〕（年代未詳）申十二月十九日 加藤与二  
一通 二七三

〔村方下用割〕安政四年閏五月廿九日 清吉庄屋御衆中様  
一通 二〇五



覚〔村方下用金請取〕 安政四年閏五月廿九日 前組源七々鳴海 一通 二〇三九  
御庄屋衆様

覚〔郷藏屋根修復入用〕(年代未詳)閏十月 懸り次郎七 横帳 一丁 二七五

午冬改入用 (天明年間カ) 本地村吉郎左衛門・庄屋源次郎 横帳 五丁 一六七

〔新郷藏入用断簡〕 (年代未詳) 一通 二五八

〔郷藏勘定書付〕 (年代未詳) 付、包紙 一通 二五三

覚〔御役所々被下置候郷藏御手当金〕 (年代未詳) 二通 二五九

覚〔御用ちやうちん代〕 (年代未詳) 一通 二七〇

地方諸用留入〔封筒〕 安政六年十二月 下郷弥兵衛 一通 二六三

村入用之書付不見之分 (年代未詳) 東五郎・金兵衛 一通 二五二

村 借

借用申金子之事〔村借〕 寛政七年十二月 下郷庄左衛門他一名 一通 七

△下郷勘左衛門殿

覚〔古拝借返上金当辰暮分請取〕 (寛政八年)辰十二月 鳴海村 一丁 二七六

△鳴海陣屋

借用申金子之事〔御地頭中西筑前守様御屋敷無抛御入用ニ 一通 二二五

付借用〕 嘉永七年六月 中西筑前守様御百姓春日井郡幸心村庄

屋借主林之右衛門他三名△前之庵清吉殿御取次 付、包紙

添証文之事〔去冬御払米六百石拝借、今般江戸表大火ニ而 一通 二五七

酒仲買徳意之者類焼仕〕 (年代未詳)

借用金証文之事 安政四年七月 庄屋下郷保之助他四名△前(之 一丁 二〇五

庵) 清吉殿

預り申金子之事 安政四年十二月 下郷弥兵衛△御本家御□□様 一丁 二〇五  
借用金証文之事 安政四年十二月 庄屋下郷保之助他四名△前 一丁 二〇六  
(之庵) 清吉殿

井 領 米 (南野村福井八左衛門他宛の文書)

覚〔井領米請取〕 寛延三年十二月 笠寺村庄屋治右衛門△福井八 一通 二三

左衛門殿

覚〔井領米受納〕 寛延三年十二月 古鳴海村庄屋善八郎△南野村 一通 二三

福井八左衛門殿

覚〔井領米受取〕 寛延三年十二月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△福 一通 二三

井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝暦元年十二月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△南 一通 一八八

野村福井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝暦三年十二月 古鳴海村庄屋善八郎△福井八 一通 一八七

左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝暦三年十二月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△南 一通 一八九

野村福井八左衛門殿

覚〔井領米受取〕 宝暦三年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△南野村 一通 一九〇

福井八左衛門殿

覚〔井領米受取〕 宝暦四年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△南野村 一通 一九一

福井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝暦四年十二月 古鳴海村庄屋善八郎△南野村 一通 一九二

福井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝暦四年十二月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△南 一通 一九四

野村福井八左衛門殿

覚〔井領米受取〕 宝曆五年十二月 古鳴海村庄屋善八郎△南野村 一通 一九六

福井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝曆五年十二月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△福 一通 一九七

井八左衛門殿

覚〔井領米受取〕 宝曆五年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△南野村 一通 一九八

福井八左衛門殿

覚〔井領米受取〕 宝曆六年十二月 古鳴海村庄屋善八郎△南野村福 一通 一九九

井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝曆六年十二月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△南 一通 二〇〇

野村福井八左衛門殿

覚〔井領米受取〕 宝曆六年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△南野村 一通 二〇一

福井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝曆七年十二月 古鳴海村庄屋善八郎殿△南野 一通 二〇三

村福井八左衛門殿

覚〔井領米受取〕 宝曆七年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△南野村 一通 二〇四

福井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 宝曆九年十二月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△南 一通 二〇五

野村福井八左衛門殿

覚〔井領米請取〕 明和八年十二月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△南 一通 二〇四

野村八左衛門新田庄屋角左衛門殿

覚〔井領米請取〕 明和八年十二月 古鳴海村庄屋治右衛門△南野 一通 二〇五

村庄屋喜三郎殿他一名

覚〔井領米請取〕 明和八年十二月 古鳴海村庄屋治右衛門△南野 一通 二〇六

村八左衛門新田庄屋角左衛門殿

〔所々井領米請取入袋及び断簡〕 明和八年十二月 一袋 三〇五

覚〔当末年新井領納米請取〕 安永四年閏十二月 笠寺村庄屋新 一通 二七二

右衛門△南野村御庄屋衆中

覚〔井領米請取〕 安永六年十二月廿五日 鳴海村庄屋下郷金右衛門 一通 二八八

△八左衛門新田庄屋角左衛門殿

覚〔井領米受取〕 安永六年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△八左衛 一通 二九〇

門新田庄屋角左衛門殿

覚〔井領米請取〕 安永六年十二月 古鳴海村庄屋弥吉△南野村庄 一通 二九一

屋仲七殿

覚〔井領米受取〕 安永七年十一月 鳴海村庄屋下郷金右衛門△八 一通 二九二

左衛門新田庄屋角左衛門殿

覚〔井領米請取〕 安永七年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△八左衛 一通 二九三

門新田庄屋覺左衛門殿

覚〔井領米請取〕 安永七年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△南野村 一通 二九四

庄屋仲七殿

覚〔井領米請取〕 安永七年十二月 笠寺村庄屋新右衛門△八左衛 一通 三〇一

門庄屋覺左衛門殿

覚〔井領米請取〕 〔年代未詳〕卯十二月廿六日 大高村庄屋四郎右 一通 一五九

衛門△南野村庄屋三郎左衛門殿

覚〔井領米請取〕 〔年代未詳〕申閏十二月 本地村庄屋助右衛門△ 一通 一六一

八左衛門新田庄屋覺左衛門殿

覚〔井領米残り差引相濟〕 〔年代未詳〕酉十二月廿四日 大高村 一通 一六〇

庄や四郎右衛門△南野村庄や喜三郎殿

橋修復・火伏替入用

宝曆六年子四月改田面定溝組々割賦帳・寛政六年寅十月御入用火橋書上帳 安政五年八月 下郷弥兵衛控 竪帳 一冊 一七三  
鎌併橋御修覆諸入用覚 文久三年九月廿八日 庄屋下郷 竪帳 仮一冊 一五九  
弥兵衛・組頭長兵衛

覚〔火作方手伝日用代請取〕（年代未詳）十二月十九日 火御作 一通 二六六  
事方々鳴海村庄屋  
覚〔火伏替〕（年代未詳） 一通 二五九

明治期村費

村費取調書（明治十七年十一月）（鳴海村カ） 竪帳 一冊 一八三  
〔南柴田分堤防修繕費等下調〕（明治十八年六月）（鳴海村カ） 二丁 一八三  
明治十九年度村費收入支出予算取調書 明治十九年一月 愛 二丁 二七五  
知郡南柴田新田地主惣代加藤勇助々愛知郡鳴尾村外二ヶ村戸長  
蟹江久太殿

土地

↓「村政」「御用留」（二〇頁以下）及び「千代倉本家」「地主経営」（二〇八頁以下）をも見よ  
耕地

安政三辰四月被差出候田畑等引渡帳 元治元年六月（鳴 竪帳 一冊 一九七  
海村）庄屋所  
〔新田分〕 明治五年九月 子組名寄伊東庄兵衛 七丁 二七六

山林

御林方御見取定納山反数帳 安永三年十一月 鳴海村庄屋 竪帳 一冊 一八六  
下郷金右衛門他一名  
御林方御見取反数人別帳 天明四年十一月 裏方 竪帳 一冊 一九三  
元定納山御□下願 明治十六年七月 右御下渡願人中野勘左衛 四丁 一六四  
門他一名々愛知県令国貞廉平殿



戸口

↓『村政』『御用留』(二〇頁以下)および『千代倉本家』  
「奉公人」(一一九頁)をも見よ

人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・奉公人改帳

愛知郡鳴海村人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・御軍用 横帳 一冊 一六四

御備御糺ニ付人馬数書上帳・奉公人改帳(下調帳) 天

保五年二月

〔人数書上雛形〕(天保五年カ)午二月 竖帳 仮一冊 一六二

愛知郡鳴海村人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・御軍 横帳 一冊 一四九  
用御備御糺ニ付人馬数書上帳・奉公人改帳(下調帳)

天保十一年三月

百姓家数馬数書上帳 安政五年二月 鳴海村下郷保之介 竖帳 仮一冊 一六六

他七名ノ鳴海御陣屋

御軍用御備御糺ニ付人馬数書上帳 安政五年二月 鳴 竖帳 仮一冊 一六五

海村庄屋下郷保之介他七名ノ鳴海御陣屋

愛知郡鳴海村人数御改帳 安政五年二月 鳴海村庄屋下郷 竖帳 一冊 一七四

保之介他七名ノ鳴海御陣屋

愛知郡鳴海村人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・御軍 横帳 一冊 一四九

用御備御糺ニ付人馬数書上帳・奉公人改帳(下調帳)

安政五年二月

奉公人改帳 安政五年二月 扣名前同断(鳴海村庄屋下郷 竖帳 仮三丁 一六〇)

保之介他七名)ノ鳴海御陣屋

元治元子年三月改之(鳴海村人数) 元治元年三月 下郷弥兵衛 一丁 一五八

宗門改帳

慶応貳寅年宗門根帳(下郷弥兵衛家分) (慶応二年) 一丁 二四四

愛知郡鳴海村院摺番人穢多宗門御請合一札 明治二年三 竖帳 仮一冊 一六三  
月 当村浄土宗誓願寺他一ヶ寺ノ庄屋衆中

宗門御改帳文言等扣見合留 (明治二年) 己四月 下郷 竖帳 仮一冊 二三四  
弥兵衛扣 年番組頭村井太平二

〔院摺・番人・非人・穢多名前書上〕(明治初年) 一丁 一四七

奉公人・被官百姓宗門帳

宗門帳(下郷家奉公人) 文化三年三月 誓願寺他二十ヶ寺 竖帳 一冊 一六五

△下郷勘左衛門殿

宗門帳(下郷家奉公人) 文化九年三月 誓願寺他十ヶ寺ノ 竖帳 一冊 一六六

下郷次郎八殿

宗門帳(下郷家奉公人) 文化十一年三月 誓願寺他八ヶ寺 竖帳 一冊 一六六

△下郷次郎八殿

宗門帳(下郷家奉公人) 文化十五年三月 誓願寺他七ヶ寺 竖帳 一冊 一六七

△下郷次郎八殿

宗門帳(下郷家奉公人) 文政二年三月 誓願寺他十一ヶ寺 竖帳 一冊 三三一

△下郷次郎八殿

被官百姓宗門帳(当所新田百姓) 文化九年三月 誓願寺 竖帳 一冊 一六七

他十ヶ寺ノ下郷次郎八殿

被官百姓宗門帳〔当所新田百姓〕 文化十五年三月 誓願寺 豎帳 一冊 一六六  
他十一ヶ寺々下郷次郎八殿

被官百姓宗門帳〔中新田・細根屋敷百姓〕 文政二年三月 豎帳 一冊 三七九  
瑞泉寺他三ヶ寺々下郷次郎八殿

被官百姓宗門帳〔赤松新田・徳重新田・當利金新田・

八ッ松新田・明願屋敷・細根屋敷・朝日出新田百姓、山 豎帳 一冊 三八〇  
花町・相原町川端〕 文政二年三月 誓願寺他十一ヶ寺々下郷

次郎八殿

### 宗門 自分一札

自分一札之面々并組々々差出候人別調繫 安政五年二 豎帳 仮一冊 一六五  
月十三日 鳴海村庄屋

### 他所稼人別書上帳

他所稼之者人別書上帳 天保九年二月 鳴海村庄屋下郷 豎帳 仮一冊 一七五  
弥兵衛他一名々鳴海御陣屋

覚〔他所稼無音信之者届〕 文久三年二月 三組龜造々庄屋衆様 一丁 二〇三  
〔安吉懸り人富三郎、城州伏見辺ニ相稼〕 文久三年二月 ヨ 一丁 二〇五

組九郎兵衛々〔宛名未詳〕

他所稼人別音信有無書上帳〔控〕 文久三年二月 鳴海 豎帳 仮一冊 一五八  
村庄屋下郷弥兵衛々鳴海御陣屋

他所稼人別書上 文久四年正月 本組他 豎帳 仮一冊 一六五  
他所稼 文久四年正月 丹組々庄屋衆様 豎帳 仮一冊 一六七

他所稼人別音信有無書上帳〔控〕 文久四年二月 右〔鳴

海〕村庄屋下郷弥兵衛々鳴海御陣屋 豎帳 仮一冊 一五八

### 質屋人別書上

質屋人別書上一件 明治元年十二月 鳴海庄屋所 豎帳 一冊 一六二

### 寺手形他

御断申上候御事〔鳴海村無高百姓太郎左衛門後家之世悻権 一通 一六二  
四郎、去冬当地を罷出〕延宝六年二月 太郎左衛門後家五人  
与喜兵衛他五名々村瀬平左衛門様

請合申手形之事〔南野村八左衛門世悻弥三郎、鳴海宿本町 一通 三五  
平八郎家借家〕 天和二年正月 本町五人与庄六他四名々金右  
衛門殿

差出シ申寺手形之事〔愛知郡南野村八郎右衛門世悻弥三郎、 一通 二六  
鳴海本町平八郎家借屋〕 天和二年正月 愛知郡南野村高田宗  
淨徳寺々八郎右衛門殿五人与中

差出シ申一札之事〔熱田宿田中町彦八郎世悻長左右衛門、鳴 一通 二七  
海相原町善四郎方江入響二付〕 天和二年二月廿六日 五人  
与平吉他三名々金右衛門殿他一名

差出シ申一札之事〔熱田宿田中町彦八郎男子長左衛門、村 一通 二六  
送り状〕 天和二年二月廿六日 田中町庄屋孫右衛門他四名々鳴  
海庄屋九右衛門殿他一名

差出シ申寺手形之事〔熱田宿田中町彦八郎男子長左衛門、 一通 二九  
寺送り状〕 天和二年二月廿六日 法花宗名古屋駿河町法輪寺  
々鳴海あいばら町平七殿

一札〔参河国碧海郡高浜村石原茂兵衛娘すへ縁付〕 正徳三年 一通 一六三  
十二月 三州碧海郡高浜村親石原茂兵衛他四名々尾州名古屋船入  
町村瀬長左衛門殿

〔当時無音信無宿之由、元名古屋駿河町綿屋市兵衛悻源次 一通 二五七  
郎断簡〕〔年代未詳〕

村 政

御 用 留

寛 政 以 前

寛政年以前古願達御用留〔表紙〕（寛政年間） 下郷光雄

一丁 一六三

寛文七年未三月從公義被仰出〔道心者等所々百姓与五人組合につき〕（寛文七年）未三月十八日

三丁 二四九

寛文八申年五月相触〔吉利支丹宗門儀につき〕（寛文八年）申

二丁 二四〇

五月八日

元禄十丑年從御国出候御触書写〔尾州濃州宿々ニ而旅人病人有之ニ付取扱覚書〕 元禄十年三月廿八日 鳴海御代官加藤市郎兵衛様御触有之、笠寺村江致順達致候

四丁 一八〇

享保十八丑年從道中御奉行出候御触書之写〔宿々ニ而旅人病人又ハ倒死者有之節相届候儀〕 享保十八年五月 筑後・飛彈

二丁 一八一

明和四亥從公義出候御触写〔宿を取候旅人煩候ハ、相届候儀〕 明和四年十二月

三丁 一八三

定〔徒党・強訴・逃散禁止〕 明和七年四月〔幕府〕奉行〔尾州徳川家〕成瀬隼人正・竹腰山城守（正徳元年五月日ノ定ヲ含ム）

一六丁 三八六

文 化

覚〔出水之節諸色御改〕 文化十五年三月 鳴海庄屋梶野佐郎九

二丁 二四七

御普請方御役所

文 政

文政二年卯十二月御見取戌新田免割目錄写 文政二年十二月（朱筆）「五十七」

三丁 三五

一札〔松平越前守様御領分越州福井在前屋村百姓重郎右衛門忤新五郎、宿村送り〕（文政三年カ） 江川太郎左衛門御代官所駿州庵原郡由井宿名主代与頭元八郎國々御関所御役人衆中様

一〇丁 一七二

乍恐奉願上候御事〔私家之儀享保年下郷次郎太分家、此節金廿五兩献上仕度〕（文政五年）午正月 鳴海村下郷弥兵衛鳴海御陣屋（朱筆）「一」

一丁 一八七

〔御触書到来ニ付廻状〕（文政五年カ）二月十一日 下郷弥兵衛他一名坂野儀八郎様他五名

一通 一八六

本紙写〔献金ノ者名前〕（文政五年カ）二月十一日 鳴海陣屋鳴海村庄屋（朱筆）「貳」

一丁 一八元

乍恐奉願上候御事〔当宿裏扇川通南堤ニ百姓家再ひ取建住居仕度〕 文政五年十一月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他五名鳴海御役所

三丁 一八五

〔安永八亥年大洪水之留書写〕（文政五年）午十一月 鳴海村乍恐御達申上候御事〔当村盜賊村預ニ付、番取締付置〕（文政十年）亥正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御役所（朱筆）「壹」

一丁 一七

覚〔盜諸色預り置〕（文政十年）亥正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御役所

一丁 一七

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（文政十年）亥正月 鳴海村相原

一丁 一七



町善太郎の鳴海御役所 庄屋・与頭奥印 (朱筆)「貳」

乍恐——〔盜難届〕 (文政十年)亥正月 鳴海村茂右衛門の藤波三位様 (朱筆)「四」 一丁 一四

覚〔盜賊持出し候諸色、請取〕 (文政十年)二月廿六日 鳴海村茂右衛門の鳴海御役所 (朱筆)「五」 一丁 一五

乍恐奉願上候御事〔縁付候娘家内、懸り人ニ仕度〕 (文政十年)亥正月 鳴海村下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆)「六」 一通 一六

乍恐奉願上候御事〔同郡石佛村惣吉悱辰之助養子實請申度〕 (文政十年)亥正月 鳴海村常次郎の鳴海御役所 (朱筆)「七」 一丁 一七

乍恐御達申上候御事〔当村市藏、讃岐国金毘羅山江参詣仕度、往来一札願〕 (文政十年)亥二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆)「八」 一丁 一八

覚〔鶏三羽受取〕 (文政十年)亥二月十七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の〔宛名未詳〕 (朱筆)「九」 一丁 一九

乍恐御尋ニ付御達申上候御事〔名古屋表油商人の油買請小買仕候者名前〕 (文政十年)亥二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆)「十、十一」 一丁 二〇

御尋ニ付以書付御達申上候御事〔医師武陵氏由緒書〕 (文政十年)亥二月 鳴海本道外科金瘡醫師武陵正健の鳴海御役所 右村庄屋下郷弥兵衛奥印 (朱筆)「十二」 三丁 二一

乍恐御達申上候御事〔流木無御座候〕 (文政十年)亥二月廿八日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆)「十三」 一丁 二二

乍恐御達申上候御事〔流木無御座候〕 (文政十年)亥二月廿八日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆)「十三」 一丁 二三

乍恐御達申上候御事〔柴田新田外江流木有之旨〕 (文政十年)亥二月晦日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆)「十四」 一通 二四

乍恐奉願上候御事〔外科療治許可願〕 (文政十年)亥二月 鳴海村安右衛門引受人藤四郎の鳴海御役所 (朱筆)「十五」 一丁 二五

預り申背伐株之事 文政十年二月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛の松本仁兵衛殿他二名 (朱筆)「十六」 一丁 二六

覚〔当村源左衛門悱源九郎盜候諸色預り〕 (文政九年)戌十二月 鳴海作町源左衛門他二名の鳴海御役所 ↓整理番号一八七〇、一九三をも見よ 一丁 二七

乍恐奉願上候御事〔牢舎源九郎儀診察ニ付手錠御免願〕 (文政十年)亥二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御役所 一通 二八

乍恐奉願上候御事〔牢舎源九郎儀診察ニ付手錠御免願〕 (文政十年)亥二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御役所 一丁 二九

御達申上候御事〔年舎源九郎儀診察ニ付手錠御免願〕 (文政十年)亥二月 濱井寿鑿の御役所 一丁 三〇

御達申上候御事〔源九郎容牒書〕 (文政十年)亥二月 濱井寿鑿の鳴海御役所 一丁 三一

〔源九郎儀盜仕候ニ付追放〕 (文政十年)亥三月廿九日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛 一通 三二

覚〔御差図御座候迄帶老筋預り〕 (文政十年)亥三月晦日 愛知郡鳴海村源左衛門の林斧十郎様御手附伊東加兵衛他一名 一丁 三三

乍恐御達申上候事〔濃州大垣、元助強盜被害届〕 (文政十年)亥三月八日 鳴海庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆)「十八」 一丁 三四

覚〔濃州大垣、元助被盜候品届〕 (文政十年)亥三月八日 濃州大垣、元助被盜候品届 (文政十年)亥三月 二丁 三五

乍恐御達申上候御事〔繼立人足賃錢〕 (文政十年)亥三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御役所 (朱筆)「廿」 一丁 三六

乍恐御達申上候御事(繼立人足賃錢) (文政十年)亥三月 鳴

海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御役所 一丁 一七

差出申一札之事(凡三拾人程も寄合博突いたし) 文政十年三

月六日 作町取暖人増七他二名和吉殿 (朱筆)「廿一」 一丁 一六

差出申一札之事(凡三拾人程も寄合博突いたし) 文政十年三

月六日 作町取暖人増七他二名和吉殿 一丁 一六

乍恐奉願上候御事(私儀病身ニ付、寄合医師小林亮察殿屋

敷江引越申度) (文政十年)亥四月 鳴海村医師小林淳道鳴

海御役所 (朱筆)「廿二」 一丁 二〇〇

乍恐奉願上候御事(私儀病身ニ付、寄合医師小林亮察殿屋

敷江引越申度) (文政十年)亥四月 鳴海村医師小林淳道鳴

海御役所 右村庄屋下郷弥兵衛奥印 二丁 二〇一

乍恐御達申上候御事(盜難届) (文政十年)五月九日 鳴海村枝

郷前之庵清吉鳴海御役所 (朱筆)「廿三」 一丁 二〇三

乍恐御達申上候御事(信州中稲郡嶋田村菊蔵親子三人連ニ

而当宿泊候処、悴病氣差発リ) (文政十年)亥五月十四日

鳴海庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御役所 (朱筆)「廿四」 一丁 二〇四

差出申一札之事(悴病氣全快) (文政十年)亥五月十四日 信州

中稲郡嶋田村百姓菊蔵尾州様御領鳴海宿御役人衆中様

乍恐奉願上候御事(私弟小八郎、鉄砲塚町ニ別家) (文政十

年)亥五月 鳴海村中嶋町十四郎鳴海御役所 (朱筆)「廿五」 一通 二〇五

乍恐奉願上候御事(下男不奉公仕候ニ付、願上、熟談事済)

(文政十年)亥五月 鳴海村長左衛門鳴海御役所 (朱筆)「廿六」 一丁 二〇六

乍恐御達申上候御事(知多郡小野浦村浜手江流寄候船ニ付、

存当り候者無御座候) (文政十年)亥六月 鳴海村庄屋下郷弥

兵衛鳴海御役所 (朱筆)「廿七」 一丁 二〇七

乍恐奉願上候御事(天白川砂浚普請) (文政十年)亥六月 鳴

海村庄屋下郷弥兵衛他四ヶ村庄屋鳴海御役所 (朱筆)「廿八」 一丁 二〇八

乍恐奉願上候御事(天白川砂浚普請) (文政十年)亥六月 鳴

海村庄屋下郷弥兵衛他三ヶ村庄屋鳴海御役所 二丁 二〇九

覚(木綿わた入等預リ) (文政十年)六月十七日 鳴海村庄屋下

郷弥兵衛丹羽松吉様他一名 (朱筆)「廿九」 一丁 二一〇

乍恐奉願上候御事(瓦焼細工小家取建申度) (文政十年)亥六

月 鳴海村瓦焼職藤四郎鳴海御役所 右村庄屋下郷弥兵衛他

一名奥印 二丁 二一一

乍恐御達申上候御事(岩倉之者諸色差置、行衛相知不申候)

(文政十年)亥六月晦日 鳴海宿ちとせや文左衛門鳴海御役所

右庄屋下郷弥兵衛他一名奥印 (朱筆)「三十一」 三丁 二一二

乍恐御達申上候御事(加木屋村盜賊止宿為致候ニ付、横須

賀陣屋の呼出) (文政十年)亥六月 右村庄屋下郷弥兵衛他一

名鳴海御役所 (朱筆)「三十二」 一丁 二一三

乍恐御達申上候御事(材木流着無御座候) (文政十年)亥六月

鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御役所 (朱筆)「三十三」 一丁 二一四

乍恐御達申上候御事(当所庄八儀、令盜候段不屈ニ付、四

拾敲之上生所鳴海村差塞名古屋払) (文政十年)亥九月廿四

日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御役所 (朱筆)「三十九」 一丁 二一五

乍恐奉願上候御事(知多郡大高村枝郷中之郷喜兵衛姪いき

養子ニ貫請申度) (文政十年)亥八月 鳴海村枝郷前之庵清吉

鳴海御役所 (朱筆)「四十」 一丁 二一六

乍恐御達申上候御事(御用狀繼立) (文政十年)亥九月廿日 鳴

海村)庄屋下郷弥兵衛鳴海御役所 (朱筆)「四十一」 一丁 二一七

乍恐御達申上候御事(知多郡古見村浜江渡海船流寄候ニ付、

兵衛鳴海御役所 (朱筆)「四十二」 一丁 二一八

村中吟味仕候) (文政十年)亥九月廿日 下郷弥兵衛ハ鳴海御役所 (朱筆)「四十二」

乍恐御達申上候御事(当村甚兵衛儀、御弘之者弟伊助差置候段、不埒ニ付過怠牢舍) (文政十年)亥九月十九日 鳴海村枝郷前之庵与頭源七ハ 二丁 三九

乍恐御達申上候御事(当村枝郷前之庵甚兵衛儀、無宿弟伊助かくまい置候段、不埒ニ付過怠牢舍) (文政十年)亥九月廿日 下郷弥兵衛他一名ハ鳴海御役所 一丁 三〇

文政十亥年從鳴海御代官出候御触書写(宿村送り病人ニ付) 文政十年十一月十四日 林斧十郎 二丁 一六三

乍恐奉願上候御事(質品返金引替ニ相戻候様) (文政十年)亥十一月 鳴海医師杉山栗亭同居同人親九八郎ハ鳴海御役所 (朱筆)「四十九」 五丁 三〇〇

乍恐御達申上候御事(伊勢太神御鍛山祭り) (文政十年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名ハ鳴海御役所 (朱筆)「五十」 一丁 三三

差出申一札之事(当所源四郎後家倅茂右衛門儀病死致候ニ付、引導願) 文政十年十一月 鳴海村親源四郎後家つき他親類・五人組ハ南野村光照寺御役僧 (朱筆)「五十一」 一丁 三三

乍恐御達申上候御事(当村源四郎儀、名和村外蔵差置候一件) (文政十年)亥十一月廿一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ハ鳴海御役所 (朱筆)「五十二」 一丁 三三

乍恐御達申上候御事(当村源四郎儀、帳外者外蔵差置候一件) (文政十年)亥十二月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛他一名ハ鳴海御役所 一丁 三四

乍恐御達申上候御事(讃岐国金毘羅山へ参詣ノ百姓、当宿ニ而病氣ニ付、宿村送り) (文政十年)亥十一月廿四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ鳴海御役所 (朱筆)「五十三」 一丁 三五

〔廿一式歳斗男老一人宿致、包預ケ置、風呂屋ハ罷掃不申) (年代未詳) 一通 三七

乍恐奉願上候御事(私儀、病身老年ニ付、当宿児玉代助并倅源右衛門差入組一件等取暖之儀御免願) (文政十年)亥十月 鳴海村下郷弥兵衛ハ(鳴海陣屋宛力) (朱筆)「五十八」 一通 三六

乍恐奉願上候御事(養子縁組之儀御聞濟願) (文政十年)亥十二月 鳴海村児玉代助ハ鳴海御役所 (朱筆)「五十九」 一丁 三六

乍恐以書付御答奉申上候御事(南柴田新田外新開之義ニ付) (文政十年)亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他五名ハ鳴海御役所 四丁 三〇

差出申候一札之事(其御村方持分山之内江入込背伐仕候ニ付一札) 文政十年十二月 平手新田庄屋平左衛門他一名ハ鳴海村庄屋下郷弥兵衛殿他二名 一通 三三

〔御用留〕 文政十一年正月(二月、丑六月)十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛 (朱筆)「壹」百十八 豎帳飯一冊 (二〇九丁) 一四五

他所稼之者人別書上帳 文政十一年二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ハ鳴海御役所 (朱筆)「十六」 五丁 二七

乍恐御達申上候御事(扇川砂浚願) (文政十一年)子二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名ハ鳴海御役所 (朱筆)「三十」 一丁 三三

乍恐奉願上御事(扇川砂浚願) (文政十一年)子三月 下郷弥兵衛他二名ハ鳴海御役所 (朱筆)「三十一」 二丁 三三

乍恐奉願上候御事(御前酒御用願) (文政十一年)子三月 鳴海村庄下郷弥兵衛ハ御小納戸御役所 (朱筆)「三十二」 四丁 三四

乍恐奉願上候御事(麦成米納振替願) (文政十一年)子四月 下郷弥兵衛他九名ハ鳴海御役所 (朱筆)「三十四」 二丁 三五

覚(番賃錢・支度代等) (文政十一年)子四月 鳴海村庄屋下郷 二丁 三六

弥兵衛 (朱筆「三十五」)

一札之事〔此度秤御改〕 文政十一年五月 鳴海村枝郷小鳴海組  
頭権左衛門ノ鳴海村本郷庄屋御衆中 (朱筆「三十九」) 一丁 二七九

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (文政十一年)子五月十八日 鳴 一丁 二七七

海村作町娘はつゝ鳴海御役所 (朱筆「三十七」)

乍恐御達申上候御事〔失火届〕 (文政十一年)子五月廿日 鳴海 二丁 二三八

村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御役所 (朱筆「三十八」)

覚〔無宿盜賊弥吉吟味中番賃・支度代請取〕 (文政十一年)子 一丁 二三八

五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ水野紋吉様

〔博奕法度之儀ニ付請書〕 (文政十一年)子五月 組頭源左衛門 四丁 二四〇

他八十名ノ(宛名未詳)

〔博奕法度之儀ニ付請書〕 (文政十一年)子五月 組頭丹六他六 五丁 二四一

十六名ノ(宛名未詳)

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (文政十一年)子七月十一日 鳴 一丁 二四二

海村平部町本右衛門ノ鳴海御役所 (朱筆「四十五」)

覚〔盜品取揚預置〕 (文政十一年)子七月廿二日 鳴海村庄屋下郷 一丁 二四三

弥兵衛ノ水野紋吉様 (朱筆「四十六」)

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (文政十一年)子七月 鳴海村圓 一丁 二四四

藏ノ鳴海御役所 (朱筆「四十七」)

乍恐御達申上候御事〔当所諏訪祭礼ニ付神樂湯立仕并寄角 一丁 二四五

力仕候〕 (文政十一年)子七月廿六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他

一名ノ鳴海御役所 (朱筆「四十八」)

乍恐御達申上候御事〔小渡海表流船之儀〕 (文政十一年)子七 一丁 二四六

月廿八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所

乍恐御達申上候御事〔小渡海表流船之儀〕 (文政十一年)子七 一丁 二四七

月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所 (朱筆「四十九」)

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (文政十一年)子七月 鳴海村枝 一丁 二四八

郷前之庵善藏ノ鳴海御役所 (朱筆「五十」) 三丁 二四九

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (文政十一年)子七月 鳴海村枝 三丁 二五〇

郷前之庵長左衛門ノ鳴海御役所 (朱筆「五十一」)

乍恐御達申上候御事〔被盜取候品々壳払直段見積書〕 (文政 三丁 二五一

十一年)子八月 鳴海村枝郷前之庵長左衛門ノ鳴海御役所

乍恐御達申上候御事〔被盜取候品々壳払直段見積書〕 (文政 二丁 二五二

十一年)子八月 鳴海村枝郷前之庵長左衛門ノ鳴海御役所

覚〔盜難届〕 文政十一年八月五日 瑞泉寺ノ当宿御役人衆中 (朱 七丁 二五三

筆「五十二、五十三」) 乍恐御達申上候御事〔天白川堤ニ小家懸ケいたし罷在候乞 一丁 二五四

食共為立退申候〕 (文政十一年)子九月朔日 鳴海村庄屋下郷

弥兵衛ノ御普請方御役所 (朱筆「五十八」)

乍恐御達申上候御事〔当村氏神東宮社境内ニおひて神の祭 一丁 二五四

相勸申度〕 (文政十一年)子九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海

御役所 (朱筆「五十九」)

乍恐御達申上候御事〔当所浅間堂於神前神樂捧、挑燈差遣 一丁 二五五

申候〕 (文政十一年)子九月十四日 鳴海村下郷弥兵衛ノ鳴海御

役所 (朱筆「六十」)

御触写〔日光御門主御通行候間、火之元掃除等入念候様〕 二丁 二五六

(文政十一年)子十月十三日 庄屋ノ東西前之庵小鳴海組頭衆中

(朱筆「六十三」)

御触写〔寺社・勘定奉行衆被相渡候書付〕 (文政十一年)子十 三丁 二五七

月廿七日 庄屋ノ寺社御衆中・東西前小与頭衆中 二丁 二五八

〔堤通往還筋等出屋敷停止之儀〕 (文政十一年)十月 御普請方

別紙村々庄屋 (朱筆「六十四」)

乍恐御達申上候御事(盜賊止宿届) (文政十一年)子十月 愛知 一丁 二五九

郡鳴海村橋屋升藏の御勘定所 (朱筆「六十五」)

乍恐御達申上候御事(盜難届) (文政十一年)子九月廿七日 鳴 二丁 二六〇

海村吉右衛門の鳴海御役所 (朱筆「六十六」)

乍恐御達申上候御事(苗字御免) (文政十一年)子十月 右(鳴 一丁 二六一

海)村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当所下郷善右衛門所持之船之儀破船) 一丁 二六三

(文政十一年)子十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の御船手御役所

乍恐御達申上候御事(伝馬銀上納日限之儀ニ付) (文政十一 一丁 二六四

年)子十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆「六十八」)

乍恐御達申上候御事(盜難届) (文政十一年)子十一月十三日 一丁 二六三

鳴海村中嶋町嘉平次の鳴海御役所 (朱筆「六十九」)

乍恐御達申上候御事(江戸芝中門前荳丁目 太平店吉兵衛弟 一丁 二六五

源兵衛宿村送り) (文政十一年)子十一月十九日 鳴海村庄屋

下郷弥兵衛の鳴海御役所 (朱筆「七十二」)

乍恐奉願上候御事(儉約之儀ニ付、取締願) (文政十一年)子 一丁 二六六

十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名の鳴海御役所 (朱筆「七十

四」)

乍恐御達申上候御事(当村江御預ケ之牛殊之外弱り候様子) 一丁 二六七

(文政十一年)子十一月廿八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役

所 (朱筆「七十五」)

乍恐奉願上候御事(私内縁之者為引越申度) (文政十一年)子 一丁 二六八

十二月 鳴海村喜代七の鳴海御役所 (朱筆「七十六」)

乍恐御達申上候事(質物紛失) (文政十一年)子十二月廿日 鳴 一丁 二六九

海村中嶋町嘉平次の鳴海御役所 (朱筆「七十七」)

乍恐御達申上候御事(飴并錢被盜取、此節飴箱見当り) (文 一丁 二七〇

政十一年)子十一月廿九日 鳴海村枝郷前之庵善藏の鳴海御役所

奉願上候御事(拙僧儀、愛知郡笠寺村茲雲院江移転仕度) 四丁 二七一

文政十一年十一月 愛知郡鳴海村真言宗東福院の鳴海御役所

(朱筆「七十八」)

乍恐奉願上候御事(笠寺一山東光院弟子大光儀東福院後住 一丁 二七三

願) 文政十二年正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名の鳴海御役

所 (朱筆「八十一」)

奉願上候御事(笠寺一山東光院弟子大光儀東福院後住願) 一丁 二七四

文政十二年正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名の長久寺方丈

往来証文之事(百姓庄吉、諸国神社拜礼ニ罷出候処、亘敷 一丁 二七五

御取扱) 文政十二年正月 奥州白川郡棚倉領流村庄屋長山鴨

之助他一名の国々御關所御役人様中

乍恐奉願上候御事(私悻弥七引越申度) (文政十二年) 相 一丁 二七六

原村弥七の鳴海御役所 (朱筆「六」)

乍恐奉願上候御事(養子願雛形) (文政十二年) 一丁 二七七

乍恐奉願上候御事(藍代殘金十ヶ年賦返済) (文政十二年) 一丁 二七八

乍恐奉願上候御事(当所瑞泉寺扣定納山之松木透伐枝下シ 一丁 二七九

仕度) (文政十二年) 丑正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の御林方

御陣屋 (朱筆「九」)

覺(当所瑞泉寺扣定納山之松木透伐枝下シ仕度) (文政十二 一丁 二八〇

年) 丑正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村持分御山之内銘々自分扣定納山之 二丁 二八一

内ニ而松木透伐枝下シ仕度) (文政十二年) 丑正月 鳴海村

庄屋下郷弥兵衛他一名の御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事(御林之内松枯木凡六十本伐採願) (文政 一丁 二八二



十二年)丑正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ御林方御陣屋  
(朱筆)「十」

乍恐奉願上候御事(御林之内松木式拾本伐採願) (文政十二年)丑正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ御林方御陣屋 (朱筆)「十一」

一丁 二六三

乍恐御達申上候御事(当村氏神東宮境内ニおゐて的神祭相勤申候) (文政十二年)丑正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御役所 (朱筆)「十二」

一丁 二六四

文政十一子年村下用建札之写 鳴海村 (文政十二年)丑正月 廿六日 (朱筆)「十三」

四丁 二六五

乍恐御達申上候御事(当村組頭役源左衛門儀退役ニ付、後役之儀為助為相勤申候) (文政十二年)丑正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御役所 (朱筆)「十四」

一丁 二六六

乍恐奉願上候御事(大坂北堀江荳丁目 讃岐屋源七弟亀吉と申者養子願) (文政十二年)丑正月 鳴海村娘ちから鳴海御役所 (朱筆)「十五」

一丁 二六七

乍恐御達申上候御事(御尋之品被盜取候者無御座候) (文政十二年)丑二月廿日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御役所 (朱筆)「廿三」

一丁 二六八

乍恐御達申上候御事(盜賊盜諸色買取候者) (文政十二年)丑二月廿日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海村御役所 (朱筆)「廿四」

一丁 二六九

乍恐御達申上候御事(当村江御預ケ之牛疋病死仕候) 文政十二年二月廿一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御役所

一丁 二七〇

乍恐御達申上候御事(御尋之水死之女ハ、当所平部町圓藏下女みよ) (文政十二年)丑二月廿二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御役所 (朱筆)「廿五」

一丁 二七一

乍恐御達申上候御事(天満宮神事届) (文政十二年)丑二月廿五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御役所 (朱筆)「廿六」

一丁 二七二

乍恐御達申上候御事(加州石河郡城專町村喜兵衛弟浄心、步行難相成難渋之由) 文政十二年二月廿五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御役所

三枚 二七三

乍恐御達申上候御事(被仰渡候牛之儀ニ付御達申上候) 文政十二年二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御役所

一丁 二七四

乍恐御達申上候御事(御尋之解、流シ候もの無御座候) (文政十二年)丑二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御役所 (朱筆)「廿九」

一丁 二七五

乍恐御達申上候御事(紀州様奥陸尺石倉甚吉殿病死ニ付葬式願) (文政十二年)丑二月晦日 鳴海宿西尾伊右衛門他一名ゝ鳴海御役所 (朱筆)「三十」

一丁 二七六

乍恐御達申上候御事(他所稼之者三名、去夏已來無音信)

一丁 二七七

(文政十二年)丑二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御役所

乍恐奉願上候御事(御前酒御用願) (文政十二年)丑二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ御小納戸御役所

一丁 二七八

乍恐書付を以奉申上候御事(御用状式通大ニ濡候付、御免被成下置候様) (文政十二年)丑三月五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御役所

一丁 二七九

乍恐御達申上候御事(当所如意寺境内金毘羅大権現於神前、挑灯神楽捧申候) (文政十二年)丑三月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御役所 (朱筆)「三十二」

一丁 二八〇

乍恐書付を以御訴詔奉申上候(為替金利足滯出入并新田用水引差候御願) (文政十二年)丑三月 名古屋宮町中嶋屋勘助ゝ鳴海御陣屋 (朱筆)「三十三」

一〇丁 二八一

乍恐御達申上候御事(鳴海村下見茂吉等、勤続年数、野差  
御免、山賊召捕候節下付銀) 文政十二年三月 鳴海村庄屋  
代与頭庄兵衛御林方御陣屋 (朱筆「三十四」)

二丁 二九

乍恐御達申上候御事(水野越前守御通行之節、鳴海村の大  
府村迄繼立人足) (文政十二年) 丑三月 鳴海村庄屋下郷弥兵  
衛御鳴海御役所 (朱筆「三十五」)

一丁 三〇

覚(御船手伊沢吉六様等御越之節、繼立人足) (文政十二年)  
丑三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御鳴海御役所 (朱筆「三十六」)

一丁 三〇

乍恐奉願上候御事(買受米積送り) (文政十二年) 丑三月 鳴海  
村(米穀仲買)源四郎御鳴海御役所 (朱筆「三十七」)

一丁 三〇

乍恐御達申上候御事(讃州金毘羅江参詣致候助藏儀、病氣  
差起り) (文政十二年) 丑三月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛  
御鳴海御役所 (朱筆「三十八」)

二丁 三〇

往来一札之事(尾州御領東海道鳴海宿御百姓助藏) 文政十二  
年三月 尾州東海道鳴海宿名主下郷弥兵衛御国々御関所御役人衆  
中様在町御役人中様

一丁 三〇

御達申上候御事(当寺且方之内鳴海村助藏儀、讃岐国金毘  
羅山江参詣仕度旨) 文政十二年三月 万福寺御杜御役所

一丁 三〇

一札(尾州愛知郡鳴海村助藏往来一札) 文政十二年三月 万  
福寺御諸国御寺院御中・同御役人衆中

一丁 三〇

覚(鳴海村古手類商人名前書上) (文政十二年) 三月 鳴海村  
古手類富三郎他二十名

二丁 三〇

往来手形一札之事(駿州府中上魚町西嶋屋喜代治郎) 文政  
十二年四月日 同国同所禪宗念正院御国々御関所御役人衆中  
・村々宿々御役所衆中

一丁 三〇

乍恐御達申上候御事(助藏儀、病氣全快、昨四日晚帰村仕  
候) (文政十二年) 丑四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御鳴海御役  
所

一丁 三〇

候) (文政十二年) 丑四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御鳴海御役所

一丁 三〇

乍恐御達申上候御事(助藏儀、病氣全快、一昨四日晚帰村  
仕候) (文政十二年) 丑四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御鳴海御役  
所

一丁 三〇

乍恐奉願上候御事(買請米積下) (文政十二年) 丑四月 鳴海村  
(米穀仲買)源四郎御鳴海御役所

一丁 三〇

乍恐御達申上候御事(盗難届) (文政十二年) 丑四月十二日 鳴  
海村四郎兵衛御鳴海御役所 (朱筆「三十九」)

一丁 三〇

乍恐御達奉申上候御事(盗難届) (文政十二年) 丑五月廿四日  
鳴海村善左衛門御鳴海御役所 (朱筆「四十」)

一丁 三〇

乍恐奉願上候御事(私弟友吉、熱田宿伝馬町長三郎方江養  
子ニ遣し申度) (文政十二年) 丑五月 鳴海村根古町仙十郎  
御鳴海御役所 (朱筆「四十一」)

一丁 三〇

乍恐奉願上候御事(熱田正覚寺門前江引越申度) (文政十二  
年) 丑五月 鳴海村枝郷前之庵武兵衛御鳴海御役所 (朱筆「四十  
二」)

二丁 三〇

乍恐奉再願候御事(熱田正覚寺門前江引越申度) (文政十二  
年) 丑五月 鳴海村枝郷前之庵武兵衛御鳴海御役所

二丁 三〇

送一札之事(鳴海村百姓弥三八老母りゑ儀、其御村清右衛  
門方江懸り人ニ参度旨) 文政十二年五月 鳴海村組頭衆他  
四名知多郡須佐村御役人衆中 (朱筆「四十三」)

一丁 三〇

乍恐御達申上候御事(盗難届) (文政十二年) 丑五月七日 鳴海  
村松崎嘉十郎御鳴海御役所 (朱筆「四十四」)

三丁 三〇

乍恐御達申上候御事(盗難届) (文政十二年) 丑五月七日 鳴海  
(村)松崎嘉十郎御鳴海御役所

一丁 三〇

乍恐奉伺上候御事(奥州白川郡棚倉領流村百姓庄吉、宿村

一丁 三〇

送り) (文政十二年) 丑六月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ鳴海御役所 (朱筆) 四十五

送り状之事(奥州白川郡流村百姓常左衛門梓庄吉、村送り)

文政十二年六月十七日 尾州鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ有松村より

奥州流村迄宿村御役人衆中

送り状之事(奥州白川郡流村百姓常左衛門梓庄吉、村送り)

文政十二年六月十七日 尾州鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ有松村より

奥州流村迄宿村御役人衆中

乍恐御達申上候御事(大風ニ付倒木并枯木之分御見分之上

伐取之儀) (文政十二年) 丑五月 鳴海村下郷弥兵衛ハ往還方御

役所 (朱筆) 四十六

乍恐奉願上候御事(高札覆柱根等朽腐ニ付、修覆願) (文政

十二年) 丑五月 鳴海宿間屋近藤佐衛他三名ハ鳴海御役所 (朱筆

四十七)

(拾両取賄出金) 文政十二年六月 鳴海村丸屋源四郎跡後見源右

衛門ハ鳴海御役所

乍恐奉願上候御事(佐兵衛居宅書入一件) (文政十二年) 丑七

月 鳴海村佐兵衛ハ鳴海御役所 (朱筆) 六十二

預り申背松葉之事 文政十二年八月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵

衛他二名ハ御林方御陣屋 (朱筆) 六十七

預り申山賊雑物之事 文政十二年八月 愛知郡鳴海村下郷弥兵

衛他二名ハ御林方御陣屋 (朱筆) 六十八

指上申一札之事(当村持分黒石不入御林之内ニ而枯木并倒

木伐採) 文政十二年八月 愛知郡鳴海村山割民右衛門他三名

ハ(御林方御陣屋) (朱筆) 七十三

覚(高札場覆等書上) (文政十二年) 丑八月 鳴海宿

乍恐書付を以御答申上候御事(質物取扱候御願濟之年月)

(文政十二年) 丑九月 鳴海村助藏ハ鳴海御役所 (朱筆) 八十

乍恐御達奉申上候御事(当村文藏儀往還添江新規家建之儀)

(文政十二年) 丑九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ハ鳴海御役所

(朱筆) 八十一

乍恐奉願上候御事(質取申度) (文政十二年) 丑九月 鳴海村助

藏ハ鳴海御役所

乍恐御達申上候御事(組頭太左衛門退役、倅久吉跡組頭役

相動候) (文政十二年) 丑十二月十日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他

一名ハ鳴海御陣屋

奉願上候事(家督相続并ニ与頭役之儀、倅久吉被仰付可

被下候様) (文政十二年) 丑十二月 相(原)組与頭多左衛門ハ御

庄屋御衆中

乍恐御請書指上申候御事(不入御林内江入込背伐仕候兩人、

吟味中遠方留) 文政十三年三月 鳴海村組頭衆藏ハ御林方御

役所

天 保

譲り渡申田地之事 天保三年十二月 下郷次郎八他一名ハ相(組)

次郎右衛門殿

乍恐奉願上候御事(私弟丹左衛門本心ニ立帰里去冬帰村仕

候ニ付、宗門御帳面江書載申度) (天保五年) 午二月 鳴海

村右丹左衛門妹せうハ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(万場山等之内ニ而透伐枝下シ仕度) (天

保六年) 未正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ハ御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事(酒造株譲遣申度) (天保六年) 未正月 鳴

二丁 三九

二丁 三〇

一丁 三二

一丁 三三

一丁 三三

二丁 三六

一丁 二七六

一丁 二七四

三丁 三九

一丁 三四

海(村)枝郷前之庵長左衛門ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔当村如意寺境内金毘羅権現神前おゐ

一丁 三〇

て、挑灯并神楽捧申度〕(天保六年)未三月九日 鳴海村庄屋  
下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔帳外私甥利右衛門、帰村仕候付而ハ、

一丁 三二

宗門改帳面江書載申度〕(天保六年)未三月 鳴海村善左衛門  
ゝ鳴海御陣屋

奉願上候御事〔私忤鍵太郎儀得度為仕度〕 天保六年三月 愛

二丁 三三

知郡鳴海村東光院ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔氏神東宮八幡両社江雨乞祈願仕候〕

一丁 三三

(天保六年)未三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔又々氏神江雨乞祈願〕(天保六年)未三

一丁 三四

月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

覚〔御鷹匠衆御用ニ付木錢代請取〕(天保六年)未三月廿二日

一丁 三五

鳴海宿下里弥兵衛ゝ服部芳三郎様

覚〔御鷹御用ニ付木錢代請取〕(天保六年)未三月廿二日 鳴海

一枚 三六

宿下里弥兵衛ゝ小澤與三郎様他一名

乍恐御達申上候事〔盜賊物買取候兩人、帰村被仰付事済〕

一丁 三七

(天保六年)未四月六日 鳴海宿庄屋安二郎ゝ御勘定所

御請書之事〔全瘡御医師御用ニ付、生真蛇拾本名古屋表江

一丁 三八

差出候〕(天保六年)未五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣

屋

〔惣山・御林・定納山書上〕(天保六年)未閏七月 右(鳴海)村

三丁 四八

庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔八幡宮ニ而湯立神楽捧申度〕(天保六

一丁 四九

年)未八月廿五日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔奥州南部森岡一戸平古、宿村送り〕

二丁 五〇

(天保六年)未八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔八拾九歳已上之者御改、はつ当未八

一丁 五一

拾九歳〕(天保六年)未閏八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海

御陣屋

覚〔羽織式ツ預リ〕(天保六年)未九月朔日 鳴海村庄屋下郷弥兵

一丁 五三

衛ゝ大御代官方御役所

乍恐奉差上候御請書之事〔江戸表江稼ニ相越候三名、召連

一丁 五三

罷歸リ御達可申上候〕(天保六年)未九月十四日 鳴海村繁藏

他二名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔当村之内紫根作り候畑反畝并売払代

一丁 五五

金〕(天保六年)未十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔天白川通当村扣堤□刈人足〕(天保六

一丁 五六

年)未十一月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ御普請方御役所

乍恐御達申上候御事〔瑞泉寺境内秋葉権現神前ニおゐて、

一丁 五七

神楽并挑灯捧申度〕(天保六年)未十一月十六日 鳴海(村)庄

屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

御役銀不相勤船數覚 天保六年十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

四丁 七五

乍恐奉願上候御事〔愛知郡八事村仏地院扣当村枝郷古鳴海

二丁 五八

薬師堂守按<sup>(摩)</sup>拳僧之義〕(天保七年)申二月 鳴海村庄屋下郷弥兵

衛他一名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕(天保七年)申二月 鳴海村万兵衛

一丁 五九

ゝ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔私シ女子いせ縁付先江懸リ人相成度〕

一丁 六〇

(天保七年)申二月 鳴海村紋右衛門後家ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔如意寺境内金毘羅権現ニおゐて神楽

一丁 六一

并挑灯捧申度 (天保七年)申三月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛  
衛鳴海御陣屋

覚(兩人古手類商売仕来申候) (天保七年)申三月 三組下郷弥兵衛様

乍恐奉願上候御事(古手商売相勤申度) (天保七年)申三月 鳴海村願主文吉鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村持分御林并定納山之内吟味) (天保七年)申三月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他一名御林方御陣屋

覚(背株預り、山賊之儀ハ追而吟味之上差出) (天保七年)申四月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛加藤正平様他二名

差出シ申候御事(当村之者背伐仕候ニ付、此以後一切背株為致申間敷候) (天保七年)申四月 相原村庄屋富蔵他一名鳴海御庄屋中様

乍恐御達奉申上候御事(兩人盜賊之品買求候段達御聴、御吟味之上遠方留) (天保七年)五月廿六日 鳴海村庄屋代与頭太右衛門鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村諏訪社祭礼ニ付、神樂湯立捧申度) (天保七年)申七月廿六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

覚(無宿盜賊番賃金錢等請取、番人和吉江相渡) (天保七年)申七月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

(当申年八拾九歳已上之者有無当陣屋江可申出候) (天保七年)八月七日 鳴海陣屋右村々庄屋

(米穀等質取候質屋、石数等相改、陣屋江可申出候) (天保七年)八月九日 三喜右衛門別紙仕候庄屋

乍恐御達申上候御事(氏神八幡宮江挑灯捧申度) (天保七年)

申八月十四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村神明宮祭礼之儀神樂湯立捧申度) (天保七年)申八月廿六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(八拾九歳以上之者改、はつ当申年九拾歳) (天保七年)申八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

(去秋以来米麦を初出津被差留候处、隠積等いたし候者も有之哉ニ付触) (天保七年)九月朔日 三喜右衛門別紙村々庄屋

乍恐御達申上候御事(八幡宮江挑灯差遣、神樂捧申度) (天保七年)申九月三日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

(福君様御下向ニ付触) (天保七年)九月五日 庄屋東西前小共与頭中

(酒造元入差留方之儀ニ付達) (天保七年)九月廿一日 三喜右衛門鳴海村庄屋江

(出穀背之者見訂訴出候者之儀ニ付触) (天保七年)九月廿一日 三喜右衛門別紙村々庄屋

乍恐御達申上候御事(御普請場所之内打切申候場所) (天保七年)申九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事(大雨ニ而打切申候場所普請願) (天保七年)申九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村持分御林并定納山之内、山抜倒木等無御座候) (天保七年)申九月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐御達申上候御事(当年麦作至而之違作ニ付飯料之外余分持合之者無御座候) (天保七年)申九月 鳴海(村)庄屋松崎嘉十郎他一名鳴海御陣屋



乍恐奉願上候御事〔私共組合甚兵衛儀帳外願〕（天保七年）申  
九月 鳴海村枝郷前之庵甚兵衛組合惣代源三郎他一名鳴海御陣  
屋 二丁 一七四

〔穀物出方御差留背之者之儀ニ付触〕（天保七年）十月十二日  
三喜右衛門ノ別紙村々庄屋 一丁 三六二

〔高価之ちく蘭類一切売買致間敷候〕（天保七年）十月十二日  
三喜右衛門ノ別紙村々庄屋 一丁 三六三

〔米価高料之内穀物類出商ひ之儀堅不相成候〕（天保七年）十  
月十二日 三喜右衛門ノ別紙村々庄屋 一丁 三六三

乍恐御達申上候御事〔如意寺境内金毘羅權現神前ニおゐて、  
神楽并挑灯捧申度〕（天保七年）申十月 鳴海〔村〕庄屋下郷弥  
兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 三六四

乍恐差上申御請書之事〔江戸表江積下シ酒荷之儀〕（天保七  
年）申十月 鳴海村下郷次郎八他五名ノ宛名未詳 一丁 三六五

乍恐御達申上候御事〔盗品買取候古手屋商売之者無御座候〕  
（天保七年）申十月 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 三六六

乍恐奉願上御事〔大豆五拾石、熱田平野屋新兵衛方江壳渡、  
来月朔日大高村新七船江積入差遣申度〕（天保七年）申十月  
鳴海村忠七ノ鳴海御陣屋 一丁 三六七

乍恐奉願上候御事〔大豆三拾石、名古屋萬屋卯兵衛方江壳  
渡、来ル十三日大高村新七船ニ積入差遣申度〕（天保七  
年）申十一月 鳴海村安藏ノ鳴海御陣屋 一丁 三六八

〔下リ酒問屋共此度諸国酒造減石之儀ニ付触〕（天保七年）申  
十一月 町役人 四丁 一七五

〔諸国酒造減石御趣意〕（天保七年）霜月十八日 酒問屋中ノ酒  
屋御衆中様 一丁 三六九

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（天保七年）申十二月十一日 鳴  
海村市右衛門ノ鳴海御陣屋 一丁 三六〇

〔此節米価各別高直ニ而盜賊も有之ニ付触〕（天保七年）十二  
月廿三日 三喜右衛門ノ村々庄屋 二丁 一七三

〔酒造之儀ニ付触〕 天保七年十二月 四丁 一六八

乍恐御達申上候御事〔今般志軒私借受、葉風呂立候而病人  
ニ為入申度〕（天保七年）申十二月 鳴海村医師永坂大進ノ鳴  
海御陣屋 三丁 一七六

弥助見分書付〔去月上旬於袋井宿病死〕（天保七年）十二月  
乍恐御達申上候御事〔印形紛失ニ付改〕（天保八年）西正月 四丁 一七九

鳴海村与頭兵左衛門ノ鳴海陣屋 一丁 四〇九

乍恐御達申上候御事〔当村野村屋惣七儀、旅人ノ盗物預  
り、吟味中病死〕（天保八年）西二月 鳴海村庄屋下郷弥兵  
衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 四一〇

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（天保八年）西二月 鳴海村之  
文吉ノ鳴海陣屋 一丁 四二

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（天保八年）西二月 鳴海〔村〕葉  
湯風呂渡世〔茂右衛門ノ鳴海御陣屋〕 二丁 一七三

御救米代金割渡組々ノ高覚（天保八年）三月朔日 鳴海〔村〕葉  
湯風呂渡世〔茂右衛門ノ鳴海御陣屋〕 五丁 一七五

〔救荒雜食集写〕（天保八年）西三月十一日 鳴海陣屋ノ別紙村々  
庄屋 四丁 一七〇

御達申上候御事〔当村修験東順儀出奔〕（天保八年）西三月  
愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ修験方御支配所 一丁 四三

乍恐御達申上候御事〔当村如意寺境内金毘羅權現神前ニお  
ゐて神楽并挑灯捧申度〕（天保八年）西三月 鳴海〔村〕庄屋  
下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四三

乍恐御奉願上候御事〔私親類濃州厚見郡加納村助藏、私引請当村江借宅〕（天保八年カ）酉三月 鳴海村八百助カ鳴海御陣屋 一丁 四四

乍恐御達申上候御事〔当村之内ニ被盜取候者無之〕（天保八年カ）酉三月 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛カ鳴海御陣屋 一丁 四五

乍恐御達申上候御事〔御救米被下置冥加至極〕（天保八年）酉三月 鳴海〔村〕庄屋松崎嘉十郎他六名カ鳴海御陣屋 二丁 六〇

乍恐奉願上候御事〔私二男庄九郎、熱田新々田江為引越百姓為仕度〕（天保八年）酉三月 鳴海村庄八カ鳴海御陣屋 二丁 七三

乍恐御達申上候御事〔米穀所持之者御改〕（天保八年）酉三月 庄屋松崎嘉十郎他二名カ鳴海御陣屋 三丁 七七

乍恐御達申上候御事〔当宿御用懸医師永坂大進儀死去〕（天保八年カ）酉四月 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛カ鳴海御陣屋 一丁 四六

乍恐御達申上候御事〔御尋之木綿入等被盜取候者無之〕（天保八年カ）酉四月 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛カ鳴海御陣屋 一丁 四七

乍恐奉願上候御事〔古手商壳渡世取締役之儀 私江被仰付被下置候様〕（天保八年）酉五月 鳴海村卯八カ鳴海御陣屋 二丁 七四

乍恐奉御達申上候御事〔大脇村源九郎、米壹石四升三河泉田村安左衛門方へ売払〕（天保八年カ）酉七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛カ鳴海御陣屋 一丁 四八

乍恐御達申上候御事〔下郷弥兵衛他三名、御勘定所江呼出し〕（天保八年）八月廿二日 右〔鳴海〕村庄屋松崎嘉十郎カ鳴海御陣屋 二丁 七〇

延享三丙寅年日記〔巡見衆通行〕（天保八年カ）八月廿九日 弥兵衛カ保之介様 一丁 四九

〔中納言様從二位大納言昇進〕（天保八年カ）酉八月 一丁 四二

乍恐御達申上候御事〔大風雨ニ而人家凡三百軒程倒家相成〕（天保八年カ）酉八月 鳴海〔村〕庄屋松崎嘉十郎他一名カ鳴海御陣屋 一丁 四〇

乍恐御達申上候御事〔去ル十四日大風雨之節倒家〕（天保八年）酉八月 右〔鳴海〕村庄屋松崎嘉十郎他一名カ鳴海御陣屋 一丁 七六

奉願上候御事〔去ル十四日大風雨ニ而倒木ニ相成申候付、伐採申度〕（天保八年）酉八月 愛知郡鳴海村如意寺カ鳴海御陣屋 一丁 七七

乍恐奉願上候御事〔去ル十四日大風雨之節、当村扣社境内ニ而倒木相成申候ニ付、伐採申度〕（天保八年）酉八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名カ鳴海御陣屋 二丁 七八

乍恐奉願上候御事〔去ル十四日大風雨之節、諏訪社境内ニ而倒木相成候ニ付伐採申度〕（天保八年）酉八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名カ鳴海御陣屋 二丁 七九

乍恐奉願上候御事〔当宿問屋場破損所修覆願〕（天保八年）酉八月 鳴海宿問屋近藤佐兵衛他三名カ鳴海御陣屋 四丁 七九

乍恐奉願上候御事〔公義御大札御用ニ付今十九日御勅使様当宿御泊〕（天保八年）酉八月 鳴海宿問屋近藤佐兵衛他三名カ鳴海御陣屋 二丁 七三

覚〔米麦雜穀共御改〕（天保八年）酉八月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他三名カ鳴海御陣屋 七丁 七三

乍恐御達申上候御事〔鳴海村孀はつ当西九拾壹歳〕（天保八年）酉八月 右〔鳴海〕村庄屋下郷弥兵衛カ鳴海御陣屋 一丁 九五〇

覚〔葉蘭壹株、中村宇市様へ献上候〕（天保八年）酉九月十二日 鳴海村下郷弥兵衛カ鳴海御陣屋 一丁 四三

御用写〔宿々おゐて証文人足支度等手当〕（天保八年）九月十 二丁 四三

五日 御徒目付前嶋専八郎・熱田・鳴海間屋・庄屋・年寄・組頭江  
〔御陶器壺可被下置与之御事候〕（天保八年）九月 林源蔵・下  
郷弥兵衛方江 一丁 四四

御請書之御事〔御陶器壺拝領〕（天保八年）九月 鳴海村下郷弥  
兵衛・林源蔵様 一丁 四四

〔天保八年西九月十六日夕、御陶器請書并金百疋中村宇市  
殿江差出申候〕 天保八年九月十六日 一丁 四六

乍恐御達申上候御事〔当村扣小嶋海両社之破損箇所〕（天保  
八年）西九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名・鳴海御陣屋 一丁 四七

乍恐奉願上候御事〔定納山之倒木伐取申度〕（天保八年）西九  
月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・御林方御陣屋 二丁 四六

乍恐奉願上候御事〔別紙之通、御林方御陣屋江御願申上度〕  
（天保八年）西九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋 一丁 四九

乍恐奉願上候御事〔古手類商売相始申度〕（天保八年）西九月  
鳴海村市右衛門・鳴海御陣屋 一丁 四〇

乍恐奉願上候御事〔古手類商売相始申度〕（天保八年）西九月  
鳴海村庄治郎・鳴海御陣屋 一丁 四三

覚〔舟壹艘受取〕（天保八年）西九月 木庭村庄屋喜助・鳴海村御  
役人衆中 一丁 四三

乍恐御尋ニ付奉申上候御事〔当宿之者共豊川江参詣致度〕  
（天保八年）西九月 庄屋四人・吉田五郎八様他一名 付、名前 二丁 四三

書  
乍恐御達申上候御事〔病氣流行之砌氏神八幡宮江心願懸相  
慎、右為礼挑灯捧申度〕（天保八年）西九月 鳴海村庄屋下郷 一丁 四四

弥兵衛・鳴海御陣屋  
覚〔新御殿植木入用有之ニ付、葉蘭一株献上〕（天保八年） 一丁 四三

乍恐御達申上候御事〔御尋之車無御座候〕（天保八年）西九月  
鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋 一丁 四六

乍恐御達申上候御事〔当村伊兵衛、無宿弥右衛門ニ被相頼、  
着類等質置候由〕（天保八年）西九月 鳴海村庄屋下郷弥兵  
衛・鳴海御陣屋 一丁 四七

乍恐御達申上候御事〔当村米屋共米小売之儀〕（天保八年）西  
十一月朔日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋 一丁 四六

御請書之事〔不敷御改之上、伐採〕（天保八年）西十一月八日  
鳴海村庄屋下郷弥兵衛・伊藤傳三郎殿 二丁 四九

乍恐御達申上候御事〔当村初蔵、無宿盜賊弥助・盗物買取〕  
（天保八年）西十一月十一日 鳴海村庄屋代与頭金三郎・鳴海御陣  
屋 一丁 四〇

乍恐御請書之事〔五軒屋新田藤右衛門儀、三州イカヤ村増右  
衛門江背売いたし〕（天保八年）西十一月 鳴海村庄屋下郷弥  
兵衛他一名・鳴海御陣屋 一丁 四一

乍恐書付を以奉申上候御事〔大脇村源九郎背米、番人和吉  
江被下置〕（天保八年）西十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴  
海御陣屋 一丁 四二

往来一札之事〔拙寺旦那舟山権右衛門儀、讃州金毘羅江参詣  
仕候〕 天保九年正月 羽州米沢置賜郡若山村松園寺・宿々間屋  
村々名主衆中 一丁 二七九

送り状之事〔羽州米沢領置賜郡若山村舟山権右衛門宿村送  
り〕 天保九年 尾州愛知郡鳴海村名主下郷弥兵衛・三州池鯉鮒  
宿より羽州置賜郡若山村迄宿村御役人衆中 二丁 四四

乍恐奉願上候御事〔平手新田百姓銘々、自分扣定納山ニ而透  
伐枝下共為仕度〕（天保九年）戊正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛  
・御林方御陣屋 三丁 四五

乍恐奉願上候御事〔親善八病死仕候ニ付、私弟兩人熱田新田江引越申度〕（天保九年）戊二月 鳴海村榮次郎ノ鳴海御陣屋 一丁 四八

乍恐奉願上候御事〔知多郡大高村李右衛門二男吉次、私方江養子ニ貫受申度〕（天保九年）戊二月 鳴海（村）枝郷前之庵兵吉ノ鳴海御陣屋 一丁 四七

乍恐奉願上候御事〔捨子、私方江養子ニ貫請申度〕（天保九年）戊二月 鳴海村枝郷前之庵榮助ノ鳴海御陣屋 一丁 四六

乍恐奉願上候御事〔当村瑞泉寺末寺同所光明寺後住之儀〕（天保九年）戊二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名ノ鳴海御陣屋 一丁 四九

乍恐御達申上候御事〔当村誓願寺境内天満宮神前おゐて神楽并挑灯捧申度〕（天保九年）戊二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四九

乍恐奉願上候御事〔私所持之米麦、知多郡大井村嘉七江売渡〕（天保九年）戊二月 鳴海村安藏ノ鳴海御陣屋 一丁 四〇

戊年相用申候酒造道具明桶之覚（天保九年）戊二月 前之庵〔長左衛門ノ宛名未詳〕 一丁 三三

乍恐奉願上候御事〔東光院隱居弟子深光与申僧、当村東福院看住ニ居申度〕（天保九年）三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名ノ鳴海御陣屋 一丁 二七

奉願上候御事〔東光院隱居弟子深光、御末寺東福院看住ニ居申度〕（天保九年）三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名ノ長久寺方丈 一丁 二四

乍恐御達申上候御事〔酒貳百樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申度〕（天保九年）戊三月三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 二丁 四一

乍恐御達申上候御事〔酒貳百三拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候〕（天保九年）戊三月四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四三

乍恐御達申上候御事〔酒百四拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候〕（天保九年）戊三月十四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四三

乍恐御達申上候御事〔酒百四拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候〕（天保九年）戊三月十五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四四

乍恐御達申上候御事〔酒百貳拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候〕（天保九年）戊三月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 二丁 四五

乍恐御達申上候御事〔酒八拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候〕（天保九年）戊三月十九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四六

覚〔御待衆・御中間衆屋支度木錢米代請取〕（天保九年）戊三月晦日 鳴海（村）庄屋下郷弥兵衛ノ泰寿太郎様御支配人衆様 一丁 四七

乍恐御達申上候御事〔如意寺境内金毘羅権現ニおゐて神楽并挑灯捧申度〕（天保九年）戊三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四八

乍恐御達申上候御事〔如意寺境内金毘羅権現ニおゐて神楽并挑灯捧申度〕（天保九年）戊三月 鳴海（村）庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四九

乍恐御達申上候御事〔当村枝郷小鳴海源藏、信州善光寺江参詣仕度、往来一札相願申候〕（天保九年）戊三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四〇

乍恐奉願上候御事(先年之通江戸積仕度) (天保九年)戊三月  
鳴海村枝郷前ノ庵長左衛門ノ鳴海御陣屋 一丁 四六

乍恐御達申上候御事(酒八拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送り申候) (天保九年)戊四月朔日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 二丁 四三

乍恐御達申上候御事(盜難届) (天保九年)戊四月二日 鳴海村傳吉ノ鳴海御陣屋 二丁 四三

乍恐御達申上候御事(杓背売) (天保九年)戊四月二日 鳴海村番人和吉他三名ノ鳴海御陣屋 一丁 四四

乍恐御達申上候御事(酒百樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送り申候) (天保九年)戊四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四五

乍恐御達申上候御事(酒百七拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候) (天保九年)戊四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四六

乍恐御達申上候御事(元船出火ニ而酒荷之内四拾八樽焼失) (天保九年)戊四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四七

乍恐御達申上候御事(羽州置賜郡若山村舟山権右衛門宿村送り) (天保九年)戊四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四六

乍恐御達申上候御事(当村枝郷前之庵甚助他一名、町方御役所御廻り方御越召捕、名古屋表へ引連) (天保九年)閏四月朔日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四六

乍恐御達申上候御事(御尋之品々買取候者無御座候) (天保九年)戊閏四月九日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四七

乍恐奉願上候御事(当村酒造屋共不用酒造桶御封印御解之儀) (天保九年)戊閏四月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎ノ鳴海御陣 三丁 一三六

屋

覚(只今之有酒) (天保九年)戊閏四月 前之庵長左衛門ノ(鳴海御陣屋宛々) 一丁 四七

覚(当村酒造屋共酒有石数御改) (天保九年)戊閏四月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎ノ鳴海御陣屋 二丁 四三

乍恐御達申上候御事(田方植付余り苗) (天保九年)戊五月廿四日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四三

乍恐御達申上候御事(村々ノ持参仕候苗) (天保九年)戊五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四四

乍恐御達申上候御事(失火届) (天保九年)戊六月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 四五

乍恐奉願上候御事(当村扣御林之倒木、いまた壳捌不申分も御座候ニ付、運上銀御減シ被成下置候様) (天保九年)戊六月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他三名ノ御林方御陣屋 二丁 四六

乍恐奉願上(宗門帳外喜三郎、帰村仕候付、宗門組入願) (天保九年)戊七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 四七

御請書之事(雲雀御鷹野御用ニ付諸費用請取) (天保九年)戊七月 愛知郡鳴海村庄屋<sup>つづ</sup>御鷹場御役人衆様 一丁 四八

覚(雲雀御鷹野御用ニ付諸費用請取) (天保九年)戊七月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ松田三五郎様他三名 五丁 四九

乍恐御達申上候御事(当戌年八拾九歳以上之者御改、鳴海村婦はつ当戌九拾式歳) (天保九年)戊七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四〇

乍恐御達申上候御事(当村与頭太右衛門後役之儀) (天保九年)戊七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 四一

乍恐御達申上候御事(さつま芋被盜取申候) (天保九年)戊八 一丁 四二



月 鳴海村字八ノ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔当村扣定納山之内ニおゐて、已後心得違為仕申間敷候〕 (天保九年) 戌八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事〔瑞泉寺扣定納山内ニ而透伐為仕申度〕 (天保九年) 戌八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事〔別紙之通御林方御陣屋江奉願上候〕 (天保九年) 戌八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

覚〔鳴海村番人和吉查掛村大久保傳分番人仲藏兩人背米之趣見咎〕 天保九年十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・查掛村大久保傳分庄屋山口吉兵衛御林方御陣屋

差上申書付之事〔手形紛失〕 天保九年十二月 太次郎御

隠居様

〔下郷次郎八・同人出見せ酒造高〕 (天保九年) 下郷次郎八

郡御奉行所

覚〔酒造米御改〕 (天保十年) 亥二月 下郷弥兵衛

乍恐御達奉申上候御事〔村預ケ被仰付候無宿穢多新吉女房小とき悴病死〕 (天保十年) 亥三月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

町方御役所

乍恐奉願上候御事〔当村如意寺境内金毘羅権現神前ニおゐて、神楽并挑灯相捧申度〕 (天保十年) 亥三月九日 鳴海(村)

庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事〔長谷川仙次郎殿替地願〕 (天保十年) 亥三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

〔上使衆到着ニ付触〕 (天保十年) 四月十五日 矢(野)藤九郎

別紙村々庄屋

乍恐奉願上候御事〔当所瑞泉寺扣定納山内ニ而透伐為仕申度〕 (天保十年) 亥七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事〔別紙之通、御林方御陣屋江奉願上度〕 (天保十年) 亥七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

免被成下置候様 (天保十年) 亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

乍恐奉願上候御事〔当宿旅籠屋清九郎儀、為養生手錠御差免被成下置候様〕 (天保十年) 亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

他一名ノ鳴海御陣屋

〔近來米価高之時節ニ付触請書〕 (天保十年) 亥九月 米屋彦四郎他十八名ノ(鳴海御陣屋)

乍恐奉願上候御事〔当宿旅籠屋鉄蔵妻けい、為養生手錠御差免被成下置候様〕 (天保十年) 亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

衛他一名ノ鳴海御陣屋

〔下郷次郎八出店下郷弥兵衛、酒造米高・道具書付〕 (天保十年) 亥十月

乍恐御達奉申上候御事〔御勘定所御呼出しニ付罷出申候人別名前〕 (天保十年) 十一月三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐御願申上候御事〔艀船老艘讓受、御札頂戴仕度〕 (天保十年) 亥十一月八日 鳴海村前之庵分太兵衛御船手御役所

乍恐御達申上候御事〔鶴雄老羽御用〕 (天保十年) 亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐御達申上候御事〔窮民共江施物いたし候ニ付袖老反被下之候〕 (天保十年) 十一月 愛知郡鳴海村坂野三右衛門他十一名ノ(鳴海御陣屋)

乍恐奉願上候御事〔拝借金返上納之儀、老々年御年延被成下置候様〕 (天保十年) 亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御小納

二丁 一七四

戸御役所

乍恐奉願上候御事〔御林方御陣屋江松木透伐枝下シ願〕（天保十一年）子正月 右〔鳴海〕村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋 二丁 一五

乍恐御達奉申上候御事〔糶蓋式拾老枚、当村金三郎〆買入〕（天保十一年）二月八日 鳴海村下郷四郎兵衛〆鳴海御陣屋 一丁 四四

〔米代金受取〕（年代未詳）子三月七日 前之庵（萬屋）久八〆下郷弥兵衛様 一通 五

乍恐御達申上候御事〔鳴海村近藤佐兵衛他一名、病氣ニ付御能拜見難罷出〕（天保十一年）子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋 一丁 四五

乍恐御達申上候御事〔鳴海村枝郷前之庵ぬい・孫やゑ、格別難渋可手寄方無之〕（天保十一年）子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋 一丁 四六

乍恐御達申上候御事〔御參府之節、村々馬持共之内為御冥加可差出志之者ハ無之〕（天保十一年）子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋 一丁 四七

乍恐御達申上候御事〔当村如意寺境内金毘羅權現於神前、神楽并挑灯相捧申度〕（天保十一年）子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋 一丁 四六

御役銀附之船数覚 天保十一年十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛覚〔定納山下刈米代共〕（天保十一年） 鳴海村 七丁 一九〇

乍恐奉願上候御事〔当村番人和吉悻徳次郎・母共、私諸事引受親分ニ相成御百姓ニ仕度〕（天保十一年）子十二月 鳴海村善藏〆鳴海御陣屋 一丁 五四

乍恐奉願上候御事〔当村番人和吉悻徳次郎老人私引受御百姓ニ仕度〕（天保十二年）丑閏正月 鳴海村善藏〆鳴海御陣屋 一丁 五五

乍恐奉願上候御事〔当村番人和吉并女房娘共家内不殘、私諸事引受親分ニ相成御百姓ニ仕度〕（天保十二年）丑二月 鳴海村善藏〆鳴海御陣屋 一丁 五五

〔宿中火元掃除入念不敬之儀無之様可相心得候〕（天保十二年）正月廿二日 鳴海陣屋〆鳴海宿問屋・庄屋・組頭 一丁 五七

〔下郷次郎八出店下郷弥兵衛、酒造米高・道具書上〕（天保十二年）丑正月 下郷弥兵衛 五丁 一五

乍恐奉願上候御事〔平手新田定納山内ニ而透伐枝下共為仕度〕（天保十二年）丑閏正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆御林方御陣屋 二丁 一五

乍恐奉願上候御事〔私縁類同郡長挙村金左衛門悻弥右衛門・同人女房、当村借宅引越申度〕（天保十二年）丑二月 鳴海村半七〆鳴海御役所（朱筆）一七 一丁 五九

乍恐奉願上候御事〔熱田御所町社人大原吉太夫悻吉次郎、養子ニ貰請相続為仕度〕（天保十二年）丑二月 鳴海村兵八〆鳴海御役所（朱筆）一八 一丁 五九

乍恐奉願上候御事〔熱田材木町之内中嶋ニ住居罷有候懸り人武三郎、養子ニ貰請相続為仕度〕（天保十二年）丑二月 鳴海村との〆鳴海御役所（朱筆）一九 一丁 五〇

乍恐奉願上候御事〔私懸り人藤七、名古屋伏見町之内、懸り人ニ遣申度〕（天保十二年）丑二月 鳴海村いく〆鳴海御役所 一丁 五八

乍恐御達申上候御事〔去酉年大風雨之節倒家ニ相成候人別之内独身之者〕（天保十二年）丑二月 右〔鳴海〕村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋 二丁 一八

乍恐御尋ニ付以書付奉申上候〔当駅茶屋商売并桁屋 藤助〆商売筋之訳奉申上候〕 天保十四年五月 鳴海宿役人惣代問屋 四丁 二四

近藤佐兵衛他一名、松井助左衛門様他一名

差出申御請書之事(御山御締之規定) 天保十四年六月

天保十四卯年苗字帯刀之儀ニ付御改革有之同年御触書之写

(天保十四年九)八月晦日 藤富三郎、別紙村々庄屋

乍恐奉差上御請書之事(御林山御締之儀ニ付) 天保十四年九月

鳴海村締役庄屋兼松崎嘉十郎他十六名、御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事(私夫下郷弥兵衛儀取替金返濟方違約)

(弘化元年九)辰六月 鳴海村下郷弥兵衛後家、鳴海御陣屋

弘 化

弘化式巳中島橋御修復棟札之写 弘化二年四月廿五日 御普請

奉行野呂瀬庄左衛門・小池良次郎他十五名

乍恐御達申上候御事(当村持分御林之内字篠之風野火出来)

(弘化四年未)三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事(春日井郡土器野新田佐兵衛酒造米石高、

私江讓請申度) (弘化四年)未十月 下郷次郎八出店鳴海村五

郎八、鳴海御陣屋

御書付写(鳴海村五郎八、年寄役并ニ庄屋見習申付候) 弘

化四年十一月三日 御代官渡辺源六郎様御手代加藤七左衛門様、

差添庄屋坂野三右衛門

乍恐御達申上候御事(五郎八、弥兵衛ト改名) (弘化四年)未

十二月 鳴海村年寄庄屋見習兼五郎八事弥兵衛、鳴海御陣屋

嘉 永

乍恐奉願上候御事(私所持之酒造米石高、下郷次郎八江讓

り渡申度) (嘉永元年)申九月 鳴海村弥兵衛、鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村弥兵衛所持之酒造米石高、私へ讓

り受申度) (嘉永元年)申九月 鳴海村下郷次郎八、鳴海御陣屋

乍恐御請旁奉願上候御事(已後問屋場締り向之儀勘弁之趣)

(嘉永二年)酉閏四月 鳴海宿問屋次郎左衛門他三名、鳴海御陣屋

差出申御請書之事(組内ニおゐて盜賊無宿之類一切無御座

候) 嘉永二年五月 下、ミ平助五人組合次助他八名、庄屋見習

年寄役兼弥兵衛殿

乍恐奉願上候御事(鳴海宿御伝馬役相統方) (嘉永二年)酉九

月 鳴海宿問屋弥兵衛他四名、鳴海御陣屋

寛(酒造米石高、遣ひ道具御渡シニ相成候分) (嘉永二年)酉

十月 鳴海村弥兵衛、鳴海御陣屋

乍恐御歎願奉申上候御事(鳴海宿御伝馬相統金三百拾兩之

儀) (嘉永三年)戊正月 鳴海宿問屋次郎左衛門他三名、鳴海御

陣屋

乍恐御達旁御願奉申上候(鳴海宿初六ヶ宿問屋共出府) (嘉

永三年)戊二月 鳴海宿懸惣代弥兵衛、鳴海御陣屋

嘉永式酉年分御往來御繼立人馬書上帳 (嘉永三年)戊二月

鳴海宿問屋弥兵衛他四名、大御代官御役所

寛(鳴海宿伝馬役) (嘉永三年)戊二月 鳴海宿問屋

(字相原町弥兵衛家内人数・奉公人書上) (嘉永三年)戊二月

乍恐御請旁御願奉申上候(鳴海宿初六ヶ宿割増御手当金之

儀) (嘉永三年)戊六月 鳴海宿問屋惣代弥兵衛他五名、太田助

次郎様他三名御役所

月懸錢圖引之仕法 (嘉永三年)戊六月 六ヶ宿問屋共

二丁 一七五三

一丁 二〇七五

二丁 一七五五

四丁 三三三

二丁 二四五五

二丁 一五五三

二丁 一六五五

一丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

二丁 一五五三

永久讓渡申田地之事 二名〆清吉殿	嘉永三年七月	田地譲り主下郷弥兵衛他	三丁	一六四	他一名〆大嶋官左衛門殿
証文之事(金子借用) 次服部源吾殿	嘉永三年十月十九日	下郷弥兵衛〆御取	一丁	一六一	永代讓渡申田地之事 嘉永四年四月 譲り主下郷弥兵衛他二名 〆丹くミ伊左衛門殿御取次
永久讓渡申田地之事 三名〆桑名屋善兵衛殿	嘉永三年十月	田地譲り主下郷弥兵衛他	四丁	一六三	永々讓渡申田地之事 嘉永四年四月 譲り主下郷弥兵衛他二名 〆桑名屋善兵衛殿
永久讓渡申田地之事 二名〆清吉殿	嘉永三年十月	田地譲り主下郷弥兵衛他	六丁	一六三	乍恐御敷願奉申上候御事(御金奉行江軫役ノ渡辺源六郎様、 鳴海御代官江御帰役願)(嘉永四年)亥四月 鳴海御陣屋御支配所村々惣代鳴海村下郷次郎八他〆(宛名未詳)
乍恐奉願上候御事(当宿役人出入筋江抱り御勘定所江被召 出中、琉球人参府ニ付仕埋役可被仰付哉)(嘉永三年)戌十 月 問屋次郎左衛門仕埋問屋格年寄〆三郎他二名〆鳴海御陣屋	嘉永三年十一月	田地譲り主下郷弥兵衛他	一丁	一五三	乍恐御請旁奉願上候御事(三州桑子村伴吉〆米代金不渡出 入ニ付)(嘉永四年)亥六月 鳴海村下郷次郎八他二名〆鳴海御陣屋
永代讓り渡申田地之事 衛他一名〆米屋嘉兵衛殿	嘉永三年十一月	田地譲り主下郷弥兵衛他	四丁	一六五	讓渡申田地証文之事 嘉永四年十月 鳴海村丹下兵三郎他一名 〆野並村栄次郎殿
乍恐奉願上候御事(私所持之酒造米石高千三百廿式石三斗、 当村下郷次郎八江讓渡申度)(嘉永三年)戌十一月 鳴海村 弥兵衛〆鳴海御陣屋	嘉永三年十一月	田地譲り主下郷弥兵衛他	一丁	一五四	御敷申口上之覚(当村方御年貢未進之儀)(嘉永五年)子五月 (鳴海村)弥兵衛他一名〆庄屋衆様
乍恐奉願上候御事(当村弥兵衛所持之酒造米石高千三百廿 式石三斗、今般私へ譲受申度)(嘉永三年)戌十一月 鳴海 村下郷次郎八〆鳴海御陣屋	嘉永三年十二月	田地譲り主下郷弥兵衛他	三丁	一五三	御触書写(戸部笠寺天王神芦流之節神芦迎トして相越間敷 候)(嘉永五年)六月十七日 鳴海陣屋〆鳴海村初庄屋
讓り渡申田地之事 二名〆相原村甚左衛門殿	嘉永三年十二月	田地譲り主下郷弥兵衛他	一丁	一六六	御書付写(窮民江施物いたし候由相聞奇特之事)嘉永五年十 一月 愛知郡鳴海村弥兵衛
讓渡申田地之事 勘左衛門殿	嘉永三年十二月	田地譲り主下郷弥兵衛他二名	二丁	一六七	乍恐御達申上候御事(鳴海宿村問屋庄屋隔番勤方人別之儀) (嘉永六年)丑五月 鳴海惣年寄下郷次郎八〆鳴海御陣屋
讓渡申田地之事 〆荒木屋長三郎殿	嘉永三年十二月	田地譲り主下郷弥兵衛他二名	三丁	一六八	乍恐御達申上候御事(長々照統候付当村田方旱魃)(嘉永六 年)丑七月 鳴海村庄屋下郷保之助他一名〆鳴海御陣屋
永久讓渡申田地之事	嘉永三年十二月	田地譲り主下郷弥兵衛	四丁	一六六	差出申御請書之事(此分ニ差置候ては末々宿可及衰微と今 般役人共寄評議)嘉永六年八月(差出人・宛名未詳)
					差出申御請書之事(旅籠屋職業江付敷宿之儀)嘉永六年八月

旅籠屋締役・同職一統(宛名未詳)

差出申御請書之事(祭礼道具其外都而印付候品并不正之品物已後一切質取中間敷旨) 嘉永六年八月 質屋(宛名未詳) 一丁 一六九

御敷申上候口上覚(宿助郷人足共御払金勘定高多分之間違ひ有之) (嘉永六年) 丑八月 鍔藏他八名(御役頭中様) 三丁 三九

獵師継目之節御陣屋江差上候連判一札之写 嘉永六年八月 愛知郡鳴海村庄屋弥兵衛他一名(御代官吉田助次郎様御手代野間六郎様) 二丁 三九

乍恐奉願上候御事(扇川北堤江当村百姓五人之者居宅取建分家為仕申度) (嘉永六年) 丑九月 鳴海村庄屋下郷保之助他二名(鳴海御陣屋) 二丁 三九

口上覚(当村金兵衛持高之内書入) (嘉永六年) 丑十一月 鳴海村庄屋清兵衛他二名(前正傳守様) 二丁 三九

御書付写(海岸守裁許方添役申付候) 嘉永六年十一月廿四日 (御代官吉田助次郎様御手代) 愛知郡鳴海村庄屋弥兵衛 二丁 三九

乍恐奉願上候御事(松木伐採) (嘉永六年) 丑十一月 鳴海村下郷弥兵衛(御林方御陣屋) 一丁 三〇三

覚(当村高之内貴殿御扣方より為助成金三拾兩請取) (嘉永六年) 丑十一月 鳴海村庄屋下郷保之助他四名(横江八郎右衛門殿) 一丁 三〇三

御敷申上候口演(去丑年分給料先借) (嘉永七年) 寅三月 廣介(鳴海問屋宛力) 四丁 三七

御敷申上候口演(去丑年分給料先借) (嘉永七年) 寅三月 廣介(鳴海問屋宛力) 三丁 三六

覚(神沢池塘扣築立御普請請負) (嘉永七年) 寅四月廿一日 相原村幸右衛門他一名(鳴海庄屋衆様) 二丁 三〇六

乍恐奉願上候御事(新雨池之儀築立方) (嘉永七年) 寅四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名(御林方御陣屋) 一丁 四〇

御内々奉敷候口上(御給料増被下置候儀) (嘉永七年) 寅五月 書役新右衛門他一名(宛名未詳) 二丁 四〇三

(御備御用ニ付、差紙) (嘉永年間力) 十一月廿二日 (鳴海陣屋) 鳴海村下郷次郎八他七名 一丁 三〇七

安 政

御触書写(当夏已来異国船渡来ニ付、禁裏より熱田大宮江祈禱被仰付候) (安政元年) 十二月十九日 鳴海陣屋(鳴海村初村々庄屋) 一丁 四〇八

差出申一札之事(私儀本家同居引離分宅) 安政二年正月 太右衛門他三名(御本家伊藤大庵殿) 一丁 三〇九

乍恐御敷願奉申上候御事(私祖父下郷勘左衛門代拝借仕候御役所金之儀) (安政二年) 十一月(九日) 鳴海村下郷次郎八(御小納戸御役所) 四丁 二四二

乍恐御敷願奉申上候御事(祖父下郷勘左衛門并ニ私拝借返納金、尚又一ヶ年御年延被成下置候様仕度) (安政三年) 十一月(廿四日) 鳴海村下郷次郎八(御小納戸御役所) 四丁 二四三

乍恐奉願上候御事(下郷勘左衛門身上相続方之儀) (年代未詳) 申十二月 下郷勘左衛門親類善右衛門他五名(酒井七左衛門様御役所) 五丁 二四三

乍恐奉願上候御事(私祖父下郷左衛門代拝借金返上方、御年延被仰付被下置候様) (年代未詳) 西十一月 鳴海村下郷次郎八(御小納戸御役所) 三丁 二四五

乍恐奉願上候御事(私祖父下郷勘左衛門、御殿御祠堂御用) 二丁 二四四



銀拝借之儀 (年代未詳) 戊十月 下郷次郎八々栗田御殿御役人衆様

乍恐御歎願奉願上候御事〔拝借金年限、年延願〕 (安政二年 二丁 五〇三)

カ卯十一月 鳴海村下郷保之助他三名々御小納戸御役所

乍恐奉願上候御事〔当秋不作并普請所等夥敷村下用懸り相 一丁 五九八

嵩候ニ付、御小納戸御役所江御歎願奉申上度候〕 (安政二年)

年)十一月 鳴海村下郷保之助他三名々御陣屋

乍恐奉願上候御事〔新藏後家なべ難渋ニ付御手当願〕 (安政 二丁 四九八

三年)辰三月 鳴海村庄屋下郷保之介他二名々鳴海御陣屋

譲り渡申田地之事 安政三年四月 田地讓り主下郷金兵衛他二 五丁 一六五

名々吉井友右衛門様

吉井野崎借用金地所付替証文写 安政三年五月 田地讓主下郷 四丁 一六四

金兵衛他二名々吉井友右衛門様

〔金瘡御用相成生真蛇捕方之触〕 (安政三年)五月廿七日 鳴 三丁 五〇〇

海陣屋々左之村々庄屋

借用申金子之事〔村方普請入用ニ付借用〕 安政三年六月 庄 一丁 二〇三

屋下郷保之助他三名々善兵衛殿

乍恐御達申上候御事〔当宿村問屋庄屋隔年勤之儀〕 (安政三 二丁 五〇一

年)辰六月 鳴海宿村惣年寄見習下郷次郎太他一名々鳴海御陣

屋

乍恐奉願上候御事〔普請願〕 (安政三年)辰六月 鳴海村庄屋 二丁 五〇二

下郷保之助他二名々鳴海御陣屋

覚〔去卯年分御役竹代請取〕 (安政三年)辰六月 鳴海陣屋々鳴 一丁 六〇三

海村

乍恐御達申上候御事〔雨乞祈禱仕候ニ付、氏神江挑灯相捧 一丁 六〇四

申度〕 (安政三年)辰六月十六日 鳴海村庄屋弥兵衛々鳴海御陣

屋

覚〔生真蛇式疋〕 (安政三年)六月十八日 大府村々鳴海村御庄屋 一通 六二四

衆中様

覚〔真蛇式疋奉差上候〕 (安政三年)辰六月十八日 込高新田庄 一丁 六二五

屋甚右衛門々鳴海御陣屋

覚〔御陣屋真蛇御用ニ付、真蛇拾式疋差上候〕 (安政三年)辰 一丁 六〇八

六月十九日 愛知郡番掛村庄屋孫兵衛々鳴海村御庄屋衆中

送り書附之御事〔金瘡御用ニ付、生真蛇四疋差出〕 安政三年 一丁 二〇四六

六月廿日 右村〔知多郡吉川村〕孫三郎々鳴海村御庄屋衆様

覚〔生真蛇八疋差上候〕 (安政三年)辰六月廿日 大高村庄屋孫 一丁 六〇五

六々鳴海村御庄屋様

乍恐御達申上候御事〔生真蛇七拾九疋、御触通廿五ヶ村々 一丁 六〇六

取集〕 (安政三年)辰六月廿日 鳴海村庄屋弥兵衛々鳴海御陣屋

差出申候御事〔生真蛇四疋〕 (安政三年)辰六月廿日 知多郡長 一丁 六〇九

草村々鳴海御庄屋衆中様

覚〔生真蛇四本差上申候〕 (安政三年)辰六月廿日 桶廻間村庄 一丁 六二〇

屋清右衛門々鳴海御陣屋

覚〔生真蛇四疋差出申候〕 (安政三年)辰六月 半月村庄屋甚之 一丁 六二三

右衛門々鳴海村御庄屋衆中

送り状〔生真蛇式本〕 (安政三年)辰六月 植田村庄屋弥六々鳴 一丁 六二六

海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔生真蛇四疋差上申候〕 (安政三年)辰六 一丁 六二七

月 横根村庄屋善右衛門々鳴海御陣屋

娘送り書付之事 (安政三年)辰六月 赤池村庄屋々鳴海御庄屋衆 一丁 六二八

中様

差上申送状之事〔生真蛇式疋〕 (安政三年)辰六月 木之山村庄 一丁 六二九

屋卯右衛門ゝ鳴海村御庄屋衆中

送り書不來分(嶋田村他七ヶ村、生真むし拾八疋) (年代末 一丁 六七  
詳)

乍恐御達申上候御事(盗品直段見積書) (安政三年)辰六月廿 一丁 六二  
日 鳴海村安五郎ゝ半田小兵衛様御陣屋

乍恐御請書之事(先達而被盗取候品、被返下、請取) (安政 一丁 六三  
三年)辰六月廿日 鳴海村為藏ゝ半田小兵衛様御陣屋

乍恐御達申上候御事(天白川堤高草等苅取方之儀) (安政三 一丁 六〇  
年)辰六月 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ御普請方御役所

覚(上小田井村長善寺江村中志之族より差出候錢四拾八文) 一丁 六二  
(安政三年)辰六月 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(盗難届) (安政三年)辰六月 鳴海村安五 一丁 六三  
郎ゝ半田小兵衛様御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村氏神東宮大明神祭礼之儀) (安政 一丁 六三  
三年)辰六月 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(古たらひ沓ツ買受売払) (安政三年) 一丁 六四  
辰六月 鳴海村又四郎ゝ寺社御奉行所

乍恐御達申上候御事(雨乞祈禱仕候ニ付、挑灯相捧申度) (安 一丁 六五  
政三年)辰七月朔日 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

御書付写(車留之橋) (安政三年)辰七月十四日 (差出人未詳)ゝ 一枚 六六  
天白橋守笠寺村作右衛門江

覚(知多郡乙川村豊次郎入檻中諸入用、番人和吉江相渡申 一丁 六七  
候) (安政三年)辰七月十五日 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

御差紙写(召喚) (安政三年)七月十五日 吉(田)助次郎ゝ鳴海村 九丁 七一  
弥兵衛他一名

〔新待賢門院薨去ニ付、鳴物三日之間停止〕 (安政三年)七月 一丁 六八

十六日

覚(無宿盗賊民三郎初入檻中支度代等、番人和吉江相渡申 一丁 六九  
候) (安政三年)辰七月十七日 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

御触書写(別紙之通寺社奉行衆・御勘定奉行衆より触) (安 一丁 七〇  
政三年)七月十七日 鳴海陣屋ゝ別紙村々庄屋

〔鳴海村下郷次郎八・下郷次郎太各別旧家之儀、猶更嚴敷 一丁 七一  
俟約いたし候様可心懸候〕 (安政三年)辰七月

乍恐御達申上候御事(字根古屋天神山おゐて多人数相集博 一丁 七三  
突興行罷在候体相見候) (安政三年)辰七月 鳴海村庄屋弥兵  
衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達奉申上候御事(盗品力) (安政三年)辰七月 鳴海村庄 二丁 七三  
屋

覚(切所普請人足代等) (安政三年)辰七月 南野村庄屋ゝ鳴海 一丁 七四  
村庄屋中様

乍恐御達申上候御事(天白川堤ニ出生候竹木茂高草苅取掃 一丁 七五  
除) (安政三年)辰八月 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ御普請方御役所

乍恐奉願上候御事(倅次郎太江家督相讓申度) (安政三年)辰 一丁 七六  
九月 下郷次郎八ゝ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村扣天白川通堤御普請相濟、御金下 一丁 七七  
附願) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ御普請方御役所

乍恐御達申上候御事(当村天白川中堤并ニ藤川堤 御普請取 一丁 七八  
懸り申度) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛ゝ御普請方御  
役所

乍恐御達奉申上候御事(当村兵三郎ゝ坂野儀八郎江抱り出 二丁 八〇  
入) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋下郷保之助他二名ゝ鳴海御  
陣屋

乍恐御達申上候御事〔平御林之内松虫喰枯木伐取方之儀取懸り申度〕（安政三年）辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛〆御林方御陣屋 一丁 六三九

乍恐御達申上候御事〔当村誓願寺境内金毘羅殿神前おゐて提灯相捧、神楽を奏申度〕（安政三年）辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名〆鳴海御陣屋 一丁 六四〇

乍恐御達申上候御事〔当村浅間堂神事之儀〕（安政三年）辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名〆鳴海御陣屋 一丁 六四二

演説覚〔鳴海御陣屋下村々江金貳万七千六百両当辰年〆拾ヶ年之間、一ヶ年ニ貳千七百六拾兩ツ、年々上納可仕〕（安政三年）辰九月（鳴海御陣屋）〆（鳴海御陣屋下村々江） 二丁 六三六

覚〔去々寅年御田米川出運賃等諸入用受取〕（安政三年）辰十月十四日 鳴海村庄屋弥兵衛〆鳴海御陣屋 一丁 六四三

乍恐御達申上候御事〔知多郡成岩村伊平娘ちゑ病氣ニ付御届〕（安政三年）辰十月十五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御役所（朱書）七十二 二丁 一七七

覚〔御膳搗麦上納〕（安政三年）辰十月十八日 鳴海村庄屋弥兵衛〆廣井御藏御役所 一丁 六四三

覚〔信高甚之丞俸定次郎召捕ニ付、鳥目頂戴仕候〕（安政三年）辰十月廿一日 番人和吉他二名〆御当番御庄屋衆様 一丁 六四四

乍恐奉願上候御事〔私親類越前福井御城下観音町ニ罷在候多吉、私懸り人ニ仕、当村江為引越、百姓為致度〕（安政三年）辰十月 鳴海村吉右衛門〆鳴海御陣屋 二丁 六四七

借用申金子之事 安政三年十一月 鳴海村増右衛門〆あらゐ定七殿 一丁 二四九

乍恐御請書之事〔先達而被盗取候品々、今般御返被下、頂 一丁 六三三

戴仕候〕（安政三年）辰十一月廿一日 鳴海村為藏〆横須賀御陣屋 一丁 六四六

乍恐御達申上候御事〔当宿旅籠屋米屋喜兵衛儀、盗賊〆諸色預り、押籠被仰付候〕（安政三年）辰十一月廿二日 鳴海村庄屋弥兵衛他一名〆鳴海御陣屋 一丁 六四六

〔線姫君様御逝去ニ付、鳴物者七日停止普請者不苦段、從公義御触有之候〕（安政三年）十一月廿三日 二丁 六五一

覚〔当村〆伊勢江奉納御初穂米〕（安政三年）辰十一月廿四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆熱田宿桔梗屋喜七殿 一丁 六四八

覚〔御初穂米等受取〕（安政三年）辰十一月廿四日 尾州御定宿・東海道宮宿桔梗屋喜七〆鳴海宿御庄屋下郷弥兵衛様 一丁 六四九

写〔別紙之通、寺社奉行衆、御勘定奉行衆よりの触〕（安政三年）十一月廿四日 鳴海陣屋〆鳴海村初庄屋 二丁 六五〇

差上申御請書之事・御状写〔其村黒末川運上銀上納〕（安政三年）十一月廿四日 鳴海陣屋〆鳴海村庄屋〆 一丁 六五三

〔黒末川運上銀請取〕（安政三年）辰十一月廿六日 鳴海陣屋〆鳴海村 一通 六四四

乍恐御達申上候御事〔当村為藏被盗取候品々、今般御返被下候〕（安政三年）辰十一月廿七日 鳴海村庄屋弥兵衛他一名〆鳴海御陣屋 一丁 六四四

讓渡申家屋鋪証文事 安政三年十一月 鳴海根古屋町讀主山口屋丹六他二名〆八事山御役寮御取次植田村横地権藏殿 二丁 六五五

御尋ニ付乍恐御達申上候御事〔当村酒造屋共桶屋職肝煎等相済居、御作事方鑑札請居候由〕（安政三年）辰十一月 鳴海村庄屋弥兵衛〆鳴海御陣屋 一丁 六五六

覚〔酒造米カ〕（安政三年）辰十一月 鳴海村庄屋 一丁 六五七

乍恐御請書奉差上候御事〔先達而被盜取候品々、今般御返被下置、奉請取候〕（安政三年）辰十一月 鳴海村前之庵分弥三郎ハ横須賀御陣屋

二丁 六五

乍恐御達奉申上候御事〔当村前之庵分弥三郎被盜候大釜、代錢ニ而今般御返被下候〕（安政三年）辰十一月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名ハ鳴海御陣屋

一丁 六五

乍恐御達奉申上候御事〔盜難届〕（安政三年）辰十一月 鳴海村前之庵分髮結政治郎ハ鳴海御陣屋

一丁 六六

質流相渡申田地之事 安政三年十二月 田地譲リ主山口友三郎他二名ハ鳴海上中町米屋加兵衛殿

一通 六三

覚〔去卯年鳴海村初置米錢請取〕 安政三年十二月 鳴海陣屋ハ鳴海村庄屋

一通 六三

譲リ渡申家屋敷証文之事 安政三年十二月 鳴海本町家屋敷譲リ主ハ屋甚吉他二名ハ八事山御役寮植田村取次横地権蔵殿

二丁 六四

借用申金子之事 安政三年十二月 惣年寄下郷次郎太他七名ハ三組善兵衛殿

一丁 二〇四

譲渡申屋敷地之事 安政四年二月 鳴海村庄屋下郷保之介他四名ハ相原町初蔵殿

二丁 五〇六

乍恐奉願上候御事〔私本家下郷次郎太江戸表出店取締候付、私儀同道相越申度〕（安政四年）巳二月 鳴海村庄屋弥兵衛ハ鳴海御陣屋

一丁 五〇八

差上申一札之事〔運上場之儀等〕 安政四年三月 愛知郡鳴海村庄屋弥兵衛ハ鳴海御陣屋

二丁 五〇七

乍恐御請書之事〔人別改〕（安政四年）巳三月 鳴海村庄屋惣代弥兵衛他三名ハ鳴海御陣屋

一丁 六五

覚〔無宿者老入払〕（安政四年）巳四月廿六日 鳴海村庄屋弥兵衛ハ宛名未詳

一丁 六六

乍恐御請奉申上候御事〔去ル寅年徳山五兵衛様江用達仕置候金子之儀〕（安政四年）巳四月 鳴海村前之庵分源兵衛後家他一名ハ寺社御奉行所

一丁 六七

乍恐御達申上候御事〔私儀下郷次郎太江戸店用向ニ付、彼地江罷下、当十一日帰村仕候〕（安政四年）巳四月 鳴海村庄屋弥兵衛ハ鳴海御陣屋

一丁 六八

乍恐御達申上候御事〔氏神おゐて五穀成就御祈禱仕候筈、付而者挑灯相捧申度〕（安政四年）巳四月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名ハ鳴海御陣屋

一丁 五〇九

廻状〔生真蛇御用〕（安政四年カ）五月廿七日 鳴海庄屋ハ嶋田村他十九ヶ村庄屋衆中

一通 七五

写〔新海池運上銀上納〕（安政四年）閏五月六日 鳴海陣屋ハ鳴海村庄屋江

一丁 六九

覚〔文政十二年七月麦金引当調達米切手請取〕 安政四年閏五月廿九日 下郷保之介ハ御同役中様

一丁 二〇三

覚〔辰冬下用尻取替元金受取〕 安政四年閏五月廿九日 下郷善右衛門ハ庄屋御衆中

一丁 二〇五

覚〔下用割請取〕 安政四年閏五月晦日 前ハ之庵長左衛門ハ村方庄屋様

一通 二〇六

覚〔去辰冬取かへ金受取〕 安政四年閏五月晦日 桑名屋善兵衛ハ御村方

一通 二〇六

乍恐御達申上候御事〔鳴海村枝郷前之庵分文四郎儀家内妻子共欠払〕（安政四年）巳閏五月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名ハ鳴海御陣屋

二丁 五二〇

預り申請金一札之事 安政四年閏五月 鳴海村惣年寄下郷次郎太ハ要講御帳元大黒屋利兵衛殿

二丁 五二三

質流讓渡申家屋敷之事	安政四年六月	讓主前之庵清吉他一名	二丁	一七六	(安政四年)已七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	二丁	五九
〆作組御町内中					乍恐奉願上候御事(鳴海宿村六役名前書上)	二丁	五九
乍恐奉願上候御事(普請願)	(安政四年)已六月	鳴海村庄屋下郷保之助他一名	二丁	五三	月 鳴海宿村惣年寄下郷次郎太他一名	二丁	五〇
郷保之助他一名	鳴海御陣屋				乍恐奉願上候御事(相原村持分扇川通堤普請之儀)	二丁	五〇
(水火災之節取調書付雛形)	(安政四年)六月	寺社奉行所	二丁	五六	年)已七月 鳴海村庄屋下郷保之助他四名	二丁	五二
借用申金子之支	安政四年七月	組頭惣代與之八他六名	二丁	二〇五	乍恐御達申上候御事(鳴海宿村六役名前書上)	二丁	五二
借用申金子之事	安政四年七月	米屋嘉兵衛殿	二丁	二〇五	七月 鳴海宿村惣年寄下郷次郎太他一名	二丁	五三
借用申金子之事	(山方砂留御普請人足代)	安政四年七月	二丁	二〇六	郷保之助他一名	二丁	五三
屋下郷保之助他四名	下郷幾久三郎殿				覚(拾得物屋)	二丁	三七
乍恐奉願上候御事(当村藤川堤御普請所之儀)	(安政四年)已七月	鳴海村庄屋弥兵衛御普請方御役所	二丁	六〇	カ) 乍恐御達申上候御事(当村八幡宮例祭之儀)	二丁	五三
乍恐御達奉申上候御事(欠払候文四郎儀、行方相分り不申候)	(安政四年)已七月	鳴海村庄屋弥兵衛御陣屋	二丁	六二	月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名	二丁	五三
乍恐奉願上候御事(藤川通堤等普請願)	(安政四年)已七月	鳴海村庄屋弥兵衛御普請方御役所	二丁	六三	乍恐御達申上候御事(当村田方・畑方共昨夜之強風ニ而吹倒)	二丁	六四
鳴海村庄屋弥兵衛御普請方御役所					(安政四年)已八月 鳴海村庄屋加藤平左衛門他二名	二丁	六四
乍恐御達申上候御事(当廿二日出水ニ而藤川通堤ニ生立候小松七本伐取)	(安政四年)已七月	鳴海村庄屋弥兵衛御普請方御役所	二丁	六三	御陣屋	二丁	六五
〔往還並村枯松代、御普請方役所江上納〕	(安政四年)七月廿二日	鳴海村御普請方	二丁	五四	乍恐御尋ニ付御達申上候御事(当村如意寺地藏菩薩堂前おゐて執行候歩鉢之儀)	二丁	六五
〔寺社奉行衆よりの触写〕	(安政四年)七月廿六日	吉(田)助次郎	二丁	五五	他一名	二丁	六六
乍恐御達申上候御事(当村諏訪大明神例祭之儀)	(安政四年)已七月	鳴海村庄屋弥兵衛御陣屋	二丁	五七	乍恐奉願上候御事(猪狩捕方)	二丁	六六
乍恐奉願上候御事(猪、田畑作物等食荒候ニ付、退治願)					下郷弥兵衛他一名	二丁	六七



兵衛ノ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔名古屋永安寺町萬屋和七ノ預り置申候質物一条〕（安政四年）巳九月 鳴海村庄屋代与頭丹六ノ鳴海御陣屋 一丁 六七九

乍恐御達申上候御事〔当村浅間堂神事之儀〕（安政四年）巳九月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 六八〇

乍恐御達奉申上候御事〔盜難届〕（安政四年）巳九月 鳴海村又四郎ノ鳴海御陣屋 一丁 六八一

乍恐奉願上候御事〔当村持分御山之内百姓自分扣定納山ニ而松木透伐枝下シ仕度〕（安政四年）巳九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ御林方御陣屋 一丁 六八二

讓渡申田地之事〔下郷金右衛門分〕 安政四年十月 庄屋下郷保之助他六名ノ山花町文吉殿 一丁 六八五

差上申濟口証文之事〔千代〔倉〕屋又九郎母之法儀〕 安政四年十月 出願人ミツ他十一名ノ庄屋御衆中様 四丁 一七〇四

書簡〔御囲米五拾石、いづれニも六斗壹升五合ならては御弘難成〕（安政四年）十月廿四日 神谷市左衛門ノ柏木弥兵衛様 一通 六八三

覚〔御蔵米五拾石、相場ニ而当節御払〕（安政四年）巳十月 鳴海村文吉ノ鳴海御陣屋 一丁 六八四

預申頼母子金子之事 安政四年十月 金子預り主久野清吉他二名ノ青山氏頼母子御陣中 一丁 二〇五〇

覚〔御蔵米壹石御払〕（安政四年）巳十月 鳴海村助蔵ノ鳴海御陣屋 一丁 六八六

乍恐御達申上候御事〔御囲米五拾壹石御払方〕（安政四年）巳十月 鳴海村庄屋弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 六八七

乍恐奉願上候御事〔当年之儀虫付ニ而実入悪敷〕（安政四年） 一丁 六八八

巳十月 鳴海村庄屋下郷保之助他五名ノ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔当村御年貢米之儀〕（安政四年）巳十月 鳴海村庄屋下郷保之助他三名ノ鳴海御陣屋 一丁 六八九

乍恐奉願上候御事〔当御陣屋御囲米之儀〕（安政四年）巳十月 鳴海村嘉兵衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 六九〇

乍恐御達申上候御事〔当御陣屋御囲米之儀〕（安政四年）巳十月 鳴海村庄屋弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 六九一

乍恐御内々奉歎願候御事〔私本家下郷次郎太扣地所不取散様御締筋〕（安政四年）巳十月 下郷次郎太親類鳴海村庄屋弥兵衛ノ御小納戸御役所 七丁 二五三

乍恐奉願上候御事〔当村御年貢米之儀〕（安政四年）巳十月 鳴海村庄屋良之助他五名ノ鳴海御陣屋 二丁 二〇五六

御払居一条ニ付諸入用割賦（安政四年） 一丁 六八八

乍恐御達奉申上候御事〔永安寺町万屋和七質物一条之儀〕（安政四年）巳十月 鳴海村前之庵分源兵衛他三名ノ鳴海御陣屋 二丁 六八九

覚〔御蔵米五拾石御払〕（安政四年）午十月 鳴海村米屋嘉兵衛ノ鳴海御陣屋 二丁 七〇〇

〔其村雨池以相渡候間手伝銀持、可罷出候〕（安政四年）十月十日 以方役所ノ鳴海村庄屋 一丁 六九二

差出申御請書之事〔御陣屋御囲古納米五拾壹石〕（安政四年）巳十月廿五日 米屋甚兵衛ノ（鳴海御陣屋宛カ） 一丁 七〇一

巳年御払居米代金請取之扣（安政四年）十月廿八日 覚〔御払居米代請取〕（安政四年）十一月十一日 片岡喜平治ノ吉田助次郎殿 二丁 七〇二

覚〔御追放者男老入、当宿東端ニ而御払〕（安政四年）巳十一 一丁 七〇三

月十三日 鳴海村庄屋弥兵衛、松本八太郎様他一名

覚〔秋葉大権現御祭礼御供米料致宿附候〕（安政四年）巳十一月十六日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛代為藏、圓通寺御役寮

二丁 六四

乍恐御達申上候御事〔当村瑞泉寺境内秋葉権現ニおゐて、神楽代奏、挑灯相捧申度〕（安政四年）巳十一月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名、鳴海御陣屋

一丁 五三

送り状之事〔伊勢江玄米等積送り〕（安政四年）巳十一月十六日 尾州鳴海宿ニ而松田敷馬、尾州宮宿桔梗屋喜七殿他二名

一丁 七〇

覚〔去辰年陣屋御困米五拾石御払代上納請取〕（安政四年）巳十一月廿日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋

一丁 六九

十一月廿八日御払居米代金取立上納（安政四年）十一月廿八日

五丁 五二

乍恐奉差上候御請書之事〔当村下郷次郎太儀借財多出来、風聞有之ニ付、夫々取調申候〕 安政四年十一月 鳴海村庄屋下郷保之助他十七名、鳴海御陣屋

三丁 六七

乍恐奉願上候御事〔格別之御操合ヲ以御金三百兩 来年暮迄拝借〕（安政四年）巳十一月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名、鳴海御陣屋

三丁 六五

覚〔御膳米料神納〕（安政四年）巳十一月 圓通寺知事、矢口村世話方治郎兵衛

一通 六三

乍恐奉願上候御事〔悪米ニ而酒造米等ニ相成不申、式百石之儀、御藏納被成下候様〕（安政四年）巳十一月 鳴海村庄屋下郷保之助他五名、鳴海御陣屋

二丁 五四

乍恐奉願上候御事〔傳兵衛、日雇稼渡世 四拾人程之肝煎被為仰付被下置候様〕（安政四年）巳十一月（鳴海村庄屋弥兵衛）鳴海御陣屋

二丁 五三

乍恐御達申上候御事〔御普請所之儀〕（安政四年）巳十一月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋

一丁 六六

村検見見競覚（安政四年）巳十一月 鳴海村惣年寄・庄屋

三丁 六八

安政四巳年御物成廣井於御藏請取通 安政四年十二月三日 鳴海方代野村司馬三 付、封筒

一通 三六

覚〔玄米四俵等相渡可申候〕（安政四年）巳十二月四日 尾州御定宿・東海道宮宿桔梗屋喜七、鳴海御庄屋下郷弥兵衛様

一丁 六九

覚〔当村、伊勢江奉納御初穂米〕（安政四年）巳十二月四日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛、熱田宿桔梗屋喜七殿

一丁 七六

覚〔御陣屋借用金受取〕（安政四年）巳十二月十日 庄屋惣代金三郎他一名、下郷幾久太郎殿

一丁 七〇

覚〔御払居米代等受取〕（安政四年）巳十二月十日 下郷幾久三郎

一丁 七七

覚〔巳年御年貢金銀請取〕（安政四年）巳十二月十一日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋五

一通 五四

覚〔去辰年村々置米払残之分上納請取〕 安政四年十二月廿日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋

一通 七三

〔明廿一日朝五半時当人可罷出候〕（安政四年）十二月廿日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋

一丁 七三

差出申書付之事〔用水溝敷地米〕 安政四年十二月 下郷弥兵衛、中井源七殿

一丁 二〇五

拝借仕金子之事〔村方普請要用ニ付拝借〕 安政四年十二月 鳴海村拝借主下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋 付、覚

一丁 二〇三

乍恐以書付御請書奉差上候御事〔馬役之者相統筋候付調達金〕 安政四年十二月 金子預り惣代鳴海村下郷善右衛門他一名

一丁 二〇四

鳴海御陣屋

借用申金子之事 安政四年十二月 借主水谷万助他三名、有松村

七右衛門殿御取次

一丁 二〇五

覚(御蔵米上納) (安政四年)已十二月 鳴海村庄屋弥兵衛、御陣

屋

一丁 五五

覚(已年当村御年貢米之内船積上納分請取) (安政四年)已十

二月 鳴海村庄屋弥兵衛、廣井御蔵御役所

一丁 五三六

乍恐御達申上候御事(御蔵納上納) (安政四年)已十二月 鳴海

村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋

一丁 五三七

(御家中之輩俟約之触) (安政四年)十二月 寺社奉行所

三丁 五四〇

借用申金子之事(金子致借用、御年貢御皆済仕候) 安政四

年十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他十一名、服部卯八郎殿他八

三丁 七〇四

(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請申上、依之忤錄

太郎身分江付苗字帯刀差免候) (安政四年)十二月 (地方御

一丁 七〇五

勘定奉行衆)愛知郡鳴海村惣年寄海岸守裁許役下郷次郎太

拝借仕金子之事 安政四年十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他十

一名、鳴海御陣屋

二丁 七〇六

(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請、依之一

代切宗門自分一札差免候、苗字帯刀共一代切) (安政四

一丁 七〇七

年)十二月 (地方御勘定奉行衆)愛知郡鳴海村六役庄屋宿村締

役下郷保之助

乍恐御達申上候御事(苗字御免) (安政四年)已十二月 鳴海村

下郷弥兵衛、鳴海御陣屋

一丁 五三六

明和四亥年・安永八亥年拝借金返納取集一条 (安政四年)已

十二月

二丁 七〇八

(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請、依之一

一丁 七〇九

代切帶刀宗門自分一札差免候) (安政四年)十二月 (地方御

勘定奉行衆)愛知郡鳴海村問屋締役庄屋海岸守裁許役加藤平左

衛門

(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請、依之一

一丁 七一〇

代切帶刀宗門自分一札差免候) (安政四年)十二月 (地方御

勘定奉行衆)愛知郡鳴海村年寄下郷四郎兵衛

(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請、依之一

二丁 七一一

代切苗字差免候) (安政四年)十二月 (地方御勘定奉行衆)愛

知郡鳴海村年寄庄屋海岸守裁許方添役弥兵衛

(枇杷池井領米之儀) (安政四年)十二月晦日 大高村庄屋、鳴

海村御庄屋御衆中

一丁 七一二

覚(已年村方御年貢米之内船積、廣井御蔵江相廻申候)

(安政四年)已十二月 鳴海村庄屋弥兵衛、堀川船御番所

一丁 七一四

乍恐御達申上候御事(已年当村御年貢米船積、廣御蔵江相

廻申候) (安政四年)十二月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋

一丁 七一五

(御勝手向必至御差支ニ付、一同御借財引請、依之玄孫代

迄五代熨斗目着用差免候) (安政四年)十二月 (地方勘定取

一丁 七一六

役衆)下郷善右衛門

借用申金子之事 安政四年十二月 借主仁左衛門他一名、長

三郎殿御取次

一丁 七一九

覚(去々寅年伝馬新田積金去辰十二月迄元利金) (安政四年)

已十二月 金子預り惣代鳴海村下郷善右衛門他一名、鳴海御陣屋

一丁 七二〇

乍恐奉願上候御事(当村御年貢御皆済筋江付、下郷善右衛

門初、金貳百五拾兩借用) (安政四年)已十二月 鳴海村惣

一丁 七二二

年寄惣代下郷幾久郎他二名、鳴海御陣屋

覚〔当巳年村方御年貢米船積上納〕（安政四年）巳十二月 鳴 一丁 七三  
海村庄屋弥兵衛〆廣井御蔵ニ而鳴海方御役人衆様

覚〔当村御年貢米廣井御蔵江積届〕（安政四年）巳十二月 鳴海 一丁 七三  
村庄屋代太左衛門〆堀川船御番所

乍恐奉願上候御事〔去巳年御年貢御皆済筋江付、下郷善右 一丁 七四  
衛門初〆金貳百五拾兩借用〕（安政四年）巳十二月 鳴海村

惣年寄惣代下郷次郎太他二名〆鳴海御陣屋

火消人別（安政四年カ）巳年 貳拾九人 一丁 二四八

覚〔当巳米納入用受取〕（安政四年カ）蔵方物代平長兵衛〆下 一丁 七三  
郷弥兵衛様

組頭役割（安政四年カ） 二丁 五四

安政五年御用留頭書 安政五年 鳴海村 一三丁 一七五  
〔朱筆〕「一」百

〔手越六条砂入絵図面扣〕 安政五年二月 愛知郡鳴海 二枚・一丁 一七〇  
村扣

覚〔納米相渡〕（安政五年カ）三月十一日 米屋嘉兵衛〆柏木氏 一通 七五〇

山屋敷御願申上候場所図面〔鳴海村持御林字篠之風〕 安政 一丁 五五

五年三月 鳴海村

山屋敷御願申上候場所図面〔鳴海村定納山字大形山〕 安政 一丁 五六

五年三月 鳴海村

山屋敷御願申上候場所図面〔鳴海村持御林字諸木〕 安政五 一丁 五七

年三月 鳴海村

山屋敷御願申上候場所図面〔鳴海村持御林字鍋山〕 安政五 一丁 五八

年三月 鳴海村

御状写〔其村山屋敷証文相渡候間、庄屋・組頭、当陣屋江 一丁 五三

可罷出候〕（安政五年）四月廿六日 御林方〔陣屋〕〆鳴海村庄屋

山屋敷御証文写〔愛知郡鳴海村定納山之内山屋敷之事〕 安 二丁 五九

政五年四月 水権平〆右〔鳴海〕村庄屋

山屋敷御証文写〔愛知郡鳴海村御林定納山之内屋敷之事〕 二丁 五四

安政五年四月 水権平〆右〔鳴海〕村庄屋

〔山屋敷御願申上候場所図面・下郷次郎太扣定納山〕（安政 一丁 四〇〇

五年四月）鳴海村

〔山屋敷御願申上候場所図面・下郷次郎太扣定納山〕（安政 一丁 五二

五年四月）鳴海村

〔山屋敷御願申上候場所図面・下郷次郎太扣定納山〕（安政 一丁 五二

五年四月）鳴海村

牛毛荒井村江渡ス分（年代未詳） 二丁 五二

乍恐奉願上候御事〔扇川通相原村堤〆下中嶋橋迄普請願〕 一丁 五二

〔安政五年〕午四月 鳴海村庄屋下郷保之介他四名〆鳴海御陣屋

〔朱筆〕「百三十九」

乍恐奉願上候御事〔扇川通砂浚普請〕（安政五年）午四月 鳴 二丁 一七六

海村庄屋下郷保之介他四名〆鳴海御陣屋 〔朱筆〕「百三十八」

讓渡申數畑之事 安政五年五月 讓主下郷四郎兵衛他一名〆根組 一丁 七元

町内御衆中 〔朱筆〕「五十四」

覚〔知多郡岡田村安十入檻中諸入用、番人和吉江相渡申候〕 一丁 五三

〔安政五年〕午五月十四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋

〔朱筆〕「百四十一」

書簡控〔当村文吉〆御村方惣十江拘り候出入一条〕（安政五 三丁 一七九

年）五月廿一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名〆小山村庄屋加藤

喜三郎様

定式御普請所仕様書写 鳴海村 〔安政五年〕午五月 御懸り 一丁 五四

青山祐四郎様他一名

〔昨十七日夕八ツ時過異国船老艘横浜村冲合江碇泊〕（安政五年）六月十八日 程ヶ谷宿間屋清太夫 （朱筆）「七十六」 二丁 一七〇

覚〔無宿盜賊徳太郎初入檻中支度代、番人和吉江相渡候〕（安政五年）午六月廿四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 五五五

覚〔知多郡岩滑村次郎吉入檻中諸入用、番人和吉江相渡申候〕（安政五年）午六月廿七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 五五六

乍恐御達申上候御事〔扇川通定式御普請所之儀〕（安政五年）午六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 五五七

覚〔破牢いたし逃去候大野村無宿盜賊丈之助初骨折搦捕候付、番人江褒美相渡申候〕（安政五年）午六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 五五八

御尋ニ付御達申上候御事〔鳴海村天白川内午新田添ニ有之候墓所御尋ニ付取調〕（安政五年）午六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 五五九

覚〔新雨池以雀共入用〕（安政五年）午六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 五六〇

〔新雨池自普請〕（安政五年）〔御勘定奉行衆〕ゝ鳴海村庄屋・組頭・頭百姓 一通 五六一

質流相渡申居宅之事 安政五年七月 家宅讓主兵三郎他二名ゝ坂野濱次郎殿 二丁 五六二

為取替置一札之事〔拙者亡夫同姓儀八郎ゝ貴殿江前々取替金数口有之〕 安政五年七月 同姓儀八郎倅坂野濱次郎ゝ兵三郎殿 二丁 五六三

為取替置一札之事〔貴殿御亡父御同姓儀八郎殿ゝ前々御恩 二丁 五六三

借金数口有之〕 安政五年七月 当人兵三郎他二名ゝ坂野濱次郎殿

乍恐御達旁奉願上候御事〔坂野濱次郎亡父同姓義八郎ゝ兵三郎江懸り候金談出入一条〕（安政五年）午七月 訴詔人坂野義八郎倅坂野濱次郎・相手方兵三郎他三名ゝ鳴海御陣屋 二丁 一七二

差出申書付之事〔次兵衛儀升右衛門抱奉公人大吉連出候一条〕 安政五年七月 本組嘉兵衛他二名ゝ宛名未詳 一丁 二〇四

覚〔黒米搗代等〕（安政五年）午七月八日 締方ゝ御村方庄屋衆中様 一通 七三

覚〔御蔵米〕（安政五年）午七月十四日 米屋締方ゝ庄屋衆中様 一丁 七三

覚〔納米金〕（安政五年）午七月十八日 米屋締方ゝ御庄屋衆中様 一丁 七四

乍恐御達申上候御事〔田方之儀大痛相成、畑方之儀も同様大損ニ相成〕（安政五年）午七月 鳴海村庄屋下郷保之助他四名ゝ鳴海御陣屋 一丁 五五〇

差出申一札之事〔御林山御締筋之儀ニ付〕 安政五年八月 平手新田庄屋清兵衛他一名ゝ鳴海村御庄屋中・御組頭中 二丁 一七五

乍恐御達申上候御事〔御林山御締筋之儀ニ付規定〕 安政五年八月 鳴海村与頭太兵衛他十名 （朱筆）「百四十二」 二丁 一七六

覚〔寺中取調候処施物等無御座候〕 安政五年八月 圓明寺 一丁 二三五

覚〔去ル卯年大風出水等ニ付施物等無御座候〕 安政五年八月 東福院 一丁 七四

御達申上候御事〔去卯年大風雨之節施物等之儀者差出シ不申候〕（安政五年）午八月 鳴海村神明社人菊田備前 一丁 五四

覚〔去ル卯年大風雨ニ付施物一切不仕候〕（安政五年）午八月 愛知郡鳴海村誓願寺 一丁 五五





△万福寺頼母子御連中 (朱筆「百一」)

乍恐御達申上候御事〔松平肥前守様御家老鍋嶋周防様、当  
二丁 七五

駅止宿相成、金子及紛失候〕 (安政五年午十月廿四日 鳴  
海宿問屋秋之介他二名△鳴海御陣屋 (朱筆「百四」)

御差紙写〔鳴海宿問屋他召換〕 (安政五年)十一月六日 鳴海陣  
三丁 一六

屋△鳴海村庄屋 (朱筆「百五」)

乍恐御請書之事〔盜難届〕 (安政五年)午十一月 鳴海村十兵衛  
一丁 五九

△鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔当村御年貢米船積廣井御蔵江相廻申  
一丁 七五

候〕 (安政五年)午十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛△鳴海御陣屋

覚〔当村御年貢米廣井御蔵江積届〕 (安政五年)午十一月 鳴海  
一丁 七五

村庄屋下郷弥兵衛△堀川船御番所

乍恐御達申上候御事〔当村御年貢船積、廣井御蔵江相廻申  
三丁 七五

候〕 (安政五年)午十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛△鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔当村御年貢船積、廣井御蔵江相廻申  
一枚 七五

候〕 (安政五年)午十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛△鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔旧冬御年貢御皆済筋江付、拝借金奉願  
二丁 七〇

上候処、残金之儀ハ今迄ケ年御年延被成下置様〕 (安政五  
年)午十一月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名△鳴海御陣屋

(朱筆「百九」)

覚〔人馬賃銭刎銭利金請取〕 安政五年十一月 鳴海陣屋△鳴海  
一丁 二〇五

村庄屋 (朱筆「百十九」)

拝借仕金子之事 安政五年十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他十  
二丁 一七五

一名△鳴海御陣屋

借用申金子之事 安政五年十二月 与頭惣代与之八他十一名△下  
三丁 一七五

郷善右衛門殿他八名

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (安政五年)午十二月朔日 鳴海  
一丁 一七三

村新三郎△鳴海御陣屋 (朱筆「百三十一」)

請取申午年間屋料米之事 安政五年十二月 鳴海宿問屋秋之介  
一丁 二〇三

他四名△今川要作様 (朱筆「百三十五」)

請取申御伝馬人足御継飛脚米之事 安政五年十二月 鳴海宿  
一丁 二〇四

問屋秋之介他五名△今川要作様

覚〔村方御年貢米上納〕 (安政五年)午十二月 鳴海村庄屋下郷  
一丁 七六

弥兵衛△廣井御蔵ニ而鳴海方御役人衆様

覚〔当村御年貢米之内廿八石五斗積戻〕 (安政五年)午十二月  
一丁 七三

鳴海村庄屋下郷弥兵衛△堀川船御番所

〔京都△江戸表迄御差下囚人・御差添京都町御奉行所御与  
二丁 一七三

力・御同心御通行ニ付先触〕 (安政五年)午十二月 鳴海宿  
問屋平右衛門△鳴海御陣屋 (朱筆「百三十六」)

覚〔宿内締筋ニ付被仰渡候ケ條書請書〕 (安政五年)力  
一丁 五六〇

乍恐御達奉申上候御事〔盜難届〕 (安政五年)力 (朱筆「五十五」)

乍恐御達申上候御事〔安政式卯秋大水高汐江付施物之品々  
二丁 一七四

御改〕 (安政五年)力

〔松伐取願断簡〕 (安政五年)力 (鳴海)惣年寄下郷次郎太他十名  
三丁 一八〇

△御林方御陣屋□付、仮表紙

万 延

乍恐御達申上候御事〔当村枝郷前之庵与頭源七儀退役〕 (万  
一丁 一六八

延元年)申三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛△鳴海御陣屋

〔酒他所積之儀ニ付触〕 (万延元年)十二月十八日 三喜右衛  
三丁 一七六

門△別紙村々庄屋

文久

〔綿油他所差留之触〕（文久元年カ）二月十八日 鳴海陣屋 別紙村々庄屋	一丁	八六〇
乍恐御達申上候御事〔鳴海宿嘉兵衛娘きぬ他二名、名古屋御救小屋ニ罷在候〕（文久元年）五月廿七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋	一丁	八六三
〔御城下江養子又ハ懸リ人相成居候者共人数名前取調可申達候〕（文久元年）六月	一丁	八六三
乍恐御達申上候御事〔当村諏訪社祭礼ニ付、挑灯差遣、湯立神楽捧申度〕（文久元年）西七月廿五日 鳴海村下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋	一丁	八六四
乍恐御達申上候御事〔大風雨ニ而損所并倒木出来仕候ニ付、御見分之上御普請仕度〕（文久元年）西八月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆往還方御役所	一丁	八六五
質流永代讓渡家屋敷土蔵裏座敷之事 文久二年四月 譲リ主丸屋助九郎他二名〆成田又九郎殿御取次	二丁	八六六
讓渡申敷地米之事 文久二年五月 譲リ主小組甚吉他一名〆坂野三右衛門殿御取次（朱筆）「一印」「二印」	三丁	一八六六
〔若年寄平岡丹波守殿明十日鳴海通行之筈候間、作法克非礼之儀無之、無手拔様可相心得候〕（文久二年）八月九日 金（森）五郎兵衛〆鳴海村他四ヶ村庄屋	一丁	八六六
乍恐奉願上候御事〔私代之通卯一郎江年頭御目見被為仰付、宗門自分一札帯刀苗字共御免被成下置候様〕（文久二年）戊閏八月 鳴海村〔御勘定所油御用達〕服部卯八郎〆鳴海御陣屋	二丁	一四九
乍恐奉願上候御事〔御上洛ニ付、手越川通り浚御普請〕（文	一丁	八六六

久二年 戊九月 鳴海村庄屋下郷鐙太郎他二名〆鳴海御陣屋

乍恐御請申上候御事〔御上洛御用ニ付、飼葉・大豆・草鞋・馬沓・縄、村内ニ囲置〕（文久二年）戊十月 鳴海村庄屋惣代下郷次郎左衛門他一名〆鳴海御陣屋

乍恐御請申上候御事〔養父勝藏跡相統一件〕（文久二年）戊十一月 鳴海村前之庵分勝四郎他九名〆鳴海御陣屋

乍恐御尋ニ付以書付奉申上候御事〔下郷次郎八方へ殿様御成之節諸費用〕（文久二年）

覚〔守刀等紛失届〕（文久三年）正月三日 白金御附役御触書之写〔別紙之趣其村々修驗江不洩様可申通辞候〕（文久三年）正月十六日 半小兵衛〆別紙村々庄屋

乍恐御達申上候御事〔当村氏神八幡宮託宣ニ付、氏子中〆挑灯相捧申度〕（文久三年）亥正月十七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名〆鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔上有知御支配所おいて楮木苗植付方之儀〕（文久三年）亥正月 愛知郡鳴海村庄屋加藤平左衛門他一名〆鳴海御陣屋

乍恐御請書奉差上候御事〔当村下郷善右衛門〆質商完讓請之儀〕（文久三年）亥正月 鳴海村周右衛門〆鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔質屋職、当村周右衛門江讓渡申度〕（文久三年）亥正月 鳴海村下郷善右衛門〆鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔質屋職此度私江讓受〕（文久三年）亥正月 鳴海村周右衛門〆鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔有増地直出来ニ付、御年貢可相勘筈〕（文久三年）亥正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔御普請所之儀〕（文久三年）亥正月 鳴

乍恐御達申上候御事〔御上洛ニ付、手越川通り浚御普請〕（文	一丁	八六六
乍恐御達申上候御事〔御上洛御用ニ付、飼葉・大豆・草鞋・馬沓・縄、村内ニ囲置〕（文久二年）戊十月 鳴海村庄屋惣代下郷次郎左衛門他一名〆鳴海御陣屋	五丁	一四三〇
乍恐御達申上候御事〔養父勝藏跡相統一件〕（文久二年）戊十一月 鳴海村前之庵分勝四郎他九名〆鳴海御陣屋	一四丁	一七九
乍恐御尋ニ付以書付奉申上候御事〔下郷次郎八方へ殿様御成之節諸費用〕（文久二年）	一丁	一〇六
覚〔守刀等紛失届〕（文久三年）正月三日 白金御附役御触書之写〔別紙之趣其村々修驗江不洩様可申通辞候〕（文久三年）正月十六日 半小兵衛〆別紙村々庄屋	二丁	一八元
乍恐御達申上候御事〔当村氏神八幡宮託宣ニ付、氏子中〆挑灯相捧申度〕（文久三年）亥正月十七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名〆鳴海御陣屋	三丁	八七四
乍恐御達申上候御事〔上有知御支配所おいて楮木苗植付方之儀〕（文久三年）亥正月 愛知郡鳴海村庄屋加藤平左衛門他一名〆鳴海御陣屋	一丁	七六七
乍恐御請書奉差上候御事〔当村下郷善右衛門〆質商完讓請之儀〕（文久三年）亥正月 鳴海村周右衛門〆鳴海御陣屋	一丁	七六六
乍恐奉願上候御事〔質屋職、当村周右衛門江讓渡申度〕（文久三年）亥正月 鳴海村下郷善右衛門〆鳴海御陣屋	一丁	七六三
乍恐奉願上候御事〔質屋職此度私江讓受〕（文久三年）亥正月 鳴海村周右衛門〆鳴海御陣屋	一丁	七七三
乍恐御達申上候御事〔有増地直出来ニ付、御年貢可相勘筈〕（文久三年）亥正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋	一丁	七六四
乍恐御達申上候御事〔御普請所之儀〕（文久三年）亥正月 鳴	一丁	七六五

海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

〔作組他所稼改〕 (文久三年)亥正月 作(組)傳七々庄屋衆様 一丁 七二

借用申金子之事〔出作戌新田夫銀上納方江付借用〕 文久三年 一丁 八二

二月 庄屋惣代下郷弥兵衛他一名久野為吉殿

〔御上洛ニ付、東海道筋鳴海宿地内往還以樋御普請之儀、宿 五丁 一五七

請ニ被仰付〕 文久三年二月 尾州御領尾州愛知郡鳴海宿庄屋

下郷金三郎他二名御普請御懸御役人中様

質流讓渡申証文之事 文久三年二月 讓主作川徳右衛門他一名 一丁 八三

中井源七郎殿

御請書之事〔当出生宗門名前之者・鳴海村文吉悱惣吉〕 文 一丁 一七〇

久三年二月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛御作事御役所

覚〔高木作十郎様御廻村ニ付、御中食文度代請取〕 (文久三 一丁 八六

年)亥二月廿七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

乍恐御達申上候御事(四人之者欠払候儀) (文久三年)亥二月 一丁 七三

右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

覚〔他所稼〕 (文久三年)亥二月 前組理太郎庄屋御衆中様 一丁 七四

他所稼無音信之部 (文久三年)亥二月 根組成田又九郎 一丁 七五

〔他所稼無音信之部〕 (文久三年)亥(二月) 相ノ太左衛門下 一丁 七六

郷弥兵衛様

他所稼 (文久三年)亥二月 吉組与之八々御庄屋中様 一丁 七七

他所稼 (文久三年)亥二月 根組成田又九郎 一丁 七八

覚〔他所稼〕 (文久三年)亥二月 下組吉右衛門当番庄屋御衆中 一丁 七九

様

覚〔他所稼〕 (文久三年)亥二月 平組長兵衛当番御庄屋御衆中 一丁 八〇

様

他所稼者書上覚 (文久三年)亥二月 本組 二丁 八六

御触写〔此程中異国船数艘横濱沖江碇泊致し品々申出候 一丁 八〇

趣茂有之、火急ニ市中騒立候儀等無之様〕 (文久三年)三 月五日

乍恐御達申上候御事〔当村如意寺境内金毘羅神前おゐて、 一丁 八二

挑灯相捧申度〕 (文久三年)亥三月十日 鳴海庄屋下郷弥兵衛

他一名鳴海御陣屋

〔異国船近海江渡来いたし候ニ付触〕 (文久三年)三月十三日 一丁 八二

鳴海陣屋別紙村々庄屋

〔御家中并在町おゐて硝石製造いたし、他所江壳捌候儀、 一丁 八三

堅不相成候〕 (文久三年)三月十七日 鳴海陣屋別紙村々

庄屋

乍恐御請書之事〔横須賀村彦吉より私江讓請候御鑑札御添 一丁 八三

書共御渡〕 (文久三年) 鳴海村市藏鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔海岸守裁許役等之儀御免願〕 (文久三年) 三丁 八三

亥三月 鳴海惣年寄下郷次郎太他十一名鳴海御陣屋

〔鳴海村下郷弥兵衛、海岸守裁許役申付候〕 (文久三年)三月 一丁 八三

〔鳴海村下郷次郎太、海岸守裁許役退役申付候〕 (文久三年) 一丁 八四

三月

乍恐御達申上候〔当村新四郎娘とく初四人之者共行衛不相 一丁 八五

分候〕 (文久三年)亥三月 鳴海庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔鳴海村甚兵衛他二名、大御代官御文 一丁 八七

配下より糠買候儀ニ付御吟味有之〕 (文久三年)亥三月 右

(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

御尋ニ付御達申上候御事〔米相場〕 (文久三年)亥三月 鳴海 一丁 八九

村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

〔別紙之通支配所江相触候様、寺社奉行衆・御勘定奉行衆被申間候〕（文久三年三月） 鳴海陣屋より別紙村々庄屋 一丁 八五

乍恐御達申上候御事〔当村下組分組頭太右衛門跡役〕 文久三年四月三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋 二丁 八六

覚〔鳴海村儀兵衛懸り人甚助入檻中諸入用、番人和吉江相渡申候〕（文久三年）亥四月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛より鳴海御陣屋 一丁 八八

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（文久三年）亥四月九日 鳴海村太吉より鳴海御陣屋 二丁 八四

御尋ニ付乍恐御答奉申上候御事〔盜難届〕（文久三年）亥四月十五日 鳴海村平部町太吉より鳴海御陣屋 二丁 八五

乍恐御請書之事〔私被盜品々、被返下難有奉請取候〕（文久三年）亥四月 鳴海村太吉より鳴海御陣屋 二丁 八六

相渡申置候一札之事〔当月より其元江家屋敷貸渡〕 文久三年四月 成田又九郎より丸屋助九郎殿 一丁 八七

水野和泉守殿より御城附江被相渡候書付写〔攘夷之儀〕（文久三年）四月 一丁 九〇

村絵図御用御触之写・愛知郡鳴海村図解 文久三年五月 右 五丁 一四三

（鳴海）村庄屋下郷録太郎他六名 文久三亥年鳴海人数竈数覚 文久三年五月 四丁 一五〇

覚〔知多郡緒川村清三郎入檻中諸入用、番人和吉江相渡申候〕（文久三年）亥五月三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛より鳴海御陣屋 一丁 九九

御書付写〔去申年已来窮民共江施物取斗奇特之事候、仍之忤録太郎身分江付、宗門一札差免候〕（文久三年）五月九日（地方御勘定奉行衆）より愛知郡鳴海村下郷次郎太 一丁 九一

〔別紙之通支配所江相触旨、淡路守殿被仰渡候条〕（文久三年）五月廿一日 鳴海陣屋より別紙村々庄屋 一丁 七三

〔龍川甚十郎殿、今日御普請奉行被仰付候〕（文久三年）五月廿四日 往還方より別紙宿村問屋・庄屋 一丁 七三

書簡控〔蒙御内命候人撰方申上候儀〕（文久三年）五月廿八日 下郷弥兵衛より中根八郎様 一丁 七七

〔忤佐左衛門他三名入別撰方之儀〕（文久三年）亥五月 鳴海村惣代役下郷弥兵衛 一丁 七五

覚〔兼而蒙御内命候人別撰方之儀〕（文久三年）亥五月 鳴海村惣代役下郷弥兵衛 二丁 八三

乍恐奉願上候御事〔酒造江戸積下商売筋江付、彼地江罷下申度〕（文久三年）亥五月 鳴海村寺嶋嘉平より鳴海御陣屋 一丁 九六

覚〔御蔵入百姓持高〕（文久三年）亥五月 植田村庄屋弥六より郷弥兵衛様 一丁 八九

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（文久三年）亥五月 鳴海村傳兵衛より鳴海御陣屋 二丁 八四

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（文久三年）亥五月 鳴海村初蔵より鳴海御陣屋 二丁 八五

乍恐奉歎願候御事〔当作柄之儀存外之違作〕（文久三年）亥五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛より下村鉄蔵様他一名 三丁 八六

愛知郡鳴海村源八尋判帳難形 文久三年六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名 一丁 八三

往来送一札〔鳴海宿百姓林左衛門病氣ニ付、上州草津為入湯、今般国元出立〕 文久三年六月 尾州御領・尾州鳴海宿惣庄屋下郷弥兵衛他一名より国々御関所御役人衆中様・宿村御役人衆中様 一丁 八一



乍恐御達申上候御事〔当村林左衛門病氣ニ付、上州草津江  
為湯治相越申度〕（文久三年）亥六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛  
他一名々鳴海御陣屋 一丁 八三

借用申金子之事 文久三年六月 金子借用主永井松右衛門他一名 一丁 九四

々荒木屋良助殿御取次

借用申金子之事 文久三年六月 金子借用主永井松右衛門他一名 一丁 九五

々荒木屋良助殿御取次

〔御預ケ之鉄砲之儀、決而相試等之儀致間敷候〕（文 一枚・一通 九六

久三年）六月三日 鳴海陣屋々海岸守裁許役初鳴海・相原庄屋

〔時千代様御卒去ニ付、鳴物者今日より三日停止〕（文久三 一丁 九七

年）六月八日

〔別紙之通相触候様、寺社奉行衆・御勘定奉行衆被申間候条〕 一丁 九八

（文久三年）六月九日 半小兵衛々別紙村々庄屋

〔戸部・笠寺、天王神芦流之節、神芦迎として相越間敷候〕 一丁 九九

（文久三年）亥六月十日 半小兵衛々鳴海村他二ヶ村庄屋

書簡控（人撰之内查掛村甚兵衛儀病氣足痛）（文久三年）六月 一丁 一〇〇

十二日 下郷弥兵衛々中根八郎様

乍恐御達申上候御事〔酒造商売向要用ニ付、江戸表江罷下、 一丁 一〇一

昨日帰着〕（文久三年）亥六月廿七日 鳴海村寺嶋嘉平々鳴海

御陣屋

乍恐御達申上候御事〔当村天白川扇川両川ニ有之堤上ニ雉 一丁 一〇二

本小右衛門方物置有之処、手狭ニ付〕（文久三年）亥六月鳴

海村庄屋下郷弥兵衛々御普請方御役所

乍恐御達申上候御事〔当村如意寺境内金毘羅神前ニおゐて、 一丁 一〇四

捧焔灯神楽を奏申度〕（文久三年）亥六月 鳴海村庄屋下郷弥

兵衛他一名々鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔古手屋締役之儀当村野村善兵衛跡役、 一丁 一〇二  
与頭傳七江被仰付下置候様〕（文久三年）亥六月 鳴海村庄  
屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋

〔鳴海村服部卯八郎隠居之儀承届〕（文久三年）亥六月 一丁 一〇三

乍恐奉願上候御事〔米四拾五俵・餅米五俵、知多郡樽見村 一丁 一〇三

久蔵江売払〕（文久三年）亥六月 鳴海村清三郎々鳴海御陣屋

乍恐以書付奉申上候〔水野権平様御屋敷江罷出候一件〕（文 三丁 一〇四

久三年）亥六月 鳴海村下郷弥兵衛々鳴海御陣屋

差出申一札之事〔猿尾堤内江物置場取建ニ付一札〕 文久三 三丁 一〇六

年七月 牛毛荒井村雉本東太夫他二名々鳴海村御庄屋下郷弥兵衛

他二名

御請書〔御陣屋檻修復〕 文久三年七月 下組大工小七他一名々 一丁 一〇六

下郷弥兵衛殿他一名

〔米穀等出津留、背之者有之旨申出候ハ、早速可訴出候〕 一丁 一〇五

（文久三年）亥七月十一日 鳴海陣屋々別紙村々庄屋

〔其村々堤江出立候竹木并次高草共刈取掃除取懸り、八月 一丁 一〇三

十五日迄ニ出来堤、書付を以可申出候〕（文久三年）七月廿

六日 御普請方役所々別紙村々庄屋

覚〔男老入当宿東端ニて追放〕（文久三年）亥七月廿七日 鳴海 一丁 一〇六

村庄屋下郷弥兵衛々町御奉行所

乍恐御達申上候御事〔当村東福院儀金錢紛失〕（文久三年）亥 一通 一〇七

七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋

御達申上候事〔盜難届〕（文久三年）亥七月 鳴海村東福院々寺 一丁 一〇七

社御奉行所

乍恐御達申上候御事〔当村諏訪大明神祭礼ニ付、神祭式執 一丁 一〇八

行申度〕（文久三年）亥七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴

海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔鳴海村助左衛門他三名、米糖買入候儀二付、町奉行所江呼出〕（文久三年）亥七月 鳴海村庄屋 一丁 八三  
下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋

覚〔異国致交易候族可加天誅者也〕（文久三年）八月 浪土政所 一丁 二〇〇

讓渡申屋敷地之事（文久三年）八月 屋敷讓主村部屋三藏他一名 二丁 九〇九

ゝ久野為吉殿

亥春不時御普請所配賦（文久三年）八月 半小兵衛 二丁 九二三

借用申金子之事（文久三年）八月 庄屋惣代下郷錄太郎他二名ゝ久野為吉殿 一丁 九二五

野為吉殿

質流讓渡申田地之事（文久三年）八月 讓主相組太左衛門他二名 一丁 一四三

ゝ下郷善右衛門殿

〔正木宗兵衛儀岐阜奉行被仰付候〕（文久三年）八月七日 御普請方ゝ（鳴海村他） 一丁 八四

普請方ゝ（鳴海村他）

〔与頭中二者宿内掃除火之元入念候様〕（文久三年）八月九日 一通 八五

庄屋所ゝ下郷右衛門八殿他十一名

覚〔御蔵米〕（文久三年）亥八月九日 米屋中 一丁 九〇七

覚〔御蔵米〕（文久三年）亥八月晦日 米屋中 一丁 九〇八

乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮例祭執行仕度〕（文久三年）亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 八〇九

乍恐御達申上候御事〔改名〕（文久三年）亥八月 鳴海村良右衛門事小島長作ゝ鳴海御陣屋 一丁 九二

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（文久三年）亥八月 鳴海村中 二丁 九三

嶋町助九郎ゝ鳴海御陣屋

生所書之事〔鈴木春之丞様御百姓愛知郡部田村清左 一丁・一通 八二〇

衛門他二名）（文久三年カ

乍恐奉願上候御事〔五穀豐熟為祈念之来月朔日私共引受ニ而寄相撲為致申度〕（文久三年）亥八月 鳴海村前之庵分吉藏他三名ゝ鳴海御陣屋 一丁 八八

口演〔来ル九月朔日、当所八幡森ニおいて花角力興行仕候間、御光来之程奉待上候〕（文久三年）八月 世話人・取持・頭取・前之庵勧進元花車吉藏〔端裏書〕〔下郷弥兵衛様〕 木版一通 八九

乍恐御達申上候御事〔当村神明宮祭礼之儀神祭式執行仕度〕（文久三年）亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 八〇

乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮祭礼ニ付、挑灯相捧、湯立神楽奉し申度〕（文久三年）亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 八三

〔穢多并惣内手下之者共衣類等規制〕（文久三年）八月 乍恐奉願上候御事〔私扣字中根松木三百本拔伐仕度〕（文久三年）亥八月 鳴海村坂野三右衛門ゝ鳴海御陣屋 一丁 八三

覚〔男老入、当宿東端ニ而御追放〕（文久三年）亥八月日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛ゝ町御奉行所 一丁 九六

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（文久三年）亥八月 鳴海村市蔵ゝ鳴海御陣屋 二丁 九七

乍恐御達申上候御事〔当村手越川通不時御普請浚取懸り申度〕（文久三年）亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 九四

乍恐奉願上候御事〔扇川通御浚願〕（文久三年）亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 二丁 九八

〔静姫様御名御改、理性院様御忌日ニ付寺社奉行所より触〕（文久三年）九月三日 鳴海陣屋ゝ村々庄屋 二丁 八二

〔御陣屋銃隊人別〕（文久三年）亥九月四日 下郷弥兵衛ゝ（鳴海 一丁 八二

陣屋宛

覚〔御生魚桶老ツ、旧臘前大納言様御上国江付御出駅之節、御宿ニ相残居不申哉御尋〕（文久三年）亥九月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆御鷹方梶川勇三郎様他一名 一丁 八三

〔村々之者共願達筋等ニ付陣屋江罷出候節、郷宿にて休泊等いたし可申届候〕（文久三年）九月十三日 鳴海陣屋〆別紙村々庄屋 一丁 八三

覚〔御蔵米〕（文久三年）亥九月十七日 米屋中 一丁 八三

乍恐奉願上候御事〔当村番人和吉困窮為助成、私共引請、相撲興行為仕度〕（文久三年）亥九月 鳴海村引受人徳右衛門他一名〆鳴海御陣屋 一丁 八五

乍恐奉願上候御事〔当村番人和吉困窮ニ付為助成、私共引請、寄角力興行仕度〕（文久三年）亥九月 鳴海村引受人徳右衛門他一名〆鳴海御陣屋 一丁 八六

口上〔来ル八日鳴海浅間堂おゐて花相撲興行仕候間、御見物御来駕之程奉待上候〕（文久三年）九月 頭取宮川庄七・清見山辰三郎・君ヶ濱佐之右エ門／作町若イ者・中老・惣世話人中・惣相撲中・ナルミ勸進元和吉 木版一通 八七

乍恐奉願上候御事〔私儀農間筆墨紙蠟燭等商売仕候處、役所御用達被仰付候様〕（文久三年）亥九月 鳴海村鈔之介〆鳴海御陣屋 一丁 八四

乍恐奉願上候御事〔私所持酒造米石高式百五拾石、同村下郷次郎左衛門江譲り渡申度〕（文久三年）亥九月 鳴海〔村〕下郷善右衛門〆鳴海御陣屋 一丁 八三

乍恐奉願上候御事〔下郷善右衛門所持酒造米石高式百五拾石、私江譲り請申度〕（文久三年）亥九月 鳴海村下郷次郎左 一丁 八六

衛門〆鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔当村浅間堂神事ニ付、湯立神楽を奏、組々る挑灯相捧申度〕（文久三年）亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名〆鳴海御陣屋 一丁 八三

〔此元堂上方并浪人鉢之者ニ決而取合申間敷候、若心得違一味いたし候へ者朝敵と相成重罪を蒙り候〕（文久三年）九月 一丁 八三

〔出張御用守馬医名前〕（文久三年）九月 一丁 八四

覚〔船業いたし候者人数取調〕（文久三年）亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋 二丁 八九

〔当月十三日上使を以、大納言様御願之通御隠居被仰出〕（文久三年）九月 寺社奉行所〆〔鳴海陣屋宛カ〕 一丁 八三

〔大納言様御願之通御隠居、元千代様江御家督被仰出候〕（文久三年）九月 寺社奉行所 三丁 九三

乍恐奉願上候御事〔當時宿村御用多必至難決ニ付、上納之儀者御赦免被成下〕（文久三年）亥九月 鳴海村下郷善右衛門他一名〆鳴海御陣屋 二丁 九三

〔其村当御年貢米之儀、知多郡御払居取扱人共る先納金差出候趣〕（文久三年）亥九月 鳴海村 二通 九三

御預り申山賊之事〔鳴海村百姓三名、御林江入込松背伐仕候〕 文久三年十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名〆御林方御陣屋 一丁 八五

御預申贓物之事 文久三年十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名〆御林方御陣屋 二丁 八六

乍恐奉願上候御事〔当宿元本陣西尾伊右衛門扣ニ御座候所、替地被仰付被下置候様〕 文久三年十月 愛知郡鳴海村庄屋 二丁 八六

下郷弥兵衛他二名御林方御陣屋

覚〔敷地米〕 文久三年十月 鳴海村下郷弥兵衛他二名千秋加賀 一丁 六三六  
守様御役人衆中

御預り申松割木之事 文久三年十月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥 一丁 六三〇  
兵衛他二名御林方御陣屋

〔村々之内持合罷在候具足并弓鉄砲刀剣類等、方今之時勢ニ 一丁 六三四  
付、他領江壳渡候儀者差留候間〕 (文久三年)十月七日 鳴  
海陣屋別紙村々庄屋

〔木灰之儀、硝石製造必用之品柄ニ付、当分之内他所壳差留 一丁 六三五  
候〕 (文久三年)十月七日 鳴海陣屋別紙村々庄屋

覚〔御困米御払代請取〕 (文久三年)亥十月十七日 鳴海陣屋 一通 六三六  
鳴海村庄屋

〔亥九月十五日入十月八日まで、鳴海村みか入檻費用〕 (文 一丁 六三七  
久三年)亥十月 檻番和吉

乍恐奉願上候御事〔春麦、知多郡横須賀町方与助江壳渡候〕 一丁 六三九  
(文久三年)亥十月 鳴海村助右衛門鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔御伏替願〕 (文久三年)亥十月 鳴海村庄屋 二丁 六三二  
下郷弥兵衛鳴海御陣屋

鳴海村車地橋両橋台丸石垣 (文久三年)亥十月 何村誰往還 三丁 六三五  
方

愛知郡鳴海村亥秋定式御普請所配賦 文久三年十一月 半小 一丁 六三六  
兵衛右(鳴海)村庄屋・組頭

永々譲渡申家屋敷之事 文久三年十一月 譲り主儀助他四名 二丁 六四〇  
助藏殿

借用申金子之事〔当亥年村請御払居米上納入用ニ付借用〕 一丁 六四四  
文久三年十一月 庄屋惣代下郷鏡太郎他三名下郷善右衛門殿

〔亥年分請取〕 文久三年十一月 鳴海陣屋鳴海村 一通 六三五

乍恐御達奉申上候御事〔盜難届〕 (文久三年)亥十一月十日 二丁 六三四  
鳴海村庄屋衆助他一名鳴海御陣屋

〔当亥年酒造江付、別紙之通、他所米買入等御締筋之儀被 一丁 六三九  
仰渡候〕 (文久三年)亥十一月十四日 庄屋所寺嶋嘉平殿他  
五名

〔近來生糸之儀交易筋江付、追々高価ニ相成難渋之者も不 一丁 六三六  
少哉〕 (文久三年)十一月十七日 鳴海陣屋別紙村々庄屋

〔吟味之訳有之、当分之内材木出津差留候〕 (文久三年)十一 一丁 六三七  
月十九日 鳴海陣屋別紙村々庄屋

〔当亥年定金納・餅米等御直段如斯、来ル廿九日可致 一丁・二通 六四三  
上納候〕 (文久三年)十一月廿五日 鳴海陣屋鳴海・嶋田庄  
屋 付、書簡

覚〔蔵入用〕 (文久三年)亥十一月廿九日 蔵方清右衛門他二名 一通 六三九  
下郷弥兵衛様

〔当年酒造之儀ニ付触〕 (文久三年)十一月 半小兵衛村々庄 三丁 六四〇  
屋

乍恐御請書之事〔当亥年酒造五分造之内式分五厘ハ他所買 一丁 六四二  
入米を以造立候筈〕 (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥

兵衛他一名鳴海御陣屋 一丁 六四三  
覚〔楮由式千本受取〕 (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥

兵衛鳴海御陣屋 一丁 六四三  
〔当時米穀初諸色高直之折柄、万物可成丈御国内ニ潤沢為  
致度〕 (文久三年)十一月

乍恐御達申上候御事〔加藤平左衛門儀、去々酉年御臺様御 一丁 六四九  
下向之節、濃州大瀧宿おゐて不調法之節有之、押籠〕

(文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村手越川不時御普請之儀) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

乍恐演舌書之覚(南柴田新田外海辺新開之儀) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他五名の鳴海御役所 (朱筆)六十

武

覚(当村文左衛門取懸入りか入檻中入用取立、番人和吉江相渡) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村御年貢米之儀) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村御年貢米御蔵納) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(米品至而悪敷御払居米、引受人無御座候ニ付、知多郡人別引受、御払居米之外御蔵納取斗申度)

(文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(私所持酒造米石高三百貳拾貳石八斗、知多郡有脇村神谷惣助江譲り申度) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

鳴海村前之庵分服部外一郎の鳴海御陣屋

覚(納米) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋助蔵の鳴海御陣屋

覚(納米) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋助蔵の鳴海御陣屋

覚(四年納米) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋助蔵の鳴海御陣屋

借用申金子之事 文久三年十二月 金子借主鳴海村下郷保之介

他四名の高麗屋新三郎殿

寺院御法度之条々・杜家御法度之条々 文久三年十二月

小池良次郎・竹中彦左衛門

批把池井領(井料米請取) 文久三年十二月 大高村庄屋山口繁

松他一名の下郷弥兵衛様

奉公人請状之事(愛知郡嶋田村源八娘こま) 文久三年十二月 嶋田村奉公人親源八他一名の下郷弥兵衛殿

奉公人請状之事(愛知郡八事村清助) 文久三年十二月 八事村引受人利兵衛他二名の下郷弥兵衛殿

質流讓渡申地所之事 文久三年十二月 地所讓主平左衛門跡目

実太郎他六名の山口吉左衛門殿

奉公人請状之事(娘さぬ当亥拾七歳、当冬御年貢ニ差詰、

壹ヶ年御奉公ニ差出) 文久三年十二月 相原村奉公人親政右衛門他一名の下郷弥兵衛殿

覚(当亥年人馬賃銭別銭利金請取) 文久三年十二月 鳴海陣屋の鳴海村庄屋

乍恐御請書奉差上候御事(宿方馬役之者相統筋) 文久三年十二月 金子預り惣代鳴海村下郷善右衛門他一名の鳴海御陣屋

二月 金子預り惣代鳴海村下郷善右衛門他一名の鳴海御陣屋

覚(伝馬新田積金) 文久三年十二月 金子預り惣代鳴海村下郷善右衛門他一名の鳴海御陣屋

拝借仕御金之事(当亥年村方引受御払居米代上納入用ニ付、奉願上拝借) 文久三年十二月 拝借主鳴海村庄屋惣代下郷

録太郎他四名の鳴海御陣屋

(出張御用守馬医・馬医締方申付候) (文久三年)十二月七日 鳴海陣屋の別紙村々庄屋

覚(入檻中諸入用、番人和吉江相渡) (文久三年)亥十二月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

覚(取立直段而ニ四斗五升替) (文久三年)亥十二月九日 庄屋御触書之事(取立直段而ニ四斗七升替) (文久三年)亥十二月

批把池井領(井料米請取) 文久三年十二月 大高村庄屋山口繁

松他一名の下郷弥兵衛様

奉公人請状之事(愛知郡嶋田村源八娘こま) 文久三年十二月 嶋田村奉公人親源八他一名の下郷弥兵衛殿

奉公人請状之事(愛知郡八事村清助) 文久三年十二月 八事村引受人利兵衛他二名の下郷弥兵衛殿

質流讓渡申地所之事 文久三年十二月 地所讓主平左衛門跡目

実太郎他六名の山口吉左衛門殿

奉公人請状之事(娘さぬ当亥拾七歳、当冬御年貢ニ差詰、

壹ヶ年御奉公ニ差出) 文久三年十二月 相原村奉公人親政右衛門他一名の下郷弥兵衛殿

覚(当亥年人馬賃銭別銭利金請取) 文久三年十二月 鳴海陣屋の鳴海村庄屋

一丁 一五二

一丁 二〇六

一丁 二〇七

一丁 二〇七

二丁 八四

一丁 八七

一通 九七

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六

一丁 九六



廿一日 地方役場

〔江戸表江積下候御国産物締無之品、伊勢屋藤左衛門儀取締役申付相成〕（文久三年）十二月廿二日 鳴海陣屋ハ別紙村々庄屋 一丁 八四七

〔下郷善右衛門他五名所持酒造米内訳〕（文久三年）亥十二月 三丁 八三七

乍恐御達申上候御事〔千賀与八郎様御家来伊奈伴蔵殿御越之節継立人足〕（文久三年）亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ鳴海御役所 一丁 八四四

〔出火之時、遠見所おゐて太鼓半鐘打方〕（文久三年）十二月 三丁 八四六

鳴海陣屋ハ別紙村々庄屋

乍恐奉願上候御事〔当村百姓扣定納山透伐等之儀〕（文久三年）亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ鳴海御陣屋 一丁 八四九

乍恐奉願上候御事〔当村百姓自分扣定納山ニて透伐枝下仕度〕（文久三年）亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ御林方御陣屋 一丁 八五〇

乍恐御達申上候御事〔御産物絞下地木綿御改ニ付、有松村ハ御陣屋へ差出候願書写〕（文久三年）亥十二月 有松村絞取締役竹口左兵衛他三名ハ鳴海御陣屋 二丁 八五一

乍恐奉差上御請書之事〔酒造屋人別之者共銘々囲米俵書上〕（文久三年）亥十二月 大行事下郷善右衛門他五名 四丁 八五三

乍恐御達申上候御事〔被官百姓豊助失火届〕（文久三年）亥十二月 下郷次郎太ハ鳴海御陣屋 一丁 八五三

乍恐御達申上候御事〔傳七儀清右衛門与改名〕（文久三年）亥十二月 鳴海村組頭古手屋締役傳七事清右衛門ハ鳴海御陣屋 一丁 八五四

乍恐奉願上候御事〔元千代様被為遊御家督候ニ付、御祝儀献上仕度〕（文久三年）亥十二月 鳴海村西尾藤八ハ鳴海御陣屋 一丁 八五五

覚〔亥年分請取〕（文久三年）十二月 鳴海陣屋ハ鳴海村庄屋 一通 九五八

覚〔当亥年御年貢御払居代金請取〕（文久三年）亥十二月 鳴海陣屋ハ鳴海村 一通 九六〇

乍恐奉願上候御事〔当村伊左衛門初三人之者共御林江入込不埒之筋御吟味〕（文久三年）亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名ハ御林方御陣屋 二丁 九六六

乍恐御敷願奉申上候御事〔当村伊左衛門初三人之者共御林江入込不埒之筋御吟味〕（文久三年）亥十二月 鳴海村組頭左衛門他二名ハ御林方御陣屋 二丁 九六七

乍恐奉願上候御事〔当村持分百姓扣定納山締筋且猪鹿為防番小舍取建方之儀〕（文久三年）亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ鳴海御陣屋 二丁 九六九

〔御年貢米請取〕（文久三年）亥十二月 鳴海陣屋ハ鳴海村 四通 九七一

亥年免割目録（文久三年） 二丁 九四六

亥年免割目録（文久三年） 二丁 九四七

鳴海村・南野村立合〔坎・柵修繕費、人足代〕（文久三年） 四丁 八七七

御預り申背伐株之事〔当村持分不入御林并御林之内背伐〕（文久三年） 一丁 八九〇

口上之覚〔相組次郎右衛門より借財訳立之留記〕（文久三年） 三丁 二七七

乍恐奉願上候御事〔冥加金〕（文久三年） 相原村庄屋小三郎ハ鳴海御陣屋 八丁 一七六七

讓渡申畑地之事〔故治助儀、地方支配数年出精之勤功ニ依り、今般讓遣〕 文久四年正月 下郷次郎太他一名ハ平組治助殿 三丁 一四四

元 治

〔此度大納言様御附大奥女中之内ニ御男子様御誕生被遊候〕  
一丁 九七四

(元治元年)正月十八日 鳴海陣屋ノ別村々庄屋

〔田地起返ニ付違写〕 (元治元年)正月廿一日 鳴海陣屋ノ鳴海  
一丁 九七三

村初庄屋

乍恐御達申上候御事(寺嶋嘉平・下郷周兵衛改名) (元治元  
一丁 九七五

年)子正月 鳴海村寺嶋嘉兵衛・下郷清兵衛ノ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(今般依台命御上京、其上西国筋江可被  
二丁 一〇四四

為遊御出陣、右等之御軍費) (元治元年)子正月 右村々惣

代下郷弥兵衛他三名ノ鳴海御陣屋

〔石川甚藏御普請奉行被仰付候〕 (元治元年)二月十四日 往還  
一丁 九八〇

方役所ノ別紙村々庄屋

覚(下郷次郎左衛門方江取集候飼葉) (元治元年)二月十九日  
三丁 九八一

乍恐御達奉申上候御事(借用金取落候) (元治元年)子二月  
二丁 九七七

鳴海村根古屋町吉五郎ノ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(山屋敷御振替) (元治元年)子二月 鳴海  
一丁 九七六

村願主下郷次郎太他一名ノ御林方御陣屋

乍恐御達奉申上候御事(盜難届) (元治元年)子二月 鳴海村洗  
一丁 九八三

物屋彦右衛門ノ鳴海村御陣屋

御歎願申上候口上之覚(質屋職之儀) (元治元年)子二月 質  
五丁 九八三

屋職締役成田又九郎他十二名ノ御庄屋衆中

〔銅唐金并鍋釜鉄潰類買廻リ他所売いたし候者有之哉〕 (元  
一丁 九七九

治元年)二月 寺社奉行所

乍恐奉願上候御事(越中国佐右衛門私引受当村江引越百姓  
二丁 一〇三四

為成立申度) (元治元年)子二月 愛知郡鳴海村与平治ノ鳴海  
御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村字朝日出江引越申度) (元治元年)子  
三丁 一〇〇〇

二月 鳴海村相組分善七ノ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(京都七条尾張屋喜藏所迄罷登申度) (元  
一丁 一〇〇六

治元年)子二月 鳴海村海岸裁許添役西尾藤八ノ鳴海御陣屋

預リ申頼母子金子之事 元治元年三月 下郷弥兵衛ノ品川氏繁  
一通 一〇〇六

榮講御連中

写(此度神奈川表江英国軍艦渡来重大之事件書翰を以申立)  
一丁 九八五

(元治元年)三月四日

〔別紙之通支配所寺社之輩江相触之候様、寺社奉行衆より  
二丁 九八四

触) (元治元年)三月 鳴海陣屋ノ別紙村々庄屋

乍恐奉願上候御事(山屋敷) (元治元年)三月 鳴海村庄屋下郷  
二丁 九八六

保之介他二名ノ御林方御陣屋

御触写(万物直段当時稀成高価相成) (元治元年)三月  
三丁 九八三

覚(扇川藪下浚) (元治元年)子三月 相原村庄屋ノ鳴海御庄屋衆  
一丁 一〇六三

中様

差上申一札之事(定納山之内ニ番小屋取建申度) 元治元年四  
一丁 一八二〇

月 鳴海村庄屋代組頭長兵衛ノ御林方御陣屋

覚(御寄附受納) (元治元年)四月九日 八事山納所ノ下郷弥兵衛  
一通 九八三

様他一名

覚(知多郡長草村松左衛門入檻中諸入用、番人和吉江相渡)  
一丁 九八八

(元治元年)子四月十三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(此頃照込ニて氏神江雨天祈禱仕候)  
一丁 九八九

(元治元年)子四月十七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋

覚(無宿彦次郎初入檻中支度代、番人和吉江相渡) (元治元  
一丁 九八〇

年)子四月廿日 下郷弥兵衛、鳴海御陣屋

御尋ニ付乍恐御達申上候御事(郷宿・商人宿) (元治元年)子

四月 右(鳴海)村庄屋下郷次郎左衛門他一名、鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(盗難届) (元治元年)子四月 鳴海村前之

庵分組頭理太郎、鳴海御陣屋

乍恐御願奉申上候事(古手商売御鑑札頂戴仕度) (元治元年)

子四月 鳴海村ヨ(組)作藏他十六名、(鳴海陣屋宛力)

奉差上候一札之事(私父弥右衛門儀御屋敷様御馬方御仲間

衆与不斗取合之筋出来候) 元治元年五月 鳴海村前之庵分

弥左衛門志水甲斐御役人衆中様

乍恐御達申上候御事(拾得物届) (元治元年)子五月 鳴海村民

藏、鳴海御陣屋

乍恐御請書奉差上候御事(古手商売御鑑札頂戴仕) (元治元

年)子五月 鳴海村周右衛門他十七名、(鳴海御陣屋)

(御菜園人参売弘所被申付候ニ付御届) (元治元年)子五月

鳴海村茂十郎、(鳴海村庄屋下郷弥兵衛宛力)

差出申一札之事(渡世元手金借用) 元治元年六月 大津屋源

八他二名、大津屋仁兵衛殿

借用申金子之事 元治元年六月 金子借用主大津屋茂十郎他二

名、小口屋清右衛門殿

差出申一札之事(私庶兄源八成立筋之儀ニ付) 元治元年六月

大津屋伊兵衛他一名、下郷弥兵衛殿他二名

(地方御勘定奉行衆よりの触) (元治元年)六月十八日 鳴海陣

屋、別紙村々庄屋

覚(御蔵米) (元治元年)子六月廿二日 米屋中、御村方庄屋衆中

乍恐御達申上候御事(当村東宮大明神身曾貢祓) (元治元年)

六月廿九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(菜種三拾俵、知多郡樽水村常三郎江壳

渡) (元治元年)子六月 鳴海村清三郎、鳴海御陣屋

乍恐奉差上候御請書之事(私儀村方三藏、質屋職譲受) (元

治元年)子六月 鳴海村庄兵衛、鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(金子紛失) (元治元年)子六月 鳴海村吉五

郎、鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(同村庄兵衛江質屋職譲渡申度) (元治元

年)子六月 鳴海村三藏、鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(同村三藏より質屋職譲受) (元治元年)子

六月 鳴海村庄兵衛、鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村持分天白川通橋上下堤内方江近年

生松繁茂仕、田方差障相成) (元治元年)子六月 鳴海村下

郷弥兵衛、御普請方御役所

乍恐御達申上候御事(盗難届) (元治元年)子六月 鳴海村外兵

衛、鳴海御陣屋

奉公人請状之事(娘はま乳母奉公) 元治元年七月 三州碧海郡

深間村奉公人親茂七他二名、下郷弥兵衛殿

覚(乙川村文次郎入檻中諸入用、番人和吉江相渡) (元治元

年)子七月十一日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(氏神江雨乞祈禱) (元治元年)子七月十

二日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋

(織田大作儀鳴海御代官被仰付候) (元治元年)七月十八日

鳴海陣屋、別紙村々庄屋

乍恐御達申上候御事(雨天祈禱) (元治元年)子七月十九日

鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名、鳴海御陣屋

〔前大納言様長州征伐被蒙御惣督候節兵糧米〕 元治元年七月 八丁 100六  
廿八日

覚〔白米請取〕 (元治元年)子七月晦日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛 一丁 100七  
ゑ東阿野村御用先鳴海方御手代衆様

乍恐奉願上候御事〔万一狼藉者等入込候節心得方〕 (元治元 一丁 100八  
年)子七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゑ鳴海御陣屋

〔物価之儀ニ付、公儀よりの触〕 (元治元年)七月 鳴海陣屋ゑ 二丁 100九  
別紙村々庄屋

乍恐奉願上候御事〔作小屋式軒取立申度〕 (元治元年)子七月 一丁 100三  
鳴海村西尾藤八ゑ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔当村諏訪大明神例祭〕 (元治元年)子七 一丁 100四  
月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゑ鳴海御陣屋

〔筑波山追々戦ひ相成、松平左京方物頭三人即死、其外手 一丁 100五  
負数不知〕 (元治元年)七月

乍恐御達申上候御事〔嶋田村他六ヶ村儀、方今之形勢江付 一丁 100八  
非常守方〕 (元治元年)子七月 右村々惣代鳴海村下郷弥兵衛

他一名ゑ鳴海御陣屋 四丁 100四  
証文之事〔田畑讓渡〕 元治元年八月 徳右衛門他一名ゑ中井信

七郎殿 一丁 100九  
〔明二日前大納言様江上使到着之由候間、村々獵師共鉄砲

堅為打申間敷候〕 (元治元年)八月朔日 織(田)大作ゑ鳴海村 他 一丁 100九

〔公辺御太切御用物御差下ニ付、寺社奉行所よりの触〕 (元 二丁 1000  
治元年)八月六日 鳴海陣屋ゑ鳴海村他四ヶ村庄屋

〔其村々百姓共之内酒作商売致候者之儀、一石高何程作候哉、 一丁 100一  
右米買候哉〕 (元治元年)八月廿日 鳥居覚右他二名

覚〔当村方外山佐吉方ゑ其御村助蔵方江米売渡〕 (元治元年) 一丁 100三  
子八月廿一日 東阿野村庄屋半兵衛ゑ鳴海村御庄屋衆中

覚〔米受取、荷主外山佐吉〕 (元治元年)子八月廿一日 鳴海 一通 100三  
(村)庄屋下郷弥兵衛ゑ東阿野村御庄屋中

乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮神託ニ付、今夕挑灯相捧 一丁 100五  
申度〕 (元治元年)八月晦日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一他ゑ鳴

海御陣屋 一丁 100六  
乍恐御達申上候御事〔八幡宮江笛太鼓打囃子献灯為仕申候〕

(元治元年)子八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゑ鳴海御陣屋 一丁 100七  
乍恐御達申上候御事〔御普請所之儀〕 (元治元年)子八月 愛

知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゑ鳴海御陣屋 二丁 100八  
乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (元治元年)子八月 鳴海村松五

郎ゑ鳴海御陣屋 一丁 100九  
乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮祭礼〕 (元治元年)子八月

鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゑ鳴海御陣屋 一丁 100一  
乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮祭礼〕 (元治元年)子八月

鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゑ鳴海御陣屋 一丁 100二  
乍恐御達申上候御事〔当村神明宮祭礼〕 (元治元年)子八月

鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゑ鳴海御陣屋 一丁 100三  
乍恐奉願上候御事〔私所持酒造米式百五十八石、知多郡宮

津村善兵衛江讓り渡〕 (元治元年)子八月 鳴海村小島長左衛 一丁 1000  
門ゑ鳴海御陣屋

乍恐御達旁奉願上候御事〔船老艘盜難届〕 (元治元年)子八月 三丁 100三  
鳴海村前之庵分服部外一郎ゑ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (元治元年)子八月 鳴海村前之 四丁 100七  
庵分与兵衛ゑ鳴海御陣屋

<p>覚〔味噌・溜り請取、荷主萩原惣丞〕（元治元年）子九月二日 鳴海（村）庄屋下郷弥兵衛大野村庄屋平野彦右衛門様 覚〔味噌樽・溜樽着御改、荷受方江御引渡〕（元治元年）子九月晦日 大野村庄屋平野彦右衛門鳴海村御庄屋衆中 乍恐奉願上候御事〔当村坂野三右衛門より質屋職譲受〕（元治元年）子九月 鳴海村与右衛門鳴海御陣屋 乍恐御達申上候御事〔当村惣年寄格六役庄屋下郷保之介儀今八日病死〕（元治元年）子九月 鳴海村庄屋下郷次郎左衛門鳴海御陣屋 乍恐御達申上候御事〔当村下郷保之介病死仕候付、左之人別今八日より定式之忌請之引籠申候〕（元治元年）子九月 鳴海村庄屋下郷次郎左衛門他一名鳴海御陣屋 乍恐御達申上候御事〔当村浅間堂神事〕（元治元年）子九月 鳴海（村）庄屋下郷次郎左衛門他一名鳴海御陣屋 乍恐奉御願上候御事〔餅米拾貳俵、知多郡浅倉村傳右衛門方江壳附申候〕（元治元年）子九月 鳴海村德兵衛鳴海御陣屋 乍恐奉願上候御事〔当村与右衛門江質屋職譲渡申度〕（元治元年）子九月 鳴海村坂野三右衛門鳴海御陣屋 覚〔味噌樽・溜樽相改受取〕（元治元年）子十月二日 鳴海（村）庄役庄屋兼下郷弥兵衛大野村庄屋平野彦右衛門様 乍恐御達申上候御事〔当村野村善兵衛後家倅岩吉身分江付、苗字御免〕（元治元年）子十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋 〔扣地往還添二桁五間梁式間之作小屋式軒取建方之儀〕（元治元年）子十月 西尾藤八</p>	<p>一通 一〇三六 一丁 一七九六 二丁 一〇〇元 一丁 一〇三六 一丁 一〇〇四 一丁 一〇〇四 一丁 一〇四二 一丁 一〇四二 一丁 一〇三三 一丁 一〇四三 二丁 一〇五三</p>
<p>乍恐御達申上候御事〔不容易御直書御主意之御事ニ付、村毎ニ申諭候上、早速御達申上候様〕（元治元年）子十月 鳴海村下郷四郎兵衛他三十五名鳴海御陣屋 乍恐奉願上候御事〔操綿三拾本、政十郎米代之方江相渡候〕（元治元年）子十月 鳴海村（煮元茶屋・郷宿渡世）松兵衛鳴海御陣屋 譲り渡申定納山之事 元治元年十一月 定納山譲り主長谷川武右衛門他一名山口幾久三郎殿 乍恐御達申上候御事〔綿打渡世次郎藏宅焼失〕（元治元年）子十一月九日 鳴海村庄屋下郷金三郎他一名鳴海御陣屋 〔其村々之者共所持いたし候大八車之儀他所壳不相成候〕（元治元年）十一月十一日 鳴海陣屋別紙村々庄屋 覚〔米三拾石、東阿野村江相渡〕（元治元年）子十一月 鳴海（村）庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋 覚〔東阿野村御固所御入用米搗賃〕（元治元年）子十一月 鳴海（村）庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋 覚〔広井御蔵日雇賃〕（元治元年）子十一月 鳴海（村）庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋 乍恐奉願上候御事〔古米九拾石、海東郡須成村初右衛門より買請〕（元治元年）子十一月 鳴海村服部卯一郎鳴海御陣屋 〔他国綿買入、貧民共江貸渡、木綿ニ為織立産業ニ為取付、貧民救方専務心得達無之様〕（元治元年）十一月 愛知郡鳴海村久野清吉 〔他国綿買入世話人、左之名前之者共江申付候〕（元治元年）十一月 世話人愛知郡番掛新田中嶋金右衛門他三名 覚〔御囲米之内納米三石、東阿野村江差送り申候〕（元治元年）</p>	<p>四丁 一〇六一 一丁 一〇三七 一丁 一〇九 一丁 一〇四 一丁 一〇五三 一丁 一〇四六 一丁 一〇四三 一丁 一〇五 一丁 一〇四七 一丁 一〇四八 一丁 一〇四九 一丁 一〇五〇</p>



年)子十一月 鳴海(村)庄屋下郷弥右衛門他一名御陣屋

乍恐御請書之事(私扣字境松荒地ニ作小家式軒取建申度旨

奉願上候)(元治元年)子十一月 鳴海村西尾藤八御陣屋

乍恐奉願上候御事(米六拾石、海西郡宮路村与七買請候)

(元治元年)子十一月 鳴海村兵助御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村持分天白川堤御植松之儀)(元治元

年)子十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名御普請方御役所

覚(御困米東阿野村江相渡申候)(元治元年)子十一月 鳴海

(村)庄屋下郷弥兵衛他一名御陣屋

乍恐御達申上候御事(御用御困米之外弥右衛門取扱)(元治

元年)子十一月 鳴海村庄屋下郷左衛門御陣屋

乍恐奉願上候御事(愛知郡柴田新田永助、入夫ニ貫請申度)

(元治元年)子十一月 鳴海村きし御陣屋

質流讓渡申地所一札之事 元治元年十二月 地所讓主喜

代三郎他一名山口吉左衛門殿

乍恐奉願上候御事(米五拾石、佐屋村六条新田傳左衛門御

買請)(元治元年)子十二月 鳴海村太助御陣屋

(当節惡徒共市中致暴行、不容易事共取巧ニ付、此程先々

御召捕相成候)(元治元年)十二月

乍恐御達旁奉願上候御事(地直出来不申候間、御見分之上

御定引)(元治元年)子十二月 右鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一

名御陣屋

乍恐御達申上候御事(盜難届)(元治元年)子十二月 鳴海村平

九郎後家御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村百姓自分扣定納山ニ而枝打透伐仕

度)(元治元年)子十二月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛御林方

御陣屋(付箋)「式号」

〔無宿光次郎初入檻中支度代等〕(元治元年)

〔御上洛ニ付触写〕(元治元年)

定〔役車賃錢〕(元治元年)

御達申上候御事(熱田前新田宗七并妻子共拙寺江代判被仰

付被下置候様)(元治元年)元治二年三月 鳴海圓龍寺法潤御坊御輪番所

慶 応

乍恐奉願上候御事(麦百俵差送り)他 (慶応元年)丑二月

他 鳴海村本左衛門御陣屋

覚〔知多郡成岩村ひさ入檻中諸人用、番人和吉江相渡〕(慶

応元年)丑三月廿四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村藤川池定式御普請浚之儀)(慶

元年)丑三月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛御陣屋

乍恐奉願上候御事(熱田前新田東之割百姓宗七妻子供、私

扣<sup>(後力)</sup>□山江為引越申度)(慶応元年)丑三月 鳴海村下郷

次郎太御陣屋

乍恐御達申上候御事(身曾貴祓ニ付、成海神社并八幡宮御旅

所江挑灯相捧申度)(慶応元年)丑六月 鳴海(村)庄屋下郷弥

兵衛他二名御陣屋

乍恐奉願上候御事(当村番人和吉儀御手当筋歎願)(慶応元

年)丑六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋

乍恐奉願上候御事(有松村文助倅直次郎儀私養子ニ貫請候

処、此度離別)(慶応元年)丑六月 鳴海村土井新三郎御海

御陣屋

寛(背積船荷人共預リ) 慶応元年八月三日 牛毛荒井村庄屋久

一丁 二四五

兵衛、鳴海村出役御締役人中・村方御役人中

乍恐御請書奉差上候事(盗品請取)

(慶応元年)丑九月 鳴海

一丁 二〇五

村下郷清兵衛、御陣屋

差上申御請書之事(中根村魚殺生連上金)

(慶応元年)丑十月 一丁 二〇六

鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御鷹場改方衆様他

乍恐奉願上候御事(御領分高之者共、此節一般於御作事方

御鑑札相渡り、御役銀相勤候様)

(慶応元年)丑十月 鳴海

二丁 二〇九

村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(御領分高之者共、此節一般於御作事方

御鑑札相渡り、御役銀相勤候様)

(慶応元年)丑十月 鳴海

二丁 二〇九

村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村丹組分組頭 武兵衛・左左衛門退

役、跡役儀平)

(慶応元年)丑十月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵

一丁 二〇一

衛、鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(盗難届)

(慶応元年)丑十月 鳴海村小鳴

海分久右衛門、鳴海御陣屋

二丁 二〇四

乍恐御達申上候御事(当村地内字神沢池下山屋敷境内ニ猪

鹿除土居築立申度)

(慶応元年)丑十月 鳴海村願主下郷諒太

一丁 二〇八

郎他一名、御林方御陣屋

乍恐猶奉願上候事(当村地内笠寺村扣藤川池達井高く築立

候付)

(慶応元年)丑十一月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥

三丁 二〇三

兵衛他五名、鳴海御陣屋

乍恐猶奉願上候御事(当村地内笠寺村扣藤川池達井高く

築立)

(慶応元年)丑十一月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵

一二丁 一九三

衛他五名、鳴海御陣屋

一札之事(私父多左衛門与頭在勤中御年貢皆済相滞)

慶応元年十二月 相組久吉他四名、中嶋金右衛門殿他三名

宗門請合手形之事(愛知郡南野村仲藏娘この聲 同郡鳴海村

午組半左衛門忤重四郎宗旨)

慶応二年正月 愛知郡鳴海村

一通 二〇六

庄屋下郷弥兵衛他二名、南野村庄屋立松善兵衛他一名

慶応貳寅正月月下旬玄内様御下り御屋ニ付(地方定使役申付)

三丁 二五五

慶応二年正月 下郷弥兵衛他三名

〔御老中松平伯耆守殿・阿部豊後守殿京都江之為御使登、鳴

海通行ニ付順達〕

(慶応二年)正月廿五日 杉七左衛門、鳴海

一丁 二四二

村他四ヶ村庄屋

乍恐御達旁奉願上候事(天白橋御懸替)

(慶応二年)寅正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御普請方御役所

井町九郎七、鳴海御陣屋

二丁 二四四

乍恐御達奉申上候御事(盗難届)

(慶応二年)寅正月 鳴海村花

海村花井町九郎七、鳴海御陣屋

一丁 二四五

乍恐御請書之事(被盜取候品々請取)

(慶応二年)寅正月 鳴

海村花井町九郎七、鳴海御陣屋

二丁 二〇八

奉願上候御事(忤勘次郎儀明慶与改名家督相続仕度)

慶応二年二月 愛知郡鳴

海村東光院、修験方御支配所

二丁 二〇四

慶応元丑年村下用建札之写

慶応二年二月 右(鳴海)

村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他十九名、鳴海御陣屋

付、坂野

三右衛門、下郷弥兵衛宛書簡

一丁 二四三

寛(竹腰様御使他)

(慶応二年)二月廿四日 (鳴海)御本陣、御

庄屋衆様

一丁 二四三

乍恐御断旁奉申上候御事〔盜難届〕 (慶応二年)寅二月 鳴海 一丁 二〇六

村喜兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 二〇九

乍恐御達申上候御事〔盗品見積直段〕 (慶応二年)寅二月 鳴 一丁 二〇九

海村喜兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 二〇九

慶応元丑年御年貢三役限御伝馬役式歩米之外村下用之覚 一丁 二〇九

(慶応二年)寅二月 右(鳴海)村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他十 九名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二〇九

覚(鳴海宿百姓久野種吉他三名、遠州秋葉山江参詣) 慶応 一丁 二〇三

二年三月 右(鳴海)宿庄屋取締・年青兼下郷弥兵衛ゝ今切御閑所 御役人御衆中様 一丁 二〇三

慶応二寅年村方有人・慶応二寅年三月自分一札之面々家内 人数之覚 慶応二年三月 三丁 一五九四

一札(切支丹宗門僉議召仕男女相改) 慶応二年三月 愛知郡 一丁 二四七

鳴海村下郷弥兵衛ゝ金森五郎兵衛殿 一丁 二四七

覚(男三人、当宿東端ニて御払) (慶応二年)寅三月四日 鳴海 一丁 二四九

(村)庄屋下郷弥兵衛ゝ御勘定所御役人衆様 一丁 二四九

覚(御蔵米) (慶応二年)寅三月六日 米屋中ゝ村方庄屋御衆中様 一丁 二五〇

乍恐御達奉申上候御事〔怪敷風呂敷包届〕 (慶応二年)寅三月 三丁 二五七

九日 鳴海村龜造ゝ鳴海御陣屋 三丁 二五七

覚(秣相庭) (慶応二年)寅三月廿七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ 一丁 一四六三

鳴海御陣屋 一丁 一四六三

覚(麦壹石陸送取斗) (慶応二年)寅三月晦日 鳴海村出穀締役 一丁 二〇八

下郷弥兵衛ゝ大高村御庄屋中 一丁 二〇八

乍恐御願旁奉申上候御事〔牛毛荒井村雉本太左衛門儀天白 川堤之内百間程木材困場拝借奉願候由、御取揚無御座様〕 一丁 二〇七

(慶応二年)寅三月 鳴海村庄屋惣代坂野三右衛門他一名ゝ御普請 一丁 二〇七

方御役所

水廣ヶ池・神沢池臺替ニ付入用 (慶応二年)寅三月 懸り太平 一丁 二四三

治他一名ゝ御庄屋衆様 一丁 二四三

請書〔麦拾六俵請取〕 (慶応二年)寅三月 山崎村庄屋由右衛門 一丁 二四六

ゝ鳴海村庄屋御衆中様 一丁 二四六

乍恐奉願上候御事〔当村瑞泉寺扣同村上町庚申堂守智玉尼 儀退堂仕度〕 (慶応二年)寅三月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵 二丁 一七〇

衛他一名ゝ鳴海御陣屋 二丁 一七〇

乍恐御達奉申上候御事〔盜難届〕 (慶応二年)寅三月 鳴海村中 四丁 二五八

嶋町宇兵衛ゝ鳴海御陣屋 四丁 二五八

乍恐御願旁奉申上候御事〔牛毛荒井村雉本太左衛門儀、天白 川堤之内木材困場拝借奉願候由〕 (慶応二年)寅三月 鳴海 一丁 一四四

村庄屋惣代坂野三右衛門他一名ゝ御普請方御役所 一丁 一四四

覚(穀類相送り) (慶応二年)寅三月 東阿野村組頭ゝ鳴海(村) 一通 一四九

下郷弥兵衛様 一通 一四九

御請書之事〔文吉忤音吉、当村出生宗門名前之者ニ相違無 御座候〕 慶応二年四月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛ゝ御作事 一丁 二四一

方御役所 一丁 二四一

御歎願奉申上候御事〔私忤源助事 喜助改心仕ニ付、宗門組 入願〕 慶応二年四月 喜助父健左衛門ゝ(宛名未詳) 一丁 二〇七

一丁 二〇七

宗門送一札〔当村下郷右衛門八妹ちよ、其御村方林右衛門 所江縁付〕 慶応二年四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ知多郡市 一丁 一五九

原村庄屋弥右衛門殿 一丁 一五九

覚(小麦五俵差送り) (慶応二年)寅四月朔日 鳴海出穀締役下 一丁 二二〇

郷弥兵衛他一名ゝ本井戸田村御庄屋中 一丁 二二〇

乍恐御達申上候御事〔摂州西成郡三軒屋村百姓吉藏宿村送 六丁 一五八

六丁 一五八

リ) (慶応二年) 寅四月朔日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔無宿盜賊紋之助一件ニ付、久左衛門

女房まつ、横須賀御陣屋江呼出) (慶応二年) 寅四月六日

鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋

覚〔小麦貳俵陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月七日 鳴海出穀締役

下郷弥兵衛他一名ゝ本井戸田村近藤松右衛門殿

覚〔搗麦六俵他陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月七日 鳴海出穀締

役下郷弥兵衛他一名ゝ日置村御庄屋中

覚〔小豆五俵他陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月七日 鳴海出穀締

役下郷弥兵衛他一名ゝ熱田須賀町御町代中

覚〔小豆五俵他相送り〕 (慶応二年) 寅四月七日 熱田大瀬子町

代清吉ゝ鳴海出穀御締役衆中

覚〔古納米陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月七日 鳴海出穀締役下

郷弥兵衛他一名ゝ熱田須賀町御町代中

覚〔大豆八俵陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月八日 鳴海出穀締役

下郷弥兵衛他一名ゝ山崎村御庄屋中

覚〔入檻諸人用受取、番人和吉江相渡〕 (慶応二年) 寅四月八

日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

覚〔蕎麦七俵等陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出穀役

下郷弥兵衛他一名ゝ日置村御庄屋中

覚〔裸麦四俵等陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出穀締

役下郷弥兵衛他一名ゝ山崎村御庄屋中

覚〔小麦拾俵陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月九日 鳴海村出穀締

役下郷弥兵衛他一名ゝ本井戸田村近藤松右衛門殿

覚〔搗麦拾俵陸送取斗〕 (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出穀締

役下郷弥兵衛他一名ゝ熱田大瀬子町御町代中

覚〔搗麦拾俵請取〕 (慶応二年) 寅四月九日 熱田大瀬子町丁 一通 一四八

代清吉ゝ鳴海出穀締役衆

覚〔小麦拾俵請取〕 (慶応二年) 寅四月九日 本井戸田村庄屋代 一通 一四四

組頭八左衛門ゝ鳴海(村)下郷弥兵衛殿他一名

覚〔大豆八俵、其御村助蔵殿より山崎村忠吉方へ相送り〕 一通 一四六

(慶応二年) 寅四月九日 山崎村出穀締役由右衛門ゝ鳴海出穀

締役御衆中様 一丁 一二四

覚〔小麦七俵差送り〕 (慶応二年) 寅四月十二日 鳴海出津締役

下郷弥兵衛他一名ゝ笠松村庄屋御衆中

覚〔小麦七俵差送り〕 (慶応二年) 寅四月十二日 鳴海出津締役 一丁 一二五

下郷弥兵衛他一名ゝ笠松村庄屋御衆中

乍恐御達申上候御事〔私召仕夜番之者、怪敷者忝人差押へ、 一丁 一〇九

忝人ハ逃去候) (慶応二年) 寅四月 鳴海村野村善兵衛後家ゝ

鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕 (慶応二年) 寅四月 鳴海村前之 一丁 一〇五

庵傳兵衛ゝ鳴海御陣屋

乍恐御内達申上候御事〔天白川利水筋等之儀〕 (慶応二年) 寅 一丁 一二三

四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ御普請方御役所

乍恐奉願上候御事〔京都東六條本願寺江為參詣相越申度〕 一丁 一四九

(慶応二年) 寅四月 鳴海村庄屋加藤平五郎ゝ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔当村持分天白川御堤通御植松伐取方〕 一丁 一四〇

(慶応二年) 寅四月 鳴海村庄屋加藤平五郎他二名ゝ御普請方御役

所

乍恐奉願上候御事〔私娘てい勘当仕度〕 (慶応二年) 寅四月 一丁 一四六

鳴海村治助他一名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(追放人当村伊助他八名ニ付御達) (慶  
二丁 一四〇)

応二年)寅四月 鳴海村庄屋加藤平五郎他二名鳴海御陣屋  
一丁 二〇五

質流譲り渡シ申田地之事 慶応二年五月 地所譲り主伊藤屋三  
次郎他一名相原村徳右衛門殿  
一丁 二三二

覚(当村熊野屋熊吉入檻支度代、番人和吉江相渡) (慶応二  
一丁 二四六

年)寅五月十日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋  
一丁 二四六

覚(御蔵米) (慶応二年)寅五月十三日 米屋中  
一丁 二四六

覚(裸麦拾石、当村方実蔵其御村方兵助殿方へ売渡) (慶  
一丁 二三三

応二年)五月廿日 部田村庄屋蔵鳴海御役人衆中様  
一丁 二四一

乍恐御達申上候御事(当村御本田新田共不残植付相濟) (慶  
一丁 二四一

応二年)寅五月廿日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋  
一丁 二四六

覚(小麦拾五俵、陸送取斗) (慶応二年)寅五月廿四日 鳴海出  
一丁 二四六

穀締役下郷弥兵衛他一名本井戸田村御庄屋中  
一通 二四三

覚(小麦拾五俵、陸送取斗) (慶応二年)寅五月廿四日 本井戸  
一通 二四三

田(村)出穀締役代組頭八左衛門鳴海村出穀締役下郷弥兵衛殿  
一丁 二四九

他一名  
一丁 二四九

乍恐御達申上候御事(元鳴海村健助追放御免) (慶応二年)寅  
一丁 二四九

五月廿四日 鳴海村庄屋坂野三右衛門他一名鳴海御陣屋  
一丁 二二九

乍恐御達申上候御事(当村八幡宮神託ニ付、笛太鼓打囃挑  
一丁 二二九

灯為捧申度) (慶応二年)寅五月廿七日 鳴海村庄屋下郷弥  
一丁 二二九

兵衛他一名鳴海御陣屋  
一丁 二四三

口上(納米) (慶応二年)寅五月廿九日 鳴海庄屋笠寺村他二ヶ  
一丁 二四三

村熱田宿庄屋衆様・町代衆様  
一丁 二二〇

覚(古小麦五俵、陸送取斗) (慶応二年)寅五月廿九日 鳴海村  
一丁 二二〇

出穀締役下郷弥兵衛他一名大高村御庄屋中  
一丁 二四八

水野和泉守殿御城附江被相渡候書付写(天保度吹立候式  
三丁 二四八

朱金之儀引替可差出旨) (慶応二年カ)五月 鳴海陣屋別  
紙村々庄屋  
三丁 二四六

永々譲渡申田地証文之事 慶応二年六月 田地売渡主永井松右  
衛門他二名久兵衛殿  
三丁 二四六

借用申金子之事 慶応二年六月 借用主永井松右衛門他三名  
三丁 二四七

佐野屋善七殿取次  
八丁 二四三

前之庵落伏替入用書拔 慶応二年六月 庄屋下郷弥兵衛  
一丁 二〇五

往来一札(鳴海宿百姓藤三郎悻藤助、信州善光寺江参詣)  
慶応二年六月 右宿取締役下郷弥兵衛他一名国々御関所御役人  
中様・宿村御役人衆中  
一丁 二二三

乍恐御達申上候御事(当村藤三郎悻孝助儀、信州善光寺江参  
詣) (慶応二年)寅六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御  
陣屋  
一通 二〇三

書簡控(津島御祭礼御役船老艘御雇、御差出被成下度) (慶  
一通 二〇三

応二年)六月五日 下郷弥兵衛加藤五左衛門様他一名  
一丁 二四九

覚(納米) (慶応二年)寅六月七日 梅屋利八他二名御掛り庄屋  
衆様  
一通 二〇四

覚(津嶋御神祭ニ付雇船賃受取) (慶応二年)寅六月八日 佐  
屋船人徳右衛門下郷弥兵衛様  
一丁 二〇三

覚(納米) (慶応二年)とら六月廿八日 ナルミ米屋締方梅屋利八  
他二名当所庄屋衆様  
一丁 二三四

乍恐御達申上候御事(盜難届) (慶応二年)寅六月 鳴海村湯屋  
喜藏他一名鳴海御陣屋  
一丁 二二六

乍恐奉願上候御事(当村樋伏替願) (慶応二年)寅六月 鳴海  
村庄屋加藤平五郎他二名鳴海御陣屋  
一丁 二四九

乍恐御達申上候御事(当村前之庵落伏方之儀) (慶応二年)  
一丁 二四九



寅六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛と玖方御役所

乍恐御達申上候御事(当村両社身曾貴祓) (慶応二年)寅六月

鳴海村庄屋加藤平五郎他一名と鳴海御陣屋

覚(麦直段御触書出) (慶応二年)寅七月朔日 下郷弥兵衛と右

与頭衆中・支配人中

覚(大山納米拾石、陸送り取斗) (慶応二年)七月五日 鳴海出

穀締役下郷弥兵衛と熱田築出町御町代中

乍恐御達申上候御事(鳴海村六役年寄兼下郷清兵衛、当月

五日病死仕候) (慶応二年)寅七月十九日 鳴海村庄屋下郷弥

兵衛と鳴海御陣屋

覚(御蔵米) (慶応二年)寅七月廿九日 米屋世話方と村方庄屋御

衆中様

人足賃銀(以さらへ) (慶応二年)寅七月 懸り太平治と庄屋衆

様

懸替入用(玖) (慶応二年)寅七月 懸り庄兵衛他一名と庄屋衆様

乍恐御達申上候御事(当村諏訪大明神神事式執行) (慶応二

年)寅七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名と鳴海御陣屋

乍恐御断旁奉申上候御事(盗難ニ付御達洩不調法) (慶応二

年)寅七月 鳴海村善左衛門と鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(盗品見積直段) (慶応二年)寅七月 鳴

海村善左衛門と鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(私被盗品請取) (慶応二年)寅七月 鳴

海村善左衛門と鳴海御陣屋

乍恐御尋ニ付内密奉申上候(村方疾苦省方江付御用状御触

書等根出し御継立之始末) (慶応二年)寅七月 鳴海村庄屋

(若年寄増山対馬守殿下り今四日鳴海ニ而通行ニ付達) (慶

応二年)八月四日 金(森)五郎兵衛と別紙村々庄屋

覚(納米) (慶応二年)寅八月九日 米屋中

乍恐御達申上候御事(当村神明宮祭礼之儀) (慶応二年)寅八

月十三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名と鳴海御陣屋

覚(納米) (慶応二年)寅八月十四日 米屋中

乍恐御達申上候御事(当村八幡宮神事執行) (慶応二年)寅八

月十四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名と鳴海御陣屋

覚(白米小売直段) (慶応二年)寅八月十四日 油屋甚兵衛と春

米屋御衆中様

乍恐奉差上御請書之事(此度風災ニ付、当村扣往還並松倒

木御払御直段等之儀ニ付) (慶応二年)寅八月 鳴海村庄屋

下郷弥兵衛他一名と往還方御役所

乍恐奉願上候御事(知多郡半田村新右衛門所持之酒造米石

高、私江讓請申度) (慶応二年)寅八月 鳴海村五左衛門と鳴

海御陣屋

乍恐御達申上候御事(徳右衛門・吉五郎、不正之品買求候

一件) (慶応二年)寅八月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛他一名と

鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村瑞泉寺稻荷大明神遷宮ニ付、氏

子より献灯仕度) (慶応二年)寅八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

他一名と鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村瑞泉寺稻荷大明神遷宮ニ付、氏

子より献灯仕度旨) (慶応二年)寅八月 鳴海村庄屋下郷弥兵

衛他一名と鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村八幡宮祭礼之儀) (慶応二年)寅八

月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名と鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔拾得物届〕  
庄屋下郷弥兵衛ハ鳴海御陣屋  
一丁 一四三

乍恐奉願上候御事〔米拾五石、篠嶋権太郎江船送取斗申度〕  
(慶応二年)寅八月 鳴海村久野清吉ハ鳴海御陣屋  
一丁 一四六

乍恐御達申上候御事〔大高村山口一郎弟友三郎儀、鳴海村ニ寓居候一件〕  
(慶応二年)寅八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ハ鳴海御陣屋  
一丁 一四九

覚〔長草村番人藤吉入檻中諸入用〕  
鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ鳴海御陣屋  
一丁 一四七

覚〔白米式俵、陸送取斗〕  
縮役下郷弥兵衛他一名ハ熱田中瀬丁御町代中  
一丁 一四七

乍恐御達申上候御事〔山番小舎及出火焼失仕候付、取建申度〕  
(慶応二年)寅九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ御林方御陣屋  
一通 一五〇

乍恐奉願上候御事〔当村持分御林山砂留之儀〕  
九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ハ御林方御陣屋  
一丁 一三〇

乍恐奉願上候御事〔田畑作物不容易損亡ニ付、伝馬銀御免願〕  
(慶応二年)寅九月 鳴海村庄屋取縮役庄屋兼下郷弥兵衛他三名ハ鳴海御陣屋  
二丁 一五四

乍恐伺旁奉差上候御事〔鳴海村丹組秋之助他三名、川中桶杯を以水カエ魚殺生之模様〕  
屋下郷弥兵衛他四名ハ(宛名不詳)  
(慶応二年)寅九月 鳴海村庄  
二丁 一四〇

讓渡申家屋敷之事  
井筒屋米吉殿  
慶応二年十月 譲リ主米屋傳四郎他四名ハ  
一丁 一四六

預リ申頼母子金之事  
一名ハ頼母子御連中  
慶応二年十月 金子預リ主下郷弥兵衛他  
一丁 一四七

覚〔御蔵米〕  
(慶応二年)寅十月十七日 当番世話方ハ御村方御庄  
一丁 一四四

屋御衆中

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕  
衛門ハ鳴海御陣屋  
(慶応二年)寅十月 鳴海村周左  
二丁 一四八

乍恐奉歎願候御事〔凶作之上先前とは違ひ人氣悪敷、役前長百姓ともおいて取廻兼甚迷惑難波仕候〕  
一月 鳴海村惣年寄下郷善右衛門他三名ハ鳴海御陣屋  
二丁 一四三

覚〔餅他〕  
(慶応二年)寅十一月 鳴海(村)九左衛門ハ鳴海御陣屋  
一丁 一四七

乍恐御断旁奉申上候御事〔餅廿切程被盜取候儀〕  
寅十一月 鳴海村九左衛門ハ鳴海御陣屋  
一丁 一四九

讓渡申家屋敷之事  
名ハ紋七殿  
慶応二年十二月 譲リ主岩井屋佐十郎他五  
三丁 一五三

借用申金子之事  
名や八兵衛殿御取次  
慶応二年十二月 借用主五左衛門他三名ハ桑  
二丁 一四五

沽券状之事  
荒井村丈ハ殿  
慶応二年十二月 家譲リ主下郷弥兵衛他一名ハ牛毛  
一丁 一四三

覚〔御蔵米〕  
(御老中井上河内守様御登り御休泊ニ付先触)  
二月廿六日 当番問屋下郷作太郎ハ御当番庄屋衆様  
一丁 一五一

覚〔納米拾石請取〕  
下郷弥兵衛他一名ハ熱田築地御町代中  
(慶応二年)寅十二月廿八日 鳴海出穀縮役  
一丁 一〇七

乍恐御達申上候御事〔内藤様御蔵米五拾俵、三州苅屋中島屋善兵衛ハ買附〕  
海御陣屋  
(慶応二年)寅十二月 鳴海村五左衛門ハ鳴  
一丁 一三三

乍恐奉歎願候御事〔格外之凶作〕  
惣年寄下郷次郎太他七名ハ鳴海御陣屋  
(慶応二年)寅十二月 鳴海村  
四丁 一三六

乍恐御達申上候御事(鳴海村庄八、去年御相統為御祝儀、重追放御免)(慶応二年)寅十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋 一丁 一四六

乍恐御達申上候御事(盜難届)(慶応二年)寅十二月 鳴海村下郷四郎兵衛(鳴海御陣屋) 一丁 一四七

酒造御請書(造高百八拾石三斗着穀)(慶応二年)寅十二月 右(鳴海)村下郷四郎兵衛(鳴海御陣屋) 三丁 一四八

〔本文御米之儀、来冬迄拝借被仰付被下置候様〕(慶応二年)

寅十二月 鳴海宿庄屋加藤平五郎他五名(鳴海御陣屋) 二丁 一四九

乍恐奉歎願候御事(当村御物成之内上納残米百廿六石者御陣屋御困ひニ被成下)(慶応二年)寅十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名(鳴海御陣屋) 二丁 一五〇

乍恐御達申上候御事(大高村清三郎江米穀売払候一件)(慶

応二年)寅十二月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛他一名(鳴海御陣屋) 一丁 一五三

乍恐御達申上候御事(当村本組分組頭三造儀病氣ニ付退役)(慶

応二年)寅十二月 鳴海村庄屋坂野三右衛門他一名(鳴海御陣屋) 一丁 一五六

定納山之内山屋敷之事

慶応二年 水権平(右(鳴海)村庄屋) 一丁 一五三

写(鳴海村源助事健助、去ル午年御相統之為御祝儀、中追放御免)(慶応二年) 一丁 一五七

宗門請合手形之事(愛知郡南野村新兵衛娘きし聲同郡鳴海

村平組助蔵伴藤三郎宗旨)(慶応三年正月 愛知郡鳴海村庄

屋下郷弥兵衛他二名(南野村庄屋立松善兵衛殿他一名

覚(納米)(慶応三年)卯正月五日 米屋中當番締役(村方庄屋衆中様) 一丁 一五四

覚(納米)(慶応三年)卯正月十四日 米屋當番(村方庄屋衆中様) 一丁 一五六

乍恐奉願上候御事(米野村茂右衛門、諸国巡拝罷出候所、病氣ニ付宿村送り)(慶応三年)卯正月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名(鳴海御陣屋) 一丁 一五三

乍恐御達奉申上候御事(三州本地御藏米式拾五俵着穀)(慶

応三年)卯正月 鳴海村服部卯一郎(鳴海御陣屋) 一丁 一五九

乍恐御達奉申上候御事(三州本地御藏米式拾五俵着穀)(慶

応三年)卯正月 鳴海村服部卯一郎(鳴海御陣屋) 一丁 一三八

覚(納米差送り)(慶応三年)卯正月 出穀締役鳴海(村)下郷弥兵衛他一名(御町代御衆中) 一丁 一三三

乍恐御達申上候御事(当村本組分組頭三造儀退役ニ付、跡役之儀次郎吉相勤候)(慶応三年)卯正月 鳴海村庄屋坂野三右衛門他一名(鳴海御陣屋) 一丁 一四六

讓渡申家屋敷之事 慶応三年二月 譲り主眞屋甚吉後家他五名(岩井屋佐十郎殿) 二丁 一三九

覚(御藏米)(慶応三年)卯二月七日 當番世話方(御村方庄屋御衆中) 一丁 一三七

乍恐御請旁々願上候御事(窮民共御救筋施行講之儀、御差延仕度)(慶応三年)卯二月 平手新田庄屋清兵衛他一名(鳴海御陣屋) 一丁 一三五

海御陣屋

乍恐御請書奉差上候御事(当年柄江付、窮民共救筋之義被仰渡)(慶応三年)二月 平針村庄屋傳左衛門他一名(鳴海御陣屋) 一丁 一三七

送り書(納米)(慶応三年)卯二月 出穀締役下郷弥兵衛他一名(大瀬子町御町代衆中) 一丁 一三四

乍恐奉願上候御事(知多郡名和前新田常藏娘ます、私養女ニ貰請申度)(慶応三年)卯二月 鳴海村半助(鳴海御陣屋) 一丁 一三七

乍恐奉願上候御事〔私次男甚之助、有松村圓藏後家方江入夫ニ差遣申度〕（慶応三年）卯二月 鳴海村本組分伊助ノ鳴海御陣屋 一丁 一〇八

乍恐奉願上候御事〔私懸り人庄右衛門後家、相原村源□郎所へ懸り人ニ差遣申度〕（慶応三年）卯二月 鳴海村市左衛門ノ鳴海御陣屋 一丁 一〇九

乍恐奉願上候御事〔当村丹六儀宗門帳御組入願〕（慶応三年）卯二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 一一〇

乍恐奉願上候御事〔本地村賢藏後家、私懸り人ニ仕度〕（慶応三年）卯二月 鳴海村利右衛門ノ鳴海御陣屋 一丁 一一一

乍恐奉願上候御事〔同郡牛毛荒井村栄助、懸り人引請申度〕（慶応三年）卯二月 鳴海村本組分甚藏ノ鳴海御陣屋 一丁 一一二

乍恐奉願上候御事〔牛毛荒井村由右衛門女子ふみ、私懸り人ニ仕度〕（慶応三年）卯二月 鳴海村清次ノ鳴海御陣屋 一丁 一一三

乍恐奉願上候御事〔平針村彦七弟彦重儀、私懸り人ニ仕度〕（慶応三年）卯二月 鳴海村吉兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 一一四

乍恐御請書奉差上候御事〔当年柄ニ付、村方極窮之者共喰継方〕（慶応三年）卯二月 嶋田村庄屋圓藏他二名ノ鳴海御陣屋 一丁 一一五

乍恐奉願上候御事〔名古屋日置東出町下之切家持太助懸り人きせ男子与七、賀養子ニ仕相統為致度〕（慶応三年）卯二月 鳴海村安藏後家ノ鳴海御陣屋 一丁 一一六

乍恐奉願上候御事〔嶋田村御蔵入百姓惣兵衛・女房、鳴海村江為引越申度〕（慶応三年）卯二月 鳴海村九藏ノ鳴海御陣屋 一丁 一一七

乍恐御達奉申上候御事〔盜難届〕（慶応三年）卯二月 鳴海村前之庵分中井信七郎ノ鳴海御陣屋 一丁 一一八

乍恐再奉願上候御事〔伝馬銀堤銀御救筋〕（慶応三年）卯二月 鳴海村庄屋加藤平五郎他三名ノ鳴海御陣屋 三丁 一二五

御金器代米・御救米一条 慶応三年三月（鳴海村）庄屋所 五丁 一六〇

御金器を以御救被下置候代米渡判帳 慶応三年三月 五丁 一六三

譲渡申田地之事 慶応三年三月 譲主為八他一名ノ下郷善右衛門殿 三丁 二四〇

質流譲渡申田地添証文之事 慶応三年三月 譲り主徳左衛門他一名ノ中井治七郎殿 二丁 二六六

御達申上候御事〔納米〕（慶応三年）卯三月十九日 米屋月番ノ御庄屋御衆中様 一丁 二二〇

御達申上候御事〔納米〕（慶応三年）卯三月廿二日 米屋月番ノ御庄屋衆中様 一丁 二二五

乍恐御達奉申上候御事〔私懸り人次兵衛後家養子助次郎儀不縁ニ付、実親江差戻〕（慶応三年）卯三月 鳴海村庄左衛門ノ鳴海御陣屋 一丁 二五九

乍恐御達奉申上候御事〔盜難届〕（慶応三年）卯三月 鳴海村中嶋町幸太郎ノ鳴海御陣屋 一丁 二七三

乍恐御達申上候御事〔古道具屋又四郎召喚〕（慶応三年）卯三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 二八〇

奉願上候御事〔下郷金三郎被召出、元金を以田地差戻具候様〕 慶応三年四月 知多郡有松村祇園寺禪棟ノ寺社御奉行 一丁 二八〇

覚〔納米〕（慶応三年）卯四月二日 米屋当番ノ庄屋御衆中 一丁 二八三

覚〔納米〕（慶応三年）卯四月十七日 当宿米屋中〔稻葉美濃守殿下り、来ル廿一日鳴海通行ニ付順達〕（慶応三年）五月十七日 鳴海陣屋ノ別紙村々庄屋 一丁 二八七

乍恐奉願上候御事〔裸麦廿三石巻斗、半田村定吉江差送り申度〕（慶応三年）卯五月廿一日 鳴海村前之庵分弥三郎ゝ鳴海御陣屋 一丁 二三九

乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮詫宣ニ付、笛太鼓打囃挑灯相捧申度〕（慶応三年）卯五月廿五日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二三六

乍恐御達申上候御事〔盗難届〕（慶応三年）卯五月 鳴海村右衛門八ゝ御陣屋 一丁 二三七

乍恐奉願上候御事〔知多郡横須賀村彦吉所持之酒造米石高、私江讓請〕（慶応三年）卯五月 鳴海村市蔵ゝ鳴海御陣屋 一丁 二三四

讓渡申畑地之事 慶応三年六月 讓主本（組）彦作他一名ゝミ要助殿 一丁 二〇三

覚〔御蔵米〕（慶応三年）卯六月二日 当番世話方ゝ村方御庄屋御衆中 一丁 二三五

覚〔御蔵米〕（慶応三年）卯六月十日 当番世話方ゝ御村方庄屋御衆中 一丁 二二六

覚〔御蔵米〕（慶応三年）六月十三日 当番世話方ゝ御村方庄屋御衆中 一丁 二二六

覚〔御蔵米〕（慶応三年）卯六月十五日 当番世話方ゝ御村方庄屋御衆中 一丁 二四二

覚〔納米〕（慶応三年）卯六月十六日 米屋当番ゝ鳴海庄屋御衆中 一丁 二二六

覚〔御蔵米〕（慶応三年）卯六月廿三日 当番世話方ゝ御村方庄屋御衆中 一丁 二二二

覚〔御蔵米〕（慶応三年）卯六月廿五日 当番世話方ゝ御村方庄屋御衆中 一丁 二二五

覚〔御蔵米〕（慶応三年）卯六月廿八日 当番世話方ゝ御村方庄屋御衆中 一丁 二二五〇

乍恐御達申上候御事〔私被盗取品直段〕（慶応三年）卯六月 鳴海村加藤平五郎ゝ御陣屋 一丁 二四一

乍恐御請書之事〔盗難品〕（慶応三年）卯六月 鳴海村加藤平五郎ゝ鳴海御陣屋 一丁 二五八

乍恐御達申上候事〔天白川内高草等刈取方之儀〕（慶応三年）卯七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ御普請方御役所 一丁 二四〇

乍恐奉願上候御事〔鳴海村権治入牢ニ付見舞願〕（慶応三年）卯七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ徒刑御役所 二丁 二四九

覚〔納米〕（慶応三年）卯八月八日 米屋中ゝ村方庄屋御衆中 一丁 二〇一

覚〔納米〕（慶応三年）う八月十四日 米屋当番中ゝ当番庄屋衆様 一丁 二二三

乍恐御達申上候御事〔男老人行倒死骸為取片申度〕（慶応三年）卯八月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二四九

乍恐御達申上候御事〔男老死骸為取片付申度〕（慶応三年）卯八月十八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二三四

乍恐御達申上候御事〔男坊主老人行倒死骸為取片付申度〕（慶応三年）卯八月廿一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二四七

乍恐奉願上候御事〔私儀質屋職再興願〕（慶応三年）卯八月 鳴海村下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 二四四

乍恐奉願上候御事〔質屋職再興御百姓相統一助ニ仕度〕（慶応三年）卯八月 鳴海村下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 二二九

〔鳴海村市蔵、酒造稼高之内五拾石神酒製造之儀、願之趣承届候〕（慶応三年）卯八月 一丁 二六六

〔鳴海村市蔵儀、神酒五拾石製造願之趣承届〕（慶応三年）卯 一丁 二二〇



八月 鳴海組酒造大行事下郷善右衛門

乍恐御達申上候御事〔八幡宮神壓ニ付、湯立神楽奏申度〕 一丁 二九八

(慶応三年)卯八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔当村氏神八幡宮祭礼執行仕度〕(慶応三年)卯八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九六

乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮例年之通、笛太鼓打囃挑灯相捧申度〕(慶応三年)卯八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九八

覚〔植田村栄三郎入檻中入用〕(慶応三年)卯八月 檻番人和吉 一丁 二九三

覚〔植田村栄三郎入檻中入用〕(慶応三年)卯八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九五

覚〔納米升改メ〕(慶応三年)卯九月二日 米屋中当番左衛門他二名ゝ当番庄屋衆様 一丁 二九四

乍恐御達申上候御事〔神明宮神託之由ニ付、太鼓打囃子挑灯相捧申度〕(慶応三年)卯九月五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九四

乍恐御達申上候御事〔大神宮御本社御札天降相成、相祭申度〕(慶応三年)卯九月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九〇

乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮託宣ニ付、笛太鼓打囃子挑灯相捧申度〕(慶応三年)卯九月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九五

乍恐御達申上候御事〔天降之大神宮江裸馬疋差出申度〕(慶応三年)卯九月七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九三

乍恐御達申上候御事〔浅間宮祭礼ニ付、神事式執行申度〕 一丁 二九六

(慶応三年)卯九月十一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔津嶋牛頭天王并内津妙見宮御札天降相成候付、挑灯相捧篝火を焚相祭り申度〕(慶応三年)卯九月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九五

乍恐御達申上候御事〔天降相成候大神宮御札祭り〕(慶応三年)卯九月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二八七

乍恐御達申上候御事〔東宮大明神并豊川稻荷大明神、天照皇大神宮御札天降相成候付、挑灯相捧篝火ヲ焚相祭り申度〕(慶応三年)卯九月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二八六

乍恐御達申上候御事〔浅間宮神託之儀ニ付、笛太鼓打囃献灯申度〕(慶応三年)卯九月十三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九三

乍恐御達申上候御事〔御札天降相成候付、挑灯を捧相祭り申度〕(慶応三年)卯九月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二八三

書簡〔兵隊人別未不足致居候間、此上人撰方ハ行届間敷哉〕(慶応三年)九月十八日 鳴海村近藤作兵衛他二名ゝ南郡役所 一通 二五七

乍恐御達申上候御事〔太神宮御札天降御座候付、提灯を捧神楽を奏相祭申度〕(慶応三年)卯九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二九三

乍恐御達申上候御事〔天照皇大神宮御札被成天降候ニ付、神楽捧ケ申度〕(慶応三年)卯九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 二八八

乍恐御達申上候御事〔天照皇大神宮御札被成天降候付而ハ、挑灯捧ケ且於神前篝火焚申度〕(慶応三年)卯九月 鳴海村 一丁 二八六

庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔多賀大社御札天降御座候付、挑灯を

捧神楽を相奏祭申度〕（慶応三年）卯九月 鳴海村庄屋下郷弥

兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋 一丁 三〇三

〔鳴海村市蔵、古渡稻荷神酒造高三拾石瓶入之願承届〕（慶

応三年）卯九月 一丁 三三二

乍恐御請書奉指上候御事〔神酒早造願之儀〕（慶応三年）卯十

月 鳴海村市蔵他一名ゝ鳴海御陣屋 二丁 三二一

覚〔下米拾石、上押萩村定右衛門船ニ積廻〕（慶応三年）卯十

一月十三日 佐屋陣屋 一丁 三六六

乍恐奉願上候御事〔古米拾石、上押萩村定右衛門ゝ買取船

積ニ而着船〕（慶応三年）卯十一月十八日 鳴海村本左衛門ゝ

鳴海御陣屋 一丁 二七四

乍恐奉願上候御事〔米貳拾貳石、海西郡本部田村恒右衛門

ゝ買付米只今着船〕（慶応三年）卯十一月十八日 鳴海村勝蔵

ゝ鳴海御陣屋 一丁 二八三

乍恐奉願上候御事〔三州岡崎宿紙屋新七伴次郎、私娘ら

く所江入聲ニ貰ひ請申度〕（慶応三年）卯十一月 鳴海村成

田又九郎ゝ鳴海御陣屋 一丁 三五三

質流讓渡申田地之事 慶応三年十二月 田地譲り主上町忠兵衛

他一名ゝ藤村屋林蔵殿 一丁 二〇九

書簡写〔二条城二十諸侯程参集大騒動〕（慶応三年）十二月

十一日 一丁 二六六

〔申談儀有之候ニ付召喚〕（慶応三年）十二月十九日 鳴 二丁・一通 三三〇

海陣屋ゝ鳴海村庄屋 一丁 三七三

乍恐奉願上候御事〔古米拾貳石、海西郡上押萩村惣平ゝ買

請候処、積船着船〕（慶応三年）卯十二月十九日 鳴海村下組

分兵助ゝ鳴海御陣屋 一丁 二七三

乍恐奉願上候御事〔大豆五拾俵、知多郡榎戸村佐平江売付〕

（慶応三年）卯十二月十九日 鳴海村本左衛門ゝ鳴海御陣屋 一丁 三三四

乍恐御達申上候御事〔盜難届〕（慶応三年）卯十二月廿日 鳴海

村下組分太助ゝ鳴海御陣屋 一丁 三六二

乍恐御達旁奉願上候御事〔古米拾石、海西郡押萩村惣平ゝ

買請、只今着船〕（慶応三年）卯十二月廿三日 鳴海村下組分

兵助ゝ鳴海御陣屋 一丁 二〇七

乍恐御達申上候御事〔当村吉組分組頭与之八儀退役〕（慶応

三年）卯十二月廿五日 鳴海村庄屋加藤平五郎他二名ゝ鳴海御陣

屋 一丁 二六七

〔御下渡金割渡〕（慶応三年）卯十二月廿六日 鳴海村 一丁 二六八

〔益前先納御返済之金子可相渡候ニ付召喚〕（慶応三年）十二

月廿六日 鳴海陣屋ゝ鳴海村庄屋 一丁 二六四

乍恐御請書之事〔拾得物届〕（慶応三年）卯十二月 鳴海村長兵

衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 二七五

乍恐奉願上候御事〔大豆六拾五俵、知多郡半田村藤助方江

売渡〕（慶応三年）う十二月 鳴海村下組分徳兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 三八〇

乍恐奉願上候御事〔御蔵米四石、浅倉村傳右衛門方江売渡〕

（慶応三年）う十二月 鳴海村下組分徳兵衛ゝ鳴海御陣屋 一丁 三七六

乍恐奉願上候御事〔当村惣兵衛ゝ質屋職讓請〕（慶応三年）卯

十二月 鳴海村卯兵衛ゝ鳴海御陣屋 二丁 三三三

乍恐御請書之事〔私儀当村惣兵衛ゝ質物商売讓請之儀〕（慶

応三年）卯十二月 鳴海村卯兵衛ゝ鳴海御陣屋 二丁 二九七

屋榮助ノ鳴海御陣屋

乍恐御請書之事〔盜難品〕（慶応三年）卯十二月 鳴海村前之庵 一丁 一三四

分傳兵衛ノ鳴海御陣屋

〔盜難届〕（慶応三年）卯十二月 鳴海村前之庵分傳兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 一三五

陣屋

御請書之事〔文吉他三名、当村出生宗門名前之者〕（慶応三年）右（鳴海）村庄屋下郷弥兵衛ノ御作事方御役所 一丁 一三六

〔上約金〕（慶応三年） 鳴海村他 一通 一三九

老岐守殿御渡書付写〔采地之件〕（慶応三年） 一丁 一四〇

讓渡申御見取地之事 慶応四年正月 讓主小組善吉他一名ノ下郷次郎兵衛殿 二丁 一四一

郷次郎兵衛殿

口上〔御用向出来、御地頭所へ罷出候様〕（慶応四年）一月五日 一郎代筆ノ下郷様 一通 一四二

〔御蔵米〕（慶応四年）辰正月廿一日 当番世話方ノ御村方庄屋 一丁 一四三

御衆中

〔他所壳蔵敷差留候品〕（慶応四年）正月廿六日 鳴海陣屋ノ別紙村々庄屋 一丁 一四四

紙村々庄屋

〔御蔵米〕（慶応四年）辰正月廿八日 当番世話方ノ御村方庄屋 一丁 一四五

御衆中

乍恐御達申上候御事〔他所壳差留候品々、持合候者無御座候〕（慶応四年）辰正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 一四六

〔私儀痛所御座候ニ付、御役所江不出仕〕（慶応四年）辰正月 鳴海村下郷弥兵衛ノ御普請方御役所 一丁 一四七

鳴海村下郷弥兵衛ノ御普請方御役所

永代讓渡申畑地之事 慶応四年二月 茂三郎親譲リ主茂右衛門 一丁 一四八

他二名ノ吉（組）太蔵殿

質流ニ讓渡申畑之事 慶応四年二月 譲リ主三組勘三郎他一名 一丁 一五七

△三組久右衛門殿

永々讓渡申田地証文之事 慶応四年二月 田地讓主永井松右衛門他一名ノ久兵衛殿 一丁 一五八

門他一名ノ久兵衛殿

預リ申頼母子金之事 慶応四年二月 預リ主親本助八他五名ノ御連中 一丁 一五九

御連中

乍恐奉願上候御事〔私妹竹、三州幡豆郡羽塚村中村平左衛門所江懸人ニ差遣申度〕（慶応四年）辰二月 鳴海村下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 一丁 一六〇

衛ノ鳴海御陣屋

宗門送一札〔拙者妹竹、貴殿方懸人ニ差遣申候〕 慶応四年二月 尾州鳴海宿下郷弥兵衛ノ中村平左衛門殿 一丁 一六一

月 尾州鳴海宿下郷弥兵衛ノ中村平左衛門殿

〔御蔵米〕（慶応四年）辰二月四日 当番世話方ノ御村方庄屋御衆中 一丁 一六二

衆中

〔御老中稲葉民部太輔殿下り、明廿四日鳴海泊り通行ニ付順達〕（慶応四年）二月廿三日 鳴海陣屋ノ鳴海村他四ヶ村庄屋 一丁 一六三

順達〕（慶応四年）二月廿三日

鳴海陣屋ノ鳴海村他四ヶ村庄屋

乍恐御達申上候御事〔当村重蔵・儀左衛門後家、召喚〕（慶応四年）辰二月 鳴海（村）庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 一六四

辰二月 鳴海（村）庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔他所製壳案御締筋之儀〕（慶応四年）辰二月 鳴海村庄屋坂野三右衛門他一名ノ鳴海御陣屋 二丁 一六五

月 鳴海村庄屋坂野三右衛門他一名ノ鳴海御陣屋

〔客僧寺院ニ為致滞留候儀ニ付触〕（慶応四年）二月 寺社奉行所 一丁 一六六

行所

永代譲リ渡申家屋之事 慶応四年三月 家譲リ主徳兵衛他一名 二丁 一六七

△平組次輔殿他一名

〔納米〕（慶応四年）辰三月四日 米屋月番 一丁 一六八

〔御上洛ニ付、御道中筋格別之旧家ニ而御由緒茂礎成者有之候ハ、取調可差出旨〕（慶応四年）三月八日 鳴海陣屋ノ 一丁 一六九

之候ハ、取調可差出旨〕（慶応四年）三月八日 鳴海陣屋ノ

鳴海村他四ヶ村庄屋

〔御領分堂寺中江相触候様、御勘定奉行衆被申聞候付、相触候〕（慶応四年）三月廿二日 鳴海陣屋より別紙村々庄屋 一丁 一三九四

乍恐御達申上候御事〔十助儀御吟味済御免ニ付、召連帰村〕（慶応四年）辰三月 鳴海村与頭清右衛門より鳴海御陣屋 一丁 一三七三

乍恐奉願上候御事〔米五拾石、南柴田新田内田忠兵衛より買請候付、船積為相廻申度〕（慶応四年）辰三月 鳴海前之庵 一丁 一五五

分弥三郎より鳴海御陣屋 一丁 一五六

乍恐奉願上候御事〔米五拾石、南柴田新田太郎九より買請船積取斗引取申度〕（慶応四年）辰三月 鳴海村前之庵分弥三郎より鳴海御陣屋 一丁 一五七

預り申頼母子之事 慶応四年四月 金子預り主紺屋市藏他一名より植田より頼母子御連中 一丁 一三八

乍恐奉願上候御事〔米五拾石、南柴田新田太郎九より買請米着船〕（慶応四年）辰四月朔日 鳴海村前之庵分弥三郎より鳴海御陣屋 一丁 一五七

覚〔納米〕（慶応四年）辰四月九日 当番米屋より御庄屋御衆中 一丁 一三六一

覚〔納米〕（慶応四年）辰四月十二日 当番米屋より庄屋御衆中 一丁 一五九

覚〔納米〕（慶応四年）辰四月四日 当番米屋中 一丁 一三九三

乍恐御達申上候御事〔盗難届〕（慶応四年）辰閏四月九日 柴田新田茂右衛門より大御代官御役所 四丁 一四〇九

〔神社之由緒書付可申出事〕（慶応四年）閏四月廿四日 鳴海陣屋より別紙村々庄屋 五丁 一三五四

覚〔納米〕（慶応四年）辰五月十四日 米屋当番より村方御衆中様 一丁 一三七七

覚〔納米〕（慶応四年）辰五月十六日 米屋当番より村方御衆中様 一丁 一五八

覚〔納米〕（慶応四年）辰五月廿四日 米屋当番より村方御衆中様 一丁 一五〇九

御請書之事〔徳川慶喜、天下之形勢を察し、政權を奉帰候ニ付〕（慶応四年）辰五月 何村 一丁 一四三

乍恐御訴詔奉申上候御事〔金談出入〕（慶応四年）五月 右訴訟人坂野三右衛門より鳴海御陣屋 五丁 一七五

讓渡シ申家屋敷之事 慶応四年六月 家屋敷譲り主瑞泉寺より桑名屋より殿 二丁 一六〇九

覚〔納米〕（慶応四年）辰六月二日 米屋中 一丁 一五二

覚〔納米〕（慶応四年）辰六月廿七日 月番縮方米屋中 一丁 一五三

乍恐御達申上候御事〔当村字本川おるて被害人有之趣、番人申出〕（慶応四年）辰六月廿八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋 一丁 一五五

乍恐御請書之事〔字本川おるて被切殺候真五郎所持之品〕（慶応四年）辰六月廿九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋 一丁 一五六

〔博奕之所業有之趣相聞、吟味〕（慶応四年）辰六月 一丁 一三五

乍恐御達申上候御事〔盗難届〕（慶応四年）辰六月 鳴海村小鳴海分又兵衛より鳴海御陣屋 一丁 一五〇

乍恐御請書申上候御事〔私儀被盜取候品々御返シ〕（慶応四年）辰六月 鳴海村前之庵分中井源七より鳴海御陣屋 一丁 一五〇

乍恐御達申上候御事〔盗品見積直段〕（慶応四年）辰六月 鳴海村前之庵分中井源七より鳴海御陣屋 一丁 一五二

〔寺社奉行より方今之時勢ニ付触〕（慶応四年）六月 寺社奉行所 一丁 一五三

〔津島三之丸等祭礼之儀ニ付触〕（慶応四年）六月 鳴海陣屋 一丁 一五九

別紙村々庄屋

讓渡シ申田地之事 慶応四年七月 売主又藏他一名ヨグミ普 一丁 二〇八六

三郎殿

永代譲り渡申田地之事 慶応四年七月 譲り主丹組茂左衛門他 一丁 二七五

二名花井町作藏殿

乍恐奉差上濟口証文之事(甚吉借金一件) 慶応四年七月 右 三丁 三七六

訴詔人鳴海村坂野三右衛門・相手同村小鳴海分甚吉の鳴海御陣屋

差入申一札之事(甚吉借金一件) 慶応四年七月 金子返済主鳴 三丁 三七七

海村小鳴海分太兵衛他一名坂野三右衛門殿御取次

永代譲り渡申御見取之事 慶応四年七月 譲り主丹組茂左衛門 一丁 一三八二

他二名丹下村坂野儀平殿

覚(御蔵米) (慶応四年)辰七月廿日 当番世話方御村方庄屋御 一丁 一三六〇

衆中

覚(御蔵米) (慶応四年)辰七月廿五日 当番世話方御村方庄屋 一丁 一五三

御衆中

乍恐御達申上候御事(鳴海村本組弥三郎、脇差壱本拾ひ帰 一丁 一三九三

リ) (慶応四年)辰七月 右(鳴海村)庄屋下郷弥兵衛他一名

(鳴海御陣屋)

覚(御蔵米) (慶応四年)辰八月四日 当番世話方御村方庄屋御 一丁 一五八

衆中

〔南郡摠管よりの触〕 (慶応四年)八月十日 庄屋所別紙宿村 二丁 一五四

御役人御名前衆中

覚(納米) (慶応四年)辰八月十八日 米屋中 一丁 一五三

乍恐奉願上候御事(古渡村稻荷御社御神酒、先々造酒仕度)

(慶応四年)辰八月 鳴海村市藏南郡御役所 一丁 一三六五

〔御一新ニ付宿助郷共組替ノ触書〕 (慶応四年)辰八月 驛遞 一通 一三六七

御役所尾州愛知郡熱田宿戸部村他

〔今般御一新ニ付而者宿助郷共組替〕 (慶応四年)辰八月 驛 二丁 二三四

遞御役所尾州愛知郡熱田宿外村々

乍恐奉願上候御事(横須賀村彦吉所持之酒造米石高、私江 一丁 二六八

讓請申度) (慶応四年)辰八月 鳴海村市藏南郡御役所

乍恐以書付迅速御歎願申上候(旅籠屋共江米三拾石急借御 二丁 二四七

聞済直様御貸渡御救助被成下候様) (慶応四年)辰八月 鳴

海宿旅籠屋肝煎役長崎屋庄兵衛他四名宿村御役人衆中様

乍恐以書付御歎願奉申上候(渡世之品柄流失、御用宿難相 一二丁 一五九

勤為駄) (慶応四年)辰八月 鳴海宿旅籠屋肝煎役長崎屋庄兵

衛他四名宿村御役人衆中様

乍恐御歎願申上候御事(水災ニ付御大切之御用宿難相勤) 三丁 二四八

(慶応四年)辰八月 鳴海宿惣年寄下郷善右衛門他七名南郡御役

所 四丁 一五〇

乍恐奉歎願候御事(水災ニ付往還御用格別之御慈悲を以、

取繕料積書金高御手当被下置候様) (慶応四年)辰八月 鳴

海宿脇本陣土井新三郎南郡御役所

乍恐再御歎願申上候御事(水災ニ付脇本陣初旅籠屋共歎願) 四丁 一五二

(慶応四年)辰八月 鳴海宿脇本陣土井新三郎他五名宿村御役人

衆中様

奉差上御請書(今度東京行幸御差懸御用) (慶応四年)辰九月 二丁 一八九

三日 鳴海宿脇本陣土井新三郎他五名南郡御役所

奉願上候御事(御吟味之上、以来私奉仕之社御帳載被成下 二丁 一五八

候様) (慶応四年)月 愛知郡鳴海村陰陽師神官北野和泉大掾

鳴海御陣屋

〔番人和吉御手当筋歎願〕 (慶応年間カ) 二丁 二四三



明治

覚〔農兵人撰分〕（明治元年カ）九月八日 久野清吉他二名人撰  
二通 一三九  
覚〔鳴海村治助倅富吉、御役所兵隊人撰〕（明治元年）辰九月  
一丁 一三九  
十七日 右（鳴海）村下郷弥兵衛々南郡御役所  
覚〔御役所兵隊御不足之趣ニ付、人撰〕（明治元年）辰九月廿  
一丁 一三七  
一日 右（鳴海）村下郷弥兵衛他一名々南郡御役所  
乍恐御達申上候御事〔当村浅間宮祭礼ニ付、神事式執行申  
一丁 一四八  
度〕（明治元年）辰九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々南郡  
御役所  
乍恐御請書旁々奉願上候御事〔愛知郡平針村要右衛門、農  
一丁 一五四  
兵御組込願出〕（明治元年）辰九月 平針村庄屋角藏々南郡御  
役所  
〔横井久吉事、御暇被下置候〕（明治元年カ）十月十六日 南郡  
一丁 一三四  
總管所□□々鳴海村庄屋下郷弥兵衛江  
書簡〔明廿二日曉、生駒頼母様御下リニ付、御注進〕（明治  
一通 一三六  
元年）十月廿一日 当番問屋々御当番庄屋衆様  
〔御国生駒頼母様、東京江御下リニ付先触〕（明治元年）辰十  
一丁 一三九  
月廿一日 鳴海宿御伝馬所役人市左衛門々南郡御出張所  
覚〔愛知郡平針村要左衛門、兵隊希望ニ付御達〕（明治元年）  
一丁 一三七  
辰十月 鳴海村下郷弥兵衛々南郡御役所  
乍恐御達奉申上候御事〔盗難屈〕（明治元年）辰十月 鳴海村  
二丁 一三〇  
八右衛門々南郡御出張所  
乍恐奉願上候御事〔酒造米石高六拾石、知多郡半田村長造  
一丁 一三八  
江相讓申度〕（明治元年）十月 鳴海村五左衛門々南郡御役所  
乍恐御達申上候御事〔盗難屈〕（明治元年）辰十月 鳴海村茂左  
一丁 一五四

衛門々南郡御出張所

乍恐奉願上候御事〔大豆五拾石、知多郡大野村萩原宗平江  
一丁 一五五  
売付〕（明治元年）辰十月 鳴海村全左衛門々南郡御出張所  
質流讓渡之畑地之事 明治元年十一月 借用主新九郎他一名々  
一丁 一四三  
三吉殿  
永代讓渡申地所之事 明治元年十一月 地所讓主弥左衛門他二  
一丁 一〇七  
名々下郷善右衛門殿  
〔召喚状〕（明治元年）十一月六日 南郡總管所々名和村早川正六  
一丁 一三五  
江  
乍恐御達申上候御事〔為替米〕（明治元年）辰十一月十五日 鳴  
一丁 一五〇  
海村次郎左衛門々南郡總管御出張所  
〔升米〕（明治元年）十一月廿四日 当番傳兵衛他三名  
一丁 一四〇  
乍恐御達申上候御事〔村内行倒人死骸為取片付申度〕（明治  
一丁 一四三  
元年）辰十一月廿九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々南郡御出  
張所  
乍恐御達申上候御事〔鳴海村郊左衛門居家宅軒焼失〕（明治  
一丁 一五元  
元年）辰十一月晦日 右（鳴海）村庄屋下郷弥兵衛他一名々南郡御  
出張所  
乍恐奉願上候御事〔大豆七拾俵、横須賀村治兵衛江売渡〕  
一丁 一三六  
〔明治元年）辰十一月 鳴海村全左衛門々南郡御出張所  
乍恐御達奉申上候御事〔盗難品〕（明治元年）辰十一月 鳴海  
八丁 一三九  
村前之庵分勘右衛門後家々鳴海御陣屋  
乍恐御達申上候御事〔鳴海村相組分組頭久吉退役〕（明治元  
一丁 一三七  
年）辰十一月 右（鳴海）村庄屋下郷弥兵衛々南郡御出張所  
乍恐御請書之事〔采巳年御物成引当先納金受書〕（明治元年）  
一丁 一四〇  
辰十一月 平手新田庄屋清兵衛々南郡總官府御役所

乍恐御達申上候御事(行倒非人死骸為取片付申度) (明治元年) 辰十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々南郡御出張所 一丁 一五三

覚(善明寺非人小家江入置候海東郡楠井村非人定藏飯米) (明治元年) 辰十一月 鳴海村番人和吉々御庄屋中様 一丁 一六三

乍恐御達申上候御事(当村久吉儀此節兵隊御召抱) (明治元年) 辰十一月 鳴海村下郷弥兵衛々南郡御役所 一丁 一六四

〔村々散田之儀・山林開拓之儀等〕 (明治元年) 辰十一月 鳴海村下郷弥兵衛 二丁 一六四

永代田地譲り渡し申証文之事 明治元年十二月 田地譲り主武兵衛他一名々儀藏殿 二丁 一四三

質流讓渡申田地之事 明治元年十二月 讓渡主新三郎他二名々万屋初藏殿 一丁 一四三

質流讓渡申田地之事 明治元年十二月 譲り主徳右衛門他三名々沢瀉屋徳三郎殿 三丁 一六三

差上申御請書之事(今般御一新ニ付助郷御組替) 明治元年十二月 藤森村源左衛門々鳴海駅御伝馬所元々役下郷保殿他四名 四丁 一六三

覚(御蔵米) (明治元年) 辰十二月朔日 米屋当番々御村方様 一丁 一五二

〔還幸御道詞として五辻彈正大弼殿御登り、明十一日鳴海御通行ニ付順達〕 (明治元年) 十二月十日 南郡出張所(庄屋所) 一丁 一五六

書簡(伊兵衛々差出候証文一見) (明治元年) 十二月廿七日 同(下郷)良之介々下郷弥兵衛様 一通 一五三

乍恐御達奉申上候御事(勘右衛門後家悻吉右衛門、有松村おゐて御手附御同心衆様江御召捕) (明治元年) 辰十二月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名々鳴海御陣屋 一丁 一四二

乍恐御請書之事(鳴海村前之庵分吉右衛門手鎖村預) (明治元年) 辰十二月 一丁 一四二

元年) 辰十二月 鳴海村庄屋代組頭清吉々鳴海御陣屋

預り申書付之御事(勘右衛門後家悻吉右衛門自分諸色) (明治元年) 辰十二月十二日 鳴海村庄屋代前之庵組頭源七々鳴海御陣屋 一丁 一四四

乍恐御内々御歎願奉申上候(勘右衛門後家悻吉右衛門儀、全悪心等之所為ニも無御座) (明治元年) 辰十二月 鳴海村前之庵分右吉右衛門継母とよ々鳴海御陣屋 四丁 一四五

乍恐歎願奉申上候御事(私悻吉右衛門儀、全ク悪心之所為ニも無御座) (明治元年) 辰十二月 鳴海村前之庵分勘右衛門後家々鳴海御陣屋 四丁 一四六

乍恐御達奉申上候御事(私悻吉右衛門儀、居宅二階薪之内ニ取隠候品々) (明治元年) 辰十二月 鳴海村前之庵分勘右衛門後家々鳴海御陣屋 六丁 一四七

乍恐御請書奉差上候御事(勘右衛門後家悻吉右衛門儀、自分諸色御尋被遊相改) (明治元年) 辰十二月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名々鳴海御陣屋 二丁 一四三

乍恐御達奉申上候御事(私悻吉右衛門儀欠払) (明治元年) 辰十二月 鳴海村前之庵分勘右衛門後家々鳴海御陣屋 一丁 一四〇

覚(来年頭御飾松御入用) (明治元年) 辰十二月廿六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛々御船手御役所 一丁 一四三

覚(熱田浜御殿御飾松) (明治元年) 十二月廿七日 南郡出張所 一通 一四四

覚(年頭御飾松請取) (明治元年) 辰十二月 御船手(役所)々鳴海村庄屋 一通 一四五

乍恐御達奉申上候御事(着穀) (明治元年) 辰十二月 鳴海村前之庵分服部外一郎々南郡御出張所 二丁 一三五

乍恐御請書之事(来巳年御物成之内御先納) (明治元年)辰十一  
二月 相原村庄屋小三郎ノ南郡御役所 一丁 三九一

乍恐御請奉申上候御事(先納金当輪中村々江調達方) (明治  
元年)辰十二月 三州加茂郡寺部(村)寺部惣代助九郎ノ南郡總管  
府御役所 一丁 二四六

願上候御事(来巳年御物成引当先納) (明治元年)辰十二月  
右(嶋田)村庄屋圓藏ノ鳴海村御惣代下郷善右衛門他一名 一丁 二五五

乍恐御達旁奉願上候御事(当村并相原村立合不時御普請所  
之儀) (明治元年)辰十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ南郡御  
役所 一丁 一六〇

乍恐奉願上候御事(愛智郡野並村甚平、当村江引越願) (明  
治元年)辰十二月 愛智郡鳴海村引請喜八ノ南郡御出張所 二丁 三三二

天明二寅年当御陣屋御建初已来御代官進退之事 (明治元年)  
〔当巳八十八才已上之者名前年齢取調可申出事〕 (明治二年)  
正月四日 南郡役所ノ別紙村々庄屋 三丁 一四三  
一丁 一四四

乍恐御達申上候御事〔当巳八拾八歳已上之者、彦藏母きの  
当巳九拾三歳〕 (明治二年)正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ南  
郡御役所 二丁 一四二

乍恐御願申上候御事(以樋為替被成下度) (明治二年)巳十一  
月 鳴海村庄屋坂野三右衛門ノ以方御役所 二丁 二二七

人相書(陸前国百姓) (明治三年)庚午十二月 大政官 三丁 二四二

覚(当年地子物成取立高御尋ニ付取調) (明治三年)十二月  
廿六日 庄屋所ノ郵傳所元ノ役衆様 一丁 一四四

〔農兵取締役頭取〕 (明治四年)辛未四月五日 下郷善右衛門 一丁 二四五  
乍恐奉願上候御事〔村扣山神社御一新ニ付、北野金之助儀  
右社人ニ仕、唯一神道を以神務等為仕申度〕 明治四年五 三丁 二九五

月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ南郡御出張所  
乍恐以書付奉同上候御事〔有松村故山口吉左衛門家屋敷家  
財等東京商社江譲渡) (明治四年)辛未六月 鳴海村庄屋下郷  
弥兵衛他一名ノ南郡御出張所 二丁 二四四

要池違井上下棚四ノ形根宅ノ地埋共細口棚式ノ取繕□用御  
配符表 (明治四年)未六月 懸り村井太平次他一名ノ庄屋御衆  
中様 一丁 二四一

〔御年貢を納候儀〕 (明治四年)辛未九月 愛知郡出張所 二丁 二四六  
請取申米金之事 (明治四年)辛未十月 元二番隊鳴海村酒井豊吉  
ノ(宛名未詳) 一丁 二四六

乍恐奉願上候御事(鳴海元御代官様御役宅取払) (明治四年)  
辛未十月 鳴海村庄屋坂野三右衛門ノ愛知郡御料 一丁 一四五

御達申上候御事(強盜) (明治四年)辛十月 下郷次郎太ノ南郡  
郡□方御役所 一丁 二四四

〔鳴海辺強盜横行ニ付、取締陣営等手当方〕 (明治四年)鳴  
海詰驛遞掛リ江 一丁 二四七

〔天然痘予防規則〕 明治九年五月十八日 二丁 二四三

御書写(国政向紀律相弛ミ候上家中一同江申渡) (明治カ) 四丁 二五二

〔年代未詳〕

覚(御用米運賃、人足代等) (年代未詳)子正月 鳴海庄屋下郷  
弥兵衛他一名ノ鳴海御陣屋 一丁 一八五

乍恐奉願上候御事〔村方欠払候源八儀、埴村ニ付宗門組入  
願) (年代未詳)子正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海  
御陣屋 一丁 一八七

乍恐奉願上候御事〔名古屋関鍛冶町久兵衛倅久太郎・久吉、

私懸り人仕為引越申度〕（年代未詳）子正月 鳴海村左衛門

の鳴海御陣屋

二丁 一九四

〔当村持分御山之内ニ而透伐枝下シ為仕度〕（年代未詳）子正

月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の御林方御陣屋

一丁 一九四

乍恐御達申上候御事〔当村扇川定式御普請所之儀〕（年代未

詳）子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

一丁 八六

乍恐御達申上候御事〔当村又四郎儀、買請候鉄砲藏物之由〕

（年代未詳）子四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋

二丁 二四六

乍恐御達申上候御事〔山砂留取直方〕（年代未詳）子五月 鳴

海村庄屋下郷弥兵衛の御林方御陣屋

一丁 二四三

乍恐御達申上候御事〔当村田方之儀虫氣相見候付、火振虫

払取斗願〕（年代未詳）子六月廿六日 鳴海村庄屋下郷次郎右

衛門の鳴海御陣屋

一丁 二四四

乍奉願上候御事〔当村扣定式御入用御普請場所方伏替願〕

（年代未詳）子六月 鳴海村庄屋金三郎他一名の鳴海御陣屋

二丁 二四七

覚〔味噌・溜り差送り〕（年代未詳）子八月廿八日 大野村庄屋

平野彦右衛門の鳴海御庄屋衆中

一通 三三〇

乍恐奉願上候御事〔嘉永四年六月月中追放友七儀、改心仕候

ニ付、私懸り人ニ被仰付被下置候様〕（年代未詳）子八月

知多郡大高村九兵衛の鳴海御陣屋

二丁 一八四

乍恐御達申上候御事〔当村方勘定立会役久野清吉儀、養母

之忌ニ而今日引籠〕（年代未詳）子九月四日 鳴海村庄屋

一丁 二四八

下郷弥兵衛の鳴海御陣屋

乍恐御願奉申上候御事〔落馬私共ニ御渡不被下ニ付嘆願〕

（年代未詳）子十二月 鳴海村磯多惣代市藏他一名の御庄屋衆中

二丁 一八四

様・御組頭衆中様

乍恐奉願上候御事〔相組与頭太左衛門未進米皆済方〕（年代

未詳）子十二月 鳴海村庄屋下郷次郎左衛門他六名の鳴海御陣屋

二丁 二四七

乍恐奉願上候御事〔私夫故次郎左衛門兄熊吉改心ニ付、私懸

り人ニ差加被成下度〕（年代未詳）丑三月 鳴海村次郎左衛門

三丁 一九元

後家他三名の鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔私次男政吉、新屋敷村理藏聳養子ニ差

遣申度〕（年代未詳）丑三月 鳴海村次郎左衛門後家の鳴海御陣

一丁 二四〇

屋

乍恐急卒奉敷願候御事〔御進発御用人足〕（年代未詳）丑五

月 三州寺部輪中惣代寺部庄屋愛助他二名の鳴海御陣屋

一三丁 二四〇

乍恐御達申上候御事〔当村小八、扇川通おいて背積 一丁・一通

之鉢見当〕（年代未詳）丑八月三日 鳴海村出穀締役坂野三右

二四四

衛門他二名の鳴海御陣屋 付、書簡

鳴海宿高札場迄ケ所御修復（年代未詳）丑九月、寅二月 鳴海

五丁 一八四

村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御役所

乍恐御達申上候御事〔当所越後屋丹右衛門儀、無宿兩人差

留候ニ付遠方留〕（年代未詳）丑九月廿日 鳴海村庄屋下郷弥

二丁 二四六

兵衛他一名の鳴海御役所（朱筆）「八十二」

乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮神託ニ付、笛太鼓打囃子

挑灯相捧申度〕（年代未詳）丑九月廿六日 鳴海村庄屋下郷弥

一丁 一九四

兵衛他一名の鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔盜難屈〕（年代未詳）丑九月廿七日 鳴海

一丁 二四三

村下郷清兵衛の鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔旅人伊三郎盜賊一件〕（年代未詳）丑十

月廿五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御役所（朱筆）

一丁 一八五

「八十六」

〔他所稼調〕（年代未詳）丑十一月 丹組・平組・作組の庄屋衆中様 六丁 三三九

覚〔米相場〕（年代未詳）丑十一月、寅十月 六丁 二五五

乍恐御達申上候御事〔当宿脇本陣土井新三郎儀駿府町奉行江出立日限并差添役人〕（年代未詳）丑十一月 鳴海村庄屋下 一丁 二四九

郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔鳴海宿脇本陣土井新三郎代忤金之助他一名、駿府町奉行所江出立二付、御印鑑御渡被成下置候様仕度〕（年代未詳）丑十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名 一丁 二四二

の鳴海御陣屋

差上申御請書之事〔井上河内守様御上坂被遊候処、諸事格外ニ御省略〕（年代未詳）丑十二月四日 組合宿々取締役品川宿山 一丁 二四四

本伴蔵の木村董平様御役所

乍恐御請書之事〔鳴海宿脇本陣土井新三郎、駿府町奉行所御召出二付、御関所御印鑑御渡〕（年代未詳）丑十二月五日 一丁 二八五

鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋

大和屋佐七諸色調書之覚（年代未詳）丑十二月廿八日 組頭庄 三丁 二四七

兵衛他一名

〔鳴海陣屋よりの触〕（年代未詳）丑十二月 下郷弥兵衛の別紙 七丁 一九五

御名前衆中

〔鳴海陣屋よりの触〕（年代未詳）丑十二月 下郷弥兵衛の別紙村々御庄屋中 一〇丁 一九六

紙村々御庄屋中

〔鳴海陣屋よりの触〕（年代未詳）丑十二月 惣代鳴海村下郷弥兵衛の別紙村々御庄屋中 八丁 一九七

兵衛の別紙村々御庄屋中

丑年免附〔断簡〕（年代未詳） 一丁 一九六

覚〔前之庵六兵衛掟米〕（年代未詳）丑十二月 嘉十郎 三通 二五〇

覚〔急拝借割合〕（年代未詳）寅正月 相原庄屋の下郷弥兵衛様 一丁 二四九

御歎願奉申上候〔年貢未進御勘弁願〕（年代未詳）寅正月 脇 二丁 二四三

本陣格大和屋佐七の御村方御役人御衆中様

乍恐奉願上候御事〔知多郡緒川村市郎平弟善兵衛、私懸り人ニ仕度〕（年代未詳）寅二月 鳴海村勇左衛門の鳴海御陣屋 二丁 二五五

乍恐奉願上候御事〔私忤嘉兵衛女房よふ、親元長蔵江懸り人ニ差遣申し度〕（年代未詳）寅二月 鳴海村前之庵分故嘉兵衛祖母の鳴海御陣屋 二丁 二五三

衛祖母の鳴海御陣屋

乍恐御達奉申上候御事〔当村神社神主牧野采女宅江吉田殿御配下松岡相模ト名乗不審之者参り一泊、逃去〕（年代未詳）寅三月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋 一丁 二四〇

乍恐御訴訟奉申上候御事〔謀書判を以金子借入候出入〕（年代未詳）寅三月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋 三丁 一八三

代未詳）寅三月 相原町健助忤太助の鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔庚申堂守退堂願〕（年代未詳）寅三月 愛 二丁 一八五

知郡鳴海村瑞泉寺扣同村上町庚申堂守智玉の鳴海御陣屋

乍恐書付を以御請申上候御事〔諸御役人様方御支度代〕（年代未詳）寅三月 鳴海村庄屋上杉長左衛門の（鳴海陣屋宛力） 一丁 一九九

覚〔御蔵米〕（年代未詳）寅四月十九日 当番締方の村方庄屋御衆中 一丁 八五

乍恐御達申上候御事〔米直段連々昇り困窮〕（年代未詳）寅四月 二丁 二四八

月 鳴海村下郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔扇川入津之諸荷物世話方御免願〕（年代未詳）寅四月 鳴海村下郷右衛門八の鳴海御陣屋 三丁 二四三

未詳）寅四月 鳴海村下郷右衛門八の鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔大風雨にて倒木〕（年代未詳）寅五月 五丁 一八七

鳴海村庄屋坂野三右衛門の往還方御役所

鳴海村庄屋坂野三右衛門の往還方御役所



乍恐奉願上候御事〔当村儀右衛門後家事御吟味筋〕（年代未詳）寅五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋	一丁	二四六	十三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋	一丁	三三六
乍恐奉願上候御事〔当村扣定式御入用御普請場所伏替願〕（年代未詳）寅六月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他二名ゝ鳴海御陣屋	三丁	二五二	乍恐御請旁々奉願上候御事〔村方おゐて身柄之者ゝ窮民共江夫々喰続方取賄〕（年代未詳）卯二月 赤池村庄屋德兵衛ゝ鳴海御陣屋	一丁	三三六
〔今般御太切之御用物、東海道筋美濃路御差下ニ付、道橋見分〕（年代未詳）寅七月廿三日 青山金左衛門ゝ東海道・中山道・美濃路宿村川場役人中	四丁	三六〇	乍恐奉願上候御事〔当新田收納米之内、金主清須村武田新藏江可引渡分、差送り申度〕（年代未詳）卯二月 鳴海宿伝馬新田肝煎牛毛荒井村治兵衛ゝ鳴海御陣屋	一丁	二四八
〔東海道美濃路通り道橋風損場所見分〕（年代未詳）寅八月十六日 左衛門・摂津ゝ東海道・中山道・美濃路通り右宿々村々問屋・年寄・名主・組頭	四丁	三六八	乍恐奉願上候御事〔私親類中嶋郡野崎村利兵衛忤安藏、私懸り人ニ仕度〕（年代未詳）卯二月 鳴海村吉組德三郎ゝ鳴海御陣屋	二丁	三〇六
乍恐奉願上候御事〔立毛生立振御見分之上、御救筋被成下置候様〕（年代未詳）寅九月 鳴海村庄屋介右衛門八他三名ゝ鳴海御陣屋	六丁	二九〇	乍恐奉願上候御事〔熱田新宮坂町久四郎他四名、私懸り人ニ仕度〕（年代未詳）卯三月 鳴海村甚七後家ゝ鳴海御陣屋	二丁	二四五
覚〔御蔵米〕（年代未詳）寅十月十日 当番世話方ゝ村方御庄屋御衆中	三丁	二四六	乍恐御達申上候事〔盜難届〕（年代未詳）卯三月 鳴海村松川平三郎後家ゝ鳴海御陣屋	一丁	二四九
乍恐奉歎願候御事〔当御物成之内米百八拾石也、来冬迄御年延拝借被仰付被下置候様〕（年代未詳）寅十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名ゝ鳴海御陣屋	四丁	一九三	〔山屋敷〕（年代未詳）卯三月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他二名ゝ御林方御陣屋	一丁	二五〇
乍恐奉願上候御事〔米野村茂右衛門宿村送り〕（年代未詳）卯正月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御陣屋	一丁	二八七	乍恐御請書之事〔盜品見積直段〕（年代未詳）卯四月 鳴海村本川弥三郎ゝ鳴海御陣屋	一丁	二四四
〔断簡〕（年代未詳）卯正月 右〔鳴海〕村庄屋下郷弥兵衛他六名ゝ鳴海御陣屋	一丁	二五〇	乍恐奉願上候御事〔志水甲斐守様御屋敷御払米売捌御米会所支配向之儀〕（年代未詳）卯四月 鳴海村菊蔵他一名ゝ鳴海御陣屋	三丁	一八四
乍恐御達申上候御事〔行倒非人届〕（年代未詳）卯二月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋	一丁	二四六	乍恐奉願上候御事〔大高村御米会所再興、当村江出会所ニ取斗申度〕（年代未詳）卯四月 鳴海村菊蔵・伝兵衛ゝ鳴海御陣屋	七丁	三九一
覚〔知多郡柿並村しけ入檻中諸入用受取〕（年代未詳）卯二月	一丁	二四三	乍恐奉願上候御事〔惣領仁左衛門勘当帳外願〕（年代未詳）卯五月 鳴海村要蔵他二名ゝ御陣屋	三丁	一八四
			乍恐奉願上候御事〔当宿役車取戻シ出入〕（年代未詳）卯七月	四丁	一八三

鳴海村丹組与頭儀平々鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(質屋職、同村清右衛門江讓渡願)(年代未詳)卯七月 鳴海村丹六々鳴海御陣屋

四丁 三三八

乍恐御請書之事(質屋職再興)他(年代未詳)卯八月他 鳴

一六丁 三〇六

海村下郷弥兵衛々鳴海御陣屋

乍恐御請書之事(鳴海村金次郎遠方留)(年代未詳)卯九月二日 鳴海村庄屋加藤平五郎他一名々鳴海御陣屋御手附衆様

三丁 三九六

乍恐御願申上候御事(当村水鳥御運上場之儀)(年代未詳)卯十月 横根村庄屋又右衛門々鳴海御陣屋

五丁 一九〇

御尋ニ付乍恐御達奉申上候御事(当所八幡宮社人久野越後殿扣御除地之儀)(年代未詳)卯十月 鳴海庄屋下郷弥兵衛他

一丁 二七〇

五名々鳴海御役所(朱筆)「四十一」

乍恐御達申上候御事(町奉行所々御呼出候付、差添罷出候)(年代未詳)卯十一月 鳴海庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋

一丁 二四九

乍恐御達申上候御事(鳴海宿御本陣・脇本陣名前)(年代未詳)卯十一月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛々鳴海御陣屋

一丁 二五三

乍恐奉願上候御事(定納山松木透伐願)(年代未詳)辰正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛々鳴海御陣屋

三丁 三六一

乍恐奉願上候御事(私倅国次郎、大高村市郎右衛門江養子差遣申度)(年代未詳)辰二月 鳴海村前之庵分与右衛門々鳴海御陣屋

一丁 二四五

海御陣屋

乍恐奉願上候御事(相原村新兵衛弟新右衛門、私江養子ニ貰受申度)(年代未詳)辰二月 鳴海村又四郎々鳴海御陣屋

一丁 二四六

乍恐奉願上候御事(私倅左左衛門儀勘当差免)(年代未詳)辰四月 鳴海村左左衛門親徳右衛門他四名々鳴海御陣屋

二丁 二四七

乍恐奉願上候御事(当村扣定式御入用御普請場所伏替願)

七丁 二五三

(年代未詳)辰六月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋

〔断簡〕(年代未詳)辰八月 愛知郡鳴海村下郷弥兵衛々南郡御役所

一丁 二四三

送り状之事(替銭米五拾俵積送り)(年代未詳)辰十一月五日

一丁 二四〇

ミノ尻毛村問屋九左衛門々桐嶋屋勝藏殿

乍恐御請旁奉願上候御事(野並村持藤川堤出水打切候付、此度御普請)(年代未詳)辰十一月 鳴海村庄屋加藤平五郎他

五丁 二四四

二名々南郡御役所

乍恐御達申上候御事(行倒非人)(年代未詳)辰十二月廿七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々南郡御出張所

一丁 二四六

乍恐奉願上候御事(商売向等相統願)(年代未詳)辰十二月 鳴海村前之庵分服部如一郎々南郡御出張所

一丁 二四四

乍恐内々奉歎願候御事(野並村持御普請方御支配藤川通北堤打切場所模様替之儀)(年代未詳)辰十二月 鳴海村惣年

二丁 二四九

寄頭百姓下郷善右衛門他一名々南郡御役所

乍恐書付を以御達申上候御事(諸御通行之節々寺社門前掃除之儀)(年代未詳)巳三月 鳴海庄屋下郷弥兵衛々鳴海御役所(朱筆)「十八」

一丁 二四八

所(朱筆)「十八」

乍恐御達申上候御事(盜難届)(年代未詳)巳四月廿六日 鳴海村次郎四郎(郎)々鳴海御役所(朱筆)「廿七」

一丁 二四七

〔前之庵服部外八郎儀、常渭村辰蔵初江懸り出入筋〕(年代未詳)巳八月

乍恐奉願上候御事(御林方御陣屋への御添翰願)(年代未詳)午三月 鳴海村下郷次郎太々鳴海御陣屋(朱筆)「四十八」

一丁 二四四

乍恐奉願上候御事(山屋敷小屋取建につき、御林方御陣屋

一丁 二四八

への御添翰願 (年代未詳) 午三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋 (朱筆) 「四十七」

乍恐御達申上候御事 (氏神おゐて五穀成就祈禱仕候ニ付、組々挑灯相捧申度) (年代未詳) 午五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋 (朱筆) 「五十三」

覚 (鳴海村五郎八扣田六反六步定納米) (年代未詳) 午五月 (覚) (年代未詳) 午七月 鳴海村庄屋近藤小七他一名八尾吉太夫様

差出申一札之事 (鍋嶋周防儀盜難一件) (年代未詳) 午十月廿四日 鍋嶋周防内南里五郎兵衛尾州御領鳴海宿間屋中・庄屋中

乍恐御達旁奉願上候御事 (諏訪社境内松木伐採願) (年代未詳) 未四月 鳴海村庄屋下郷四郎兵衛他二名鳴海御陣屋

乍恐再奉願上候 (私儀家名相続仕、老父母養育仕度候付、永之御暇被下置候様) (年代未詳) 未六月十九日 青木与兵衛練武方御役所

覚 (後欠) (年代未詳) 未十二月廿七日

乍恐口上之覚 (米売買勘定相立不申儀ニ付、遠方江罷出候儀差留) (年代未詳) 未十二月 太右衛門他三名下郷次郎四郎様

〔断簡〕 (年代未詳) 酉二月 右 (鳴海) 村庄屋下郷弥兵衛他七名鳴海御陣屋

覚 (鳴海村古物・酒・質・小間物商人名前) (年代未詳) 酉三月

乍恐御達申上候御事 (今般大風ニ付倒木届) (年代未詳) 酉八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事 (酒造仕入ニ付、御米千石早稲米ニ而拌

借御願) (年代未詳) 酉十月 靈岸嶋四日市町千代倉次郎兵衛市谷御勘定所様

酉十一月廿二日献金取立 (年代未詳)

乍恐奉願上候御事 (別段之宿入用相嵩候ニ付、返上納之儀壹ヶ年御年延被成下置候様) (年代未詳) 酉十二月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他三名鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事 (赤池村初五ヶ村鳴海宿往環江之車路切開願) (年代未詳) 戌八月 赤池村庄屋源九郎他四ヶ村庄屋鳴海御陣屋

戌十一月廿一日献金取立 (年代未詳)

覚 (受取) (年代未詳) 戊極月 米屋□栗様

乍恐奉願上候御事 (当村持分御山之内有松村百姓自分扣松木透伐願) 他 (年代未詳) 亥正月他 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名御林方御陣屋

乍恐御達申上候 (格別之旧家之者無御座候) (年代未詳) 亥三月 鳴海村庄屋鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事 (御内談之趣人質宜者植田村弥平他三名) (年代未詳) 亥五月 鳴海村惣代下郷弥兵衛水野権平様

乍恐奉願上候御事 (神明宮修覆願) (年代未詳) 亥十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御役所 (朱筆) 「四十六」

〔凶年打統一統難渋之時節、窮民共江施物等いたし候趣〕 (年代未詳) 亥十一月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事 (安政四年閏五月、村方欠払候鳴海村枝郷前之庵分文四郎妻子共、此節帰村願) (年代未詳) 亥十一月 右 (鳴海村) 庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋

差出申口上之覚 (相原町組内源四郎後家倅茂右衛門儀、病

一丁 二五七

一通 二五七

一通 二五七

二丁 二四六

二丁 一八七

三丁 二四三

一通 二五七

一通 二五九

一丁 二四七

一丁 二四九

六丁 一九三

三丁 一八五

一五丁 一九四

五丁 一九二

九丁 三三三

八丁 一九五

二丁 二七六

一八丁 三三三

一丁 一九五

一丁 二四九

三丁 二四〇

一丁 八五

二丁 二四六

一通 三五二

死ニ付診斷書 (年代未詳) 亥十一月 鳴海村高嶋周作ノ南野村正行寺御役者

覺 (御小納戸矢田常右衛門様、岩屋寺御往來之節、人足御繼立賃錢) (年代未詳) 亥十二月十九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛

ノ鳴海御役所 (朱筆)「五十六」

乍恐御達申上候御事 (千賀与八郎様 御家来伊奈伴藏様御越之節、人足御繼立賃錢) (年代未詳) 亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所 (朱筆)「五十七」

〔間連文書カ〕

覺 (春來) 他 (年代未詳) 正月十三日

覺 (叔藏修繕代) (年代未詳) 閏二月 弥兵衛

〔達斷簡〕 (年代未詳) 三月六日 往還方ノ東阿野村他五ヶ村庄屋

〔紀伊中納言様御登御用〕 (年代未詳) 三月九日 鳴海庄屋ノ大

高村初御庄屋中

乍恐奉願上候御事 (当所御公札覆之儀) (年代未詳) 三月 鳴

海庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御役所 (朱筆)「十九」

書簡 (男子出生ニ付、為御祝儀小袖一重御酒老樽) (年代未

詳) 五月廿一日 忠藏ノ弥兵衛様

〔鳴海村傳七、古手商売之者締役申付候〕 (年代未詳) 六月

心得書 (古手商売之儀、悪党者等吟味筋江付鑑札相渡締取

斗候筈候) (年代未詳)

〔勘定之節吟味之事他斷簡〕 (年代未詳) 七月十六日

覺 (扇川通ゾレ所取繕人足代) (年代未詳) 七月 懸り作 (組) 清

右衛門ノ御当番下郷弥兵衛様

〔鳴海諏訪明神東ノ往還道大高村持場迄草刈方取斗〕 (年代未詳) 八月五日 鳴海陣屋ノ鳴海村・大高村庄屋 (朱筆)「八十

一」

〔斷簡〕 (年代未詳) 八月五日 此書付預り寿助殿

〔米価高価ニ付、酒造元入之儀見合候様、町々酒造屋締役

江申渡) (年代未詳) 八月十一日 三喜右衛門ノ右村々庄屋

〔田畑違作ニ付、綿布役銀御免〕 (年代未詳) 九月 (鳴海陣屋

カノ庄屋・組頭・頭百姓宛

黑石御小舎行諸色代 (年代未詳) 九月 村井太平治

〔鳴海宿木賃宿せい儀、盜物質ニ置遣候段不埒ニ付、叱置) (年代未詳) 十一月

乍恐御達申上候御事 (旅之者差置候風呂敷包) (年代未詳) 十

二月六日 鳴海村喜助ノ鳴海御役所 (朱筆)「五十四」

〔御用包紙〕 (年代未詳) 十二月廿一日 鳴海村庄屋ノ牛毛荒井村

初庄屋衆中

〔藍壳方買方斷簡〕 (年代未詳) 十二月

覺 (米式百石代金等) (年代未詳)

〔御私居米勘定〕 (年代未詳)

大急キ持廻リ (斷簡) (年代未詳)

〔斷簡〕 (年代未詳)

〔御達留斷簡〕 (年代未詳)

乍恐奉願上候御事 (知多郡大高村山口源兵衛儀、内輪世話

方御免) (年代未詳)

沓掛文言 (今般依台命御上京) (年代未詳) 右 (沓掛) 村惣代

乍恐御尋ニ付御達奉申上候御事〔肥物耕作仕法〕（年代未詳）

六丁 二五〇

田楽村庄屋梶田喜左衛門他一名杉浦七左衛門様御陣屋

口上〔御屋敷様御殺生場御運上銀上納〕（年代未詳）

一丁 二八五

乍恐御達申上候御事〔柏樹様御扣〕（年代未詳）

一丁 二五二

〔銀子請取〕（年代未詳）御普請方

一丁 二〇四

〔街道筋村々割付〕（年代未詳）鳴海村他五十二ヶ村

八丁 二〇六

〔断簡〕（年代未詳）

一丁 二〇八

〔断簡〕（年代未詳）

一丁 二〇九

〔断簡〕（年代未詳）

一丁 二五〇

〔健左衛門御願断簡〕（年代未詳）親類甚助他六名御庄屋下

一丁 二五二

郷弥兵衛様

〔鉢植法〕（年代未詳）

二丁 二七七

〔断簡〕（年代未詳）

二丁 二六三

覚〔断簡〕（年代未詳）

一丁 二六六

〔断簡〕（年代未詳）

一丁 二六七

覚〔断簡〕（年代未詳）

一通 二七一

〔絵図断簡〕（年代未詳）

一通 二七三

〔断簡〕（年代未詳）

一通 二五九

〔勘定断簡〕（年代未詳）庄〔屋〕次郎四郎

一通 二五〇

村鑑

〔愛知郡鳴海村村鑑帳〕（年代未詳）

八丁 二四五

覚〔葦家届〕（年代未詳）九月七日 本組

一通 二九四

絵図

愛知郡鳴海村田方御年数引図面（年代未詳）明和四年大水

一通 二〇五

之節砂入場処ノ記載アリ

絵図〔鳴海村周辺カ〕（年代未詳）

一枚 一八四

〔字笹塚山屋敷周辺絵図〕（年代未詳）

一枚 二七四

〔当村浅間堂周辺絵図〕（年代未詳）

一枚 二七四

〔水袋新田絵図断簡〕（年代未詳）

一枚 二五〇

〔定納山絵図〕（年代未詳）

二丁 二五二

村役人

帶刀御免之儀御改書上 鳴海宿頭百姓・組頭 安永三 縦帳 一冊 三九六

年二月 鳴海宿村庄屋近藤九左衛門ノ児嶋幸左衛門様

覚〔手代六人・下郷善右衛門御扶持方〕（年代未詳）巳十月

一通 三〇七

倒家・御救銀

倒家書上帳 天保八年八月 鳴海村

縦帳 一冊 一八五

天保八四年倒家之者江御救銀割渡判取帳 天保十二年

縦帳 一冊 一七七

二月 鳴海村

乍恐御達申上候御事〔添家老軒出火〕（嘉永六年）丑二月

一丁 三〇三

鳴海村庄屋下郷保之助他一名ノ鳴海御陣屋

田面荒達倒家半倒書上帳 慶応二年八月七日 庄屋下郷弥

兵衛 縦帳 一冊 一九三

覚〔倒家届〕（年代未詳）九月七日 次郎七

一通 二九三



〔たをれ家式軒断簡〕（年代未詳） 一通 二七四

乍恐奉願上候御事〔御膳米御囲糶ニも御振替ヲ以御免被成  
下置候様〕（嘉永六年）丑八月 鳴海村庄屋下郷保之助他一名  
〆鳴海御陣屋 一丁 二〇〇

〔御囲米〕（年代未詳） 十月七日 鳴海庄屋 一通 二〇八

頼 母 子 一通 二〇四

預り申金子之事〔頼母子〕 文久三年十一月 金子預り主籠山常  
八他二名〆藤助頼母子御連中様 一通 二〇四

秣 囲 置

馬芻村内取調一件 慶応二年二月 取扱下郷弥兵衛 一四丁 一五三

御用蓄馬草一件 慶応二年七月 懸り下郷弥兵衛 一三丁 一六〇

### 治安・訴訟

打 擲・切 害

乍恐御歎訴奉申上候御事〔夫婦別レ身上別ケ仕候ニ、  
横合より邪魔いたし理不尽打擲仕候出入〕 文久三年 竪帳仮一冊 一五七四

七月 右新吉〆鳴海御陣屋

御国堀部與市殿同道人定三郎儀薦屋友吉を致切害候 竪帳仮一冊 一五七五  
一件 文久三年十一月 下郷弥兵衛

書簡〔其御村方吉五郎被切殺候一件〕（年代未詳）六月廿八日 一通 二七六

鳴海同役下郷弥兵衛〆常滑村庄屋衆様

荷物取失・背米

平右衛門へ尋左之通〔忠助〆請合持運候荷物取失候一件〕 四通 二六三

〔年代未詳〕二月八日 平右衛門〆六二郎殿他一名

〔荷持運ひ取失候一件〕（年代未詳）二月九日 忠助他三名 竪帳 一冊 二六七  
付、包紙

〔糖買受、背之場所江壳払〕（年代未詳）起村喜左衛門他 横帳 二丁 二七九

乍恐書付を以奉申上候事〔大脇村源九郎背米ニ付、当村番  
人和吉へ米壹石四升被下置〕（年代未詳） 鳴海村庄屋 一通 二七〇

番 人

〔去年十二月九日、信高甚之丞倅定次郎召捕一件ニ付、番人  
共江鳥目差遣〕（安政二年）十月（鳴海陣屋）〆鳴海村・大高  
村庄屋江 一通 二五四

村庄屋江

覚〔海東郡犬井村弥右衛門他入檻中諸入用受取〕（年代未詳） 一丁 二七五

寅三月六日 鳴海〔村〕庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御陣屋

覚〔番人江渡シ分〕（年代未詳） 一通 二七〇

〔牢扶持断簡〕（年代未詳）十月朔日〆十二月廿日 一通 二七〇

穢多富蔵一件

〔穢多富蔵一件〕 文政十一年十二月〆文政十二年十二月 鳴海 四丁 一六三  
村庄屋下郷弥兵衛〆鳴海御役所（朱筆）九十二

〔穢多富蔵一件〕 文政十二年五月ゝ天保元年二月 鳴海村庄屋 七丁 一六三  
下郷弥兵衛一名ゝ鳴海御役所

藻草取場入会一件

乍恐御請書奉申上候御事〔横須賀村地先藻草みじ泥等取一件〕（文政十年）亥十二月 何郡何村何右衛門ゝ神田喜三郎様御陣屋（朱筆）六十 四丁 二七九一

乍恐御達申上候御事〔藻草一件〕 文政十一年二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ゝ鳴海御役所（朱筆）六十一 一丁 二七九一  
〔藻草取場入会一件控〕 安政五年二月ゝ八月 鳴海村庄 豎帳 飯一冊 一〇六  
屋下郷弥兵衛

地所戻一件

安政三辰年□右衛門八より差出地所戻一件 元治元年六月 四丁 一五八三  
鳴海村庄屋所  
差出申証文之事〔安政三辰年吉井友右衛門等江讓渡候外残地所之儀〕 元治元年六月 金剛右衛門八他三名ゝ庄屋御衆中 一丁 一五九〇

貸金出入

乍恐御訴詔奉申上候御事〔貸金滞出入〕（安政四年）巳 豎帳 飯一冊 一五八  
七月 鳴海村前之庵分服部卯八郎ゝ鳴海御陣屋  
借銀出入一件〔表紙〕（年代未詳）丑五月廿日ゝ丑八月二日 豎帳 一丁 二七九三  
吟味済 徳山石見守

分散

乍恐御歎願奉申上候御事〔喜兵衛分散一件〕 慶応三年八月 五丁 一六〇三  
愛知郡鳴海村故喜兵衛組合惣代太助ゝ御勘定御奉行所  
乍恐奉願上候御事〔喜兵衛分散一件〕（慶応三年）卯八月 鳴海村故喜兵衛組合惣代太助ゝ鳴海御陣屋 二丁 一六〇四

離縁

小嶋良右衛門妻離縁ニ付親元加木屋平右衛門後家より横須賀御陣屋江出訴一件 文久二年十二月ゝ同三年三月 豎帳 飯一冊 一七九  
下郷弥兵衛

難渋

政治一件〔正治難渋一件〕（慶応二年）丙寅五月 春日井郡加嶋新田定蔵ゝ廣瀬傳十郎様御陣屋 一三丁 一五九二

その他の出入

乍恐御歎願奉申上候御事〔私娘とみ前借金奉公先之絞り反物質入方相頼候一件〕（元治元年）子五月 宿治平他十名ゝ鳴海御陣屋 一〇丁 一五八四  
乍恐御答旁再三奉願上候御事〔預り荷物致押領不渡出入〕（年代未詳）辰五月 愛知郡鳴海村下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋 八丁 一八四一  
書簡〔当村服部卯八郎ゝ其御村辰蔵江懸り出入一条〕（年代未詳）七月廿七日 鳴海村庄屋ゝ北条村庄屋御衆中 一通 二五八五

寺 社

↓『村政』『御用留』（一〇頁以下）をも見よ

寺 社 書 上

御国寺社書上之時鳴海覚書 元禄七年閏五月

縦帳 一冊 一八三七

愛知郡鳴海村惣人別且那寺数覚 安政七年三月

横帳 一冊 一六五〇

下郷弥兵衛扣

寺社之輩山伏人数并増減書上帳 文久四年二月 愛知郡鳴海村

七丁 八七二

寺社之輩山伏人数并増減書上帳〔案文〕 文久四年三月 下

一二丁 八五七

郷弥兵衛

〔鳴海村寺社人数改〕（元治元年）子正月 真言宗東福院他二ヶ

五丁 一八〇三

寺一社

〔長光寺他七ヶ寺連印断簡〕（年代未詳）

一通 二六〇元

浅間社祭礼

書簡〔浅間社祭礼ニ付、湯立神楽修行仕候間、氏子中提灯献

一通 二五八四

燈願〕（年代未詳）九月十日 久野遠左ゝ御庄屋御当番様

誓 願 寺

買物帳 嘉永五年正月吉日 誓願寺納所

横帳 一冊 一六二九

鳴海宿問屋・兼帯庄屋文書

鳴 海 宿

支 配

触 写

↓『村政』『御用留』（一〇頁以下）をも見よ

定〔道中雇人足等取締役写〕（宝曆八年）寅九月十八日 縦帳 一冊 一六〇三

彈正・遠江ゝ（東海道品川より守口迄）右宿々問屋・年寄

〔弘化五申二月十四日当宿飯賣女御免御書付之写〕 弘化 一二丁 一六五四

五年二月十四日 鳴海宿惣年寄他

廻紙〔道中御奉行様ゝ御触書出候間、先格之通御相談申度〕 一通 三九六

（嘉永七年）二月十二日 問屋ゝ下郷次郎八様他七名

御触書之写〔東海道鳴海宿人馬日々帳、加賀御役所江可差出 一丁 五九

もの也〕（安政二年）卯二月三日 加賀・播磨ゝ問屋・年寄

諸役・宿方入用

伝 馬 役

請合申御伝馬役之事 天明五年十二月 作（町）清助他一名ゝ 一通 二二六

下御次郎殿

覚(鳴海宿伝馬役調達金請取) 嘉永六年十二月 鳴海御代官 一通 二〇四

所々鳴海宿問屋・庄屋 付、包紙

乍恐御達申上候御事(御伝馬役成立方ニ付、当卯年分上納) 一丁 五九

安政二年十二月 鳴海宿問屋金三郎他一名々鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当宿御伝馬役積金上納) 安政三年十二 一丁 二〇三

月 鳴海宿問屋仕埋良之助他一名々鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当宿御伝馬役積金上納) 安政四年十二 一丁 二〇七

月 鳴海宿問屋平右衛門他一名々鳴海御陣屋

覚(当宿伝馬役) (文久三年)亥十二月 鳴海宿問屋下郷秋之介 一丁 九四

他一名々鳴海御陣屋

(御証文御伝馬地子引残) (文久三年)亥十二月 下組太平次 三丁 九六

小七分柏木様

覚(伝馬銀他) (年代未詳) 一通 二六四

助 郷

乍恐御數願奉申上候御事(御手当金三割増願) (嘉永七年) 四丁 四五

寅七月 鳴海宿問屋清兵衛他四名々鳴海御陣屋

御尋ニ付乍恐奉申上候御事(人馬賃錢三割増被仰付、右刎 二丁 四七

錢積立相成候分) (嘉永七年)寅十月 鳴海宿問屋々鳴海御陣屋

東海道鳴海宿定助郷村々人馬勤訳書上帳 嘉永七年十一月 一五丁 五七

(当正月廿日)五月五日) 東海道鳴海宿

去丑年人馬繼立高 (安政元年)寅十一月 東海道鳴海宿問屋加 五丁 一八五

藤平右衛門他三名

為取替申議定書之事(鳴海宿宿助郷人足繼立方之儀) 安政 三丁 五九

二年三月 鳴海宿問屋加藤平左衛門他三名々助郷廿五ヶ村御庄屋中

乍恐御達申上候御事(鳴海宿助郷人足繼立方之儀) (安政二 一丁 五九

年卯三月 鳴海宿問屋惣代加藤平左衛門他三名々鳴海御陣屋

大助郷江加人馬触当方究 安政二年六月十二日 問屋下郷弥 一七丁 一五七

兵衛

乍恐以付紙奉願上候(正月分日々帳、宿送りを以御差下ヶ 三丁 五九

被成下置候様) 安政二年四月 東海道鳴海宿問屋

御談ニ付乍恐御請奉申上候(馬被下方之儀ハ、御免被成下 一丁 五九

置様) (安政二年)卯五月 鳴海宿問屋加藤平左衛門他三名々

御陣屋

覚(人足) (年代未詳)亥十二月廿二日 藤藏々納会所 一通 二六八

(こり馬・病馬等書上) (年代未詳) 九月廿四日 二丁 二七四

諸 入 用

御公家衆様方御帰京ニ付御祝儀物入用帳 天明元年十月 豎帳 一冊 一八四

(鳴海宿問屋)児玉代助

表割金銭通(御勅使油小路様他御上京之節かき銭等) 横帳 一冊 二〇二

天明三年正月吉日 西尾榮治他二名々表下方下郷次郎八殿

宿方諸入用仕分書上帳 天明五年六月 東海道鳴海宿 豎帳 一冊 一八〇

覚(江戸々鳴海宿迄通シ駕籠人足代) 嘉永元年十月十一日 一通 二〇五

牛込破損町河内屋廣吉々千代蔵様

鳴海宿入用 (慶応元年) 五丁 二〇八

(二条御番頭本多肥後守様御与力御同心衆御泊リ旅籠銭) 二丁 二七九

(年代未詳)子五月十三日 西尾榮治

乍恐再奉歎願候御事〔御變革其外江付不時人馬御繼立 緊帳一冊 一九〇八

増入用御手当被下之儀〕（年代未詳）戊十二月 鳴海宿年寄

問屋介兼下郷庄之介他十三名〆鳴海御陣屋

書簡〔熱田宿江及問合、当宿之儀、人足等用意いたし候付 一通 二四九七

而ハ御繼立振見送り役人出方等西宿々ニ准シ取斗候〕

（年代未詳）六月十四日 問屋〆下郷弥兵衛殿他二名

覚〔高木作十郎様御出駄ニ付御宿泊代等〕（年代未詳）

〔人足代断片〕（年代未詳） 一丁 二四九二

借用申金子之事〔道中宿並ミ御訴詔〕（後欠力） 天和元年極月 一通 三

朔日 鳴海問屋源右衛門他八名〆（宛名未詳）

借用申金子之事〔問屋平藏宿並ミ御訴詔〕（後欠力） 天和元年 一通 三

極月廿六日 問屋又市郎他五名〆（宛名未詳）

借用申金子之事〔往還筋人足代不足之分借用〕 元禄十四年十 一通 二〇三

二月 問屋又市他十一名〆（宛名未詳）

借用申金子之事〔夜廻り人足代〕 安永七年十二月 近藤九左衛 一通 二五五

門他一名〆下郷次斗八殿

借用申銭之事〔裕宮様御下向之節、諸入用ニ付〕 寛政七年十 一通 六

一月 西尾長右衛門他六名〆下郷勘左衛門殿

覚〔金子請取〕 安政四年閏五月 問屋良之助他三名〆御庄屋中 一丁 二〇三八

飯売女運上銀

〔鳴海宿飯売女運上銀之儀ニ付、太八郎殿被仰渡候〕（安政 一丁 六六三

三年）辰十二月（差出人・宛名未詳）

飯賣女取集銀小割帳 嘉永二年五月 鳴海宿問屋次郎左衛門他 三丁 一六五三

四名〆鳴海御陣屋

乍恐奉懇願候〔鳴海宿飯売女御運上ノ件〕（明治四年）辛未八 四丁 一六四

月 鳴海宿旅籠屋物代山田助九郎他四名〆駅遞御局

鷹 遣 ひ

差上申一札之事〔鷹遣ひ〕 安政四年五月九日 鳴海宿問屋金三 二丁 五元

郎他三名〆吉田助次郎様代青山祐四郎様他一名

損 所 普 請

御請書之事〔美賀君様御下向已前ニ往還通り損所等取繕可 一丁 五九四

仕候〕 安政二年八月十六日 鳴海宿問屋加藤平左衛門他一名

〆御廣敷御役人中様

乍恐御達旁奉願上候御事〔美賀君様御下向迄ニ御境川橋を 二丁 五九五

初損所取繕可仕候〕 安政二年八月十六日 鳴海宿加藤平左衛

門他一名〆鳴海御陣屋

〔美賀君様御下向ノ節諸費用〕 安政二年九月廿一日 鳴海宿 一丁 五九六

乍恐再奉願上候御事〔往還通道橋等損所、早速御普請取懸 一丁 五九七

り、美賀君様御下向已前取繕仕度〕 安政二年九月 鳴海宿

問屋加藤平左衛門他一名〆鳴海御陣屋

〔今般御大切御用物御差下ニ付、東海道・中山道・美濃路 一丁 二三五

道橋等見分爲御用、御勘定方被差遣〕（慶応二卅）寅七月

廿七日 笠松御役所〆右宿村々役人

拝 借 金

拝借仕金子之事〔当宿入用金ニ差詰り〕 嘉永七年四月廿七日 一丁 三九元

鳴海宿問屋物代下郷幾久三郎他二名〆鳴海御陣屋



乍恐奉願上候御事〔寅四月拝借金貳百兩之願書扣〕（嘉永七年）寅四月 鳴海宿問屋下郷四郎兵衛他五名鳴海御陣屋 五丁 四〇〇

拝借仕金子之事 嘉永七年五月 鳴海宿問屋次郎左衛門他五名鳴海御陣屋 一丁 二〇四

〔旅籠屋拝借金返上請取〕（年代未詳）午十一月廿九日 鳴海陣屋（鳴海宿） 一通 一五四

〔古拝借金返上請取〕（年代未詳）午十一月廿九日 鳴海陣屋（鳴海宿） 一通 一五五

〔脇本陣弥三右衛門拝借金返上請取〕（年代未詳）午十一月廿九日 鳴海陣屋（鳴海宿） 一通 一四八

乍恐奉歎願候御事〔此節先々御金千貳百兩也急拝借被仰付被下置候様〕（年代未詳）戌十月 鳴海宿年寄問屋介兼下郷庄之介他十三名鳴海御陣屋 一冊 一九〇元

乍恐奉歎願候御事〔此節先々御金貳百兩也急拝借被仰付被下置候様〕（年代未詳）戌十月 鳴海宿年寄問屋介兼下郷庄之介他十三名鳴海御陣屋 一冊 一九〇元

乍恐奉歎願候御事〔此節先々御金貳百兩也急拝借被仰付被下置候様〕（年代未詳）戌十月 鳴海宿年寄問屋介兼下郷庄之介他十三名鳴海御陣屋 一冊 一九〇元

戸 口

飯売女人別帳

旅籠屋飯賣女人別帳 安政五年午正月 旅籠屋締役 一冊 一六五

宿 村 送 り

送り一札之支〔越州福井在前屋村百姓重右衛門忤新五郎、 一丁 一八六

由井宿地内ニ而病氣指発ニ付、宿村送〕 文政三年六月九日 尾州御領東海道鳴海宿問屋児玉代助熱田宿より前屋村迄右宿村御役人中様

乍恐御達申上候御事〔越州福井在前屋村百姓重右衛門忤、由比宿鳴海宿宿村送〕（文政三年）六月 鳴海宿問屋近藤佐兵衛他三名鳴海御役所 二丁 一八七

宿 場

問 屋 場

文政三辰九月名古屋おゐて鳴海鳴海宿墨俣迄問屋参会取究 文 三丁 一八五

文政三午年問屋明細書 文政三年天保五年 鳴海宿問屋 一冊 三八

東問屋場再建願并ニ御濟口一卷 安政二年二月相願、同 飯一冊 五八

問 屋 役

御書付写〔下郷弥兵衛儀、今般問屋兼役申付候〕 嘉永四年 三月 御代官渡辺源六郎様御手代加藤七左衛門様差添庄屋下郷保之助 一丁 二〇七

乍恐御達申上候御事〔鳴海宿村問屋庄屋隔年勤之儀〕（嘉永七年）寅六月 鳴海宿村惣年寄下郷次郎八鳴海御陣屋 三丁 四〇四

乍恐奉願上候御事〔問屋役之儀退役願〕（安政四年）巳閏五月 鳴海宿問屋・庄屋兼加藤平左衛門他七名鳴海御陣屋 二丁 五二

乍恐奉願上候御事(問屋代助儀、当病ニ付出頭日延願)(年代未詳)已八月十九日 尾州鳴海宿問屋代助他二名ノ辻甚太郎様御役所 一通 二五三

乍恐奉願上候御事(当病ニ付罷出差延願)(年代未詳)已八月十九日 尾州鳴海宿問屋代助他二名ノ辻甚太郎様御役所 一通 三六九  
〔鳴海駅元方印鑑〕 (年代未詳) 付、包紙 一通 一四九

公武の通行・宿泊

天明八申年晦日附書拔(御休泊) 天明八年 一通 二七三

御参府御昼休ニ付御出驛御役人様御宿割 (安政四年)已正月 二丁 五五

鳴海問屋・庄屋ノ鳴海御陣屋

御老中脇坂中務大輔様御止宿ニ付御出驛御役人様御宿割 三丁 一八五

(安政四年)已十一月 鳴海問屋・庄屋ノ鳴海御陣屋

寿操院様御泊御用一卷 文久三年四月五日 下郷弥兵衛 飯一冊 一九五

写(一橋様御通行ニ付、御休泊之宿場其外共物騒ニ而御同勢ニ紛込候哉) (文久三年)十一月五日 新居宿問屋ノ白須賀宿より熱宿まで御問屋御役人中様 一丁 九三

〔一橋様御供之御役々様、鳴海御通行ニ付、此段知らせ申上候〕 (文久三年)十一月七日 問屋ノ庄屋衆中様 一通 九三

御上使逸見若狭守様鳴海御馳走所御用一卷 元治元年八月 飯一冊 一八四  
下郷弥兵衛

貞慎院様・釧姫様御泊ニ付御出驛御役人様方御宿割 (元治元年)子十一月 鳴海宿問屋・年寄ノ鳴海御陣屋 二丁 二四五

慶応式年寅七月ノ御休泊御役人姓名等月々達 慶応二年 一四丁 三九七  
七ノ八月 鳴海長

鳴海駅江御使ニ付先触(紀州様御通行) (年代未詳)丑三月 一通 三七六

朔日 渡辺采女内坂本竹藏ノ鳴海宿問屋衆中 付、包紙

御老中井上河内守様御下御泊ニ付御出驛御役人様御宿割 三丁 一八六

(年代未詳)寅四月 鳴海問屋・庄屋ノ鳴海御陣屋

若年寄増山对馬守様御下り御泊ニ付御出驛御役人様御宿割 三丁 三三九

(年代未詳)寅八月四日

御上洛御用宿村役割 (年代未詳) 惣年寄下郷次郎太他 縦轡 一冊 一五

乍恐御答奉申上候御事(松平亮岐守様当宿御止宿ニ付) (年代未詳) 三丁 一八五

御老中稲葉民部大輔様御止宿ニ付御出驛御役人様御宿割并ニ村役人役割 (年代未詳) 二丁 一八四

治安

無宿

差上申一札之事(紀州七里之者川村久藏と偽候無宿を差押訴出候ニ付、鳥目御渡、請証文) 寛政九年八月十九日 尾 一通 一〇三

州愛知郡鳴海宿問屋代助他二名ノ辻甚太郎様

差上申一札之事(紀州七里之者川村久藏と偽候無宿を差押訴出候ニ付、鳥目御渡、請証文) 寛政九年八月十九日 尾 一通 一〇四

州愛知郡鳴海宿問屋代助他二名ノ辻甚太郎様

相對死

〔飯賣奉公人せう・八事村正六相對死一件〕 (文久三年)亥 五丁 一七四

正月 奉公人抱主徳三郎他六名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔米屋 喜兵衛抱飯売女つね与泊り之旅  
人和助儀不慮之疵所出来〕（年代未詳）七月 一丁 三七四

変死・病死

差上申一札之事〔旅人とも変死致候節相届候儀〕 寛政十一年 一丁 一八三

八月廿七日 東海道品川宿問屋善兵衛他一名ゝ大貫次右衛門様御  
役所

乍恐御達申上候御事〔於宿ニ変死等有之節道中御奉行所江  
御注進〕 文政二年六月 鳴海宿問屋下郷庄左衛門ゝ鳴海御役所 一丁 一八四

芸州藩木原衛門殿西尾藤八所止宿病死一件 文久三年 一七六

四月 懸り御手代岡村武三郎様・高木斧介様 下郷良之介他三名

豊前中津奥平大膳大夫様御藩中御広間役之由長沢七 一五五

大夫様御病死一卷 元治元年九月十三日 御同藩御徒格之由

御同宿松本彦五郎殿他二名

乱防

乍恐□□奉願上候御事〔当所裏方之者乱妨一件〕（年代未詳） 八丁 一八元

丑四月廿四日 旅籠屋惣代津国屋鉄藏他二名ゝ鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事〔鳴海村丹組治三郎伴治助初之者共乱妨  
一件〕（年代未詳）丑四月 旅籠屋惣代津国屋鉄藏他二名ゝ鳴海 二丁 一八〇

御陣屋

乍恐御達旁奉願上候御事〔鳴海宿馬士歩役 車曳之者共米屋  
四五軒江乱妨仕候一件〕（年代未詳）寅三月 鳴海宿問屋惣代 三丁 三九七

下郷秋之介他五名ゝ鳴海御陣屋

盗難

為御取替申一札之事〔鳳臺院殿鳴海駅止宿之節、紛失之品  
有之候ニ付〕 文久三年正月五日 細川越中守内堀口角助ゝ鳴 一丁 一七九

海宿問屋惣代下郷秋之助他二名

為御取替申一札之事〔鳳臺院様盗難一件〕 文久三年正月五日 三丁 一八三

鳴海宿問屋惣代下郷秋之介他二名ゝ細川越中守様御内堀口角助  
様他一名

乍恐御尋ニ付始末御答奉申上候御事〔鳳臺院様盗難一件〕 一〇丁 一八〇

（文久三年）亥正月六日 鳴海宿脇本陣土井新三郎ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候事〔鳳臺院様盗難一件〕（文久三年）亥正月六 三丁 一八三

日 鳴海問屋下郷秋之介他二名ゝ鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事〔細川越中守様御庶兄故兵部大輔様御 二丁 一八六

後室鳳臺院様、当駅脇本陣ニ而紛失物有之由〕（文久三

年）亥正月 鳴海問屋下郷秋之介他一名ゝ鳴海御陣屋

九條様御内関口音五郎殿家来植草司盗難一件 慶応 一七三

三年六月二日 御懸り岡本儀左衛門様・水野傳之助様

覚〔紀州様宮御七里衆御用金御本陣江参不申〕（年代未詳）亥 一通 三七七

十一月 児玉代助他二名ゝ下郷次郎八殿

召捕入用

乍恐奉願上候御事〔名古屋信高甚之丞伴貞次郎、於当宿多 一丁 六〇〇

人数及殺害候一件、召捕御入用御渡被成下置様〕（安政

二年）卯十二月 鳴海宿問屋金三郎他一名ゝ鳴海御陣屋

覚(貞次郎召捕方江付、所々様出来取繕入用) (安政二年) 二丁 〇二  
卯十二月 鳴海宿間屋

有松村

村 政

村内軒別坪数書上帳

村内軒別坪数書上帳 (年代未詳) 尾州御領有松村 豎帳 一冊 二四六

間米村

村 入 用

村 下 用

村下用書上帳 安政六年正月 右(間米)村庄屋源三郎他七名 一三丁 一九六  
鳴海御陣屋

万延元年申年御年貢三役銀之外村下用之覚 万延元年 愛知郡 四丁 一九七  
間米村

万延元年申年村下用建札之写 (文久元年)酉二月 右(間米)村庄 四丁 一七一  
屋下郷弥兵衛他七名 鳴海御陣屋

文久二戌年村下用建札之写 (文久三年)亥正月 右(間米)村庄 七丁 一九六  
屋下郷弥兵衛他六名 鳴海御陣屋

文久三亥年御年貢三役銀之外村下用之覚 (元治元年)子正月 七丁 一九九  
右(間米)村庄屋下郷弥兵衛他六名 鳴海御陣屋

元治元子年御年貢三役銀之外村下用之覚 (慶応元年)丑正月 八丁 一九三  
右(間米)村庄屋下郷弥兵衛他七名 鳴海御陣屋

慶応二寅年御年貢三役銀之外村下用覚 慶応二年 愛知郡間 三丁 一九〇  
米村

慶応元丑御年貢三役銀之外村下用覚 (慶応二年)寅正月 一〇丁 一九四  
右(間米)村庄屋下郷弥兵衛他七名 鳴海御陣屋

慶応二寅年村下用建札之写 (慶応三年)卯正月 右(間米)村下 三丁 一九五  
郷弥兵衛他七名 鳴海御陣屋

戸 口

人数改帳・百姓家数馬数書上帳

愛知郡間米村人数御改帳・百姓家数馬数書上帳・御軍用御 七丁 一五七  
備御糺ニ付人馬数書上帳 元治元年三月 愛知郡間米村庄屋  
下郷弥兵衛ひかへ

村 政

御 用 留

間米村兼帶庄屋御用留 万延改元庚申十二月八日(文 豎帳 仮 一冊 一六七

久元年)西九月 下郷弥兵衛

書簡控(問米村人別々條書を以御家老様江御内願取斗候儀ニ付)(文久元年)六月廿日 下郷弥兵衛他一名武藤来助様他一名 二丁 一六七五

乍恐御内願奉申上候御事(当村直助儀庄屋役ニ相成候より 四丁 一六七三

村方下用等追々相嵩)(文久元年)西六月 喜兵衛他二十九名

乍恐奉願上候御事(村方源三郎頭取ニ而都合三十三人申合、 四丁 一六七四

庄屋手前ニ後暮<sup>(マツ)</sup>キ筋有之旨申立)(文久元年)西九月 問米

村太三郎他五名々鳴海御陣屋

問米村兼帶庄屋御用留 文久二年正月同十年十月 下 豎帳 飯一冊 一七三

郷弥兵衛

乍恐御達申上候御事(上有知御支配所<sup>ル</sup>無代ニ而可相渡楮木植込方之儀)(文久三年)亥正月 問米村庄屋下郷弥兵衛<sup>ル</sup> 一丁 一七三

鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(当村本田新田共、当九日迄植付)(文 一丁 一七四

久三年)亥五月 問米村兼帶庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋

乍恐御達奉申上候御事(当月七日夜大風ニ付、当村方寺社 一丁 一七三

破損所等無御座候)(慶応二年)寅八月 問米村兼帶庄屋下郷

弥兵衛他一名々鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(御札天降候付、銘々於居宅相祭り申 一丁 一七〇

候)(慶応三年)卯九月 右問米村兼帶庄屋下郷弥兵衛<sup>ル</sup>鳴海

御陣屋

村 役 人

乍恐御達申上候御事(問米村佐兵衛・弥平兩人組頭役相勤 一丁 一七〇

候筈)(文久三年)亥正月 右(問米)村庄屋下郷弥兵衛<sup>ル</sup>鳴海御

陣屋

乍恐御達申上候御事(問米村組庄屋圓右衛門退役)(慶応元 一丁 一六七

年)丑三月 右(問米)村庄屋下郷弥兵衛<sup>ル</sup>鳴海御陣屋

乍恐御達申上候御事(問米村金左衛門組頭役相勤候筈)(元 一丁 一七〇

治元年)子二月 右村庄屋下郷弥兵衛<sup>ル</sup>鳴海御陣屋

書簡(問米村組頭入札候旨)(年代未詳)正月廿一日 石井半七 一通 一八六

他一名々下郷弥兵衛様

救 米

(当年大風雨高浪等之災害ニ付百姓共難渡之年柄ニ付御救 一通 一七三

米被下候)(万延元年)申十二月 問米村 豎帳 飯一冊 一七四

御救米渡判帳 万延二年二月 愛知郡問米村

治 安・訴 訟

元庄屋直助不正一件

乍恐奉願上候御事(私養父故直助儀、但庄屋在勤中村方お 二丁 一六三

ゐて引負筋有之趣、申立)(文久元年)西十二月 問米村太

三郎他四名々鳴海御陣屋

乍恐奉願上候御事(問米村組庄屋故直助勤役中、於村方引 五丁 一六六

負駄之仕向有之)(文久元年)西十二月 問米村願人源三郎他

四十二名々石川半七様他一名

愛知郡問米村文右衛門并妻子尋判取帳 文久二年正月 問米 六丁 一八三

村兼帶庄屋下郷弥兵衛



乍恐奉願上候御事〔私父故直助儀、組庄屋在勤中之仕向ニ付〕（文久二年）戊二月 間米村太三郎他二名々鳴海御陣屋 二丁 一六七

書簡（間米村一件段々吟味之上相分リ）（文久二年）九月十三日 間宮外記内棚橋半兵衛々下郷弥兵衛様 一通 三六二

強 盜

乍恐御達奉申上候御事〔強盜被害届〕（年代未詳）四月 間米村清兵衛々鳴海御陣屋 二丁 一六七

植 田 村

村 政

御 用 留

乍恐奉差上御請書之事〔当年柄江付村方窮民共救筋儀被仰渡〕（慶応三年）卯二月 植田村庄屋代勘左衛門他二名々鳴海御陣屋 一丁 二七九

乍恐奉願上候御事〔当村雨池締役退役願〕（慶応三年）卯五月 植田村佐平治々御小納戸御役所 一丁 二三五

乍恐御達申上候御事〔当村百姓忠藏儀御用ニ付〕（慶応三年）卯七月 植田村兼帯庄屋下郷弥兵衛他二名々鳴海御陣屋 一丁 二六五

植田村年数引書付写（明治四年）辛未八月 横須賀出張所々（植田）村庄屋 一丁 二四三

覚〔黍・生綿等作り申候〕（明治四年）辛未九月 植田村兼庄屋 一丁 二四九  
鳴海村下郷弥兵衛々愛知郡御出張所

乍恐御達申上候御事〔植田村圓左衛門梓柳助儀家出〕（年代未詳）卯十二月十七日 兼帯庄屋鳴海村下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋 一丁 二四八

乍恐奉願上候御事〔当村良右衛門・忠藏、未進米代金返済仕候様〕（年代未詳）卯十二月 植田村弥々々鳴海御陣屋 三丁 二四〇

下郷家文書

千代倉本家

酒造方

大行事(酒造米・酒樽積送り)

覚(酒造米高) 宝曆四年八月 愛知郡鳴海村下郷次郎八 一丁 一九五

覚(酒樽積送り) 寛政六年十二月廿五日 横江紋右衛門 横帳 一冊 三三三  
下郷勘左衛門様

覚(酒樽積送り) 寛政六年十二月 荒井村永井久右衛門 横帳 一冊 三八四

覚(鳴海組合る去辰年中江戸表江差下候酒樽数) 寛政九年 一通 六  
正月 大行事鳴海村下郷勘左衛門他二名 地方御役所

覚(鳴海組分去午年中江戸表江差下候酒樽数) 寛政十一年正月 一通 二〇  
月 大行事鳴海村下郷勘左衛門他二名 地方御役所

借用申金子之事(当冬酒造仕入金借用) 寛政十一年十二月 一通 二二  
下郷勘左衛門他一名 外山善兵衛殿

覚(去未年中江戸表江差下候酒樽数) 寛政十二年正月 大行 一通 一六  
事鳴海村四郎兵衛他二名 地方御役所

覚(去酉年中江戸表江差下候酒樽数) 享和二年正月 大行事 一通 一四  
鳴海村四郎兵衛他二名 地方御役所

覚(去酉年中江戸表江差下候酒樽数) 享和二年正月 大行事 一通 一四  
鳴海村下郷勘左衛門他二名 地方御役所

覚(去亥年中江戸表江差下候酒樽数) 享和四年正月 大行事 一通 一七

鳴海村四郎兵衛他二名 鳴海御陣屋

覚(去亥年中江戸表江差下候酒樽数) 享和四年正月 大行事 一通 一三

鳴海村下郷勘左衛門他二名 鳴海御役所

覚(去亥年中江戸表江差下候酒樽数) 享和四年正月 大行事 一通 一四

鳴海村下郷勘左衛門他二名 地方御役所

覚(去申年中江戸表江差下候酒樽数) 寛政十三年正月 大行 一通 一五

事鳴海村下郷勘左衛門他二名 地方御役所

酒造方覚帳 嘉永二年九月吉日 鳴海(宿)和泉屋兵左衛門 横帳 一冊 一五八

差出申一札之支(私共酒造米入津之儀) 安政三年十一月 酒 一丁 二〇〇

造屋甚兵衛他三名 庄屋御衆中・組頭御衆中

差上申御請書之事(酒造米入津之儀) 安政三年十一月 愛知 一丁 二〇八

郡鳴海村庄屋弥兵衛他三名 鳴海御陣屋

中村源三郎船積送り申事(酒九駄積送り) (年代未詳) 寅十一 一通 一五〇

月十七日 大久傳村兼子源四郎 江戸北新川千代倉次郎兵衛殿

積送申酒之事 (年代未詳) 寅閏十一月十七日 佐野治右衛門 千 一通 二七〇

代倉治郎兵衛殿

乍恐追奉願上候御事(他所米千石買入御免) (年代未詳) 子九 一通 二五六

月 鳴海酒屋惣代下郷次郎八他一名 御田半左衛門様

乍恐奉願上候御事(酒造屋共之儀、御米四千石拝借願) (年 一通 二五四

代未詳) (差出人・宛名未詳)

乍恐書附を以奉願候御事(帰村願) (年代未詳) 閏十一月十日 一通 一五三

半田村酒屋代半七 大行事様・御取扱人様

千代倉東店

覚(去酉十一月 当戌年十一月迄預り、元利共) 寛政二年 一通 六

十二月十五日 東店四郎兵衛ゝ十一印様  
覚〔観音講金之内預り〕 寛政二年十一月 領り主東店四郎兵衛 一通 七〇  
他一名ゝ観音講御衆中

千代倉江戸店

証文之事 寛政元年九月 江戸店 同次郎兵衛ゝ千代倉次郎八殿 一通 六〇  
〔千代倉〕

江戸店状留 文化七年二月十三日ゝ十二月廿九日 千代倉 横帳 一冊 二〇

乍恐以書付奉願上候〔送り酒荷物前貸金出入〕 寛政四年四月 一通 二三

訴訟人靈岸嶋銀町式丁目新兵衛店庄助煩ニ付代又兵衛他一名、相  
手小堀縫殿様御代官所撰津国豊嶋郡池田内田町家持継三郎 ゝ御  
奉行様

江戸店状留 文化八年正月十三日ゝ十一月廿三日 千代倉 横帳 一冊 二

乍恐奉願上候御事〔私本家下郷次郎八、江戸表出店千代倉 一丁 四〇三

勘右衛門身上向江付、為取締罷越申度〕〔嘉永七年〕寅五月  
鳴海問屋・庄屋兼弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

覚〔江戸店為替金請取〕〔年代未詳〕西四月五日 外山弥次右衛 一通 一五  
門ゝ下郷次郎八様

通 手 形

通手形 嘉永五年正月吉日 津国屋傳兵衛ゝ千代倉勘右衛門 横帳 一冊 一六六  
殿

通手形 嘉永五年正月吉日 神田□町泉屋徳兵衛ゝ千代倉勘 横帳 一冊 一六七

右衛門殿

通手形 嘉永六年正月吉日 数寄屋橋紙屋卯兵衛ゝ千代倉勘 横帳 一冊 一六九

右衛門殿

通手形 嘉永六年正月吉日 萬屋新兵衛ゝ千代倉勘右衛門殿 横帳 一冊 一六三  
通手形 嘉永六年正月吉日 新宿伊勢屋生次郎ゝ千代倉勘右 横帳 一冊 一六三  
衛門殿

通手形 嘉永七年正月吉日 麻布万屋清兵衛ゝ千代倉勘右衛 横帳 一冊 一六八  
門殿

通手形 嘉永七年正月吉日 湊川乳熊佐兵衛ゝ千代倉勘右衛 横帳 一冊 一六〇  
門殿

通手形 嘉永七年正月吉日 新宿伊勢屋市兵衛ゝ千代倉勘右 横帳 一冊 一六三  
衛門殿

通手形 嘉永七年正月吉日 内田甚右衛門ゝ千代倉勘右衛門 横帳 一冊 一六四  
殿

通手形 嘉永七年正月吉日 四ッ谷伝馬町中屋源七ゝ千代倉 横帳 一冊 一六五  
勘右衛門殿

通手形 嘉永七年正月吉日 八丁堀虎屋善右衛門ゝ千代倉勘 横帳 一冊 一六六  
右衛門殿

通手形 嘉永七年正月吉日 本□町伊勢屋嘉兵衛ゝ千代倉勘 横帳 一冊 一六七  
右衛門殿

通手形 嘉永七年正月吉日 伊勢屋吉之助ゝ千代倉勘右衛門 横帳 一冊 一六八  
殿

金 融

金 右 衛 門

借用申金子之事 延宝元年十二月廿八日 左助他二名ゝ金右衛 一通 一五五  
門殿

借用申金子之事 延宝元年極月廿九日 かり主六太夫他一名 一通 一九五五

金右衛門殿

借用申金子之事 延宝二年五月廿九日 小なるミ村かり主甚藏 一通 一九五六

他三名 相原町金右衛門殿

預り申金子之事 延宝三年極月晦日 鳴海(村)金右衛門他一名 一通 一九五七

日下部五右衛門殿

質物ヲ入預り申米之事 延宝五年十二月廿四日 本相原村助太 一通 一九五八

他二名 鳴海(村)金右衛門殿

借用申金子之事 延宝五年十二月廿五日 借り主作兵衛他三名 一通 一九五九

相原町金右衛門殿

借用申金子之事 延宝五年十二月大晦日 借主作兵衛 相原町 一通 一九六〇

金右衛門殿

預り申金子之事 延宝七年極月 金子預り主寺嶋猪右衛門他一名 一通 一九六二

名 下里金右衛門殿

借用申金子之事(当四年御年貢ニ指詰) 天和元年十二月廿六 一通 三

日 平部借主作兵衛他三名 金右衛門殿

借用申金子之事(当四年御年貢差詰り)(後欠カ) 天和元年 一通 二四

極月 かり主五郎右衛門他四名 宛名未詳

借用申金子之事(当戌之御年貢ニ差詰り) 天和二年極月 一通 三〇

り主本町一郎兵衛他二名 宛名未詳

預り申金子之事(鳴海表方へ当り申夫銀借用) 天和三年二月 一通 三

鳴海表方与頭善左衛門他六名 下里金右衛門殿他一名 鳴海表

方与頭善左衛門他七名 桑名本町下里十左衛門殿

借用申金子之事 天和三年五月廿四日 与頭善左衛門他六名 一通 三

金右衛門殿

借用申金子之事 天和三年六月十三日 下中町五郎右衛門他一 一通 三

名 金右衛門殿

借用申金子之事(亥之夏見取御新田検地入用ニ借用) 天和 一通 三四

三年六月 善(善野村カ)庵村与頭太左衛門他六名 金右衛門殿

借用申金子之事(落合村池堤普請所人足日用賃借用) 天和 一通 三五

三年九月六日 下中町五郎右衛門他一名 金右衛門殿

借用申金子之事(御用金借用) 天和三年十月廿一日 下中町五 一通 三六

郎右衛門他一名 金右衛門殿

借用申金子之事 天和三年十一月十六日 かり主平七郎他一名 一通 三七

金右衛門殿

借用申金子之事(御年貢ニ指詰借用) 天和三年十二月廿一日 一通 三八

次右衛門 金右衛門殿

借用申金子之事(組中御年貢ニ差詰り借用) 天和三年極月廿 一通 三九

四日 与頭善左衛門他四名 金右衛門殿

借用申金子之事(御年貢ニ差詰り借用) 天和三年極月廿四日 一通 四〇

かり主庄兵衛他一名 金右衛門殿

借用申金子之事(御年貢ニ差詰り借用) 天和三年極月廿四日 一通 四一

かり主源左衛門他一名 金右衛門殿

借用申金子之事(御年貢ニ指詰り借用) 天和三年十二月廿八 一通 四二

日 かり主権左衛門他二名 金右衛門殿

借用申金子之事(御年貢ニ差詰り借用) 天和三年十二月廿八 一通 四三

日 相原町かり主清八他二名 金右衛門殿

預り申御蔵米之事 天和三年極月 預り主御蔵番五左衛門他七 一通 四四

名 金右衛門宛カ

借用申米之事(御年貢ニ指詰り借用) 天和三年極月 相原村 一通 四五

かり主助太郎他三名 金右衛門殿

借用申御蔵米之事(御年貢ニ差詰り) 天和三年極月 かり主 一通 四六

分六他五名金右衛門殿

借用申金子之事〔子ノ春御未進ニ指詰り借用〕 天和四年正月 一通 四

廿二日 相原村かり主七右衛門他一名金右衛門殿

借用申金子之事〔当子之春我々組御未進金ニ差詰り借用〕 一通 五

天和四年正月 伊兵衛他二名金右衛門殿

借用申金子之事〔当子之春我々御未進金ニ差詰り借用〕 天和四年正月 一通 五

借用申金子之事〔当子之春我々組御未進金ニ差詰り借用〕 天和四年正月 一通 五

借用申金子之事〔田畑書入〕 天和四年正月 相原町かり主八兵衛他二名金右衛門宛カ 一通 五

借用申金子之事〔子之春我々御未進金ニ差詰り借用〕 天和四年正月 一通 五

借用申金子之事〔子之春阿野村堤普請所人足日用賃借用〕 天和四年二月廿一日 下中町五郎右衛門他一名金右衛門殿 一通 五

借用申金子之事〔子之春之御未進金ニ差詰り借用〕 天和四年二月 借り主六左衛門他一名金右衛門殿 一通 五

借用申金子之事〔年代未詳〕子十月廿一日 下中町五郎右衛門他一名金右衛門殿 一通 五

〔江戸へ下り候時、路金ニ請取〕〔年代未詳〕戊三月十四日 一通 五

いや源右衛門金右衛門殿 借用申金子ニ請取〔年代未詳〕戊六月八日 善□庵太左衛門金右衛門殿 一通 五

覚〔馬持新田遺金ニ請取〕〔年代未詳〕戊六月八日 善□庵太左衛門金右衛門殿 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

借用申金子之事 貞享元年七月八日 組頭半兵衛他四名宛名 一通 五

未詳

借用申金子之事 貞享元年七月 かり主与之内与頭六太夫宛名未詳 一通 二〇九〇

借用申金子之事 貞享元年八月廿三日 借り主善右衛門三郎左衛門殿 一通 二〇八八

借用申金子之事 貞享三年極月 かり主五左衛門他一名寂照殿 一通 二〇九一

借用申金子之事 貞享三年極月 かり主五左衛門他六名宛名未詳 一通 二〇九二

借用申御蔵米之事 貞享三年極月 かり主分六他五名宛名未詳 一通 二〇九三

借用申金子之事 貞享三年極月 かり主喜兵衛他一名宛名未詳 一通 二〇九四

借用申金子之支 元禄九年十二月廿六日 かり主庄右衛門他一名寂照殿 一通 二〇九六

借用申御蔵米之事 元禄九年極月 かり主文六他五名宛名未詳 一通 二〇九八

借用申米之事 元禄十四年十二月廿二日 相原村庄屋かり主孫右衛門他三名金三郎殿 一通 二〇四

借用申金子之事 元禄十四年十二月廿七日 相原村かり主庄や七右衛門他二名鳴海村金三郎殿 一通 二〇六

借用申金子之支 元禄十四年極月 かり主彦三郎他一名宛名未詳 一通 二〇五

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九

借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門 一通 二〇九



他一名金三郎殿

借用申金子之事(御伝馬金ニ指詰り借用) 元禄十五年三月 一通 二二六  
かり主彦三郎(宛名未詳)

借用申金子之事 元禄十五年四月十七日 小鳴海かり主文四郎 一通 二二〇  
他一名なるミ舞照殿

借用申金子之事 元禄十五年卯月廿二日 下(郷)五郎右衛門 一通 二二四  
(宛名未詳)

借用申金子之事 元禄十五年五月三日 平手新田かり主一入他 一通 二二三  
三名(宛名未詳)

借用申金子之事 元禄十五年五月 かり主又市他一名金三郎 一通 二二二  
殿

借用申金子之事 元禄十五年五月 組頭かり主左五平他四名 一通 二〇七  
(宛名未詳)

借用申金子之事(当夏麦御年貢ニ差詰り借用) 元禄十五年六 一通 二二七  
月 組頭六太夫他二名(宛名未詳)

借用申金子之事 元禄十五年七月 借り主彦三郎他一名(宛名 一通 二二三  
未詳)

借用申米之事 元禄十五年七月 借り主彦三郎他一名(宛名未 一通 二二五  
詳)

借用申金子之事 元禄十五年八月 かり主知俊他一名(宛名未 一通 二〇八  
詳)

借用申金子之事(当御年貢賄ニ差詰り借用) 元禄十六年極月 一通 二二八  
かり主八兵衛他一名(宛名未詳)

借用申金子之支(当未暮御年貢指詰り借用) 元禄十六年極月 一通 二二九  
かり主平手(新田)七右衛門(宛名未詳)

借用仕金子之事 享保六年十二月 かり主本地村孫左衛門他一名 一通 一九六

宛(宛名未詳)

借用金子之支 享保七年十二月 かり主忠七他一名金三郎殿 一通 一九七

次 郎 八

借用仕金子之事 享保十年八月 本山村かり主善次郎他一名 一通 一九〇

鳴海宿次郎八殿

借用申金子之事 享保十年十二月 金子借主丹下町彦六他一名 一通 一九九

次郎八殿

借用仕金子之事 享保十二年十二月 ミさ金かり主平右衛門他 一通 一九二

一名次郎八殿

借用申米之事 享保十三年極月 かり主(平手新田)彦八郎他五名 一通 一九四  
次郎八殿

借用申金子之支 享保十四年十二月 かり主上中六太他一名 一通 一九八  
次郎八殿

借用申金子之事 享保十七年十二月 相原村金かり主市郎右衛 一通 一九三  
門(鳴海(村)次郎八殿)

借用申金子之事 享保二十年十二月 借主利兵衛他二名次郎 一通 一九三  
八殿

借用申金子之支 享保二十年十二月 かり主伊右衛門(次郎八宛 一通 一九四  
カ)

借用申金子之事 享保二十年十二月 かり主平手(新田)藤八他 一通 一九五  
一名治郎八殿

借用申金子之事 享保二十年十二月 借り主伊右衛門他一名 一通 一九六  
(次郎八宛カ)

借用申金子之事(前々御未進賄差詰借用) 元文四年極月 一通 一九二

り主文九郎他二名 <small>下郷五郎八殿</small>			
借用申金子之事 宝曆九年十二月 金借主上中(町)相権左衛門他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二〇六	
借用申金子之事 宝曆十三年正月 金借り主上中(町)権左衛門他一名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二〇七	
借用申金子之事(当七月大水之節、家居流失) 明和四年十一月 金借り主作(町)忠兵衛他三名(名前キトリ) <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二〇	
借用申金子之事(御年貢ニ差詰り家屋敷書入) 明和四年十一月 借主清助他三名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二三	
借用申金子之事(家作仕候ニ付借用) 明和八年九月 金借主上中(町)長八他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二三	
借用申金子之事(家作仕ニ付借用) 明和八年八月 上中(町)金借り主又助他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二三	
借用申金子之事(御年貢ニ指詰り借用) 安永二年十一月 牛斗村預り主吉田衆蔵他一名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二五	
借用申金子手形之事(当巳之暮御年貢并ニ肥金ニ差詰り借用) 安永二年十二月 金かり主桶廻間村仙右衛門他一名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二五	
借用申金子之支(酒造仕入申ニ付借用) 安永二年極月 かり主太右衛門他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二五	
覚(屋敷地相止メ金式分差戻) 安永三年二月 平部町八助他一名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二六	
借用申金子之事(空手形質物ニ御預ケ置) 安永三年八月 借主平(部町)忠助他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二七	
借用金子之事(当午暮要用之儀ニ付借用) 安永三年十二月 借主弥市他四名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二六	

借用申金子之事(当御年貢ニ差詰り借用) 安永三年十二月 金かり主□左衛門他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二六	
借用申金子之事(当午暮御年貢ニ指詰り借用) 安永三年十二月 金かり主忠兵衛他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二六	
借用申金子之事(当暮御年貢ニ差詰り借用) 安永三年十二月 かり主千十郎他一名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二六	
□家老軒質物ニ書入借用申金子之事 安永三年十二月 金かり主本川八右衛門他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二六	
借用申金子之事(麦御年貢金入用ニ付借用) 安永四年六月 子組頭千十郎他二名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二六	
借用申金子之事(当夏麦金借り入之分借用) 安永四年七月 市郎兵衛 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二六	
借用申金子之支(盆前要用差詰り借用) 安永四年七月 金かり主佐兵衛他一名 <small>(宛名未詳)</small>	一通	二七〇	
借用申金子之事(浪人差宿主江借用) 安永四年七月 藤十郎 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二七	
借用申金子之事(当盆前要用之儀ニ付借用) 安永四年七月 借主児玉代助他一名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二七	
借用申金子之事(盆前弘方ニ差詰り借用) 安永四年七月 市郎兵衛 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二七	
借用申金子之事(要用ニ差詰り借用) 安永四年九月 本(組)かり主佐兵衛 <small>(宛名未詳)</small>	一通	二七	
借用申金子之事(当未暮御年貢ニ差詰り借用) 安永四年十二月 金借用主清三郎他一名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二七	
借用申金子之事(当未暮御年貢ニ指詰り借用) 安永四年閏十月 金かり主平左衛門他三名 <small>下郷次郎八殿</small>	一通	二七	

借用申金子之事(当未暮御年貢ニ差詰り借用) 安永四年閏十二月 借主九郎治他二名々下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(当未暮御年貢ニ指詰り借用) 安永四年十二月 金かり主忠兵衛他三名々下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(去未年麦御年貢金不足之分借用) 安永五年六月 組頭千十郎他三名々下郷次郎八殿	一通 三八〇
借用申金子之事(当申夏御年貢金借り入) 安永五年六月 市郎兵衛他一名々下郷次郎八殿	一通 三八一
借用申銭之事(麦御年貢代差支借用) 安永五年六月 相組惣代清右衛門他二名々下郷次郎八殿	一通 三八三
借用申金子之事(当麦金ニ差詰り借用) 安永五年六月 作組頭又蔵他二名々下郷次郎八殿	一通 三八五
借用申金子之事(申夏麦御年貢取立不足ニ付借用) 安永五年六月 かり主組頭久兵衛他三名々下郷次郎八殿	一通 三八六
借用申金子之事(盆前要用ニ借用) 安永五年七月 借り主市郎兵衛他一名々下郷次郎八殿	一通 三八二
借用申金子之事 安永五年七月 金かり主平(部町)清蔵他一名々下郷次郎八殿	一通 三八四
預り申金子之事 安永六年十一月 下郷大夫助昌雄他一名々野村伴右衛門殿	一通 三八七
覚(銭借用) 安永七年三月 近藤九左衛門他一名々下郷次郎八殿	一通 三五二
覚(名古屋宿近江屋太助方へ為見舞借用) 安永八年四月 近藤九左衛門他二名々下郷次郎八殿	一通 二九七
借用申金子之事(当春中嶋橋繕之節、大工ノ手伝御用代借用) 安永八年七月 下郷金右衛門他二名々下郷次郎八殿	一通 三九
覚(出水之節、名古屋々批把嶋迄御注進之者人足代借用) 安永八年八月 下郷金右衛門他二名々下郷次郎八殿	一通 三八
借用申金子之事(勅使油小路前大納言様等御下向之節費用) 安永八年八月 当番取扱児玉代助他二名々下郷次郎八殿	一通 三〇二
借用申金子之事(東福院寺社金借用) 安永八年十一月 近藤九左衛門他二名々下郷次郎八殿	一通 二九六
借用申銭之事(殿様本地村江御成之時、諸人足代借用) 安永八年十一月 近藤九左衛門他三名々下郷次郎八殿	一通 二九六
添證文之事(明和四年借用金返済) 天明元年十二月 作(組)忠兵衛後家他二名々下郷次郎八殿	一通 三三六
借用申金子之事(当丑之暮御年貢ニ差詰り借用) 天明元年 極月 金かり主笠寺村孫兵衛他一名々下郷次郎八殿	一通 三三七
安永二已年御取替金六拾両元利之内江請取通 天明二年 七月 永井松右衛門々下郷次郎八殿	横帳 二丁 三三七
借用申金子之事(家相求申候ニ付借用) 天明二年十二月 金かり主作町礪石衛門他二名々下郷次郎八殿	一通 三三六
借用申金子之事(相原村長七組々高割ニ而我等支配百壹石江御当金借用) 天明二年八月 百壹石庄屋又七郎他一名々下郷次郎八殿	一通 三三六
地中取替盆前可済分 天明三年七月 下郷次郎八	横帳 一冊 二八四
金銀銭之通(御勅使油小路大納言様他御下向之節借用等) 天明四年正月吉日(閏正月々十一月) 西尾榮治他二名々下郷次郎八殿	横帳 一冊 二八五
借用申金子之事(相組其元御扣過米之内ニ而借用) 天明四年十二月 借用主下郷善右衛門他二名々下郷次郎八殿	一通 三三三
借用申米之事(御未進米ニ差詰り借用) 天明五年三月 かり	一通 三三六

主下(組)庄右衛門他一名下郷次郎八殿

借用申金子之事(当盆前問屋払難成候付借用) 天明五年七月

一通 二四五

金借主宮文助他二名下郷次郎八殿

借用申金子之事(上搗麦代金借用) 天明五年八月 下郷次郎四郎他三名下郷次郎八殿

一通 二四六

借用申金子之事(当巳之暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十一月 伝馬新田庄屋次兵衛他五名下郷次郎八殿

一通 二四三

借用申金子之事(当巳之暮先納金差詰り借用) 天明五年十一月 相原村庄屋借り主久三郎他三名下郷次郎八殿

一通 二四四

借用申金子之事(困窮ニ付借用) 天明五年十一月 相原村かり主庄屋長七郎他十五名下郷次郎八殿

一通 二四二

借用申金子之事(御年貢并作食ニ差詰り借用) 天明五年十一月 平手新田庄屋借り主伝右衛門他九名下郷次郎八殿

一通 二四三

借用申金子之事(当巳暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十二月 (借主名キリトリ) 他二名下郷次郎八殿

一通 二四九

借用申金子之事(当巳暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十二月 かり主丹藏他三名下郷次郎八殿

一通 二四三

借用申金子之事(当巳之暮御伝馬役渡金借用) 天明五年十二月 金借り主清助他二名下郷次郎八殿

一通 二四四

借用申金子之事(当巳暮御年貢差詰り借用) 天明五年十二月 作(町)清助他一名下郷次郎八殿

一通 二四五

借用申金子之事(当巳之暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十二月 かり主相原村彦右衛門他一名下郷次郎八殿

一通 二四七

借用申金子之事(当巳冬御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十二月 傍示本村金かり主孫三郎他一名下郷次郎八殿

一通 二四〇

借用申金子之事(当春問屋表へ払金ニ借用) 天明六年二月

一通 二四四

金借り主熱田(宿)肴屋文助他二名下郷次郎八殿

借用申金子之事(馬買代金借用) 天明六年五月 金かり主作(町)清助他一名下郷次郎八殿

一通 二四九

借用申金子之事(飼葉相求候ニ付借用) 天明六年十月 金かり主作(町)清助他一名下郷次郎八殿

一通 二五〇

覚(御役馬売替足シ金借用) 天明六年閏十月 金かり主下(組)丹藏他一名下郷次郎八殿

一通 二五三

借用申連判金之事(当午秋凶作ニ付借用) 天明六年十一月 金かり主安兵衛他六名下郷次郎八殿

一通 二五二

借用申金子之事(当午之暮先納金差詰り借用) 天明六年十一月 相原村庄屋借り主久三郎他三名下郷次郎八殿

一通 二四七

借用申金子之事(肥代払方) 天明六年十一月 金かり主八松(村)新助他二名下郷次郎八殿

一通 二五四

借用申金子之事(当申之暮賄金ニ差詰り借用) 天明八年十二月 相川かり主源四郎他三名下郷次郎八殿

一通 二五八

借用申金子之事 寛政元年十二月 児玉代助他六名下郷次郎八殿

一通 二〇九

借用申金子之事(御拝借返納御利足金) 寛政二年正月 児玉代助他四名下郷次郎八殿

一通 三三

借用申金子之事 寛政二年二月 近藤九右衛門他二名下郷次郎八殿

一通 二〇八

借用申金子之事(本陣掃除人足代) 寛政二年三月 嘉吉他一名下郷次郎八殿

一通 三六

借用申金子之事(本陣掃除人足代) 寛政二年三月 嘉吉他一名下郷次郎八殿

一通 六

借用申錢之事〔本陣人足代〕 寛政二年四月 嘉吉他一名下郷次郎八殿 一通 六

借用申金子之事〔犬殺シ褒美錢借用〕 寛政二年四月 嘉吉他一名下郷次郎八殿 一通 六

借用申金子之事〔御伝馬渡金借用〕 寛政二年十二月 金借り主作〔町〕清助他二名下郷次郎八殿 一通 六

借用申金子之事〔夫銀借用〕 寛政三年二月 金かり主百老石支配惣兵衛他一名下郷次郎八殿 一通 五

借用申錢之事〔そうし人足并道具番人足代借用〕 寛政三年五月 嘉吉他一名下郷次郎八殿 一通 五

覚〔百老石三日役・御伝馬銀借用〕 寛政三年六月 百老石支配惣兵衛他一名下郷次郎八殿 一通 七

覚〔百老石加入足代借用〕 寛政三年七月 百老石支配惣兵衛他一名下郷次郎八殿 一通 七

覚〔当亥暮分利金請取〕 寛政三年十二月七日 笠寺〔村〕太左衛門下郷治郎八殿 一通 二〇三

借用申金子之事〔年貢米蔵入之節、運賃諸入用借用〕 寛政三年十二月 弥兵衛他一名下郷次郎八殿 一通 七

借用申金子之事〔人足代借用〕 寛政四年七月 弥兵衛他二名下郷次郎八殿 一通 六

借用申金子之事〔当秋村入用借用〕 寛政四年八月 近藤小七他四名下郷次郎八殿 一通 二

添證文之事〔享和貳戌年、下郷次郎八其元ニ而借用〕 文政三年六月 取喰人山崎徳左衛門他三名重左衛門殿他二名 一丁 一〇〇

添證文之事〔享和貳戌年、下郷次郎八其元ニ而借用〕 文政三年六月 取喰人山崎徳左衛門他三名下郷次郎八殿 一丁 一〇二

差出一札之事〔水車之地所借用〕 文政九年四月 地所借用主太右衛門他二名下郷次郎八殿 一通 一六

差出申證文之事〔水車譲り受、滞候御年貢引請〕 文政九年四月 水車扣主太右衛門他二名下郷次郎八殿 一通 三五四

覚〔家作助成金〕 文政十年八月十四日 松崎嘉十郎下郷次郎八様 付、書簡 二通 三五五

覚〔岡崎表頼母子懸金入用〕 文政十一年四月廿二日 松崎嘉十郎下郷次郎八様 一通 一四七

借用申金子之事 〔年代未詳〕丑十月十四日 かり主加右衛門他一名〔宛名未詳〕 一通 一六

借用申金子之事 〔年代未詳〕己十一月廿三日 近藤小七下郷次郎八殿 一通 一六

借用申金子之事〔問屋払差詰、借用〕 〔年代未詳〕午七月十五日 宮小□や分助他二名〔印消シ〕下郷次郎八様 一通 一六

覚〔家作助成金〕 文政十年十月十五日 松崎嘉十郎下郷次郎八様 一通 三五六

覚〔家作助成金〕 文政十年五月七日 松崎嘉十郎下郷次郎八様 借用申金子之事 弘化四年十二月 借用主下郷金兵衛他一名下郷次郎八殿 付、包紙 一通 三六〇

差出申證文之事〔下郷正平二重書入〕 嘉永三年十二月 下郷保之助他二名下郷次郎八殿 付、包紙 一通 二〇六

預米證書之事 嘉永四年十月 預り主下郷次郎八他二名村方惣高持衆中 一通 二〇八

借用申金子之事〔屋敷勝手要用ニ付借用〕 嘉永五年四月 河合唯四郎下郷次郎八殿 付、包紙 一通 二〇九

借用申金子之事〔屋敷勝手要用ニ付借用〕 嘉永五年四月 河合唯四郎下郷次郎八殿 付、包紙 一通 二〇九



覚(金子請取) (年代未詳)寅十二月廿八日 永井松右衛門ゝ下

郷次郎八様

勘 左 衛 門

奉願候事(分散) (年代未詳)寅極月 桶廻間村半右衛門ゝ下郷

次郎八様

覚(千代倉治郎兵衛より濃州岐阜綿屋久兵衛宛金百両相届)

(年代未詳)酉十月六日 貝谷権左衛門ゝ千代倉治郎八様

覚(金子借用) (年代未詳)戌十一月十一日 彦四郎ゝ下郷次郎

八殿

覚(盆前附払不足錢借用) (年代未詳)戌七月十七日 彦次郎ゝ

下郷次郎八殿

借用申金子之事(御高札場屋祢等入用) (年代未詳)戌十二月

下郷弥兵衛他一名ゝ下郷次郎八殿

覚(勅使上京ニ付、金子借用) 亥九月 西尾□□ゝ下郷次郎八

殿

借用申金子之事 (年代未詳)十一月廿一日 いそ部善左衛門扣

屋敷泰禪ゝ下里次郎八様

覚(請取) (年代未詳) 永井松右衛門ゝ下郷次郎八様

勘 右 衛 門

借用仕金子之事 正徳四年十二月十一日 かり主平四郎他一名

ゝ勘右衛門殿

借用仕金子之事 正徳五年十二月 かり主弥助他一名ゝ勘右衛

門殿

覚(仲満積金預り) 寛政五年十一月十二日 下郷勘左衛門ゝ千

代倉萬作殿

覚(仲満積金預り) 寛政五年十一月 下郷勘左衛門ゝ深尾孫右

衛門殿

覚(仲満積金預り) 寛政五年十一月 下郷勘左衛門ゝ千代倉金

三郎殿

覚(仲満積金領り) 寛政五年十二月十二日 下郷勘左衛門ゝ千

代倉金兵衛殿

覚(江戸表為替証文請取) 寛政六年五月十二日 下郷勘左衛門

ゝ源谷半左衛門殿

覚(為替証文請取) 寛政六年十一月十九日 下郷勘左衛門ゝ中

野半六殿

覚(金子借用) 寛政六年十二月十一日 下郷勘左衛門ゝ中野半

六殿

〔調達金被返下分〕 (寛政六年)寅正月 鳴海村下郷勘左衛門

付、包紙

〔調達金被返下分〕 (寛政六年)寅正月 鳴海村下郷勘左衛門

三名

借用申金子之事 寛政六年八月 西尾伊右衛門他一名ゝ下郷勘

左衛門殿

覚(江戸表為替証文請取) 寛政六年十二月三日 千代倉勘左衛

門ゝ大江清兵衛殿

覚〔江戸表為替証文請取〕 寛政六年十二月六日 千代倉勘左衛門 門々大江清兵衛殿	一通 四	衛門〔印消シ〕他三名々次郎右衛門殿	
覚〔調達金〕 (寛政七年)卯十二月 鳴海〔村〕下郷勘左衛門	一通 七	衆様	
覚〔調達金〕 (寛政七年)卯十二月 鳴海〔村〕下郷勘左衛門他四 名 付、断簡	一通 八	乍恐御達奉申上候御事〔龜崎村間瀬仁左衛門他一名御拜借 米返上遅滞〕 (年代未詳)寅十月 鳴海〔村〕下郷勘左衛門他一 名々井田忠右衛門様	一通 三七
覚〔調達金〕 (寛政七年)卯十二月 鳴海〔村〕金兵衛	一通 九	覚〔金子請取、為替証文〕 (年代未詳)卯三月廿四日 下郷勘左 衛門々外山弥次右衛門殿	一通 一五
〔調達金〕 (寛政七年)卯十二月 鳴海村下郷勘左衛門 付、包紙	一通 〇	覚〔金子請取、為替証文〕 (年代未詳)卯四月九日 千代倉勘左 衛門々外山弥次右衛門殿	一通 一五
覚〔調達金〕 (寛政七年)卯十二月 鳴海〔村〕下郷勘左衛門他三名	一通 二	覚〔金子請取〕 (年代未詳)未七月十二日 権右衛門々千世倉勘 左衛門様	一通 二六
〔調達金〕 (寛政七年)卯十二月 鳴海村下郷勘左衛門	一通 三	覚〔請取〕 (年代未詳)未七月十二日 熱田や庄助々千代倉勘左衛 門様	一通 二七
借用申金子之事〔赤坂御役所御用ニ付〕 寛政七年七月 当番 下郷庄左衛門他二名々下郷勘左衛門殿 付、包紙	一通 五	〔断簡〕 (年代未詳)未七月十二日 名古屋本町拾丁目丸屋伊兵衛 々千世倉勘左衛門様	一通 二七五
為替証文之事 寛政七年十一月十日 下郷勘左衛門々千代倉次 郎兵衛殿他一名 (裏書)〔片岡伊兵衛〕	一通 四	〔請取断簡〕 (年代未詳)未七月十三日 六兵衛々下郷勘左衛門様	一通 二七六
為替証文之事〔御払居米代〕 寛政七年十一月十一日 下郷勘左 衛門々千代倉次郎兵衛殿他一名 (裏書)〔竹原文右衛門〕	一通 三	〔受取〕 (年代未詳)未七月十三日 竹屋九右衛門々下郷勘左衛門 様	一通 二六八
一札〔扣地所質物ニ書入文金千兩借用〕 寛政九年十二月 下 郷勘左衛門々菱屋太兵衛殿御取次	一通 九	覚〔受取〕 (年代未詳)未七月十三日 藤屋千助々千代倉勘左衛門 様	一通 二七二
借用申金子之事 寛政九年十二月 下郷勘左衛門々吉田太兵衛 殿	一通 二	覚 (年代未詳)未七月十三日 □葉屋清兵衛々千世倉勘左衛門様	一通 二七三
奉拝借金子之事〔下郷勘左衛門儀勝手困窮ニ付〕 寛政九年十 二月 糸崎村新美与右衛門他二名々地方御役所	一通 一〇三	覚〔御菓子箱等受取〕 (年代未詳)未七月十三日 尾州名古屋海 老屋文助々下郷勘左衛門様	一通 二七九
借用申金子之事 寛政十二年二月 下郷勘左衛門〔印消シ〕々小 松屋与吉殿取次	一通 一三	覚〔銀札請取〕 (年代未詳)十一月晦日 嘉兵衛々下郷翁助様	一通 二七五
借用申金子之事〔田地書入借用〕 享和三年十二月 下郷勘左	一通 二三		

次郎四郎

借用申金子之事〔当午盆前晦日附入用金借用〕	天明六月七日	一通	二四六
近藤小七他三名下郷次郎四郎殿			
借用申金子之事	天明六年十二月	一通	二五三
次郎四郎殿	金かり主富蔵他一名下郷		
金銀出入帳	天明二年十二月	横帳一冊	二六三
郎四郎	土元方十次郎・東四郎・次		
金銀出入留	天明三年十二月吉日	横帳一冊	二六五
	土元方		
金銀出入帳	天明四年十二月	横帳一冊	二六六
	土元方		
借用申金子之事〔当盆前諸賄難相成借用〕	天明七年七月	一通	二五五
借主平〔組〕富蔵他一名下郷次郎四郎様			
申年郷蔵斗米勘定目録	(年代未詳)丑正月	一通	二七六
下郷次郎四郎殿	長左衛門他四名		
覚 (年代未詳) 午正月九日	近藤小七下郷次郎四郎様	一通	二四九
覚 (年代未詳) 午九日七日	平長左衛門下郷次郎四郎様	一通	二七二
覚〔両宮共ころひ木之様〕	(年代未詳) 午九月七日	一通	二七七
下郷次郎四郎様	幸長左衛門		
覚〔鳴海役所手代御足輕当未秋御借米代金銀〕	(年代未詳) 未	一通	二六四
七月九日	八吉太夫代杉本与兵衛他一名下郷次郎四郎殿		
覚〔郷蔵残米拾八石五斗、買主江相渡〕	(年代未詳) 酉三月朔	一通	三六四
日 東方組頭共下郷次郎四郎様			
覚〔納米式石借用〕	(年代未詳) 正月十七日	一通	一五二
郎四郎様	梶川道源下郷次		
書簡〔御借米之内苞石者正米ニ而受取申度〕	(年代未詳) 七月	一通	一七五

五日 酒井斎助他一名下郷次郎四郎様

書簡〔御足輕当秋御借米〕 (年代未詳) 七月五日 酒井斎助他一名下郷次郎様 一通 二四八

書簡〔晦日附払方金子拝借〕 (年代未詳) 七月十三日 下郷次郎四郎下郷貞四郎様 一通 二四六

書簡〔当秋御借米之内払米代金受取〕 (年代未詳) 十二月廿八日 与兵衛次郎四郎様 一通 二四七

鯨太郎

差入申書付之事〔私儀組頭在勤中、本家次郎右衛門零落仕、御年貢米未進等私ニ引受ノ古証文返却〕 慶応元年十一月相組多左衛門他三名下郷鯨太郎殿 付、包紙 一通 二〇八

〔宛名未詳〕

借用申金子之事 (年代未詳) 丑ノ二月十六日 かり主加右衛門他一名〔宛名未詳〕 一通 一六七

借用申金子之事 (年代未詳) 丑ノ閏二月晦日 かり主加右衛門他一名〔宛名未詳〕 一通 二五七

借用申金子之事 (年代未詳) 丑八月十三日 かり主加右衛門他一名〔宛名未詳〕 一通 一六六

借用申金子之事 (年代未詳) 卯十二月十九日 (差出人・宛名未詳) 一通 二五五

借用申金子之事〔木綿替、油両商売元手金〕(後欠) (年代未詳) 一通 二五九

拝 借 金

御預申金子之事	天明元年十一月	鳴海村下郷次郎八他一名	一通	三三五
御国方御役所				
拝借仕御金之事	寛政七年七月	下郷勘左衛門	一通	六
拝借仕証文之事(御小納戸拝借証文案)	寛政十年十二月	下郷勘左衛門他二名	一通	一〇五
郷勘左衛門他二名	御小納戸御役所	付、包紙		
拝借仕証文之事(御小納戸拝借証文)	寛政十年十二月	下郷勘左衛門他一名	一通	一〇六
御拝借金年賦返上方覚帳	享和元年五月	横帳	一冊	三九六
拝借仕御金之事	享和二年三月	鳴海(村)下郷勘左衛門(印消シ)	一通	一四
他三名	御小納戸御役所			
拝借仕候金子之事	享和二年十二月	愛知郡鳴海村借り主下郷勘左衛門(印消シ)	一通	一三
郷勘左衛門(印消シ)	他二名	御小納戸御役所		
拝借仕候金子之事	享和二年十二月	愛知郡鳴海村借り主下郷勘左衛門他二名	一通	一三
御小納戸御役所				
添證文之事(寛政十二申四月證文式通ニ而借金)	文化二年七月	下郷勘左衛門他二名	一通	三三五
下郷勘左衛門他二名	子組茂右衛門殿他一名			
拝借仕御金之事(酒造製作ニ付拝借)	文化二年十二月	鳴海	一通	三〇四
拝借主下郷勘左衛門他五名	御小納戸御役所			
拝借仕御金之事	文化二年十二月	下郷勘左衛門	一通	三〇六
役所				
差上申證文之事(御払米)	文化二年十二月	拝借主下郷勘左衛門他一名	一通	三〇八
御小納戸御役所				
拝借仕御金之事(酒造製作ニ付拝借)	文化二年十二月	鳴海	一通	三〇九
拝借主下郷勘左衛門他七名	御小納戸御役所			

拝借仕御金之事(酒造製作ニ付拝借)	文化二年十二月	鳴海	一通	三三〇
拝借主下郷勘左衛門他五名	御小納戸御役所			
〔御小納戸御役所拝借金五千兩被為仰付ニ付、地所引当証文〕	文化二年十二月	拝借主下郷勘左衛門他五名	一通	三三二
門殿他二名				
〔御小納戸御役所拝借金五千兩被為仰付ニ付、地所引当証文〕	文化二年十二月	拝借主下郷勘左衛門他五名	一通	三三三
門殿他二名	付、覚			
添證文之事(去冬御払米六百石拝借仕候代金)	文化三年三月		一通	三三九
拝借主下郷勘左衛門他二名	御小納戸御役所			
拝借仕御金之事(酒造製作ニ付拝借)	文化三年五月	鳴海	一通	三三七
借主下郷勘左衛門他五名	御小納戸御役所			
証文面之写(青蓮院宮様御祠堂御用金御拝借)	文化三年五月廿日	天保二年八月	伊藤都九郎	下郷次郎八殿
覚(御小納戸金五千兩拝借仕候ニ付、為念村方江金五百兩御預ケ)	(文化三年カ)寅七月	拝借主下郷勘左衛門他五名	一通	三三三
方御役人衆中様				
覚(御小納戸拝借金)	(文化三年カ)寅七月	下郷勘左衛門他一名	一通	三三四
名	村方御役人衆中様			
奉拝借御用金之事(青蓮院宮様御祠堂御用金之内拝借)	文化三年七月	尾州鳴海	一通	三三九
尾州鳴海	拝借人下郷勘左衛門			
奉拝借御用金之事(青蓮院宮様御祠堂御用金御拝借)	文化三年九月	勢州桑名郡長鳴領之内西外面村庄屋	四丁	一六三
太夫他六名	粟田御用達尾州鳴海下郷勘左衛門			
奉拝借金之事(当御殿御用金之内拝借)	文化三年十二月		一通	三三八
拝借人下郷勘左衛門他二名	粟田御殿御役人中様			

借用申金子之事〔青蓮院宮様御祠堂金借用〕 文化六年十二月 西川村借主服部惣左衛門他五名々下郷勘左衛門殿	五丁 一八三	借用申金子之事 寛政十二年三月 金子借主千代倉地方平兵衛 々相(組)重左衛門殿他二名御取次	一丁 一八九
差出申証文之事〔先代之時節借用致置利配等、十五ヶ年毎年小作米ヲ以御寺江相納可申候〕 文政九年三月 借用主下郷次郎八他十名々長寿寺御納所	六丁 三三	借用申金子之事 享和二年二月 酢店嘉七々太兵衛殿御取次	一丁 一八六
包紙〔拝借金年賦返納之儀、御年延御聞濟御書付〕 安政二年十一月九日 鳴海村下郷次郎八	一通 二七三	借用申候金子之事〔酢店要用ニ付借用〕 享和二年二月 酢店嘉七(印消シ)々□や太兵衛殿	一通 一三五
乍恐奉願上候御事〔去冬拝借払米返済、来ル五月迄猶予願〕 (年代未詳)寅三月 下郷勘左衛門御納戸御役所 付、包紙	一通 二〇七	借用申金子之事 享和二年三月 千代倉勘左衛門地方平兵衛他一名々相(原町)十左衛門殿	一通 一三六
覚 (年代未詳)亥十二月廿八日 平手庄屋々御小納戸分	一通 二六二	借用申金子之事〔酢店要用ニ付借用〕 享和二年四月 酢店嘉七(印消シ)他一名々治郎右衛門殿	一通 一三六
覚〔貸渡金之内返納請取〕 (年代未詳)亥十二月 鳴海陣屋々鳴海村庄屋江	二通 二七九	借用申金子之事 享和二年四月 酢店嘉七他一名々次郎右衛門殿御取次	一丁 一八二
借金		借用申金子之事 享和三年七月 千代倉勘左衛門地方平兵衛他一名々相(原町)又七郎殿	一通 一三九
覚〔成瀬隼人正様江御借上ケ金〕 享保十四年十二月 鳴海下郷次郎八他一名々三州高取村兵藤惣左衛門殿	一通 一九〇	借用申金子之事 享和三年七月 千代倉勘左衛門地方平兵衛他一名々相(組)又七郎殿取次	一丁 一八三
乍恐奉願御事〔知多郡落合村他二ヶ村江御年貢賄差支申由ニ而扣之田地并家屋敷質物ニ書入金子借渡シ〕 享保十五年八月 愛知郡鳴海宿次郎八々飯島重左衛門様	一通 一九一	借用申金子之事 享和三年十二月 下郷勘左衛門他三名々次郎右衛門殿	一丁 一八四
借用申金子之事 寛政十一年十二月 千世倉地方借主平兵衛々相(原町)太兵衛殿他一名	一通 一〇九	借用申金子之事 文化元年正月 酢店他二名々次郎右衛門殿御取次	一丁 一八五
借用申金子之事 寛政十一年十二月 千世倉地方金子借主平兵衛々相(組)太兵衛殿他一名御取次	一丁 一八八	借用申候金子之事 文化元年正月 酢店嘉七他一名々治郎右衛門殿御取次	一通 三〇五
借用申金子之事 寛政十二年三月 金子借主千代倉地方平兵衛(印消シ)々相(原町)十左衛門殿他二名	一通 一三〇	借用申候金子之事 文化元年四月 酢店嘉七他一名々治郎右衛門殿御取次	一通 三〇七



借用申米之事(酒造仕入ニ付借用) 文化元年十二月 借用主

下郷勘左衛門他二名、次郎右衛門殿

借用申金子之事 文化三年三月 千代倉勘左衛門地方平兵衛他

一名、相原村八左衛門殿

借用申金子之事 文化三年三月 千代倉勘左衛門地方平兵衛他

一名、相原村八左衛門殿

借用申金子之事 文化三年四月 千代倉勘左衛門地方平兵衛他

一名相(原村)十左衛門殿

借用申金子之事 文化三年四月 千代倉勘左衛門地方平兵衛他

一名、相(組)十左衛門殿

借用申金子之事 文化三年五月 千代倉勘左衛門地方平兵衛他

一名、相原村八藏殿取次

覚(要用ニ付金子借用) 文化三年七月七日 借用主下郷勘左衛門他一名、加藤佐次右衛門殿他一名

借用申金子之事(要用ニ付扣之出店等為引当金貳百兩借用)

文化三年八月 借用主下郷勘左衛門他四名、角吉屋甚助殿御取次

借用申金子之事(貴寺御修覆金借用)

主下郷勘左衛門他二名、長寿寺御納所

借用申金子之事(貴寺御修覆金借用)

主下郷勘左衛門他二名、長寿寺御納所

借用申金子之事(貴寺御修覆金借用)

主下郷勘左衛門他二名、長寿寺御納所

借用申金子之事 安化三年十二月 千代倉勘左衛門地方平兵衛

他一名、相(原村)十左衛門殿

借用申金子之事 文化三年十二月 千代倉勘左衛門地方平兵衛

他一名、相(組)十左衛門殿

借用申金之事 文化四年七月 下郷勘左衛門、長寿寺様御取次

借用申金子之事 文化四年七月 下郷勘左衛門他二名、長寿寺

様御取次

借用申金子之事 文化四年七月 下郷勘左衛門、長寿寺様御取次

次

借用申金子之事 文化四年十二月 下郷勘左衛門他一名、長寿寺様御取次

寺様御取次

借用申金子之事 文化四年十二月 下郷勘左衛門他三名、長寿寺様御取次

寺様御取次

借用申金子之事 文化四年十二月 下郷勘左衛門他一名、長寿寺様御取次

寺様御取次

借用申金子之事 文化四年十二月 下郷勘左衛門他一名、長寿寺様御取次

寺様御取次

借用申金子之事 文化四年十二月 下郷左之吉他三名、長寿寺様御取次

様御取次

覚(沓掛米拾貳俵、御年貢御上納ニ付借用) 文化四年十二月 千代倉勘左衛門地方平兵衛、相(原村)治郎右衛門殿

覚(御林方御年貢御上納ニ付、沓掛米拾貳俵借用) 文化四年十二月 千代倉勘左衛門地方平兵衛、相(組)次郎右衛門殿

借用申金子之事 文化五年三月 下郷左之吉、長寿寺様御納所

借用申金子之事 文化五年三月 下郷左之吉他二名、長寿寺様御納所

借用申金子之事 文化五年三月 下郷左之吉、長寿寺様御納所

借用申金子之事 文化五年三月 下郷左之吉他二名、長寿寺様御納所

借用申金子之事 文化五年三月 下郷左之吉、長寿寺様御納所

借用申金子之事 文化五年三月 下郷左之吉、長寿寺様御納所

借用申金子之事 文化六年六月 借用主下郷次郎八他二名、長寿寺様御納所

借用申金子之事 文化九年十一月 下郷次郎八他一名、神谷磯右衛門殿御取次

借用申金子之事 文化九年十一月 下郷次郎八他一名、神谷磯右衛門殿御取次

借用申金子之事 文化九年十一月 下郷次郎八他一名、神谷磯右衛門殿御取次

借用申金子之事 文化九年十一月 下郷次郎八他一名、神谷磯右衛門殿御取次

借用申金子之事 文化九年十一月 下郷次郎八他一名、神谷磯右衛門殿御取次

借用申金子之事 文化九年十一月 有脇村借用主磯右衛門ハ龜崎村成田久右衛門殿御取次 一通 三〇四

借用申金子之事 文化十三年六月 下郷治郎八ハ利助殿御取次 一通 三〇九

借用申金子之事 文化十四年十二月 借り主嘉十郎他二名ハ久野越後殿御取次 一通 三二〇

金銀預渡通手形 文政二年正月 播磨屋新右衛門ハ千代倉 横帳 一冊 三二五

次郎兵衛殿他二名

梅おほゑ扣帳 文政四年五月吉日 細根山分士千代倉 横帳 一冊 三二九

梅おほゑ帳 文政四年五月吉日 横帳 一冊 三三二

譲渡シ申證文之夏ハ水車ハケ所 文政七年正月 借り主下郷庄 一通 三三五

左衛門他四名ハ幸右衛門殿御取次

金銀預渡通手形 文政十一年正月 播磨屋新右衛門ハ千代倉 横帳 一冊 三三六

倉次郎兵衛殿

乍恐以書付奉願上候ハ先年御手元金奉預り候内、五ヶ年之間無利足御元居ニ被成下候様 安政三年七月 千代倉屋久 一通 三〇四

兵衛ハ佐枝將監様御用人衆中様 付、包紙

〔袋〕 寛政九年正月 一通 二七五

覚ハ去亥年分利足請取 〔年代未詳〕子十二月廿八日 米ハ学 一通 二六九

海様

覚ハ元金之内請取 〔年代未詳〕丑十二月廿八日 匡紀ハ学海様 一通 二六一

覚ハ金子請取 〔年代未詳〕卯大晦日 松右衛門ハ梶川様御取次 一通 二六九

〔辰とし過米中勘三郎分断簡〕 〔年代未詳〕辰 榮治他一名 一通 二七五

〔手形包紙〕 〔年代未詳〕巳閏三月 〔差出人未詳〕ハ平八助ハ覚 一通 二五八

覚 〔年代未詳〕未七月 三右衛門ハ千代倉様 一通 二七五

乍恐奉願上候御事ハ名古屋玉屋町菱尾太兵衛方借用金 〔年 一通 二六五

代未詳〕申三月

〔借金〕 〔年代未詳〕申ノ十二月廿六日 作兵衛 一通 二五五

覚ハ弁当代受取 〔年代未詳〕酉ノ七月朔日 ありまかるや甚兵衛ハ尾州金三郎様 一通 二五二

弥市郎殿

覚ハ請取 〔年代未詳〕酉七月九日 天満菅原町針や利兵衛ハ尾張 一通 二五三

覚ハ鉄鉋薬火縄代 〔年代未詳〕亥六月 一通 二七八

覚ハ勘定 〔年代未詳〕亥六月十二日 近藤ハ七 一通 二六五

覚ハ取替金元利之内請取 〔年代未詳〕亥七月十二日 永井米ハ梶川様御取次 一通 二六四

梶川様御取次

覚ハ金子請取 〔年代未詳〕亥十月十四日 千印ハ土印様 一通 二六八

覚ハ利足金請取 〔年代未詳〕亥十二月二日 堀田清左衛門ハ永井富郎右衛門殿 一通 二六九

井富郎右衛門殿

〔わら八拾四束断簡〕 〔年代未詳〕亥十二月三日 大学村喜四郎 一通 二七〇

覚ハ受取 〔年代未詳〕亥十二月十八日 熱田伝馬町油屋源助ハ下郷宛カ 一通 二六八

郷宛カ

覚 〔年代未詳〕いノ十二月廿五日 金剛ハ御主人様 一通 二六四

覚ハ勘定 〔年代未詳〕亥大晦日 小松や久八ハ十一印吉郎右衛門取次 一通 二七〇

覚ハ年賦金 〔年代未詳〕正月廿五日 豊嶋や十右衛門ハ千代倉次郎兵衛様 一通 二六八

覚ハ勘定 〔年代未詳〕二月朔日ハ廿五日 一通 二六八

覚ハ金子受取 〔年代未詳〕三月十日 鳴海屋ハ丞ハ千代倉治右衛門殿 一通 二七〇

覚〔御買物代之請取〕（年代未詳）四月廿八日 日野屋庄左衛門

代権七々下里金三郎殿

一通 二五三

覚（年代未詳）六月六日 御表具師喜右衛門金三郎様

一通 二五六

〔覚〕（年代未詳）六月廿日 近孫

一通 二七〇六

覚〔賄金借用〕（年代未詳）七月十一日 中店翁輔元様

一通 二六四三

覚〔御供代受取〕（年代未詳）七月十二日 弥助

一通 二七〇〇

覚〔米売渡〕（年代未詳）七月 相原村庄屋小三郎宮大瀬古御丁

一通 二七八三

代様

〔反物等断簡〕（年代未詳）八月廿八日 付、包紙

一通 二七六一

覚（年代未詳）十一月廿二日 安次郎十一印様

一通 二六四四

〔断簡〕（年代未詳）十一月廿七日 千印十一御元様

一通 二六六一

おほへ（年代未詳）十二月十七日 新五郎千代藏様

一通 二六六八

書簡〔元々候義承知〕（年代未詳）廿六日

一通 二七四四

請取申御金之事〔江戸為御替金千五百兩請取〕（後欠）（年代未詳）

一通 二六五五

未詳

覚〔亥年去申年迄利足不足之分〕（年代未詳）

一通 二七三三

惣御借財大法積書（年代未詳）

豎帳仮一冊 二四〇二

地主 経営

小 作

田畑所々内検帳巻番 宝曆九年二月吉日 千代倉

横帳 一冊 二六〇〇

天白田面地境杭田数并預米内検帳 明和八年四月五日 千代

八丁 三九〇

倉本家控

田畑相渡申小作之帳 明和九年三月

横帳 一冊 二七六六

平手新田本田之内〔請作分〕（年代未詳）子二月

一通 二五二二

耕地請作券〔明治八年〕

耕地請作券〔書式〕 明治八年（差出人ナシ）下郷次郎

一一三通 一八三三

八殿

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人二宮仁三郎他二名下郷

一通 二三三〇

次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相組寺嶋与三郎他二

一通 二三三二

名下郷次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人近藤源四郎他二名下郷

一通 二三三三

次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人小嶋幸助他二名下郷

一通 二三三三

郷次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前小嶋又右衛門他二名

一通 二三三四

下郷次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村荒川豊八他一名

一通 二三三五

下郷次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人佐久間庄兵衛他二名下郷

一通 二三三六

郷次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒川松左衛門他二名下郷

一通 二三三七

郷次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組鈴木勘四郎他二

一通 二三三八

名下郷次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月 郷次郎八殿	地所請作人子組小嶋忠助他二名△下	一通	二三九
耕地請作券 明治八年二月九日 二名△下郷次郎八殿	地所請作人大高村山口孫三郎他	一通	二三〇
耕地請作券 明治八年二月九日 郷次郎八殿	地所請作人立松文七他二名△下	一通	二三一
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人前組小嶋喜代藏他二名△	一通	二三二
耕地請作券 明治八年二月九日 郷次郎八殿	地所請作人村井作藏他二名△下	一通	二三三
耕地請作券 明治九年二月 殿	請作人杉江孫藏他二名△下郷次郎八	一通	二三四
耕地請作券 明治八年二月九日 郷次郎八殿	地所請作人村瀬藤八他二名△下	一通	二三五
地所請作券 明治八年二月 主阪野丹左衛門殿	地所請作人近藤惣右衛門他二名△地	一通	二三六
耕地請作券 明治八年 郎八殿	下組地所受作人富田喜七他二名△下郷次	一通	二三七
地所請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人村井太平治他二名△地主	一通	二三八
耕地請作券 明治九年二月 次郎八殿	請作人平組柘植忠四郎他二名△下郷	一通	二三九
耕地請作券 明治八年二月 郷次郎八殿	地所請作人下組名切太輔他二名△下	一通	三四〇
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人下組久野甚三郎他二名△	一通	三四一

耕地請作券 明治八年二月 △下郷次郎八殿	地所請作人下組佐久間佐之助他二名	一通	三四三
耕地請作券 明治八年二月九日 △下郷次郎八殿	地所請作人大野忠右衛門他二名	一通	三四四
耕地請作券 明治八年二月 郷次郎八殿	地所請作人名切太左衛門他二名△下	一通	三四五
耕地請作券 明治八年二月 郎八殿	地所請作人柘植宗八他二名△下郷次	一通	三四六
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	平組地所請作人柘植弥曾八他二名△	一通	三四七
耕地請作券 明治八年二月九日 郷次郎八殿	地所請作人平岩庄七他二名△下	一通	三四八
耕地請作券 明治八年二月九日 △下郷次郎八殿	地所受作主下組小塚藤造他二名	一通	三四九
耕地請作券 明治八年二月廿九日 △下郷次郎八殿	地所請作人柘植金兵衛他二名	一通	三五〇
耕地請作券 明治八年二月九日 名△下郷次郎八殿	地所請作人下(組)近藤鉄造他二	一通	三五一
耕地請作券 明治八年 八殿	地所請作人中村甚兵衛他二名△下郷次郎	一通	三五二
耕地請作券 明治八年 八殿	地所請作人中村甚兵衛他二名△下郷次郎	一通	三五三
耕地請作券 明治八年二月九日 △下郷次郎八殿	地所請作人服部新右衛門他二名	一通	三四四
耕地請作券 明治八年二月九日 二名△下郷次郎八殿	地所請作人前組山口治右衛門他	一通	三四五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人坂野清右衛門他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組坂野清右衛門他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人下村喜七他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三七

耕地請作券 明治九年二月 請作人中之郷北野茂三郎他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三五六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人柘植新七他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三五六

耕地請作券(雛形) 明治八年 (誰) △下郷次郎八殿 六通 三三〇

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人太高村鶴飼清八他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組服部彌曾八他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤喜藏他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三三

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人渡辺弥八他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三四

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤新兵衛他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組服部兵藏他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤定藏他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三七

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組尾関仁左衛門他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三六

耕地請作券 明治八年二月 田方請作人中之郷北重松兵衛他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三六

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人大高村山口弥平他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三七

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組近藤喜平他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三七

耕地請作券 明治八年 地所請作人酒井與左衛門他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三二九

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人作組酒井市藏他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三〇

耕地請作券 明治十年二月 作組地所請作人鈴木富三郎他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三二

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人小嶋太三郎他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三三

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人子組加藤吉左衛門他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三三

耕地預り券 明治八年二月九日 地所請作人子組平井小左衛門他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三四

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人作組酒井嘉十郎他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人子組澤井理兵衛他二名  
△下郷次郎八殿 一通 三三六

耕地請作券 明治八年二月 右請作人荒井村早川國右衛門他一名  
△下郷次郎八殿 一通 三三七



耕地請作券 明治八年 下郷次郎八殿	地所請作人荒井村早川万右衛門他二名	一通	二八六
耕地請作券 明治八年 次郎八殿	地所請作人荒井村久野清七他二名	一通	二八六
耕地請作券 明治八年 次郎八殿	請作人牛毛荒井村永井万吉他二名	一通	二八〇
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人荒井村久野新兵衛他二名	一通	二八三
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人荒井村永井久四郎他二名	一通	二八三
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人荒井村近蔵庄助他二名	一通	二八三
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人荒井村久野安助他二名	一通	二八四
耕地請作券 明治八年二月九日 下郷次郎八殿	地所請作人荒井村服部佐十他二名	一通	二八五
耕地請作券 明治八年二月九日 二名	地所請作人荒井村久野庄兵衛他二名	一通	二八六
耕地請作券 明治八年二月九日 二名	地所請作人ア牛組久野文三郎他二名	一通	二八七
耕地請作券 明治八年二月九日 十他二名	地所請作人ア(荒井村カ)服部甚	一通	二八八
耕地請作券 明治八年二月廿八日 他二名	相原村地所請作人近藤半四郎	一通	二八九
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	相原村地所請作人荒川幸七他二名	一通	二九〇

耕地請作券 明治八年二月 名	相原村地所請作人青山與右衛門他二名	一通	二九一
耕地請作券 明治八年二月 名	地所請作人相原(村)福島伊兵衛他二名	一通	二九二
耕地請作券 明治八年二月九日 二名	地所請作人相原村福島利兵衛他二名	一通	二九三
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	本田庄七他二名	一通	二九四
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人相原村荒川次輔他二名	一通	二九五
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人相原村近藤茂兵衛他二名	一通	二九六
耕地請作券 明治八年二月廿八日 門他二名	相原村地所請作人近藤政左衛門他二名	一通	二九七
耕地請作券 明治八年二月 名	地所請作人相原村福島仁左衛門他二名	一通	二九八
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人相原村本田小七他二名	一通	二九九
耕地請作券 明治八年二月 名	地所請作人相原村福嶋孫右衛門他二名	一通	三〇〇
耕地請作券 明治八年二月 名	地所請作人相原村福嶋助左衛門他二名	一通	三〇一
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人相原村近藤治兵衛他二名	一通	三〇二
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人相原村福嶋富七他二名	一通	三〇三

耕地請作券 明治八年二月 相原地所請作人永井丈助他二名△下郷次郎八殿 一通 二六五

耕地請作券 明治八年二月九日 相原村地所請作人中野彦藏他二名△下郷次郎八殿 一通 二六五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人福嶋利左衛門他二名△下郷次郎八殿 一通 二六五

耕地請作券 明治八年二月廿八日 地所請作人荒川半左衛門他二名△下郷次郎八殿 一通 二六五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村荒川利右衛門他二名△下郷次郎八殿 一通 二六五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村荒川庄三郎他二名△下郷次郎八殿 一通 二六五

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒川仙右衛門他二名△下郷次郎八殿 一通 二六〇

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村荒川六右衛門他二名△下郷次郎八殿 一通 二六二

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村荒川庄右衛門他二名△下郷次郎八殿 一通 二六二

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村林三九郎他二名△下郷次郎八殿 一通 二六三

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原(村)福嶋甚藏他二名△下郷次郎八殿 一通 二六四

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人尾崎山田直藏他二名△下郷次郎八殿 一通 二六五

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村荒川仙輔他二名△下郷次郎八殿 一通 二六六

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村荒川仙藏他二名△下郷次郎八殿 一通 二六六

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組阪野嘉兵衛他二名△下郷次郎八殿 一通 二六六

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人近藤東九郎他二名△下郷次郎八殿 一通 二六六

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人古組近藤久四郎他二名△下郷次郎八殿 一通 二六七

耕地請作券 明治八年 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿 一通 二六七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組鬼頭金藏他二名△下郷次郎八殿 一通 二六七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人鬼頭金藏他二名△下郷次郎八殿 一通 二六七

耕地請作券 明治八年 地所請作人吉組尾関林藏他二名△下郷次郎八殿 一通 二六四

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組近藤茂三郎他二名△下郷次郎八殿 一通 二六五

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人丹組牧野儀助他二名△下郷次郎八殿 一通 二六七

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人丹組坂野仁三郎他二名△下郷次郎八殿 一通 二六七

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人丹組横井喜左衛門他二名△下郷次郎八殿 一通 二六七

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人丹組岡本理吉他二名△下郷次郎八殿 一通 二六九

耕地請作券 次郎八殿	明治八年二月	地所請作人坂野金兵衛他二名下郷	一通	二六〇
耕地請作券 下郷次郎八殿	明治八年二月九日	地所請作人丹組横井勇蔵他二名	一通	二六一
耕地請作券 郎八殿	明治八年二月	地所請作人伊藤重吉他二名下郷次	一通	二六二
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月九日	地所請作人梶川孫治他二名下	一通	二六三
耕地請作券 下郷次郎八殿	明治八年二月九日	地所請作人近藤與右衛門他二名	一通	二六四
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月九日	地所請作人横井重吉他二名下	一通	二六五
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月九日	地所請作人柘植松蔵他二名下	一通	二六六
耕地請作券 下郷次郎八殿	明治八年二月九日	アイ地所請作人中嶋庄吉他二名	一通	二六七
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月	相井地所請作人近藤久蔵他二名下	一通	二六八
耕地請作券 次郎八殿	明治八年二月	地所請作人柘植庄兵衛他二名下郷	一通	二六九
耕地請作券 次郎八殿	明治八年二月	地所請作人柳原卯兵衛他二名下郷	一通	二七〇
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月	相井地所請作人富田藤助他二名下	一通	二七一
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月	地所請作人相井下村豊輔他二名下	一通	二七二

耕地請作券 名下郷次郎八殿	明治八年二月	地所請作人相(原村)今村甚三郎他二	一通	二七三
耕地請作券 次郎八殿	明治八年二月	地所請作人柘植治兵衛他二名下郷	一通	二七四
耕地請作券 郎八殿	明治八年二月	地所請作人柘植彦蔵他二名下郷次	一通	二七五
耕地請作券 下郷次郎八殿	明治八年二月九日	地所請作人柘植藤四郎他二名	一通	二七六
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月九日	地所請作人柘植新助他二名下	一通	二七七
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月九日	地所請作人山口豊助他二名下	一通	二七八
耕地請作券 郎八殿	明治八年二月	地所請作人石川新助他二名下郷次	一通	二七九
耕地請作券 下郷次郎八殿	明治八年二月	地所請作人相組坂野藤三郎他二名	一通	二八〇
耕地請作券 次郎八殿	明治八年二月	地所請作人イカ小嶋源助名二名下郷	一通	二八一
耕地請作券 名下郷次郎八殿	明治八年二月九日	イカ地所請作人増田久兵衛他二	一通	二八二
耕地請作券 二名下郷次郎八殿	明治八年二月九日	イカ地所請作人柳原吉右衛門他	一通	二八三
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月	地所請作人高木儀右衛門他二名下	一通	二八四
耕地請作券 郷次郎八殿	明治八年二月	地所請作人イカ平岩庄七他二名下	一通	二八五

耕地請作券 明治八年二月 郷次郎八殿	地所請作人本組酒井德藏他二名 下郷次郎八殿	一通 二九六
耕地請作券 明治八年二月九日 二名 下郷次郎八殿	イカ地所請作人山口權左衛門他	一通 二九七
耕地請作券 明治八年二月九日 二名 下郷次郎八殿	本組地所請作人柘植德左衛門他	一通 二九八
耕地請作券 明治八年 八殿	地所請作人福井藤三郎他二名 下郷次郎八殿	一通 二九九
耕地請作券 明治九年二月 殿	請作人小嶋勝藏他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇〇
耕地請作券 明治八年二月九日 下郷次郎八殿	イカ地所請作人青山文助他二名	一通 三〇一
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人本組阪野治郎藏他二名	一通 三〇二
耕地請作券 明治八年二月 郎八殿	地所請作人山口庄藏他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇三
耕地請作券 明治八年二月九日 二名 下郷次郎八殿	地所請作人前組坂野八左衛門他	一通 三〇四
耕地請作券 明治八年二月 郷次郎八殿	地所請作人三宅新左衛門他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇五
耕地請作券 明治八年二月九日 二名 下郷次郎八殿	地所請作人大高村近藤三九郎他	一通 三〇六
耕地請作券 明治八年二月 二名 下郷次郎八殿	地所請作人中之郷伊藤三郎右衛門他	一通 三〇七
耕地請作券 明治九年二月 殿	請作人小嶋清七他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇八

耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人中之郷杉江孫造他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇九
耕地請作券 明治八年 郎八殿	地所請作人前組坂野喜八他二名 下郷次郎八殿	一通 三一〇
耕地請作券 明治八年二月九日 下郷次郎八殿	地所請作人前組近藤新助他二名	一通 三一三
耕地請作券 明治八年二月九日 下郷次郎八殿	地所請作人近藤新左衛門他二名	一通 三一三
耕地請作券 明治八年二月九日 下郷次郎八殿	地所請作人前組近藤金平他二名	一通 三一三
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人前組服部治郎七他二名	一通 三一四
耕地請作券 明治八年二月九日 二名 下郷次郎八殿	地所請作人前組中井儀右衛門他	一通 三一五
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人前組服部傳七他二名	一通 三一六
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人前組淺井庄之助他二名	一通 三一七
耕地請作券 明治八年二月 下郷次郎八殿	地所請作人前組山口圓兵衛他二名	一通 三一八
耕地請作券 明治八年二月九日 二名 下郷次郎八殿	地所請作人前組服部新三郎他二名	一通 三一九
耕地請作券 明治八年二月九日 下郷次郎八殿	地所請作人中井太兵衛他二名	一通 三二〇
耕地請作券 明治八年二月九日 二名 下郷次郎八殿	地所請作人前組村井作右衛門他	一通 三二一

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人山口太八他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九三

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前(組)近藤新助他二  
名△下郷次郎八殿 一通 二九三

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組尾関弥曾兵衛他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九四

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人坂野嘉十他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九五

耕地請作券 明治八年二月九日 請作人前組近藤源吉他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組尾関林八他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券〔雛形〕 明治八年二月 (誰)△下郷次郎八殿 一通 二九八

耕地請作券 明治八年二月廿八日 地所請作人水野衆八他二名△  
下郷次郎八殿 一通 二九八

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人村瀬惣七他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九四〇

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人水野庄三郎  
他二名△下郷次郎八殿 一通 二九四一

耕地請作券 明治八年二月廿八日 地所請作人横井新九郎他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九四二

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人水野源助他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九四三

耕地請作券 明治八年二月廿八日 地所請作人成田喜代蔵他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九四四

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人笠寺(村)山村清三郎他二  
一通 二九四五

名△下郷次郎八殿

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人笠寺市場小菅徳三郎  
他二名△下郷次郎八殿 一通 二九四六

耕地請作券 明治八年二月 地所預リ主稻熊久右エ門他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九四七

耕地請作券 明治八年二月廿八日 笠寺村地所請作人鈴木清助他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九四八

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人村上又蔵他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九四九

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人村上甚右衛  
門他二名△下郷次郎八殿 一通 二九五〇

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人青山庄兵衛  
他二名△下郷次郎八殿 一通 二九五二

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人石川兵左衛  
門他二名△下郷次郎八殿 一通 二九五三

耕地請作券 明治八年二月廿九日 本地村地所請作人太橋甚三郎他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九五五

耕地請作券 明治八年二月廿九日 本地村地所請作人成田定四郎  
他二名△下郷次郎八殿 一通 二九五六

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人村上文左衛  
門他二名△下郷次郎八殿 一通 二九五七

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人鏡味清九郎他二  
名△下郷次郎八殿 一通 二九五八

耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人森本甚左衛  
門他二名△下郷次郎八殿 一通 二九五九



耕地請作券 明治八年二月 本地村地所請作人青山勝三郎他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年 本地村地所請作人青山與三郎他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月 本地村地所請作人三村市右衛門他二  
名△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村福嶋八左衛門他二  
名△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月 相原村地所請作人本田勝三郎他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村本田喜代七他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月 相原村地所請作人本田太左衛門他二  
名△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前組村井兵吉他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組小島与左衛門他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤定八他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組近藤惣吉他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人山口宗右衛門他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人大高村淺田榮左衛門  
他二名△下郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人中之郷西尾幸七他二  
名△下郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月 大高村地所請作人鶴見文之右衛門他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組坂野勝藏他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組岡本善助他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人吉組坂野久右衛門他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組近藤勘助他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹(組)岡本喜七他二名△  
下郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組服部龍助他二名△下  
郷次郎八殿 一通 二九七

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人吉組筭原甚左衛門他  
二名△下郷次郎八殿 一通 二九八

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人ヨ組坂野圓兵衛他二  
名△下郷次郎八殿 一通 二九八

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人坂野平造他二名△下郷次  
郎八殿 一通 二九八

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤徳右衛門他二名  
△下郷次郎八殿 一通 二九八

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組坂野宗左衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 二九八四	耕地請作券 明治八年 地所請作人吉組平松哲太郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九八七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人横井徳右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九八五	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人近藤升右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九八八
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人丹組早川茂右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九八六	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人牧野慶太郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九八九
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ミ組酒井喜代七他二名△下郷次郎八殿	一通 二九八七	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組久野孫四郎他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇〇
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人坂野勘左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九八八	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人牧野茂八他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇一
耕地請作券 明治八年 地所請作人ヨ組近藤利兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二九八九	耕地請作券 明治八年 地所請作人吉組西尾藤三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇二
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組坂野与吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二九九〇	耕地請作券 明治八年 地所請作人吉組坂野徳三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇三
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組坂野藤兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二九九一	耕地請作券 明治八年 地所請作人丹(組)横井喜八他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組鈴木宗吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二九九三	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹(組)岡本権左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇五
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ミ組坂野丹左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九九三	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人坂野徳三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組尾関吉三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九九四	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ(組)近藤茂右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組村瀬平助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九九五	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組荒川久左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇八
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組村瀬忠蔵他二名△下郷次郎八殿	一通 二九九六	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組鈴木喜平他二名△下郷次郎八殿	一通 三〇〇九

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組坂野宗左衛門他二名  
 下郷次郎八殿 一通 三〇〇

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組加藤善三郎他二名  
 下郷次郎八殿 一通 三〇二

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組杉江房助他二名  
 下郷次郎八殿 一通 三〇三

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組小嶋平藏他一名  
 下郷次郎八殿 一通 三〇三

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人ミ組塚本松藏他二名  
 下郷次郎八殿 一通 三〇四

質・讓 渡

質物ニ置申畑之事(御年貢ニ指詰リ質物ニ書入) 天和三年  
 極月 かり主八郎右衛門他三名(金右衛門宛カ) 一通 三〇六

質物ニ置申畑之事(当子ノ御未進ニ差詰リ金子借用) 天和  
 四年正月 かり主本町孫九郎他四名(金右衛門宛カ) 一通 三五

質物之田畑之覚 (年代未詳)申十二月廿六日 かり主作兵衛他  
 三名(金右衛門殿) 一通 三五四

質物ニ書入申家并田地之事 貞享三年極月 かり主八郎右衛門  
 他四名(宛名未詳) 一通 二〇五

質物ニ置渡申田地之事 享保四年十二月廿六日 伊藤理  
 助他一名(下里寂照様) 一通 二〇六

質物ニ置渡申田地之事 享保四年十二月廿六日 金借主丹下彦  
 六他三名(相原町次郎八殿) 一通 一九六

質物ニ入申田地之事 享保十三年十月 平手新田かり主与八郎  
 他二名(下郷次郎八殿) 一通 一九七

質物ニ入申田地之事 享保十三年十一月 平手新田金かり主彦  
 八郎他二名(鳴海次郎八殿) 一通 一九七

質物ニ入申家屋敷畑之事 享保十三年十一月 平手新田かり主  
 傳右衛門他二名(鳴海次郎八殿) 一通 一九七

質物ニ入申田地屋敷之事 享保十四年十二月 平手新田かり主  
 門右衛門他二名(下郷次郎八殿) 一通 一九七

質物入申家屋敷之事 明和三年十一月 かり主与六他三名(下  
 郷次郎八殿) 一通 一九

永代売渡申田地之事(所ハ水袋新田我等扣之内) 明和三年十  
 二月 田地相渡主本地村中村弥五八他四名(下郷次郎八殿) 一通 二五三

永代相渡申屋鋪地之事(御未進賄ニ差詰) 明和九年四月 屋  
 敷相渡主荒井村長兵衛他四名(宛名未詳) 一通 二七

永代売渡申田地之事(去辰暮御年貢ニ差詰リ永代売渡) 安  
 永二年二月 田地相渡主本地村中村弥次右衛門他三名(下  
 郷次郎八殿) 一通 二〇六

借用申質物之事(子年御年貢ニ差詰リ居屋敷質物ニ書入) 安  
 永九年十二月 借り主平藏他三名(新平殿) 一通 二〇〇

借用申質物之事(子年御年貢ニ指詰リ居屋敷質物書入) 安  
 永九年十二月 借り主平藏他三名(新平殿) 一通 二〇三

添証文之事(新田五ヶ年季売り) 寛政九年閏七月 下郷勘左衛  
 門他二名(林幾太郎殿) 一通 二〇〇

質流永代讓相渡申新田之事 寛政十年十二月 愛知郡鳴海村讓  
 リ主下郷勘左衛門他二名(下納屋村内海屋忠藏殿) 一通 二〇七

質流永代讓相渡申新田之事(扣) 寛政十年十二月 愛知郡鳴海  
 村讓リ主下郷勘左衛門他二名(下納屋町内海屋忠藏殿) 一通 二〇八

(田地讓渡証文)(前欠) 享和元年十二月 田地渡し主下郷勘左  
 衛門他三名(丹組)三右衛門殿 一通 二五九

一札〔有松祇園寺天神山道鋪地證文書〕 文化三年四月 愛知  
郡鳴海瑞泉寺末寺知多郡有松村禪宗祇園寺々下郷勘左衛門殿

永代売渡申田地之事 文化四年七月 下郷勘左衛門他二名々取次嘉  
兵衛殿

永代売渡申田地之事 天保四年三月 売渡シ主平(組)長左衛門  
後家他三名々下郷次郎八殿

添證文(田地五年季売) 天保四年三月 売渡シ主平(組)長左衛  
門後家他二名々下郷次郎八殿

永代譲リ申山林地面之事 天保六年十二月 山林地面譲リ主当  
村忠八他一名々同村亦右衛門殿

山屋敷願書并絵図面扣 下郷次郎太 安政四年六月、同 豎帳 一冊 二〇三

五年三月 鳴海村下郷次郎太々御林方御陣屋

奉 公 人

↓『鳴海村庄屋文書』『戸口』(八頁)をも見よ

請 状 (宗門手形を含む)

請状之事(愛知郡日置村甚助世忰三平三年切ニ奉公) 元禄 一通 二〇七

五年極月 日置村親甚助他一名々鳴海村寂照老

請状之事(愛知郡大蟠郷村十左衛門世忰三之助拾年切ニ御  
奉公) 元禄十年十一月 愛知郡大蟠郷村親十左衛門他一名々鳴  
海村寂照老

宗門手形之更(愛知郡大蟠郷村十右衛門子三之助) 元禄十 一通 二〇三

年十一月 海東郡前田村本願寺宗圓盛寺々鳴海相原町下里寂照殿

差出シ申一札之更(御手前召仕之三之助宗門送り) 元禄十 一通 二〇一

年十二月 本願寺宗圓盛寺々下里寂照殿

請状之事(三州幡豆郡一色村彦三郎忰伝兵衛七ヶ年季奉公) 一通 二〇〇

天明二年十二月 三州幡豆郡一色親彦三郎他一名々下郷次郎八殿

請状之事(娘松老ヶ年限奉公) 安政二年十二月 (知多郡渡内  
村百姓)同人親又右衛門他一名々下郷次郎八殿

見 合 帳

見合帳(給金・配当・地方給) 天明六年正月吉日 横帳 一冊 二〇三

元々所

家 政

家 計

毛綿買附代金請取通帳 明和五年六月吉日 阿野村外山林 横帳 一冊 三六七

平々千代倉次郎八殿

寅冬御免他所米買石数改帳 明和七年十二月 下郷次 横帳 一冊 三八九

郎八

濃州薪入船送分之帳 安永九年初夏 土印店 横帳 一冊 二〇九

大橋年賦金請取帳(大橋市左衛門殿々江戸豊嶋屋十右 横帳 一冊 二八一

衛門殿江年賦金) 天明元年七月吉日 千代倉下郷次郎八 横帳 一冊 二二二

覚(居宅讓渡) 天明二年九月 讓主下郷次郎八他一名々下郷元蔵 横帳 一冊 二二二

殿他一名

地下取替当冬可済□(証文類ノ包紙カ) 天明六年十一月 一通 二七四

天明七丁未年德善神明方いねの間万よし(日記) 横帳 一冊 二二九

天明七年正月朔日同年十一月廿八日

卯盆前取替物諸書拔帳 寛政七年七月 千代倉 横帳 一冊 三九六

萬覚帳 寛政十二年十一月 千代倉 横帳 一冊 三九五

寛延二巳年ノ享和元酉年迄米直段附帳	享和二年四月	横帳 一冊	三九六
平坂外山大差引書附	文化元年四月 元ノ方	横帳 一冊	三八〇
会所出勤帳	文化十三年十一月廿日 千代倉地方支配	横帳 一冊	三八八
下郷治郎八様御通	文化十四年正月吉日 平針村弥左衛門	横帳 一冊	二〇七
萬御通	文化十四年正月吉日 上□屋文吉ノ下郷治郎八様御支配様	横帳 一冊	二〇五
萬御通	文化十四年正月吉日 植田屋宇兵衛ノ千代倉地方御支配方様 付、袋	横帳 一冊	二〇八
御染物之通	文化十四年正月吉日 平(針村カ)橘屋ノ下郷治郎八様	横帳 一冊	二〇四
御御通	文化十四年正月吉日 宮鍛冶師彦四郎ノ千代倉治郎八様	横帳 一冊	二〇六
御御通	文化十五年正月吉日 宮鍛冶師彦四郎ノ鳴海千代倉治郎八様	横帳 一冊	二〇三
戌年下用ノ高書拔	文政九年正月 下郷道雄	横帳 一冊	三九四
〔年季・暇遣被下物・鼻紙料・被下物・給金前借・寄附物〕	天保十三年八月 (千代倉)	横帳 一冊	三〇一
諸事覚帳	安政六年十月九日 勘之介扣	横帳 一冊	一七六
末年差引帳	安政六年十二月吉日 下郷本家地方会所	横帳 一冊	一七六
毎日諸用留	安政七年正月大吉日 下郷勘之助扣	横帳 一冊	一七九
金銀出入萬覚帳他〔元ノ音信方・当分取替・払方・入方・入用方・日記断簡〕	明治十四年一月大吉日他	横帳 一括	三九七
覚〔桶廻問村分御居米〕	(年代未詳)子二月晦日 美濃屋惣兵衛	一通	二五八
ノ鳴海千代倉治郎八様			

覚 (年代未詳) 丑十二月廿日	仙右衛門ノ下郷次郎八殿	一通	二五九
覚 (年代未詳) 辰三月	下郷次郎八ノ□□次右衛門殿	一通	二五八
覚〔金子借用〕	(年代未詳) 申七月廿六日 十次郎ノ御元ノ所	一通	二六〇
覚〔御居米〕	(年代未詳) 亥十月十九日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治郎八様	一通	二五〇
覚〔御居米請取〕	(年代未詳) 十月廿一日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治郎八様	一通	二五八
覚〔三割増江戸願〕	(年代未詳) 亥十月 西尾東治ノ下郷次郎八殿	一通	二五五
覚〔御居米〕	(年代未詳) 亥十一月十五日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治郎八様	一通	二五七
覚〔御居米〕	(年代未詳) 亥十一月十五日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治郎八様	一通	二五八
覚〔御居米受取〕	(年代未詳) 亥十一月廿一日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治郎八様	一通	二五七
覚 (年代未詳) 亥十二月十七日	尾州鳴海米屋助藏ノ下郷治郎八様	一通	二六九
覚〔御居米〕	(年代未詳) 亥十二月廿三日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治郎八様	一通	二五一
覚〔御居米〕	(年代未詳) 亥十一月廿三日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治郎八様	一通	二五三
覚〔平手新田分御居米〕	(年代未詳) 亥十一月廿八日 美濃屋惣兵衛ノ下郷次郎八様	一通	二四九
書出し	(年代未詳) 七月十一日 御表具師喜右衛門ノ金三郎様	一通	二五九
覚〔銀子受取〕	(年代未詳) 七月十三日 喜右衛門ノ金三郎様	一通	二五七



覚 (年代未詳)七月十三日 藤や長七ゝ鳴海千代倉佐兵衛様 一通 二七九

〔其元御居宅絵図之儀〕 (年代未詳)十一月廿二日 西尾伊右衛門他四名ゝ下郷五郎八様 一通 二五五

〔次郎八分亥年免割帳拝借断簡〕 (年代未詳)十二月廿日 仙助 一通 二七六

ゝ久米藏様 一通 二七〇〇

口上〔勘定書付〕 (年代未詳)十二月廿一日 前源七ゝ千代倉様 一通 二七〇〇

地方衆藏様 一通 二六〇〇

覚〔人足代〕 (年代未詳)十二月廿四日 柏木栄藏ゝ土地方御支配 一通 二六〇〇

中 一通 二六〇〇

〔包紙〕 (年代未詳) 山下清三郎ゝ千代倉治郎八様 一通 二六〇〇

覚〔余米・大豆・端米〕 (年代未詳) 千代倉 一通 二六八二

〔包紙〕 (年代未詳) 杉本与兵衛ゝ下郷次郎四郎様 一通 二五七〇

相 続 他

乍恐奉願上候御事〔下郷勘左衛門身上相続方之儀〕 (年代未詳) 一通 三七六

詳)申十二月 一通 三七六

病氣見舞到来 文政六年十月日 横帳 一通 三六三

焼香順〔下郷秋之介他三十名〕 (年代未詳) 一通 二六六

書 簡

書簡〔外山弥次右衛門殿木綿買次問屋引請證人代替ニ付證 一通 二六三

文書替〕 寛政四年三月廿四日 加島屋治郎左衛門他一名ゝ外山 一通 二六三

善兵衛様他一名 一通 二六三

書簡〔御状并ニ御献上之新若布一箱落手〕 文政十一年三月九 一通 三五八

日 小西大炊ゝ下郷次郎八様 一通 二六五

〔六日市ゝ芝草取来候〕〔前欠〕 (年代未詳)戊二月廿六日 又右 一通 二六五

衛門他十三名ゝ御庄屋平六様 一通 二七〇〇

書簡〔三州米千石入津御免之筈〕 (年代未詳)亥九月 沼半左 一通 二七〇〇

衛門ゝ下郷次郎八方下郷善右衛門・右村庄屋 一通 二六九

書簡〔御年貢之儀用捨願〕 (年代未詳)亥極月廿四日 傍示本村 一通 二六九

新田庄屋ゝ鳴海宿千代倉 一通 二六四一

書簡〔御内意御報〕 (年代未詳)亥十一月廿八日 紀ゝ学海様 一通 二六四一

書簡〔改年之御慶〕 (年代未詳)正月廿四日 秋葉寺役寮ゝ下郷 一通 二六三一

次郎八様 一通 二五九八

書簡〔新春之御慶目出度申納候〕 (年代未詳)正月廿四日 秋 一通 二五九八

葉寺役寮ゝ下郷次郎八様 一通 二六六七

書簡〔忠助一件〕 (年代未詳)二月九日 善左衛門ゝ下森岩七様 一通 二六七四

書簡 (年代未詳)二月十日 善左衛門ゝ立河内岩七様 一通 二六六八

書簡 (年代未詳)二月十八日 善左衛門ゝ下森岩七様 一通 二六六八

書簡〔御加印之儀、早速御承引〕 (年代未詳)二月廿三日 外山 一通 二六六九

弥次郎ゝ下郷治郎八様 一通 二五七五

書簡〔賭金之儀〕 (年代未詳)三月十四日 源右衛門ゝ金石衛門 一通 二六四四

様 一通 二六四四

書簡〔御夫懸様方今晚御泊り〕 (年代未詳)三月廿二日 田□ゝ 一通 二五七三

□内様 一通 二五七三

書簡〔出立之節御世話被下、道中無事〕 (年代未詳)四月五日 一通 二五七三

玉岡隠居ゝ下郷次郎八様 一通 二五七六

書簡 (年代未詳)六月十二日 戸田町泉屋ゝ千代倉屋亀藏様 一通 二五七六

書簡〔出家之儀〕（年代未詳）六月十三日（差出人・宛名未詳） 一通 二五七六

書簡写〔三百両拝借〕（年代未詳）七月六日 石崎嘉右衛門ゝ千賀領五郎様 一通 二五八一

書簡〔御頼申上置候一件〕（年代未詳）七月十二日 児玉代助ゝ下郷次郎八様 一通 二五九九

口上〔別紙之通、江戸表ゝ申参候ニ付、奉入御覽候〕（年代未詳）八月廿八日 下郷善右衛門ゝ下郷次郎八様（整理番号二五八一と関連カ） 一通 二五八三

書簡〔私拝借銀年賦返上方之儀〕（年代未詳）十月十三日 下郷次郎八ゝ西村将監様 一通 二六〇一

書簡〔相場物之儀〕（年代未詳）十一月十五日 ミのや惣兵衛ゝ下郷治郎八様 一通 二六三五

書簡〔平手新田〕（年代未詳）十一月廿一日 ミのや惣兵衛ゝ下郷次郎八様 一通 二六八一

書簡〔御年貢米引当テ御調達金之儀〕（年代未詳）十一月廿二日 小菅只八ゝ下郷次郎八様 一通 二六〇〇

書簡〔返上金年延願難相済儀〕（年代未詳）十一月廿九日 伊藤司馬介ゝ下郷次郎八様 付、包紙 一通 二六三四

書簡写〔跡式之儀、五六ヶ年之間拙者共引受〕（年代未詳）十一月 下郷次郎八他一名他ゝ（宛名未詳） 一通 二六二〇

書簡〔小原新田〕（年代未詳）十二月十五日 志水や源七ゝ千代倉様地方衆蔵様 一通 二六七七

書簡〔返上金年延願之儀〕（年代未詳）十二月十一日 伊藤司馬介ゝ鳴海村下郷次郎八殿 付、包紙 一通 二六三三

書簡（年代未詳）十二月廿二日 吉田久米蔵ゝ下（郷）次郎八様 一通 二七五三

書簡〔御内意〕（年代未詳）十二月廿八日 紀ゝ海様 付、包紙 一通 二六〇八

書簡〔〇〇菓子御用達申候一件〕（年代未詳）十二月廿三日 永井米〇〔松右衛門〕ゝ梶川東岡〔道源〕様 付、包紙 一通 二六三七

書簡〔〇〇菓子年賦金之儀遅滞〕（年代未詳）十二月廿八日 米〇ゝ東岡様 一通 二六三六

書簡〔御国内御家中様方手内継人馬改〕（年代未詳）二日 佐兵衛ゝ次郎八様 一通 二五八三

書簡〔後欠〕（年代未詳）圓龍寺ゝ下郷次郎八様・地方御衆中様〔封筒〕（年代未詳）山口一郎ゝ下郷様 一通 二六四六

客中日記 文化五年二月十日～三月四日 平安樵街江州樓小主人 横帳 一冊 二六一七

日記

分家柏木家

金 融

借 金

覚〔金子借用〕 文化四年五月 下郷弥兵衛他一名ゝ美濃屋 一通 二三三二

覚〔金子借用〕 文化四年五月 下郷弥兵衛ゝ美濃屋治兵衛殿 一通 二三四三

覚〔金子借用〕 文化四年六月晦日 下郷弥兵衛他一名ゝ美濃屋 一通 二三三〇

治兵衛

借財譯立留 嘉永三年九月日 下郷弥兵衛光雄 縦帳 一冊 一五六三

差出申御請書之事〔兄源八改心仕候付、商売元手金ニ差遣申度〕 元治元年十二月 大津屋伊兵衛他一名下郷弥兵衛様 他一名 一通 三六三

覚〔年代未詳〕未十二月六日 相原村庄屋下郷弥兵衛様 一通 二六五

〔断簡〕〔年代未詳〕七月十六日 弥兵衛別紙御名前衆中 一通 二五九

〔断簡〕〔年代未詳〕極月 相原村庄屋下郷弥兵衛様 一通 二五三

買 得

相渡申松山定納并切起畑之事 寛延四年四月 相渡シ主彦七 一通 二三四

他四名下柏木弥兵衛殿

相渡シ申定納松山之事〔所ハ萬場山、堀越山〕 宝暦四年九月 一通 一九三

定納松山相渡主与彦七他五名下柏の木弥兵衛殿〔付箋・朱筆〕第壹号

相渡申田畑小作掟米之帳 安永二年二月 瑞泉寺下〔柏樹弥兵衛〕 一冊 二七六

家 政

相 続

一札〔別家ニ付、御本家居宅并土蔵式ケ所御造立〕 明和 一丁 二七九

三年極月 下〔郷〕太郎右衛門他一名柏木弥兵衛殿

書 簡〔庄屋文書を含む〕

書簡〔安政三辰年御払居勘定一条〕〔安政四年〕五日 又兵衛 一通 二〇九

弥兵衛様

書簡〔屋敷鷹場内之処、其村江預リ候分、御村請ニ被成度一件〕〔年代未詳〕五月七日 文右衛門下弥兵衛様 一通 二六八

書簡〔水野表権平屋敷迄御出被下候様〕〔年代未詳〕五月十九日 中根八郎下郷弥兵衛様 一通 二二〇

書簡〔人撰方之儀〕〔年代未詳〕五月廿九日 中根八郎下郷弥兵衛様 一通 二二六

書簡〔津島祭舟賃御差越〕〔年代未詳〕六月八日 宗兵衛下〔郷〕弥兵衛様 一通 二七三

書簡〔御世話相成候人撰人之内、植田村兩人儀今日呼出〕〔年代未詳〕八月二日 中根八郎下郷弥兵衛様 一通 二四六

書簡〔断簡〕〔年代未詳〕九月十六日 小川又兵衛下郷弥兵衛様 一通 二五二

書簡〔寺郡輪中助郷之儀〕〔年代未詳〕十一月十三日 岡村嘉八郎下郷弥兵衛様付、包紙 一通 二六六

書簡〔米八拾石積老艘相納候〕〔年代未詳〕十二月三日 山形屋藏方下庄屋衆中様 一通 二二六

書簡〔亀崎村伊東孫左衛門、当村彦三郎分御払居判物ハ請取置不申哉〕〔年代未詳〕十二月十二日 陣屋下鳴海庄屋五 一通 二二二

書簡〔年代未詳〕十二月十二日 山形屋藏方下庄屋衆中様 一通 二二七

書簡〔御年貢米、岩本弥右衛門へ取扱方御頼〕〔年代未詳〕十五日 小川下庄屋衆模 一通 二二三

書簡〔年数引図面取調〕〔年代未詳〕廿六日 小川又兵衛下郷弥兵衛様 一通 二〇六

書簡〔年貢受取〕〔年代未詳〕廿七日 小川又兵衛下郷弥兵衛様 一通 二二四

書簡〔当年御払居米代金之儀〕（年代未詳） 陣屋の鳴海庄屋江 一通 三三三

分家喜多浦家

家 政

家 計

年賦金返済証文之事〔御年貢金借用〕 享和元年十一月 金借 一通 一四〇

リ主善右衛門他二名に横江八郎治殿

讓渡申家屋敷之事 慶応二年三月 讓主傳助他三名に下郷善右衛門殿 一通 一〇八九

日 記

〔明和四丁亥年日記〕 明和四年正月元日～明和五年正月一日 横帳 一冊 二

明和九壬辰日々記 明和九年正月元日～安永二年正月十一日 横帳 一冊 三

日 下郷總載

天明九己酉年日々記 天明九年正月元旦～寛政二年正月十九日 横帳 一冊 四

九日 下郷善右衛門

寛政三辛亥年日記 寛政三年正月元日～寛政四年正月十二日 横帳 一冊 五

日 下郷善右衛門

寛政十戊午歳日々記 寛政十年正月元日～寛政十一年正月十一日 横帳 一冊 六

十一日 下郷善右衛門昌衍

寛政十一己未歳日々記 寛政十一年正月元日～寛政十二年 横帳 一冊 七

正月十二日

寛政十三辛酉年日々記 寛政十三年正月元日～享和二年正月十三日 横帳 一冊 八

月十三日 下郷善右衛門昌衍

享和戌二壬歳日々記 享和二年正月元日～享和三年正月十二日 横帳 一冊 一

二日 下郷善右衛門昌衍

文化六己巳歳日々記 文化六年正月元日～文化七年正月十二日 横帳 一冊 九

二日 下郷善右衛門平從

文化十三丙子歳日々記 文化十三年正月元日～十二月大晦日 横帳 一冊 二三

日 下郷善右衛門平從

文化十五戊寅歳日々記 文化十五年正月元日～文政二年正月八日 横帳 一冊 二三

月八日

文政二己卯歳日々記 文政二年正月九日～文政三年正月十一日 横帳 一冊 二四

一日 下郷善右衛門平從

〔文政三庚辰歳日記〕 文政三年正月元日～同年十二月大晦日 横帳 一冊 二五

日

〔年代未詳日記〕（前欠） 正月六日～四月晦日 横帳 一冊 二六

〔年代未詳日記〕 五月朔日～七月廿二日 横帳 一冊 二七

〔年代未詳日記〕 七月廿三日～九月十六日 横帳 一冊 二八

〔断 簡 類〕

覚（年代未詳）已十二月廿九日 小七 一通 二七二

口上（年代未詳）未七月十四日 見□ 一通 二七五

覚（年代未詳）未十月 平部町善左衛門 一通 二六〇

覚（年代未詳）九月七日 下組 一通 二六五

覚 (年代未詳) 十二月十八日 万屋惣助 (宛名未詳)	一通 二六五
覚 (勘定) (年代未詳)	一通 二六三
覚 (断簡) (年代未詳)	一通 二六五
覚 (断簡) (年代未詳)	一通 二六六
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二六三
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二六四
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二六〇
〔断簡〕 (年代未詳) 付、包紙	一通 二六三
〔人足断簡〕 (年代未詳)	一通 二六四
〔断簡〕 (年代未詳) 栄藏 専助殿	四通 二六四
〔断簡〕 (年代未詳)	四通 二六五
〔おもん儀先日以來不氣分断簡〕 (年代未詳)	一通 二六九
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二七〇
覚 (勘定) (年代未詳)	一通 二六五
覚 (年代未詳)	一通 二七〇
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二七〇
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二七三
覚 (年代未詳) 南野村團藏	一通 二七四
覚 (年代未詳)	一通 二七六
〔断簡〕 (年代未詳)	一丁 二七四
覚 (刀研) (年代未詳)	一通 二七三
〔断簡〕 (年代未詳) (差出人未詳) 作兵衛門様	一通 二七四

〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二七三
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二七九
〔御国方配符判鑑断簡〕 (年代未詳)	一通 二七三
〔受取断簡〕 (年代未詳) 油 (屋) 甚 (助)	一通 二七一
〔勘定〕 (年代未詳)	二丁 二七〇
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二五一
〔断簡〕 (年代未詳)	一通 二五四
〔断簡〕 (年代未詳)	一綴 二六二
覚 (年代未詳) 午極月	一通 二七九
覚 (受取) (年代未詳) 未二月七日	一通 二七六





既刊近世文書目録（関西大学図書館シリーズ）

第十七輯 摂津国嶋上郡高浜村西田家文書目録

第十八輯 河内国丹北郡六反村谷川家文書目録

第十九輯 摂津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録

第二十輯 和泉国大鳥郡豊田村小谷家文書目録

第二十一輯 和泉国大鳥郡岩室村中林家文書目録

第二十四輯 近世文書目録 その一

関西大学所蔵

近世文書目録 その二

平成元年三月三十一日発行

関西大学図書館

大阪府吹田市山手町

印刷 ナニワ印刷株式会社

大阪市北区天満二丁目九番一九号









